

一宮市博物館年報
(16)

平成 29・30 年度

一宮市博物館

はじめに

一宮市博物館は、昭和 62 年（1987）11 月に開館し、平成 29 年（2017）に開館 30 年を迎えました。ここに、『一宮市博物館年報（16）平成 29・30 年度』を作成し、2 年間の事業について報告します。今号から冊子での発行は取りやめ、ウェブサイト上のみでの公開とさせていただきます。

平成 29 年度は、夏休み期間中に子どもたちに博物館に親しんでもらうため、「博物館で夏祭り！」を開催し、常設展示に関するクイズを用意するほか、様々なイベントを行いました。同時に「なんで穴があいてるの？」と題して、尾張地方に特有のまるまどつきどき円窓付土器など、穴のあいた考古資料に着目した小展示も行い、子どもたちに穴があけられている理由を考えてもらいました。秋には、開館 30 周年を記念し、特別展「川合玉堂展～移ろう四季と人々の暮らし～」を開催しました。一宮市木曾川町生まれの日本画家・川合玉堂の没後 60 年となる年でもあり、市が所蔵する作品に加え、玉堂美術館や大松美術館などから貴重な作品を拝借し、多くの皆様にご来館いただきました。

平成 26 年度の常設展示リニューアルオープン以来、展示室 2-3 の展示替えコーナーで特集展示として収蔵資料等を随時公開してきましたが、平成 30 年度からは特集展示コーナーとして年に 4 回ほど展示替えを行い、博物館の多彩なコレクションや貴重な寄託資料の中から特に美術工芸品を中心に紹介することとしました。また、たいけんの森「わくわく体験」では、企画展と連携したものや、常設展示室の展示資料に関連した工作などの多彩な催し物を開催し、親子連れの方を中心に楽しんでいただきました。なお、この年は、秋の特別展を中止して 10 月 2 日（火）から 11 月 30 日（金）まで休館とし、老朽化した空調機械（展示ホールおよび常設展示室の空調機の熱源となる冷温水発生機等）の大規模更新工事を行いました。館の建物は設立から 30 年が経ち、様々な箇所での修繕が必要となっており、今後も良好な展示環境を維持するため、逐次修繕工事を行っていきたいと思っております。

そのほか文化財保護事業に関しましては、平成 30 年度に道路の拡幅工事に伴う福塚前遺跡の発掘調査を行いました。市内では約 20 年ぶりとなる大規模な発掘調査で、担当者による一般説明会には、多くの市民の方にお集まりいただきました。

本年報では、これら 2 年間の活動を振り返り、今後の活動に生かしていきたいと思いません。

令和 2 年 11 月

一宮市博物館

目 次

はじめに	1
I 博物館事業	
1 常設展示	
(1) 常設展示の構成	4
(2) 展示配置図	6
2 特別展・企画展・特集展示	
(1) 一宮市博物館	8
(2) 一宮市木曾川資料館	38
3 教育普及	
(1) 古文書講座	39
(2) 博物館キッズクラブ	41
(3) 講演会	43
(4) たいけんの森	45
(5) 博物館で夏祭り！	48
(6) 生涯学習出前講座	51
(7) 博物館実習	53
(8) 中学生職場体験学習	53
(9) インターンシップ	53
(10) 教員研修の受け入れ	54
(11) 子ども向けクイズ	55
(12) 刊行物	56
4 利用状況	
(1) 資料貸出	57
(2) 写真等利用	60
(3) 施設利用	63
(4) 入館者統計	66
(5) 団体観覧・案内	69
5 調査研究・収集	
(1) 美術工芸資料等購入事業	70
(2) 寄贈資料	70
(3) 寄託資料	71
(4) 収蔵品修繕	72
(5) 受贈図書等	73
II 文化財事業	
1 文化財保護審議会	
(1) 委員	106
(2) 審議会の開催	106
(3) 文化財の指定・解除	108
2 文化財保護事業	

(1) 市民文化財めぐり	109
(2) 民俗芸能公演	110
(3) 文化財防火デー関連行事	110
(4) 文化財保護事業補助金	112
(5) 民俗芸能伝承保存事業補助金	114
(6) 民俗芸能伝承推進事業	115
(7) 郷土史関連出版物奨励事業	116
(8) 文化財標柱の設置等	116
(9) 木曾川堤桜管理委託事業	117
(10) 埋蔵文化財の発掘調査	118
(11) 文化財の公開	131
(12) 文化財の活用	131
(13) 刊行物	132

III 組織と運営

1 一宮市博物館運営協議会

(1) 委員	133
(2) 協議会の開催	133

2 職員組織

3 研修・会合への参加

4 歳出決算

IV 条例・規則・要綱

1 一宮市博物館条例

2 一宮市博物館条例施行規則

3 一宮市博物館運営協議会規則

4 一宮市木曾川資料館条例

5 一宮市木曾川資料館条例施行規則

6 「豊島記念資料館」の管理及び運営に関する要綱

7 「檜の木文化資料館」の管理及び運営に関する要綱

8 「みうら郷土館」の管理及び運営に関する要綱

9 一宮市博物館資料取扱要綱

10 一宮市文化財保護条例

11 一宮市文化財保護条例施行規則

12 一宮市文化財保護事業補助金交付要綱

13 民俗芸能伝承保存事業補助金交付要綱

14 郷土史関係出版物等奨励事業補助金交付要綱

V 施設

1 施設概要

2 開館後の増築および修繕

3 主要各室面積

4 博物館平面図

I 博物館事業

1 常設展示

(1) 常設展示の構成

展示ホール 一宮市の見どころ案内

真清田神社復元模型 妙興寺復元模型 展示替えコーナー
一宮市博物館収蔵品検索コーナー

展示室1 いちのみや歴史絵巻

一宮市の名前は、尾張国の一宮である真清田神社に由来する。この地域に人が住み始めたのは縄文時代中期にさかのぼり、やがて木曾川の雄大な流れのもとに豊かな水と土壌に支えられ、長い歴史を刻んできた。ここでは、各時代の代表的な資料の展示を歴史絵巻と名付け、その始まりから今日までの一宮市の成り立ちを概観する。

縄文時代 尾張平野のあけぼの
弥生時代 稲作のはじまり 環濠集落（猫島遺跡）
古墳時代 豪族の台頭 前方後方というカタチ（西上免遺跡）
人麿塚・戸塚の七つ石 岩塚古墳・石棺
古代 寺院の建立と文字の普及 護岸施設と祭祀（大毛沖遺跡）
中世 地方武士の活躍 中世の墓制 法圓寺中世墓
一宮市域の城と武将たち 黒田城と仁王胴具足
江戸時代 尾張藩による支配 尾張絵図 北方代官所復元模型
近現代 尾張平野の中核都市として
毛織物産業の発展 濃尾地震と一宮市域
一宮空襲 戦後の復興と発展

展示室2-1 自然と暮らす

一宮市の北西に流れる木曾川は、長い歴史の間に何度も洪水を引き起こしながら、この地域に扇状地や自然堤防、後背湿地の組みあつた地形を生み出した。人々は堤防を作り水害と戦う一方で、それぞれの土地の特性にあわせて稲作や棉作、養蚕などを営んできた。また、冬には北西から「伊吹おろし」と呼ばれる冷たく乾いた風が吹き、この風を利用して作られる大根切干はこの地域の名産品となった。ここでは、悠久の流れのもとに暮らしてきた人々のようすを、その自然の成り立ちから紐解く。

妙興寺の森 一宮市の地形と地質 島畑の風景 田畑を耕す 大根切干をつくる

展示室2-2 人と暮らし

一宮市域は、古くは鎌倉に向かう鎌倉街道が通り、江戸時代には美濃路や岐阜街道、巡見街道の通る交通の要衝であった。街道沿いの村々には市が立ち、人々は農作物や手工芸品を売り、暮らしに必要なものを買っていた。また、街道だけでなく河川を利用して運ばれる物資や人の流れもあった。ここでは、人々の暮らしを結び目に、街道や水運によるものの流通と、織物をはじめとする手仕事や衣食住を支えた道具を紹介する。

街道と市 街道を歩く 川を往く 筏による運材 川と暮らし 紡ぎ織る
養蚕の仕事 職人のわざと道具 遺跡にみる鍛冶 清郷遺跡・小鍛冶遺構
鍛冶の道具 竹細工の歴史 竹細工の道具 暮らしと道具（展示替えコーナー）

展示室2-3 祈りと文化

人々の暮らしのそばには常に祈りがあった。弥生時代の赤く塗られた優美な土器や、かつて美しい音色を響かせていたであろう銅鐸は、太古の人々の祈りのありようを物語る。また、尾張国一宮の真清田神社や、妙興寺、長隆寺などの仏教寺院に伝わる宝物には、幸福や救いを求める人々の願いがこめられている。やがて江戸時代になると、漢詩や南画といった文人文化がこの地域にも花開いた。ここでは、木曾川の豊かな流れに生まれ、尾張平野に広がった祈りと文化の世界を紹介する。

縄文時代の祈りの空間 赤への憧憬 鳴らす銅鐸 青銅器の輝き 水辺の祭祀
真清田神社 仏教の広がり文化 展示替えコーナー

学習室 たいけんの森

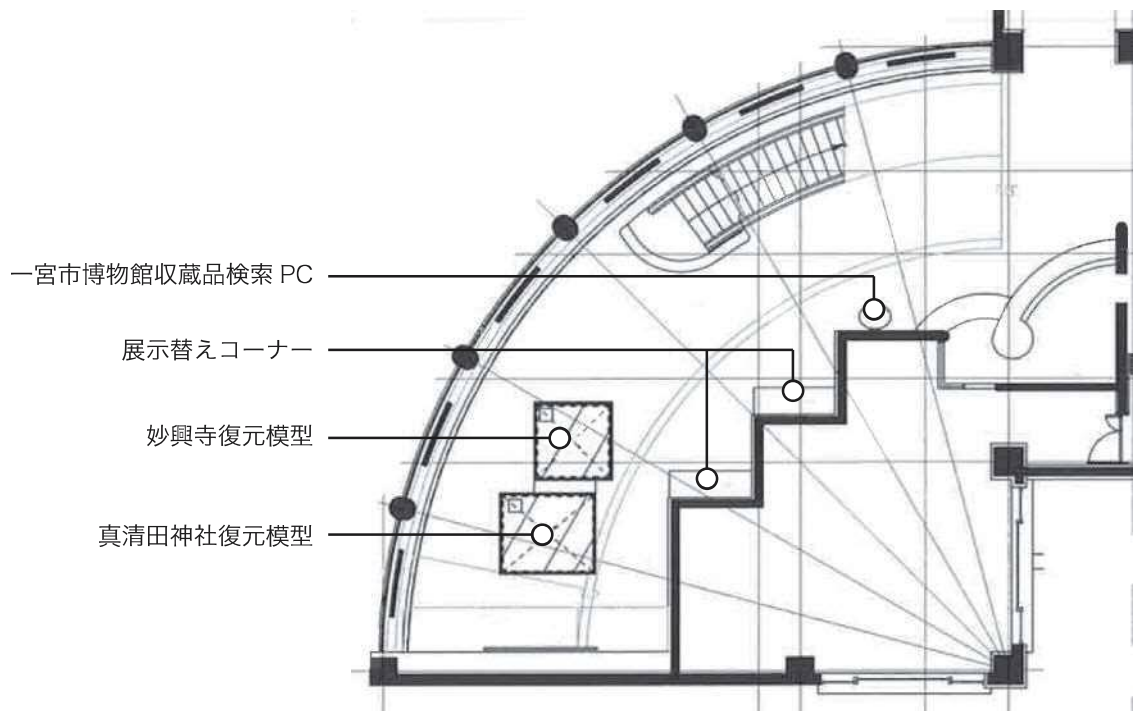
学校休業日の土・日曜日を中心に、さまざまなテーマを体験ができるものとする。体験を通じて学ぶものとするが、歴史的背景などの教育普及を必ず付加する。さらに、学校教育のカリキュラムに合わせるなどの工夫をし、より利用しやすくする。

具体的には、自由に利用できる体験キットの設置、土日祝のわくわく体験、尾張もめん伝承会ボランティアによるはたおり・糸つむぎ体験の三本柱で運用を行う。

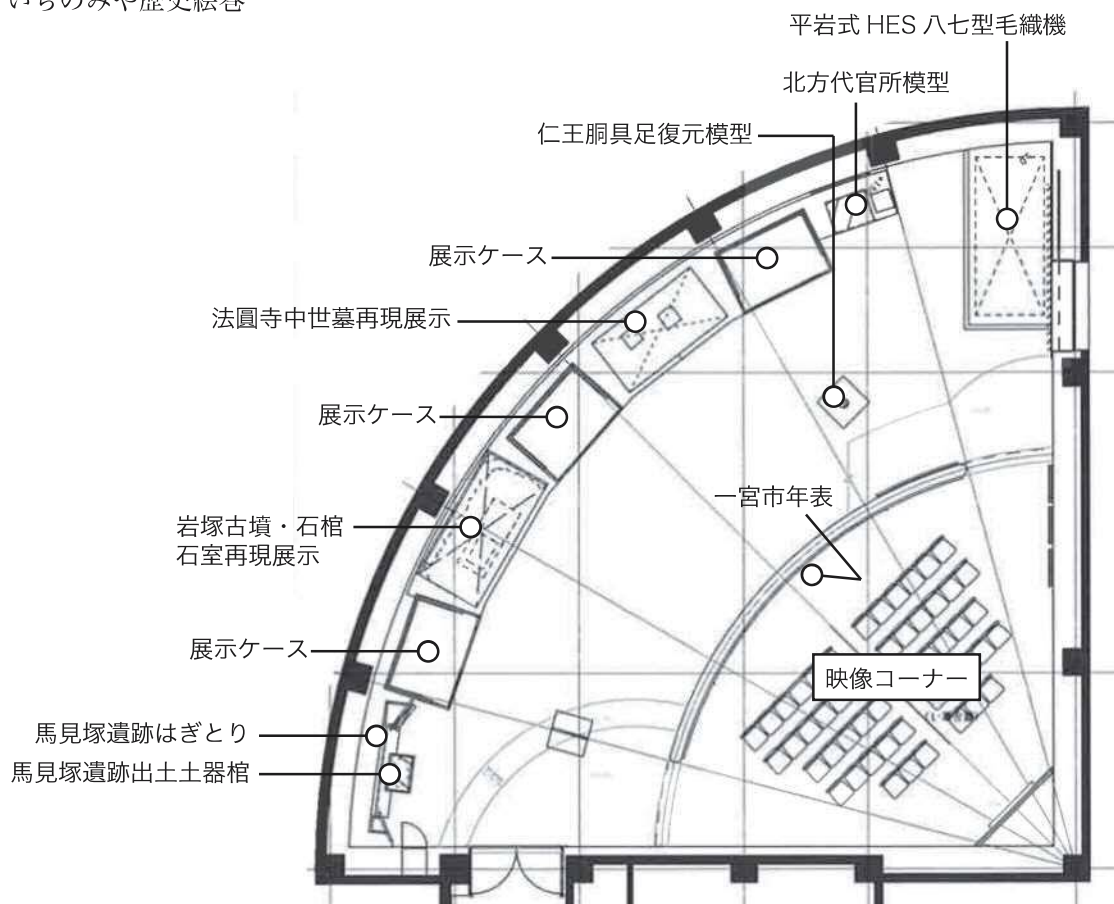
体験キット 土器パズル（4種類）、一宮市連区パズル、昔の台所キット、ぐいち（お手玉）、わらぞうり、洗濯板など

(2) 展示配置図

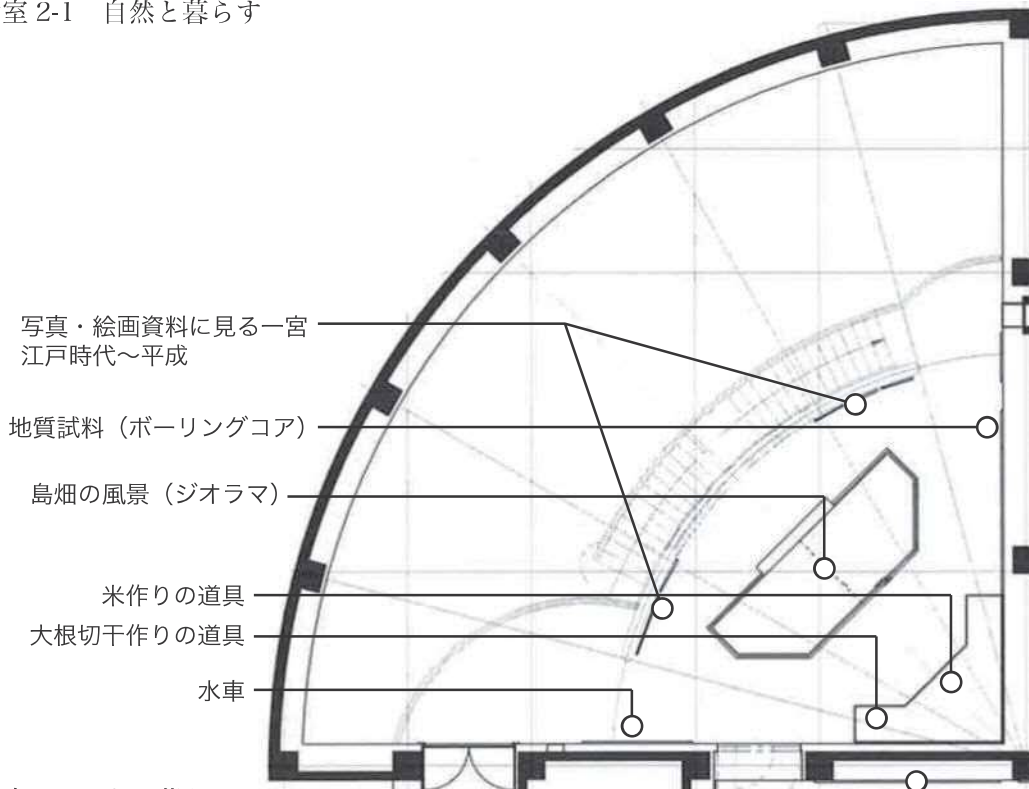
■ 展示ホール 一宮市の見どころ案内



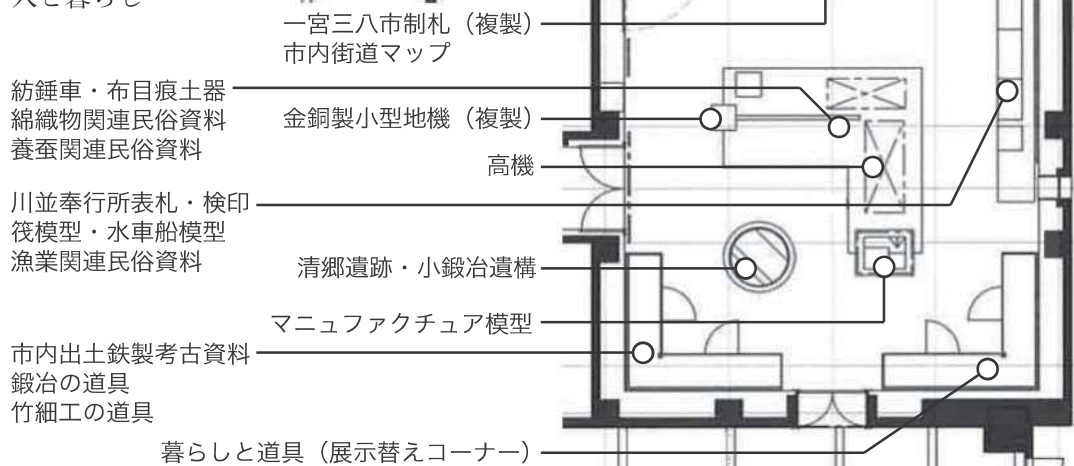
■ 展示室 1 いちのみや歴史絵巻



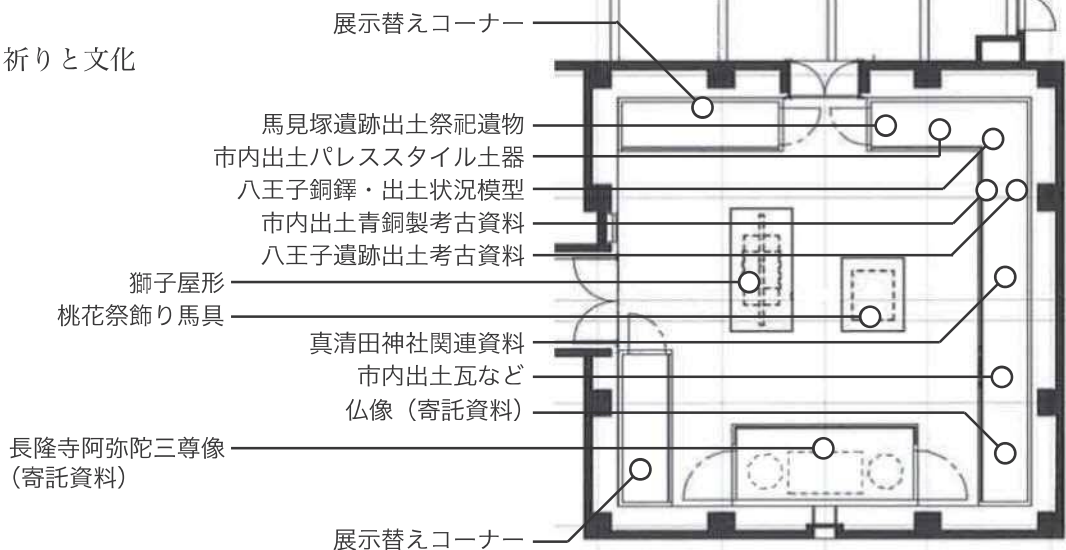
■ 展示室 2-1 自然と暮らす



■ 展示室 2-2 人と暮らし



■ 展示室 2-3 祈りと文化



出品目録

No	作家名	作品名	サイズ (縦×横、cm)	制作年	技法/材質
1	佐分 眞	チェレリーの初夏 佛国 巴里	19.0×23.5	昭和7年(1932)	油彩/板
2	佐分 眞	男の像	30.3×21.4	大正14～昭和元年 頃(1925～26)	鉛筆/紙
3	佐分 眞	[デッサンとコラージュ]	27.0×20.8		鉛筆・コラージュ/紙
4	佐分 眞	婦人座像	41.2×32.6		コンテ/紙
5	佐分 眞	二人の裸婦	41.5×32.9	昭和5年頃(1930)	コンテ/紙
6	佐分 眞	裸婦立像	41.5×32.8	昭和5～7年頃 (1930～32)	鉛筆・コンテ/紙
7	佐分 眞	腰かける裸婦	50.0×33.5	昭和5年頃(1930)	コンテ/紙
8	佐分 眞	横たわる裸婦	41.0×54.0		コンテ/紙
9	佐分 眞	[テーブルの前の男と女]	36.8×27.5		コンテ/紙
10	佐分 眞	婦人	41.5×32.5		鉛筆/紙
11	佐分 眞	裸婦	32.7×41.4	昭和2～7年頃 (1927～32)	鉛筆/紙
12	八木 茂雄	尾鷲湾	33.3×24.0		油彩/板
13	八木 茂雄	海辺の工場	24.3×33.2		油彩/板
14	八木 茂雄	波切灯台	38.3×45.5		油彩/キャンバス
15	八木 茂雄	飛驒の里	32.0×40.8		油彩/ボード
16	八木 茂雄	十和田湖	38.0×45.7		油彩/キャンバス
17	八木 茂雄	石灰工場	53.3×45.5		油彩/キャンバス
18	八木 茂雄	印度更紗と裸婦	72.7×50.0		油彩/キャンバス
19	八木 茂雄	腰かける女	53.0×45.5		油彩/キャンバス
20	八木 茂雄	横たわる女	45.5×53.2		油彩/キャンバス
21	八木 茂雄	白い閘門	45.5×53.3		油彩/キャンバス
22	八木 茂雄	若狭船小屋	38.0×45.5		油彩/キャンバス
23	森田 曠平	洛北おとめ	40.8×31.8		紙本着彩
24	森田 曠平	泰西美人	10.0×10.0		紙本着彩
25	山口 華楊	立葵	45.3×33.3		紙本着彩
26	上村 松篁	駒どり	26.2×38.1		紙本着彩
27	上村 淳之	紅ヒワ	45.3×52.9		紙本着彩
28	吉田 善彦	柿若葉の頃	45.0×52.6		紙本着彩
29	吉田 善彦	戒壇院路	38.0×45.6		紙本着彩
30	社本 我泉	万里長城	45.2×60.5		紙本着彩
31	福井 爽人	黄昏	45.0×60.2		紙本着彩
32	福井 爽人	山椒薔薇	21.5×32.7		紙本着彩

No	作家名	作品名	サイズ	制作年	技法/材質
33	藤島 奨	静物	45.8×53.0	昭和 55 年 (1980)	油彩/キャンバス
34	藤島 奨	神苑の朝	32.0×41.0		油彩/キャンバス
35	藤島 奨	梯子獅子	23.0×45.5		油彩/キャンバス
36	藤島 奨	ばら	33.3×24.2		油彩/キャンバス
37	藤島 奨	[椿]	31.8×40.8		顔彩/色紙
38	藤島 奨	人形	25.8×22.7		水彩/紙
39	永楽善五郎 (十六代)	仁清写十二月茶碗			
40	永楽善五郎 (十六代)	金襴手菊桐皆具 (建水、杓立、蓋置、水指)			
41	—	色絵菊文大皿	径 28.0、高台 径 12.3、高 5.5		伊万里焼
42	—	色絵風景文大皿	径 39.4、高台 径 22.7、高 5.3		
43	—	染付山水文大皿 2 枚組	径 47.5、高台 径 29.2、高 5.8		伊万里焼
44	—	菊花菱風景文 蒔絵五段 重箱 2 組	奥行 24.3、幅 24.5、高 43.5		
45	—	菊花菱 蒔絵五段重箱	奥行 22.5、幅 24.2、高 34.0		
46	—	牡丹唐草文 蒔絵四段重 箱	奥行 20.0、幅 21.3、高 28.5		
47	—	蒔絵四段重箱	奥行 18.3、幅 16.8、高 23.5		
48	—	菊桐文 蒔絵螺鈿火鉢	径 24.0、高 20.0		
49	—	唐物碁盤	奥行 44.0、幅 47.0、高 27.0		
50	—	螺鈿花台	幅 66.4、奥行 41.6、高 20.5		
51	—	吉野竜田蒔絵硯箱	奥行 26.8、幅 23.5、高 6.2		
52	—	吉野竜田蒔絵文庫	奥行 42.0、幅 34.5、高 14.5		
53	魚住為楽 (初代)	砂張鉦	鉦：直径 29.7、 厚さ 7.2、 鉦架：幅 49.0、 奥行 24.6、高 61.2	昭和 34 年 (1959)	

夏季小展示「なんで穴があいてるの？～穴の向こうに広がる世界～」

会期 平成29年7月15日（土）～8月27日（日）

主催 一宮市博物館

会場 小展示室

印刷物 リーフレット（A4） 20,000枚

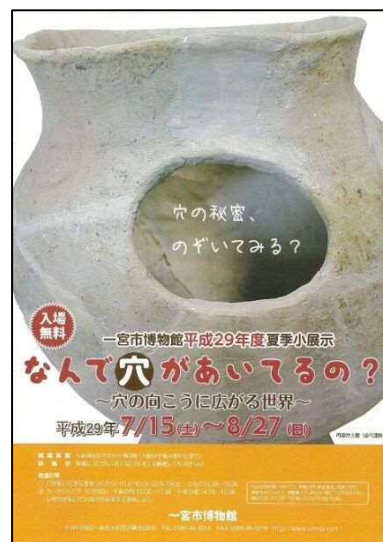
※「尾張平野を語る23」と共通

展示解説書（A4、10頁） 2,000部

観覧料 常設観覧料

開館日数 38日間

入館者数 4,392名（115.5名／1日）



一宮市ならびその近辺の遺跡から出土した考古資料から、穴のあいているものだけを集めて展示した。この展示によって、来館者が考古資料および考古学に親近感を抱き、より一層の興味関心がわくことを目的として開催した。会期中には、ワークショップを開催した他、意見ボードやフォトスポットを設置した。

展示構成

①銅銭（輸入銭） ②勾玉 ③紡錘車 ④陶錘 ⑤石包丁 ⑥縄文式土器（深鉢） ⑦瓦泉（はそう）
⑧甌 ⑨器台 ⑩瓶子 ⑪円窓付土器

関連催事

ワークショップ「穴があいてる勾玉をつくろう」

8月5日（土）午後1時30分～午後4時30分 参加者：17人

8月19日（土）午後1時30分～午後4時30分 参加者：13人

ワークショップ「なんで穴があいてるの？」

8月20日（日）午後2時～3時 参加者：8人

掲載

「広報いちのみや」7月号

FMぎふ「MORNING SPLASH」6月22日（木）

FMいちのみや「ミュージアムスクエア」7月5日（水）

FMいちのみや「市制情報 知っトク！いちのみや」7月13日（木）

「美術の窓」8月号

チラシを市内施設に配布、ポスター（カラーコピー）を館内に掲示。

出品目録

No.	資料名	出土遺跡	所蔵者
1	古銭	若宮前遺跡	館蔵
2	勾玉 3点	寿福寺	寿福寺寄託品
3	紡錘車	八王子遺跡	館蔵
4	石錘	木曾川採取	館蔵
5	石包丁	名古屋城三の丸遺跡	愛知県埋蔵文化財調査センター
6	縄文式土器	万場垣内遺跡	豊田市教育委員会
7	はそう	塩竈神社古墳	館蔵
8	甗（土師器）	寄贈（丹陽町森本字弥勒出土）	館蔵
9	器台（弥生土器）	燕池遺跡	館蔵
10	瀬戸瓶子	法圓寺中世墓遺跡	館蔵
11	円窓付土器	朝日遺跡	愛知県埋蔵文化財調査センター
12	円窓付土器	苗代遺跡	館蔵

企画展「2017 45回記念展 一宮美術作家協会展」

会期 平成29年9月2日(土)～9月17日(日)

主催 一宮市博物館、一宮美術作家協会

会場 特別展示室、講座室、ラウンジ、1階ギャラリー、小展示室、2階ギャラリー

印刷物 リーフレット(A4) 4,000枚

観覧料 常設観覧料

開館日数 14日間

入館者数 1,551人(110.7人/1日)

一宮美術作家協会会員70名の作品を展示。また、2階ギャラリーにて小品展を開催し、出品者のうち19名の作品を展示した。

掲載

「広報いちのみや」8月号



出品者

日本画 8名

大島奈知子
加島 昌子
河村 明美※
嶋 千世子※
高橋 弘子
丹羽 桃慶
波多野友香
松岡 彩子

洋画 48名

伊藤 眞巳
井上 悟
井上 雅夫
岩田 哲夫
江村 亨
大石 晴美
大島 辰子
大島 信人
大塚 将司
岡崎喜代子 (出品辞退)
小倉 照江
小倉 義夫
梶浦 寿布※
加藤 伸※
鬼頭 厚生※
木村 隆行※
木村 満幸
久保田正信
小出きよ子※

後藤 一三※
後藤 泰洋 (出品辞退)
櫻井 幹郎※
左合 英明※
佐藤 典子※
佐野 義博※
すぎもと和※
関野 敦※
滝野 弘次
寺西 洋二
富田 信子
野原 三義
野村 緑
橋本 進
平林 幸子
平松 幸雄※
堀尾 一郎
前野 恒
増田 和臣
松本 幹永※
三輪 修
三輪 清弘
村上佳久子
山崎 澄
山下 久子
山田 光代
山田 孝
吉川 忠史
よしだまさこ
若月 陽子

彫刻・立体 2名

川原 孝文※ (小品展のみ)
長谷川厚一郎
真下 賢一

工芸 6名

石田 元子
鵜飼 辰郎
澤田 進治※
下田 心一※
土屋 保徳
林 節子
夫馬 信行
松岡 孝司

デザイン 3名

石井佳代子 (出品辞退)
市川 章三
鵜飼のはら (出品辞退)
岡崎 美穂
百々 佳美
森 昭夫 (出品辞退)

※小品展出品者

企画展 「一宮写真協会選抜写真展」

会期 平成 29 年 9 月 21 日（木）～10 月 1 日（日）

主催 一宮市博物館、一宮写真協会

会場 特別展示室、講座室、ラウンジ

印刷物 案内はがき（150×100mm） 3,000 枚

観覧料 常設観覧料

開館日数 10 日間

入館者数 993 人（99.3 人/1 日）

一宮写真協会会員のうち 33 名の作品を展示した。副題は「時を撮る写真は 生きている」。

掲載

「広報いちのみや」9 月号

出品者

青木 尚子	櫻井 悦子
安藤 治仁	櫻井 慶子
安藤 雅彦	千田 陸末
伊藤 繁雄	田中 誠
今井 要	辻 徳治
今井 彰二	所 由紀子
今枝 吉宗	中村 薫
大久保明美	橋本 秀子
大矢 勝利	長谷川 薫江
大矢真理子	林 三平
岡田 忠夫	林 孝弘
尾関 君代	林 都美子
笠野 俊彦	夫馬 勲
加藤 紀子	古舘 正芳
木村 晴子	武鹿 千代
木村 龍雄	毛受 英彦
小島 高子	(50 音順)



開館 30 周年記念 特別展「没後 60 年 川合玉堂」

会期 平成 29 年 10 月 14 日（土）～11 月 26 日（日）
 玉堂記念木曾川図書館：10 月 14 日（土）～22 日（日）・
 11 月 1 日（水）～8 日（水）

主催 一宮市博物館、中日新聞社

協力 玉堂美術館

会場 特別展示室、講座室、ラウンジ、1 階ギャラリー

印刷物 ポスター（B2） 850 枚
 リーフレット（A4） 65,000 枚
 図録（A4、80 頁） 1,000 冊
 観覧券 8,600 枚
 招待状 600 部

観覧料 一般 500 円、高・大学生 300 円、小・中学生 200 円
 玉堂記念木曾川図書館：無料

開館日数 37 日間
 玉堂記念木曾川図書館：15 日間

入館者数 5,097 人（137.7 人/1 日）
 玉堂記念木曾川図書館：1,010 人（67.3 人/1 日）



川合玉堂は、1873（明治 6）年、愛知県葉栗郡外割田村（現在の一宮市木曾川町外割田、一宮市立玉堂記念木曾川図書館が建つ場所）に生まれた。絵の修行のため 18 歳で京都、23 歳で東京に転居すると、円山四条派や狩野派の画法を融合させ、日本画家として大成した。戦後は奥多摩の豊かな自然に囲まれて制作に励み、1957（昭和 32）年、83 歳でその生涯を終えた。

2017 年は没後 60 年の節目の年にあたることから、ふるさとの地にある博物館と図書館の 2 館で展覧会を開催した。様々な技法を学んでいた若き頃の作品から、四季の移ろいとそこに生きる人々を情緒豊かに描いた風景画まで、生涯にわたる多彩な作品を展示した。

関連催事

講演会「玉堂さんのふるさと」

講師 山口昭雄氏（元・木曾川町長）

日時 10 月 22 日（日）午後 1 時 30 分～午後 3 時

会場 玉堂記念木曾川図書館

参加者 30 人

講演会「素顔の玉堂」

講師 青山訓子氏（岐阜県美術館学芸員）

日時 11 月 19 日（日）午後 1 時 30 分～午後 3 時

会場 妙興寺公民館（博物館となり）

参加者 59 人

学芸員による展示解説

一宮市博物館 10月28日(土) 参加者 35名

木曽川図書館 11月5日(日) 参加者 25人

一宮市博物館 11月11日(土) 参加者 21人

いずれも午後1時30分より1時間程度

子どもアートツアー

日時 11月11日(土) 午前10時より

参加者 子ども8名・大人5名

掲載

「広報いちのみや」10月号

中日新聞 10月12日(木) 週末ガイド

中日新聞尾張版 10月15日(日)

読売新聞 10月26日(木)

朝日新聞 10月26日(木)

毎日新聞地方版 11月3日(金・祝)

岐阜新聞 11月3日(金・祝)

中日新聞 11月12日(日) 学芸員コラム

中日新聞 11月14日(火) 学芸員コラム

中日新聞 11月15日(水) 学芸員コラム

中日新聞販売「ほっと!タイムス」 11月15日(水)

出品目録

No.	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)	所蔵
1	義士討入之図	明治 23 (1890) 年	紙本彩色・軸装	115.5×44.4	玉堂美術館
2	柳下野馬図※	明治 23 (1890) 年	絹本彩色・軸装	37.5×64.8	玉堂記念木曾川図書館
3	奔瀑遊猿	明治 30 (1897) 年	絹本彩色・軸装	133.6×55.7	玉堂記念木曾川図書館
4	短冊十二ヶ月揃	明治 43 (1910) 年頃	絹本彩色・額 4 面	各 36.0×7.3	玉堂美術館
5	夏景山水	明治 44 (1911) 年	絹本金箔水墨・二曲半双屏風	162.1×160.4	玉堂美術館
6	跳鯉※	大正 4 (1915) 年	絹本墨画淡彩・軸装	70.3×67.0	玉堂記念木曾川図書館
7	夾竹桃※	大正 4 (1915) 年頃	紙本彩色・軸装	121.7×30.4	玉堂美術館
8	春野	大正 6 (1917) 年頃	絹本金地彩色・額装	53.4×80.3	玉堂美術館
9	観瀑白衣大士像	大正 7 (1918) 年頃	絹本墨画・軸装	144.8×51.0	青梅市立美術館
10	水墨山水図※	大正 8 (1919) 年頃	紙本墨画・軸装	37.0×49.0	八剣神社 (玉堂記念木曾川図書館寄託)
11	小春日※	大正 10 (1921) 年頃	絹本彩色・軸装	68.2×27.4	玉堂記念木曾川図書館
12	「筑波」画賛※	大正 13 (1924) 年頃	紙本墨画淡彩・軸装	31.0×42.8	玉堂記念木曾川図書館
13	竹溪浅春※	昭和 2 (1927) 年	絹本彩色・軸装	134.5×41.8	個人 (玉堂記念木曾川図書館寄託)
14	紅花春禽	昭和 4 (1929) 年頃	紙本彩色・軸装	47.2×73.3	玉堂美術館
15	漁村晩照	昭和 10 (1935) 年頃	絹本彩色・額装	43.5×51.0	パラミタミュージアム
16	長閑※	昭和 12 (1937) 年	絹本彩色・軸装	58.6×71.5	大松美術館
17	鶺鴒	昭和 13 (1938) 年	絹本彩色・軸装	77.5×102.2	大松美術館
18	清蔭釣客	昭和 14 (1939) 年頃	紙本彩色・軸装	40.8×56.5	玉堂美術館
19	溪山錦秋	昭和 15 (1940) 年頃	絹本彩色・額装	70.8×87.5	大松美術館
20	田植	昭和 15 (1940) 年頃	絹本彩色・軸装	68.8×87.1	大松美術館
21	長閑	昭和 15 (1940) 年頃	絹本彩色・軸装	45.5×57.4	玉堂記念木曾川図書館
22	湖畔薰風	昭和 16 (1941) 年	絹本彩色・軸装	44.0×51.2	個人
23	秋江帰漁※	昭和 17 (1942) 年	紙本彩色・軸装	132.2×30.5	玉堂美術館
24	五月晴	昭和 18 (1943) 年	絹本彩色・額装	44.2×51.8	玉堂記念木曾川図書館
25	鶺鴒	昭和 19 (1944) 年頃	紙本彩色・額装	48.5×65.0	パラミタミュージアム
26	春湖水禽	昭和 20 (1945) 年頃	絹本彩色・額装	54.5×71.5	パラミタミュージアム
27	雪国	昭和 20 (1945) 年頃	絹本彩色・額装	41.2×57.0	パラミタミュージアム
28	夏川※	昭和 20 (1945) 年	紙本彩色・軸装	127.5×31.3	玉堂美術館
29	蓬萊群鶴	昭和 22 (1947) 年頃	紙本彩色・軸装	41.8×59.4	大松美術館
30	山家の春	昭和 23 (1948) 年頃	絹本彩色・額装	43.0×57.5	パラミタミュージアム
31	穏波朝陽※	昭和 23 (1948) 年頃	紙本彩色・軸装	31.0×41.5	個人
32	長閑※	昭和 24 (1949) 年	絹本彩色・軸装	45.4×56.7	大松美術館
33	竹村渡舟	昭和 24 (1949) 年頃	紙本彩色・軸装	42.2×57.3	大松美術館

No.	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)	所蔵
34	初音	昭和 26 (1951) 年頃	紙本彩色・軸装	26.5×23.5	個人
35	麦刈る水車場	昭和 26 (1951) 年頃	紙本彩色・額装	40.5×58.0	パラミタミュージアム
36	秋山帰樵	昭和 27 (1952) 年頃	絹本彩色・額装	56.5×71.0	パラミタミュージアム
37	溪畔浅春	昭和 28 (1953) 年頃	絹本彩色・額装	53.4×71.4	大松美術館
38	「みたけ柚唄」画賛	昭和 28 (1953) 年	紙本彩色・軸装	41.0×54.0	玉堂美術館
39	時雨	昭和 28 (1953) 年頃	絹本彩色・額装	43.0×57.0	パラミタミュージアム
40	高原早春	昭和 28 (1953) 年頃	紙本彩色・額装	61.5×77.0	青梅市立美術館
41	漁村雪後	昭和 29 (1954) 年	紙本彩色・額装	43.2×53.3	大松美術館
42	鮎釣	昭和 30 (1955) 年	紙本彩色・額装	49.1×61.0	個人 (玉堂記念木曾川 図書館寄託)
43	松籟濤聲	昭和 30 (1955) 年	紙本彩色・軸装	48.0×59.8	大松美術館
44	泉	昭和 30 (1955) 年頃	紙本淡彩・軸装	33.8×44.7	玉堂記念木曾川図書館
45	写生帖※	昭和 30 (1955) 年頃	紙本鉛筆淡彩・冊子	14.2×18.7	玉堂記念木曾川図書館
46	自画像※	昭和 28 (1953) 年	紙本墨画・軸装	22.1×27.5	個人 (玉堂記念木曾川 図書館寄託)
47	八剣神社 (揮毫) ※	昭和 28 (1953) 年頃	紙本墨書・額装	50.0×29.0	八剣神社 (玉堂記念木 曾川図書館寄託)
48	書簡二月二十六日 (八剣神社揮毫) ※	昭和 28 (1953) 年	紙本墨書・卷子装	19.0×81.0	八剣神社 (玉堂記念木 曾川図書館寄託)
49	書簡六月十一日 (水墨山水) ※	昭和 28 (1953) 年	紙本墨書・卷子装	19.0×110.0	八剣神社 (立玉堂記念 木曾川図書館寄託)
50	児玉希望作「日本 三景 天橋立」※	昭和 10 (1935) 年頃	絹本彩色・軸装	52.2×57.3	個人
51	児玉希望作「日本 三景 巖島」※	昭和 10 (1935) 年頃	絹本彩色・軸装	53.0×58.0	個人
52	児玉希望作「日本 三景 松嶋」※	昭和 10 (1935) 年頃	絹本彩色・軸装	52.0×57.5	個人

※一宮市立玉堂記念木曾川図書館にて展示

企画展「2017 一宮市現代作家美術秀選展」

会期 平成 29 年 12 月 2 日（土）～12 月 17 日（日）

主催 一宮市博物館

監修 一宮美術作家協会、一宮写真協会、一宮書道協会

会場 特別展示室、講座室、ラウンジ、1 階ギャラリー、小展示室

印刷物 ポスター（B2） 700 枚

リーフレット（A4） 10,000 枚

観覧券 4,400 枚

観覧料 常設観覧料

開館日数 14 日間

入館者数 1,469 人(104.9 人/1 日)



第 75 回一宮市美術展、2017 一宮総合美術展等の成果を受けて、一宮市美術展依頼出品者・市長賞受賞者、一宮美術作家協会・一宮書道協会・一宮写真協会推薦者の作品を展示した。ポスター掲載作品は江村亨《追憶 4》。

掲載

「広報いちのみや」12 月号

出品者

日本画 4名

大島奈知子
河村 明美
名倉 勝三
松岡 彩子

洋画 19名

伊藤 眞己
井上 雅夫
岩田 哲夫
江村 亨
大島 辰子
大島 信人
大塚 将司
梶浦 寿布
櫻井 幹郎
左合 英明
すぎもと和
関野 敦
滝野 弘次
寺西 洋二
堀尾 一郎
増田 和臣
三輪 修
三輪 清弘
若月 陽子

彫刻・立体 4名

川原 孝文
櫻井 真理
長谷川厚一郎
真下 賢一

工芸 5名

石田 元子
澤田 進治
鈴木 良子
林 節子
松岡 孝司

デザイン 3名

鶴飼のはら
岡崎 美穂
百々 佳美

書 24名

安藤 蘇道
伊藤 暁嶺
伊藤 玄圃
岩田 澗流
加藤 松翠
亀山 雪峰
川浦 碧涛
木戸 竹葉

小島 瑞月

近藤 芳玉

武山 翠屋

田代 春苑

富田 栄楽

中村 曾南

則武 穹

林 如華

林 大樹

村上 史麗

村田 光終

森 隆城

山田 杏華

吉田 桃香

鷺野 紫篁

渡辺 月潭

写真 9名

青木 尚子

安藤 治仁

伊藤 繁雄

桜井 悦子

中村 薫

橋本 秀子

林 三平

夫馬 勲

武鹿 千代

第75回一宮市美術展 市長賞受賞作品

日本画

原田 功

洋画

中山 昌明

加藤 栄子

倉地 彩子

彫刻・立体

ヒサオ・カメヤマ

工芸

川瀬 正二

デザイン

荻 珠里

書

岸田 松峰

渡邊 水香

井上 嘉蓮

写真

大西 正信

企画展「くらしの道具 ～昔の遊び・今の遊び～」
 会期 平成30年1月13日（土）～3月11日（日）
 主催 一宮市博物館
 会場 特別展示室、講座室、ラウンジ、1階ギャラリー、小展示室
 印刷物 ポスター（B2） 600枚
 リーフレット（A4） 50,000枚
 展示解説書（B5、36頁） 6,000枚
 観覧券 2,000枚
 観覧料 常設観覧料
 開館日数 50日間
 入館者数 7,136名（142.7名/1日）



社会科単元「古い道具と昔のくらし」において、博物館を見学する小学校3年生を対象に、民具を通して昔の暮らしを紹介する展覧会であり、平成3年度からの継続事業である。平成29年度は、昔の生活道具に加え、大人にはなつかしく、子どもには新しい、昭和のおもちゃを展示した。歴史を学び始める子どもたちのために、クイズや体験を織り交ぜながら、身近な道具を通じて、昔のくらしをわかりやすく紹介した。

本年度から見学欠席者補講日（2月3日〔土〕、3月4日〔日〕両日とも午前）を新設し、団体見学日に欠席した小学3年生に対して体験等を行った。また、補講日に来ることが不可能でも、配付された案内を受付で提示すれば無料入館ができるようにした。のべ55名、欠席者の約38%が来館した。会期中には、稲沢市の小学校の見学があった。

展示構成

- ① くらしの道具を調べよう
- ② クイズのこみち 昔の遊び・今の遊び

関連催事

「日本のたこをつくろう！」

日時 1月14日(日) 午後2時30分～午後3時30分

講師 澤木寛さん(日本風の会尾張一宮支部会長)

対象 小学3年生～中学生(保護者同伴)

会場 講座室

参加者 25人

「ワラ刀をつくろう！」

日時 ①1月28日(日) ②2月17日(土)

両日ともに午前10時～10時30分と午後3時～3時30分

会場 講座室

対象 小中学生

参加者 ①②合計79人

「坊主めぐり大会～百人一首で遊ぼう！～」

日時 2月12日(月・振) ①午前10時～10時30分、②午前11時～11時30分、
③午後2時～2時30分、④午後3時～3時30分

会場 和室

参加者 ①～④合計82名

「昔の遊びをやってみよう！」

日時 ①1月13日(土)、②1月20日(土)、③2月17日(土)、④3月11日(日)
各日午後1時～4時

会場 和室、ラウンジ、中庭など

対象 小中学生優先

参加者 ①～④合計176人

掲載

「広報いちのみや」1月号

東海テレビ「スイッチ！」1月11日(水)・12日(木)

ケーブルテレビICC「I LOVE いちのみや」1月29日(月)～2月2日(金)

FM いちのみや「ミュージアムスクエア」1月3日(水)、2月7日(水)

FM いちのみや「市制情報 知っとク！いちのみや」1月5日(金)、12日(金)(再放送)

中日新聞

毎日新聞

「美術の窓」2月号

中日ホームサービス、くれよん、咲楽等地域ミニコミ紙

出品目録

1	はいちょう	40	酒徳利	79	くけ台
2	きりだめ	41	弁当箱	80	あんか
3	薬箱	42	甕	81	猫火鉢
4	柱時計	43	氷冷蔵庫	82	湯たんぼ
5	箒	44	手桶	83	石油ランプ
6	蠅叩き	45	石臼	84	がندوق (木製桶型)
7	おひつ	46	臼台	85	がندوق (金属製)
8	しゃもじ	47	たわし	86	仕事着
9	米櫃	48	まな板	87	長着
10	時刻表	49	水漉甕 (はんどかめ)	88	張台
11	岡持ち	50	柄杓	89	灰とこぬか
12	唐傘	51	井戸	90	すり鉢
13	行李	52	棹釣瓶	91	こね鉢
14	一斗枡	53	はんぞ		
15	斗かき	54	洗濯板		すべて一宮市博物館蔵
16	飯籠	55	盥 (たらい)		
17	火鉢	56	しんどかご (3点)		
18	炭取箱	57	鳥籠		
19	火箸	58	風呂桶		
20	卓袱台	59	風呂籠		
21	箱膳	60	横槌		
22	茶碗	61	伸子針		
23	汁碗	62	張板		
24	箸	63	釜		
25	箸立て	64	菜箸		
26	のし板	65	鍋		
27	のし棒	66	鍋つかみ		
28	いずみ	67	荒神箒		
29	わらぞうり	68	火搔き棒		
30	下駄	69	十能		
31	高下駄	70	炭俵		
32	せいろ	71	七輪		
33	寿司箱	72	早鍋		
34	汁桶	73	火消し壺		
35	いかき	74	火ふき竹		
36	ざる	75	せんば		
37	鯉節削り	76	電気釜		
38	ごま炒り	77	火箸		
39	豆炒り	78	鍋つかみ		

平成 30 年度

企画展「幸せをよぶ花鳥画展」

会期 平成 30 年 6 月 2 日（土）～7 月 8 日（日）
主催 一宮市博物館
会場 特別展示室、講座室、ラウンジ、1 階ギャラリー
印刷物 リーフレット（A4）20,000 枚
観覧料 常設観覧料
開館日数 32 日間
入館者数 1,880 名（58.7 名/1 日）



一宮市博物館に所蔵あるいは寄託されている絵画には、江戸時代の繊細な表現による花の作品や、鳥や猿などの動物を精緻に描いたものが多数ある。東洋の絵画では、植物や様々な生き物をテーマとした作品は、「花鳥画」と総称されている。日本の花鳥画は、室町時代から江戸時代にかけて中国美術の影響を強く受けながら発展し、子孫繁栄や五穀豊穡、長寿、立身出世などの願いが込められているものが多くある。そして、それらの図像的な伝統は近現代の日本画にも受け継がれている。

本展覧会では、一宮市博物館に所蔵・寄託されている作品の中から、花鳥画とともに、縁起のよい動植物の文様や図柄があしらわれた工芸品なども併せて展示し、当時の人々が、幸せへの思いを植物や動物に託して描いた絵画や華麗な装飾の工芸品の数々を紹介した。また、会場に撮影スポットを設け、SNS 投稿を促した。

会期中には、関連画集の委託販売を行うとともに（8 冊販売）、喫茶コーナーにて展覧会期間限定スイーツ「小豆の浮島ようかん&抹茶セット」を販売した（80 セット販売）。

関連催事

学芸員による展示解説

6 月 16 日（土）参加者：16 人
6 月 24 日（日）参加者：15 人

ワークショップ「UV レジンでつくる花鳥画の小物入れ」

6 月 2 日（土）参加者：9 人
7 月 6 日（金）参加者：11 名

ワークショップ「UV レジンでつくるキーチャーム」

6 月 24 日（日）参加者：12 名

「花鳥画でぬりえ」コーナー会期中随時

掲載

「広報いちのみや」6月号
中部経済新聞 5月22日（火）
中日新聞尾張版 6月19日（火）
毎日新聞 6月20日（水）

出品目録

No.	作者名・資料名	制作年・サイズほか（平面資料のサイズは縦×横）
1	変形蓮華文軒丸瓦	平安時代 中島廃寺（萩原町中島）出土
2	劃花文碗	青磁 中国龍泉窯産 13世紀後半（南宋～元） 高 6.0×口径 14.5×底径 4.5cm
3	画花文壺片	中世 陶器 斎宮寺（大和町苅安賀）出土 約 7cm 四方
4	菊皿	中世 施釉陶器 10.6×9.7×高 3.5cm
5	鳥形水滴	中世 施釉陶器 高 2.8×長 5.0×奥行 4.6×底径 2.7cm
6	印花鉄釉水滴	瀬戸 中世 萩原町中島戌亥西切出土 高 3.6×径 1.8cm
7	色絵双魚文八角小鉢	高 4.5×口径 13.0～14.0×底径 5.8cm
8	染付海老文輪花小皿	高 2.5×口径 8.5×底径 3.3cm
9	染付海老文蓋付碗	高 6.3×口径 10.5×底径 5.0cm
10	染付牡丹文皿	中国（清） 高 2.5×口径 15.0×高台径 8.5cm
11	牡丹蝶文蓋茶碗	高 8.3×口径 12.0×底形 6.0cm
12	色絵双蝶草花文鉢	伊万里 江戸中期 高 9.7×口径 25.0×底径 9.7cm
13	色絵花蝶文蓋茶碗	伊万里 江戸後期 高 6.5×口径 12.5×高台径 4.5cm
14	色絵果実文鉢	伊万里 高 7.5×口径 22.5×底径 10.4cm
15	染付柘榴牡丹椿文大鉢	伊万里 江戸中期 高 14.0×口径 30.8×底径 12.0cm
16	染付栗文輪花皿	伊万里 江戸中期 高 2.8×口径 18.0×底径 11.0cm
17	色絵梅鶴文三ツ揃鉢	伊万里 江戸後期 大：口径 24.3×底径 14.1×高 10.1cm、中：口径 22.7×底径 13.2×高 8.7cm、小：口径 19.0×底径 12.8×高 7.7cm
18	色絵松竹梅人物文大鉢	九谷 江戸後期 高 14.0×口径 31.5×底径 18.0cm
19	色絵目出度尽文輪花皿	伊万里 明治時代 高 4.0×口径 22.0×底径 13.3cm
20	色絵目出度尽文蓋茶碗	伊万里 明治時代 高 6.5×口径 11.0×底径 4.5cm
21	色絵菊文菊花形鉢	伊万里 江戸時代 高 7.5×口径 22.5×底径 12.0cm
22	色絵菊梅文蓋鉢	高 12.0×口径 19.0×底径 8.5cm
23	染付草花文大鉢	伊万里 江戸後期 高 14.0×口径 44.0×底径 20.0cm
24	染付椿草木唐草文鉢	伊万里 江戸中期 高 8.8×口径 21.5×底径 9.8cm
25	萬古焼茶碗	幕末～明治 高 8.5×口径 15.0×高台径 5.8cm
26	松に鳥文茶碗	九谷 口径 6.0×高台径 3.5×高 4.4cm
27	花鳥文菱形皿	九谷 11.3×16.9×高 3.0cm
28	緋呉呂地瓢箪模様御守袋	江戸末期～明治（19世紀） 9.4×11.5×2.0cm
29	緋羅紗地蝶牡丹模様紙入	江戸末期～明治（19世紀） 8.0×15.2cm
30	白呉呂地藤花模様刺繍紙入	江戸末期～明治（19世紀） 13.0×21.5cm
31	薄茶呉呂地花模様紙入	大名家伝来 江戸末期～明治（19世紀） 14.8×22.0cm
32	緋羅紗地竹雀模様刺繍筥迫	江戸末期～明治（19世紀） 9.0×16.5cm（箱部分）
33	萌黄羅紗地牡丹模様刺繍筥迫	江戸末期～明治（19世紀） 8.0×16.5cm（箱部分）
34	猩々緋羅紗地花丸模様鉦	江戸末期（19世紀） 半身 82.5×80.0cm
35	雪洞「蓮鷺図」	室町時代（15世紀） 紙本墨画 二幅対 各 75.8×36.5cm 妙興寺蔵・一宮市博物館寄託

No.	作者名・資料名	制作年・サイズほか（平面資料のサイズは縦×横）
36	伝相阿弥「五位鷲図」	室町後期 紙本墨画着色 82.6×38.4cm 妙興寺蔵・一宮市博物館寄託
37	狩野安信「菘兔図」	江戸前期 絹本着色 36.3×66.8cm
38	森狙仙「藤三猿之図」	江戸後期 絹本着色 111.8×78.5cm
39	喜田華堂「蔓花狗児図」	江戸後期～明治初期 絹本淡彩 90.5×26.9cm
40	喜田華堂「富貴祝寿之図」	1877（明治10）年 絹本着色 149.5×71.3cm
41	喜田華堂「八珍果之図」	1870（明治3）年 紙本着色 173.0×97.3cm
42	山本梅逸「波に浮かぶ桜花と岩」	1851（嘉永4）年 絹本着色 27.5×39.5cm 「四季花鳥図」十五幅対のうち
43	山本梅逸「牡丹に紫露草」	1851（嘉永4）年 絹本着色 27.5×39.5cm 「四季花鳥図」十五幅対のうち
44	山本梅逸「朝顔と花瓶」	1851（嘉永4）年 絹本着色 27.5×39.5cm 「四季花鳥図」十五幅対のうち
45	山本梅逸「笹に蛤」	1851（嘉永4）年 絹本着色 27.5×39.5cm 「四季花鳥図」十五幅対のうち
46	山本梅逸「蓮の花」	1851（嘉永4）年 絹本着色 27.5×39.5cm 「四季花鳥図」十五幅対のうち
47	山本梅逸「川魚と蓮実」	1851（嘉永4）年 絹本着色 27.5×39.5cm 「四季花鳥図」十五幅対のうち
48	山本梅逸「桃の実」	1851（嘉永4）年 絹本着色 27.5×39.5cm 「四季花鳥図」十五幅対のうち
49	山本梅逸「葡萄とカマキリ」	1851（嘉永4）年 絹本着色 27.5×39.5cm 「四季花鳥図」十五幅対のうち
50	浅井星洲「春秋花鳥図」	江戸後期 紙本着色 六曲一双屏風 各 157.5×351.2cm
51	浅井星洲「枇杷に二匹猿之図」	江戸後期 絹本着色 96.5×36.5cm
52	吉田稼雲「梅水仙花図（歳寒三友）」	江戸後期～明治初期 紙本墨画 139.7×62.1cm
53	秦金石「芝仙祝寿図」	1919（大正8）年 絹本着色 132.2×41.2cm
54	森半逸「華果競香之図」	1936（昭和11）年 紙本着色 140.0×49.5cm 若栗神社八幡宮蔵・一宮市博物館寄託
55	勾田台嶺（絵） 亀田鵬斎（賛） 「芙蓉双鴛図」	江戸後期 絹本着色 97.5×33.3cm
56	竹原嘲風「春光（木瓜と小鳥）」	昭和前期 紙本着色 133.0×32.4cm
57	今井景樹「杜若に蜻蛉の図」	絹本着色 27.0×24.8cm 「花鳥図」三幅対のうち
58	今井景樹「罌粟（芥子）に蛇の図」	絹本着色 27.0×24.8cm 「花鳥図」三幅対のうち
59	今井景樹「紅葉に小鳥の図」	絹本着色 27.0×24.8cm 「花鳥図」三幅対のうち
60	花鳥文花瓶	犬山焼 大正～昭和 高 16.0×口径 9.5×底径 10.8cm
61	緋羅紗地竹鷄模様刺繍袱紗	大倉家旧蔵 江戸末期～明治（19世紀） 77.8×69.7cm
62	金島桂華「四季草花図」	大正頃 絹本金地着色 六曲一双屏風 各 168.0×372.0cm

企画展「2018 一宮美術作家協会展」

会期 平成 30 年 9 月 1 日（土）～9 月 16 日（日）

主催 一宮市博物館、一宮美術作家協会

会場 特別展示室、講座室、ラウンジ、1 階ギャラリー、小展示室、2 階ギャラリー

印刷物 リーフレット（A4） 5,000 枚
※一宮写真協会選抜写真展と共通

観覧料 常設観覧料

開館日数 14 日間

入館者数 1,182 人（84.4 人/1 日）

一宮美術作家協会会員 69 名の作品を展示した。また、2 階ギャラリーにて小品展を開催し、出品者のうち 19 名の作品を展示した。

掲載

「広報いちのみや」9 月号



出品者

日本画 8名

大島奈知子
加島 昌子
河村 明美
嶋 千世子
高橋 弘子※
丹羽 桃慶※
波多野友香
松岡 彩子※

洋画 46名

浅村 理江
伊藤 眞已
井上 悟
井上 雅夫
岩田 哲夫
江村 亨
大石 晴美
大島 辰子
大島 信人
大塚 将司
小倉 照江
小倉 義夫
梶浦 寿布
加藤 伸
鬼頭 厚生
木村 隆行
木村 満幸
倉地 彩子
久保田正信

小出きよ子
後藤 一三
櫻井 幹郎 (出品辞退)
左合 英明
佐藤 典子
佐野佳久子 (出品辞退)
佐野 義博
すぎもと和
関野 敦
滝野 弘次※
寺西 洋二※
富田 信子※
野原 三義※
野原 緑※
橋本 進※
平林 幸子※
平松 幸雄
堀尾 一郎※
前野 恒※
増田 和臣※
松本 幹永 (出品辞退)
三輪 修
三輪 清弘
山崎 澄
山下 久子
山田 孝
山田 光代
吉川 忠史
よしだまさこ
若月 陽子

彫塑・立体 3名

川原 孝文
長谷川厚一郎
真下 賢一※

工芸 8名

石田 元子
鵜飼 辰郎
澤田 進治
下田 心一
土屋 保徳※
林 節子※
夫馬 信行※
松岡 孝司※

デザイン 4名

市川 章三
鵜飼のはら
岡崎 美穂
百々 佳美※
森 昭夫 (出品辞退)

※小品展出品者

企画展 「一宮写真協会選抜写真展」

会期 平成30年9月20(木)～9月30日(日)

主催 一宮市博物館、一宮写真協会

会場 特別展示室、講座室、ラウンジ

印刷物 リーフレット(A4) 5,000枚 ※一宮美術作家協会展と共通

観覧料 常設観覧料

開館日数 10日間

入館者数 826人(82.6人/1日)

一宮写真協会会員のうち34名の作品を展示した。副題は「34人のまなざし」。

掲載

「広報いちのみや」9月号

出品者

青木 尚子	千田 陞末
安藤 治仁	田中 誠
安藤 雅彦	田中 正好
伊藤 繁雄	所 由紀子
今井 要	中村 薫
今井 彰二	成瀬 憲司
大久保明美	橋本 秀子
大矢 勝利	長谷川 蔦江
大矢真理子	林 三平
岡田 忠夫	林 孝弘
尾関 君代	林 都美子
笠野 俊彦	夫馬 勲
加藤 伸治	古舘 正芳
加藤 紀子	牧野 千恵子
木村 晴子	武鹿 千代
小島 高子	森脇 学
櫻井 悦子	山内 敏且

(50音順)

企画展「2018 一宮市現代作家美術秀選展」

会期 平成30年12月1日(土)～16日(日)
主催 一宮市博物館
監修 一宮美術作家協会、一宮写真協会、一宮書道協会
会場 特別展示室、講座室、ラウンジ、1階ギャラリー、小展示室
印刷物 ポスター(B2) 700枚
リーフレット(A4) 10,000枚
観覧券 4,400枚
観覧料 常設観覧料
開館日数 14日間
入館者数 1,650人(117.8人/1日)



第76回一宮市美術展、2018一宮総合美術展等の成果を受けて、一宮市美術展依頼出品者・市長賞受賞者、一宮美術作家協会・一宮書道協会・一宮写真協会推薦者の作品を展示した。ポスター掲載作品は、若月陽子《the edge of the pond》。

掲載

「広報いちのみや」12月号

出品者

日本画 5名

大島奈知子
河村 明美
嶋 千世子
名倉 勝三
松岡 彩子

洋画 20名

井上 雅夫
岩田 哲夫
江村 亨
大島 辰子
大島 信人
大塚 将司
小倉 義夫
梶浦 寿布
木村 満幸
左合 英明
佐野佳久子
すぎもと和
関野 敦
寺西 洋二
野原 三義
堀尾 一郎
増田 和臣
三輪 修
三輪 清弘
若月 陽子

彫刻・立体 5名

川原 孝文
櫻井 真理
長谷川厚一郎
真下 賢一
松本 崇宏

工芸 5名

石田 元子
澤田 進治
鈴木 良子
林 節子
松岡 孝司

デザイン 3名

鵜飼のはら
岡崎 美穂
百々 佳美

書 24名

安藤 蘇道
伊藤 暁嶺
伊藤 玄圃
岩田 潤流
加藤 松翠
亀山 雪峰
川浦 碧濤
木戸 竹葉

小島 瑞月
近藤 芳玉
武山 翠屋
田代 春苑
富田 栄楽
中村 曾南
則武 穹
林 如華
林 大樹
村上 史麗
村田 光柊
森 隆城
山田 杏華
吉田 桃花
鷺野 紫篁
渡辺 月潭

写真 9名
青木 尚子
安藤 治仁
伊藤 繁雄
桜井 悦子
中村 薫
橋本 秀子
林 三平
夫馬 勲
武鹿 千代

第76回一宮市美術展 市長賞受賞作品

日本画

橋本 薫奈

洋画

山本 忠弘
鈴木 孝治
浅野なつ子

彫刻・立体

樋口 勝彦

工芸

櫛田いずみ

デザイン

田中 雄大

書

脇田 玉波
岩田 展穂
山田 清翠

写真

奥村 佳代

企画展 「くらしの道具 ～昔の遊び・今の遊び～」
 会期 平成 31 年 1 月 12 日（土）～3 月 10 日（日）
 主催 一宮市博物館
 会場 特別展示室、講座室、ラウンジ、1 階ギャラリー、小展示室
 印刷物 ポスター（B2） 550 枚
 リーフレット（A4） 50,000 枚
 展示解説書（B5、36 頁） 6,000 枚
 観覧券 2,000 枚
 観覧料 常設観覧料
 開館日数 50 日間
 入館者数 6,121 名（122.4 名/1 日）



社会科単元「古い道具と昔のくらし」において、博物館を見学する小学校 3 年生を対象に、民具を通して昔の暮らしを紹介する展覧会であり、平成 3 年度からの継続事業である。平成 30 年度は、昔の生活道具に加え、ことわざや慣用句などに登場する道具を展示した。歴史を学び始める子どもたちのために、クイズや体験を織り交ぜながら、身近な道具を通じて、昔のくらしをわかりやすく紹介した。

本年度も欠席者補講日（2 月 16 日〔土〕、3 月 10 日〔日〕）を設け、32 名の来館があった。

展示構成

- ① くらしの道具を調べよう
- ② クイズのこみち ことばになったモノたち

関連催事

「たこづくり教室」

日時 1 月 13 日（日）午後 1 時～午後 3 時
 講師 澤木寛さん（日本の凧の会尾張一宮支部会長）
 対象 園児～小学 6 年生（小学 3 年生以下は保護者同伴）
 会場 講座室
 参加者 28 名

「みんなでつくろう、ワラ刀」

日時 3 月 2 日（土）
 ①午前 10 時～10 時 30 分 ②午後 1 時～1 時 30 分 ③午後 3 時～3 時 30 分
 会場 講座室
 対象 小中学生
 参加者 ①～③合計 23 名

「昔の道具の移り変わりを調べよう」

日時 2月10日(日) ①午前10時～10時30分、②午後2時～2時30分

会場 講座室ほか

対象 小学生

参加者 ①②合計32名

「昔の遊びで遊んでみよう」

日時 ①1月20日(日) ②2月3日(日) ③2月24日(日)

各日とも午後1時～4時

会場 和室、講座室など

対象 全年齢

参加者 ①～③合計113名

「16mm フィルム上映会」

日時 1月26日(土)、2月3日(日)、2月9日(土)

各日とも①午前10時～11時、②午後2時～3時

会場 講座室

対象 全年齢

参加者 合計128名

掲載

「広報いちのみや」10月号 昔の遊びを教えてくれるボランティア募集

「広報いちのみや」12月号 たこづくり教室参加者募集

「広報いちのみや」1月号 企画展「くらしの道具」

美術の窓1月号

FMいちのみや「ミュージアムスクエア」

FMいちのみや 市政情報番組「知っトク!いちのみや」1月10日

ケーブルテレビICC「I LOVE いちのみや」1月28日～2月3日

朝日新聞 「情報クリップ」地域総合26面 1月12日(土)

中日新聞尾張版 1月30日(水)

出品目録

- | | | |
|-----------------|---------------|----------------|
| 1. 長着 | 41. 十能 | 81. たわし |
| 2. 柳行李 | 42. 火消し壺 | 82. まな板 |
| 3. 卓袱台 | 43. 炭取籠 | 83. 井戸 |
| 4. 大皿 | 44. 火箸 | 84. 釣瓶桶 |
| 5. 小皿 | 45. 火吹竹 | 85. こしがめ |
| 6. 茶碗 | 46. 炭俵 | 86. はんぞ |
| 7. 汁椀 | 47. 七輪 | 87. 盥 |
| 8. 箸 | 48. 早鍋 | 88. 洗濯板 |
| 9. 箸立 | 49. 時刻表 | 89. 鳥籠 |
| 10. 座布団 | 50. 甕 | 90. 餌いれ |
| 11. おひつ | 51. すり鉢 | 91. シンド籠 |
| 12. いずみ | 52. すりこぎ | 92. 電気釜 |
| 13. しゃもじ | 53. こね鉢 | 93. きりだめ |
| 14. 箱膳 | 54. 鉢 | 94. 長台 |
| 15. 蠅帳 | 55. ざる | 95. めしかご |
| 16. 水屋箆笥 | 56. かご | 96. のし板 |
| 17. 土人形（恵比寿・大黒） | 57. 鯉節削り | 97. のし棒 |
| 18. 菓箱 | 58. 汁桶 | 98. すし箱 |
| 19. 箒 | 59. せいろ | 99. ふろしき |
| 20. 蠅叩 | 60. 通徳利 | 100. 半巾帯 |
| 21. 柱時計 | 61. 岡持 | 101. 凧 |
| 22. 火鉢 | 62. 弁当箱 | 102. 鎌 |
| 23. 大やかん | 63. 豆炒り | 103. 重箱 |
| 24. 炭取箱 | 64. ごま炒り | 104. 灯台 |
| 25. 米櫃 | 65. 柄杓 | 105. 腹掛け |
| 26. 斗桶 | 66. いかき | 106. 提灯 |
| 27. 斗搔 | 67. 唐傘 | 107. 篩 |
| 28. 枡（2リットル） | 68. 石臼 | 108. 碁盤 |
| 29. 枡（1合） | 69. 臼台 | 109. 碁石 |
| 30. 枡（1合） | 70. 氷冷蔵庫 | 110. 薬匙 |
| 31. 下駄 | 71. 水甕 | 111. 石油ランプ |
| 32. 高下駄 | 72. 手桶 | 112. がんどう（木製） |
| 33. わらぞうり | 73. 風呂桶 | 113. がんどう（金属製） |
| 34. 釜 | 74. 風呂籠 | 114. あんか |
| 35. 焙烙 | 75. 横槌 | 115. 猫火鉢 |
| 36. 菜箸 | 76. 伸子針 | 116. 湯たんぽ |
| 37. 鍋 | 77. 洗濯ばさみ（木製） | 117. 階段箆笥 |
| 38. 鍋つかみ | 78. 張板 | 118. 扇風機 |
| 39. 荒神箆 | 79. おしめ | 119. 旅行鞆 |
| 40. 火搔棒 | 80. 流し | |

すべて一宮市博物館蔵

特集展示

平成 29 年度

「山喜多二郎太 中国／朝鮮にて」

平成 29 年 4 月 2 日（日）～9 月 5 日（火）

「墨コレクションにみる”動物の意匠”」

平成 29 年 9 月 7 日（木）～12 月 22 日（金）

「いちのみやのおまつり」

平成 29 年 12 月 23 日（祝）～平成 30 年 3 月 16 日（金）

平成 30 年度

「妙興寺の名宝 十六羅漢図」

前期 平成 30 年 3 月 27 日（火）～4 月 30 日（月・振休）

後期 平成 30 年 5 月 2 日（水）～6 月 3 日（日）

「墨コレクション 近代の洋装」

平成 30 年 6 月 5 日（火）～8 月 12 日（日）

※9 月 30 日（日）までの予定であったが、空調機器不調のため、8 月 12 日（日）で終了した。

「尾張の洋画 佐分眞」

平成 30 年 12 月 1 日（土）～平成 31 年 1 月 27 日（日）

「墨コレクション 陣羽織」

平成 31 年 1 月 29 日（火）～4 月 7 日（日）

(2) 一宮市木曾川資料館

展覧会・催し物

平成 29 年度

4月	変わり種レコード盤
5月	愛唱歌レコード盤
6月	童謡と拓本
7月	※展示準備
8月	舟木一夫ポスター・グッズ類
9月	舟木一夫ポスター類
10月	剪纸・折紙～11月13日
11月	15日～童謡レコード盤
12月	童謡歌手
1月	小嶋くるみ・鷺津名都江 2人で1人
2月	小嶋くるみ・鷺津名都江 2人で1人 ※17日に鷺津名都江氏来館
3月	紙とバルサ飛行機

平成 30 年度

4月	紙飛行機
5月	手作り将棋の駒
6月	手作り将棋の駒
7月	拓本
8月	拓本
9月	鉄道模型
10月	山内一豊絵物語
11月	手鞠
12月	手鞠
1月	昔の暖房具
2月	凧
3月	※清掃および展示準備

出張講座

平成 29 年度

	蓄音機コンサート	小学校 田植・稲刈体験
4月	1回・55人	
5月		
6月	3回・49人	2回・141人
7月		
8月	1回・201人	
9月	4回・249人	1回・123人
10月	5回・346人	1回・91人
11月	2回・151人	
12月	2回・144人	
1月	1回・20人	
2月	1回・25人	
3月	2回・43人	
合計	22回・1,283人	4回・355人

平成 30 年度

	蓄音機コンサート	小学校 田植・稲刈体験
4月	4回・206人	
5月	2回・65人	
6月	2回・63人	2回・283人
7月	2回・119人	
8月	2回・49人	
9月	3回・112人	
10月	4回・219人	1回・113人
11月	2回・93人	1回・150人
12月		1回・150人
1月	1回・20人	
2月		
3月	2回・87人	
合計	24回・1,033人	5回・696人

3 教育普及

(1) 古文書講座

ひろく郷土一宮の歴史に対する理解を広める一環として、平成4年度から古文書講座を開講している。本講座では一宮市博物館に保管されている市内の近世文書をテキストに使用し、古文書の解読力を養うとともに、江戸時代の民衆生活に関する研究の進展に寄与することを目的とする。受講生には、3か年の受講で修了証を授与する。

平成29年度より、1回生に丁寧な指導ができるようにするため、定員を40名から少人数に変更した。

講師 小川 一朗（一宮市文化財保護審議会委員）

会場 一宮市博物館講座室・妙興寺公民館

開講日 毎月原則第2土曜日、5月～2月の全10回

時間 午後2時から午後4時

対象 市内在住・在勤の16歳以上

定員 平成29年度：24人、平成30年度：20人

受講料 テキスト代1,000円

平成29年度

テキスト「荻安賀村船橋家文書」

受講者 1回生7人、2回生8人、3回生7人

日程

第1回 5月13日 博物館講座室 開講式・オリエンテーション

江戸時代終わりころの荻安賀村 『尾張名所図会』を手がかりに調べてみよう

・「村に暮らす人々」 史料「寛政十二年申二月日 宗門下書帳」（花井町組）

第2回 6月10日 博物館講座室 「村に暮らす人々」

・史料「寛政十二年申二月日 宗門下書帳」（花井町組）

・史料 村に住む陰陽師（寺社奉行所→庄屋船橋）

第3回 7月8日 博物館講座室 「村を出る人（養子縁組）」

・史料「（安政六年）未九月 乍恐奉願上候御事」（養子願→北方代官所）

・史料「安政六年未五月 送り一札之事」（宗門村送り→美濃安八郡三津屋村庄屋）

第4回 8月5日 博物館講座室 「庄屋を勤める頭百姓船橋家①」

・史料「（文久三年）亥六月 乍恐奉願上候御事」（家の由緒、倅への家名相続願い→北方代官所）

第5回 9月9日 妙興寺公民館 「庄屋を勤める頭百姓船橋家②」

・史料「（文化三年）寅五月 乍恐奉願上候御事」（庄屋退役願い）

第6回 10月14日 妙興寺公民館 「庄屋を勤める頭百姓船橋家③」

・史料「安政四丁巳年九月」（①年寄役申付状→儀右衛門）

同 （②庄屋退役申付状→儀右衛門）

同 (③庄屋役申付状→亀之助)

・史料「(天明七年) 未十一月」(帯刀御免申付状)

第7回 11月11日 妙興寺公民館 「村(村人)の負担①」

・史料「正保四年丁亥十月廿四日 免状」(代官熊沢与右衛門→庄屋・百姓中)

・史料「宝暦七年丑十一月 丑免状」(郡奉公菌 利左衛門→庄屋・組頭・小百姓中)

第8回 12月9日 妙興寺公民館 第7回のつづき

第9回 1月13日 博物館講座室 「村の負担②」

・史料「寅六月」(村困窮につき嘆願→不同免期限延長申付状)

第10回 2月3日 博物館講座室 「村の負担③」

・史料「文久元年辛酉十月 借用申金子之事」(和宮下向下用→村借金)

・史料「慶応四年辰十月 御願」(萩原宿加助郷につき嘆願)

平成30年度

テーマ「尾張藩の村支配と村・百姓一藩の触と村のきまりを読むー」

テキスト「中島郡築込村加藤家文書」および「中島郡河田方村区有文書」

受講者 1回生8人、2回生6人、3回生6人

日程

第1回 5月12日 博物館講座室 開講式・オリエンテーション「庄屋・村役人の心得 その1-1」

・史料 文化14年9月「毎月之心得」(中島郡築込村加藤家文書)

第2回 6月9日 妙興寺公民館 「庄屋・村役人の心得 その1-2」

・史料「毎月之心得」

第3回 7月7日 妙興寺公民館 「庄屋・村役人の心得 その2-1」

・史料 文化14年9月「年中心得」

第4回 8月4日 博物館講座室 「庄屋・村役人の心得 その2-2」

・史料 「年中心得」

第5回 9月8日 妙興寺公民館 「庄屋・村役人の心得 その2-3」

・史料 「年中心得」

第6回 10月13日 博物館講座室 「村のきまり その1」

・史料 文政12年2月「村定」(中島郡河田方村区有文書)

第7回 11月10日 博物館講座室 「村のきまり その2」

・史料 嘉永7年3月「村定」(河田方村区有文書)

第8回 12月8日 妙興寺公民館 「村のきまり その3」

・史料 万延元年8月「村定証書之事」(河田方村区有文書)

第9回 1月12日 博物館講座室 「村のきまり その4」

・史料 弘化元年「村定留帳」(区有文書)より「条々」「御定年中休日」「村定め休日」

第10回 2月2日 博物館講座室 「村のきまり その5」

・史料 「村定留帳」より、弘化3年6月「定」

(2) 博物館キッズクラブ

市内の小学校4年生～6年生を主な対象として、博物館の豊富な資料やネットワークを活用し、さまざまな体験講座を通して、郷土の歴史について学ぶとともに、自主的な思考力・判断力・表現力を培うことを目的として実施した。この活動により、将来の博物館活動支援が可能となる次世代を継続的に育てることも副次的な目標である。平成18年度からの継続事業。

平成29年度

第1回

内容 企画展「新収蔵品展」を、出品作品にちなんだクロスワードパズルを解きながら見学。

開催日 平成29年6月18日(日)

参加者 4人と保護者4人

第2回

内容 生涯学習バスで岐阜県博物館に行き、館内を終日見学。

開催日 平成29年7月23日(日)

参加者 4人と保護者5人（その他、広報で募集の参加者9人）

第3回

内容 夏季小展示「なんで穴があいてるの？」のワークショップに参加。出土品の用途を推測。

開催日 平成29年8月20日(日)

参加者 2人

第4回

内容 ワークシートを用いながら、特別展「川合玉堂」を見学。

開催日 平成29年10月28日(土)

参加者 4人

第5回

内容 尾西歴史民俗資料館にて開催中の現代美術展を、担当学芸員の案内で見学。

開催日 平成30年1月28日(日)

参加者 2人と保護者2人

平成 30 年度

第 1 回

内容 企画展「幸せをよぶ花鳥画展」を、クロスワードパズルを解きながら見学。

開催日 平成 30 年 6 月 10 日（日）

参加者 15 人と保護者 5 人（その他参加者 9 名）

第 2 回

内容 生涯学習バスで名古屋市のトヨタ産業技術記念館に行き、自動織機や車の製造過程などを見学。

開催日 7 月 22 日（日）

参加者 13 人と保護者 5 人（その他、広報で募集の参加者 11 人）

第 3 回

内容 学芸員といっしょにワークシートを解きながら常設展示室を見学。

開催日 8 月 11 日（土・祝）

参加者 7 人

第 4 回

内容 一宮写真協会の杉山幸夫さんから写真についてのレクチャーを受けた後、妙興寺境内を撮影しながら歩き、撮影した写真の講評会を行った。

開催日 9 月 24 日（月・祝）

参加者 10 人

第 5 回

内容 特集展示「尾張の洋画 佐分眞」をワークシートに記入しながら見学。

開催日 12 月 15 日（土）

参加者 3 人

第 6 回

内容 特集展示「墨コレクション 陣羽織」をワークシートに記入しながら見学。

開催日 2 月 17 日（日）

参加者 4 人

(3) 講演会

平成 29 年度

尾張平野を語る 22 「弥生時代の尾張平野」

一宮市の位置する濃尾平野一特に尾張平野の歴史や文化、自然環境について考えることを目的に、各分野の専門研究者を招いて連続講演会を行うもので、平成 8 年度からの継続事業である。

平成 29 年度は、市域で定住が本格的に始まった弥生時代に焦点をあて、考古学では資料をどのように研究しているのか、その成果から明らかになった当時の社会の姿はどんなものであるのか、資料からわかる考古学の魅力を専門の研究者による講演によって伝えることを目的とした。

印刷物 リーフレット (A4) 20,000 枚 ※夏季小展示と共通



「石器の使用痕分析について」

講師 原田 幹氏 (愛知県教育委員会主査)

開催日 平成 29 年 8 月 6 日 (日)

聴講者 37 人

「円窓付土器と地域間での交流について」

講師 永井 宏幸氏 (愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員)

開催日 平成 29 年 8 月 26 日 (土)

聴講者 48 人

「弥生土器に残された痕跡から推定された製作技法と土器作りの民俗事例について」

講師 黒沢 浩氏 (南山大学教授)

開催日 平成 29 年 8 月 27 日 (日)

聴講者 64 人

平成 30 年度

尾張平野を語る 23 「尾張の宗教」

平成 30 年度は、宗教美術や考古学などの分野から研究者を招き、講演を行った。

印刷物 リーフレット (A4) 20,000 枚

※「博物館で夏祭り！」と共通

「一宮の地獄絵―熊野観心十界図（浄観寺所蔵）を絵解く―」

講師 鷹巣 純氏（愛知教育大学教授）

開催日 平成 30 年 7 月 21 日（土）

聴講者 54 人

「尾張平野の古代寺院と古瓦」

講師 梶原 義実氏（名古屋大学大学院准教授）

開催日 平成 30 年 7 月 29 日（日）

聴講者 43 人

「一宮のほとけたち―地域の仏像に親しむ―」

講師 見田 隆鑑氏（椋山女学園大学准教授）

開催日 平成 30 年 8 月 26 日（日）

聴講者 65 人

掲載

中日新聞尾張版 7 月 21 日（土）

平成30年度博物館講座 尾張平野を語る23

尾張の宗教

一宮市博物館では、これまで様々な分野の専門家をお招きし、尾張地方の文化や自然について、様々な視点からご講演いただいております。23回目を迎える本年度は、「尾張の宗教」をテーマに、宗教美術や考古学などの分野からお話しいたします。

- 7/21 土 **一宮の地獄絵**
―熊野観心十界図（浄観寺所蔵）を絵解く―
講師 鷹巣 純氏（愛知教育大学教授）
- 7/29 日 **尾張平野の古代寺院と古瓦**
講師 梶原 義実氏（名古屋大学大学院准教授）
- 8/26 日 **一宮のほとけたち**
―地域の仏像に親しむ―
講師 見田 隆鑑氏（椋山女学園大学准教授）

時間 午後1時30分～3時（開場：午後1時） 会場 一宮市博物館講堂
定員 60名（当日12時30分より整理券配布） 参加費 無料（ただし、有料観覧料が必要）

申込方法 一宮市博物館 電話：0564-48-3215 FAX：0564-48-3216

(4) たいけんの森

平成 26 年度常設展示リニューアルにより設置。常時利用可能な体験キットを置くとともに、土日祝および長期休暇中には「わくわく体験」として、展覧会に関連した簡単な工作体験を提供し、博物館資料への理解を深めることを目的とした。

開催日 毎週土曜・日曜・祝日・休日（ただし夏休み・冬休み期間中は毎日）
時間 午前 10 時 30 分～12 時、午後 1 時～4 時 30 分
会場 博物館 2 階たいけんの森

平成 29 年度

わくわく体験

「民族衣装を着てみよう」

会期 平成 29 年 4 月～6 月（4 月 29 日（土）～5 月 7 日（日）をのぞく）
内容 各国の民族衣装を着用。撮影も可。
参加者 136 人（4 月 59 人、5 月 50 人、6 月 59 人）

「戦国のよろいを着てみよう」

会期 4 月 29 日（土）～5 月 7 日（日）
内容 戦国のよろいの複製を着用し、陣幕の前で写真撮影。
参加者 117 人

「じょうもんキーホルダー」

会期 平成 29 年 7 月～9 月
内容 樹脂粘土で土器の形を作り、縄などで模様付けたキーホルダーを作成。
参加者 759 人（7 月 254 人、8 404 人、9 月 101 人）

「ちいさなかけじく」

会期 平成 29 年 10 月～12 月
内容 開催中の特別展「川合玉堂展」にちなみ、和紙に玉堂の小さな図版を貼って、ストローと紐をつけて小さな掛け軸を作成。
参加者 224 人（10 月 59 人、11 月 55 人、12 月 110 人）

「ミニたこ・こまづくり」

会期 平成 30 年 1 月～3 月
内容 簡単な材料でつくれるミニ凧とこまづくりを体験。
参加者 たこ 465 人（1 月 198 人、2 月 148 人、3 月 119 人）
こま 474 人（1 月 172 人、2 月 172 人、3 月 130 人）

土器パズル タイムアタック

会期 平成30年8月より実施

内容 土器パズルを完成させるスピードを計測。

参加者 251人（8月58人、9月29人、10月25人、11月24人、12月26人、1月27人、2月44人、3月18人）

はたおり・糸つむぎ体験

会期 毎週土・日曜日

内容 はたおり、糸つむぎ、綿くりの体験。

協力 尾張もめん伝承会

参加者 865人（4月63人、5月78人、6月55人、7月72人、8月86人、9月42人、10月68人、11月27人、12月52人、1月111人、2月105人、3月106人）

平成30年度

わくわく体験

「民族衣装を着てみよう オランダ・インドなど」

会期 平成30年3月31日（土）～4月22日（日）、5月12日（土）～27日（日）

内容 各国の民族衣装を着用。撮影も可。

参加者 57人（3月7人、4月33人、5月17人）

「戦国のよろいを着てみよう」

会期 平成30年4月28日（土）～30日（月・祝）、5月3日（祝）～6日（日）

内容 戦国のよろいの複製を着用し、陣幕の前で写真撮影。

参加者 81人（4月24人、5月57人）

「折り紙で花鳥画」

会期 平成30年6月2日（土）～7月1日（日）

内容 企画展「幸せをよぶ花鳥画展」にちなみ、折り紙で動物や花をつくる。

参加者 123人（6月70人、7月53人）

「モバイルで大展覧会」

会期 平成30年7月21日（土）～9月30日（日）

内容 博物館の展示資料の写真をモチーフにモバイルをつくる。

参加者 550人（7月97人、8月402人、9月51人）

「クリスマスツリーづくり」

会期 平成30年12月1日（土）～24日（月・振）

内容 画用紙で小さなクリスマスツリーをつくる。

参加者 85人

「ねんどで和菓子」

会期 平成31年1月5日(土)～27日(日)

内容 小麦粉ねんどで小さな和菓子をつくる。

参加者 221人

「陣羽織をデザイン」

会期 平成31年2月2日(土)～3月31日(日)

内容 特集展示「陣羽織」にちなみ、オリジナルの陣羽織をデザイン。

参加者 214人(2月130人、3月84人)

「戦国の鎧を着てみよう おとな編」

会期 平成31年3月23日(土)・24日(日)

内容 子ども向けに毎年行っている鎧の試着をおとなも体験。

参加者 22人

土器パズル タイムアタック

会期 年間

内容 土器パズルを完成させるスピードを計測。

参加者 98人(4月26人、5月10人、6月9人、7月6人、8月5人、9月4人、
10・11月は臨時休館のため実施なし、12月14人、1月6人、2月6人、3月12人)

はたおり・糸つむぎ体験

会期 毎週土・日曜日

内容 はたおり、糸つむぎ、綿くりの体験。

協力 尾張もめん伝承会

参加者 729人(4月68人、5月45人、6月58人、7月68人、8月126人、9～11月は臨時休館の
ため実施なし、12月31人、1月115人、2月94人、3月125人)

(5) 博物館で夏祭り！

平成 29 年度より、博物館に多くの子どもたちに来てもらい、考古学ならびに博物館に親しみを持ってもらうため、夏休み期間中に様々な催し物を開催した。

平成 29 年度

開催日 平成 29 年 7 月 15 日（土）～7 月 17 日（月・祝）
時間 午前 9 時 30 分～正午、午後 1 時～午後 4 時 30 分
参加費 無料

催事

- ①7 月 15 日（土）壺釣り
会場 1 階ギャラリー
参加者 45 人
- ②7 月 16 日（日）シルエットクイズ～学芸員 T からの挑戦状～
会場 1 階ギャラリー
参加者 32 人
- ③7 月 17 日（月・祝）じょうもんキーホルダー
会場 たいけんの森
参加者 41 人

2 日体験：20 名、3 日体験：10 名

スタンプカードにスタンプを押し、来館日数に応じて異なるオリジナルグッズを配付した。

掲載

「広報いちのみや」7 月号

FM ぎふ「MORNING SPLASH」6 月 22 日（木）

FM いちのみや「ミュージアムスクエア」7 月 5 日（水）

FM いちのみや「市制情報 知っトク！いちのみや」7 月 13 日（木）



平成 30 年度

時間 午前 9 時 30 分～正午・午後 1 時～4 時 30 分

場所 たいけんの森

参加費 無料

印刷物 リーフレット (A4) 20,000 枚

※「尾張平野を語る 23」と共通

催事

①特別講座 地獄絵研究者・鷹巣先生の「地獄はどんなところだろう？」

鎌倉時代から室町時代にかけて描かれた地獄絵について、子ども向けに分かりやすく“絵解き”をしてもらうもの。

日時 7月21日(土) 午前11時～11時40分

講師 鷹巣 純氏(愛知教育大学教授)

会場 講座室

対象 中学生以下(保護者も参加可)

参加者 83人

②壺釣りチャレンジ

発掘品の壺を模したペーパークラフトを竿に引っ掛けて吊り上げる。吊り上げた人には、壺のペーパークラフトを進呈。

開催日 7月21日(土)・22日(日)・28日(土)・29日(日)

対象 子どもから大人まで

参加者 96人

③じょうもんキーホルダー

色つきの粘土に縄を転がして模様をつけ、オリジナルのキーホルダーを作る。

開催日 8月4日(土)・5日(日)・11日(土・祝)・12日(日)

対象 中学生以下

参加者 116人

④モバイルで大展覧会(たいけんの森わくわく体験)

博物館の展示品の写真をプリントアウトしたものの中からモチーフを選び(裏面に資料のキャプション)、モバイルを作る。材料は、針金・たこ糸・厚紙を使用。

開催日 7月21日(土)～8月31日(金)

対象 中学生以下

参加者 499人



⑤博物館マスターになろう 2018

「博物館・美術館で自由研究！」と題して、一宮市博物館と一宮市三岸節子記念美術館との連携企画を実施した。夏休みの自由研究を子どもたちの博物館と美術館への来館を促すきっかけとし、博物館・美術館の観覧を通してひとり調べの方法を学ぶとともに、郷土の歴史や文化に親しむ機会とすることを目的として実施した。平成 29 年度一宮市提案制度に基づく職員提案を受けて企画した。

博物館・美術館それぞれで企画・配布するワークシートについて、両館の記入済のワークシートを各館で提示した方に、自由研究に役立つスペシャルプレゼントを進呈した。各館のワークシートは、子どもたちの自由研究に役立つ内容とし、各館には自由研究に役立つ蔵書を集めた図書コーナーを設けた。

博物館で実施したワークシートは「博物館マスターになろう 2018」と題し、「博物館で夏祭り！」の一企画として位置づけ、常設展示のクイズとともに、一宮市の歴史に関するひとり調べのヒントを掲載した。



開催期間 平成 30 年 7 月 20 日 (金) ～8 月 31 日 (金)

対象 中学生以下

参加費 無料 (別途観覧料が必要)

スペシャルプレゼント

- ・ 一宮市博物館常設展示案内
- ・ 三岸節子ものがたり (絵本)
- ・ 一宮市三岸節子記念美術館こどもセルフガイド

参加者 388 人 スペシャルプレゼント進呈 27 人

掲載

「広報いちのみや」7月号

ケーブルテレビ ICC 「I LOVE いちのみや」8月6日～8月12日

中日新聞尾張版 8月16日(木)

(6) 生涯学習出前講座

平成 29 年度

日時	聴講者数	講座名	開催場所/申込団体	講師
平成 29 年 4 月 24 日	99	いちのみやの歴史	修文大学/修文大学短期大学部生活文化学科	藤井雅大
平成 29 年 6 月 13 日	70	いちのみやの歴史	大和公民館/ASC 一宮 26	藤井雅大
平成 29 年 6 月 25 日	85	いちのみやの歴史	宇夫須奈公民館/里小牧地区町内会	石黒智教
平成 29 年 7 月 19 日	65	いちのみやの歴史	富士公民館/シルバー生きがいクラブ富士支部	石黒智教
平成 29 年 8 月 2 日	110	いちのみやの歴史	奥公民館/一宮市社会福祉協議会奥町支部	石黒智教
平成 29 年 8 月 26 日	100	いちのみやの歴史	大志公民館/大志連区老人クラブ	石黒智教
平成 29 年 8 月 30 日	146	いちのみやの歴史 (市川房枝の生涯)	尾西南部公民館/一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会朝日支部	神田年浩
平成 29 年 10 月 3 日	60	いちのみやの歴史	木曾川公民館/一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会木曾川町支部	瀧はる香
平成 29 年 10 月 17 日	122	いちのみやの歴史 (萩原町の歴史)	萩原公民館/一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会萩原支部	石黒智教
平成 29 年 10 月 27 日	102	いちのみやの歴史	葉栗公民館/一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会葉栗支部	石黒智教
平成 29 年 11 月 16 日	67	いちのみやの歴史	尾西庁舎/一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会大徳支部	神田年浩

平成 30 年度

開催日	聴講者数	講座名	開催場所/申込団体	講師
平成 30 年 4 月 11 日	27	いちのみやの歴史	更屋敷公民館/更屋敷長寿会	成河端子
平成 30 年 7 月 19 日	45	川合玉堂の作品と歴史	朝宮公民館/朝宮老人会	杉山章子
平成 30 年 9 月 13 日	82	川合玉堂の作品と歴史	大徳公民館/一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会大徳支部	杉山章子
平成 30 年 9 月 19 日	64	いちのみやの歴史	富士公民館/富士連区高齢者の生きがいと健康づくり協議会	石黒智教
平成 30 年 10 月 2 日	64	いちのみやの歴史	木曾川公民館/一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会木曾川町支部	石黒智教
平成 30 年 10 月 15 日	180	いちのみやの歴史 (幕末勤王の志士 鵜飼吉左衛門)	浅井町公民館/一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会浅井町支部	神田年浩
平成 30 年 10 月 15 日	45	いちのみやの歴史 (今伊勢町史について)	今伊勢公民館/今伊勢公民館成人学習部	神田年浩
平成 30 年 10 月 16 日	105	いちのみやの歴史	北方公民館/一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会北方支部	石黒智教
平成 30 年 12 月 7 日	101	いちのみやの歴史	千秋公民館/高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会千秋支部	石黒智教
平成 30 年 12 月 21 日	124	川合玉堂の作品と歴史	葉栗公民館/一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会葉栗支部	杉山章子
平成 31 年 1 月 29 日	20	いちのみやの歴史	富田公民館/富田区 OB 会	杉山章子

(7) 博物館実習

博物館学芸員資格取得に必要な博物館実習課程履修のため、各大学から依頼のあった実習生の受け入れを行い、博物館の実務を演習させた。

平成 29 年度

期間 平成 29 年 8 月 8 日（火）、10 日（木）、18 日（金）、19 日（土）、22 日（火）全 5 日間

実習生 皇學館大学 1 人、東京農業大学 1 人、愛知大学 2 人、愛知学院大学 2 人、滋賀県立大学 2 人、岐阜女子大学 1 人、愛知淑徳大学 1 人 全 10 人

内容 資料写真の撮り方、木曾川図書館玉堂記念展示室での展示作業見学と軸の取り扱い、たいけんの森での普及活動、豊島記念資料館での公文書整理、模擬解説、解説パネルの作成と展示方法

平成 30 年度

期間 平成 30 年 8 月 6 日（水）～12 日（日） 5 日間

実習生 愛知学院大学 1 人、中部大学 1 人、滋賀県立大学 1 人、京都女子大学 1 人、龍谷大学 1 人 全 5 人

内容 美術工芸品の扱いと展示、檜の木文化資料館の清掃、たいけんの森・キッズクラブの普及活動、展示ホールの展示コーナーでの展示作業

(8) 中学生職場体験学習

職場体験学習として、市内各中学校から依頼のあった生徒の受け入れを行い、博物館の実務を体験させた。

平成 29・30 年度

実施なし

(9) インターンシップ

学生が在学中に自らの興味や専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行いたいという依頼に基づき、受け入れを実施した。

平成 29 年度

期間 平成 30 年 3 月 24 日（土）・25 日（日）

研修者 愛知真和学園 愛知啓成高等学校 2 年生 1 名

平成 30 年度

実施なし

(10) 教員研修の受け入れ

小中学校の教員で、10年経験者の研修の一環として、異校種・社会体験研修の受け入れを実施した。

平成 29 年度

期間 平成 29 年 8 月 2 日 (水)・3 日 (木)

目的 高等学校初任者研修及び特別支援学校初任者研修における社会奉仕体験活動研修

研修者 愛知県立一宮東特別支援学校 1 人

期間 平成 29 年 8 月 2 日 (水)、8 月 12 日 (土)、8 月 16 日 (水)

目的 異校種・社会体験研修

研修者 稲沢市立次郎丸中学校教諭 1 人

期間 平成 29 年 8 月 9 日 (水)、8 月 12 日 (土)、8 月 16 日 (水)

目的 異校種・社会体験研修

研修者 岩倉市立岩倉南小学校教諭 1 人、木曾川東小学校教諭 1 人

期間 平成 29 年 8 月 9 日 (水)、8 月 12 日 (土)

目的 異校種・社会体験研修

研修者 一宮市立中部中学校教諭 1 人

平成 30 年度

実施なし

(11) 子ども向けクイズ

子どもたちに常設展示を楽しんでもらうことを目的として、「たんけんクイズ」を平成 27 年 7 月より実施。平成 28 年から始めた「シルエットクイズ」は、展示資料のシルエットのみを掲出したワークシートを受付で配布し、常設展示室の中で探し出して資料名を記入するもの。参加者には、「武将カード」や「遺跡カード」を進呈。企画展「くらしの道具」期間中は「たんけんブック」を提供した。

平成 29 年度

参加者 1,344 人（4 月 114 人、5 月 121 人、6 月 125 人、7 月 167 人、8 月 450 人、
9 月 85 人、10 月 113 人、11 月 15 人、12 月 81 人、1 月 10 人、3 月 63 人）

平成 30 年度

参加者 410 人（4 月 68 人、5 月 75 人、6 月 39 人、7 月 23 人、8 月 23 人、9 月 42 人、
10～11 月は臨時休館のため実施なし、12 月 51 人、1 月 8 人、3 月 81 人）

(12) 刊行物

展示図録・解説書

平成 29 年度特別展「没後 60 年 川合玉堂」図録 平成 29 年 10 月 14 日発行 1,000 部 1,500 円

平成 29 年度企画展「くらしの道具～昔の遊び・今の遊び～」たんけんブック

平成 30 年 1 月 13 日発行 6,000 部 無料

平成 30 年度企画展「くらしの道具～ことばになったモノたち～」たんけんブック

平成 31 年 1 月 12 日発行 6,000 部 無料

所蔵品目録・調査報告書

「一宮市博物館年報 (15) 平成 27・28 年度事業報告」 平成 30 年 3 月 31 日発行 600 部

博物館だより

No.60 平成 29 年 10 月 1 日発行 2,000 部

No.61 平成 30 年 3 月 30 日発行 2,000 部

No.62 平成 31 年 3 月 30 日発行 2,000 部

一宮市内小中学校向け情報紙「こみみ通信」

第 95 号 平成 29 年 5 月 1 日発行

第 96 号 平成 29 年 7 月 1 日発行

第 97 号 平成 29 年 9 月 1 日発行

第 98 号 平成 29 年 11 月 1 日発行

第 99 号 平成 30 年 1 月 1 日発行

第 100 号 平成 30 年 3 月 1 日発行

第 101 号 平成 30 年 7 月 1 日発行

第 102 号 平成 30 年 9 月 1 日発行

4 利用状況

(1) 資料貸出

平成 29 年度

申請日 平成 29 年 4 月 1 日 (継続申請)

申請者 愛知県陶磁美術館

資料 門間沼遺跡出土赤彩広口壺 1 点、大毛池田遺跡出土緑釉椀 1 点

目的 常設展『日本と世界のやきもの』(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

申請日 平成 29 年 7 月 5 日

申請者 一宮市尾西歴史民俗資料館

資料 大毛沖遺跡出土遺物ほか考古遺物 24 点、養蚕関係民俗資料 5 点、墨八百八『記録 (3)』1 点

目的 特別展『動物たちからみる武士の時代の一宮』

申請日 平成 29 年 8 月 30 日

申請者 愛知県埋蔵文化財センター

資料 馬見塚遺跡出土資料

目的 西成地域振興会主催「西成おとなの学校」(9 月 10 日開催)での講座資料とするため

申請日 平成 29 年 9 月 21 日

申請者 豊橋市教育委員会 (豊橋市文化財センター)

資料 馬見塚遺跡出土土偶 3 点

目的 『東海大土偶展』(平成 29 年 11 月 3 日～12 月 24 日、豊橋市美術博物館)

申請日 平成 29 年 9 月 14 日

申請者 安城市歴史博物館

資料 八王子遺跡出土遺物 9 点、猫島遺跡出土遺物 1 点

目的 特別展『発掘された日本列島 2017』地域展 (平成 29 年 11 月 18 日～12 月 24 日)

申請日 平成 30 年 1 月 5 日

申請者 愛知県立一宮特別支援学校

資料 民族衣装チマチョゴリ 3 着 (体験用資料)

目的 美術の授業で衣装制作の参考とするため

申請日 平成 30 年 2 月 6 日

申請者 稲沢市立領内小学校

資料 糸車 2 台 (体験用資料)

目的 国語科「たぬきの糸車」の学習における教材提示

平成 30 年度

申請日 平成 30 年 1 月 25 日
申請者 愛知県陶磁美術館
資料 鈴木八郎「織部花文陶管」
目的 企画展『瀬戸陶芸の黎明－創作の源流を辿って－』（平成 30 年 4 月 14 日～6 月 17 日）

申請日 平成 30 年 3 月 1 日（継続申請）
申請者 愛知県陶磁美術館
資料 門間沼遺跡出土赤彩広口壺 1 点、大毛池田遺跡出土緑釉椀 1 点
目的 常設展『日本と世界のやきもの』（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

申請日 平成 30 年 4 月 5 日
申請者 愛知県陶磁美術館
資料 浅井古墳群塩釜社古墳出土資料など 6 件 8 点
目的 企画展『知られざる古代の名陶 猿投窯』（平成 30 年 6 月 30 日～8 月 26 日）

許可日 平成 30 年 9 月 15 日
申請者 滋賀県立安土城考古博物館
資料 八王子遺跡出土土偶 3 点
目的 『キミそっくりな古代人がいたよ－原始・古代の人物表現』
（平成 30 年 10 月 20 日～12 月 2 日）

申請日 平成 30 年 8 月 6 日
申請者 碧南市藤井達吉現代美術館ほか
資料 笥忠治「自画像（絶筆）」
目的 特別展『愉しきかな！人生－老当益壯の画人たち』
（平成 30 年 10 月 30 日～平成 31 年 2 月 17 日）

許可日 平成 30 年 10 月 11 日
申請者 蒲郡市博物館
資料 八王子遺跡出土資料 9 点、猫島遺跡出土資料 12 点
目的 『アカヒコムラーみかんの下の弥生時代－』（平成 30 年 11 月 10 日～12 月 9 日）

許可日 平成 30 年 10 月 15 日
申請者 笠岡市立竹喬美術館
資料 川合玉堂「奔瀑遊猿」
目的 『幸野楳嶺が伝えたこと』（平成 30 年 12 月 21 日～平成 31 年 2 月 3 日）

許可日 平成 31 年 1 月 10 日

申請者 一宮市役所 高年福祉課

資料 掛時計、こたつ、一斗檜（すべて木曾川資料館蔵）

目的 木曾川老人いこいの家の回想法を応用した談話室「昭和の間」に設置
(平成 31 年 1 月 11 日～7 月 10 日)

(2) 写真等利用

平成 29 年度

申請日 平成 29 年 3 月 28 日

申請者 共立女子大学名誉教授 齊藤昌子

資料 墨コレクションのうち陣羽織 104 点

目的 平成 29 年 5 月 28 日および 7 月 7 日開催の講演会（共立女子大学主催）にて使用

申請日 平成 27 年 4 月 11 日

申請者 一宮市芸術文化協会

資料 川合玉堂「鵜飼」

目的 『いちのみやの芸術文化』第 41 号「玄之又玄 水墨画のまち一宮へ」（丹羽桃慶執筆）に掲載

申請日 平成 29 年 4 月 29 日

申請者 岩井章真

資料 「第 5 回内国勸業博覧会記念染織鑑」（一宮市博物館蔵）および「木綿緋（紺緋）」（一宮市木曾川資料館蔵）

目的 中部産業遺産研究会発行「産業遺産研究」第 24 号所収「一宮市木曾川町玉ノ井の織布工場その 1－葛利毛織工業工場の歴史と機械－」に掲載

申請日 平成 29 年 5 月 19 日

申請者 北白川書房

資料 山喜多二郎太 妙興寺仏殿天井画「蟠龍図」

目的 「月刊なごや」平成 29 年 6 月 1 日号 特集「東海・天井画のある寺院をたずねて」に掲載

許可日 平成 29 年 5 月 30 日

申請者 岐阜経済大学非常勤講師 堀崎嘉明

資料 多加木村祭礼幕（写真はタルイピアセンター歴史民俗資料館所蔵のものを使用）

目的 『朝鮮通信使 尾張路の旅－江戸時代の善隣交流－』（私家版）に掲載

申請日 平成 29 年 6 月 9 日

申請者 碧水社

資料 大正 2 年 10 月 24 日撮影「浅野長政公宅址前の浅野長勲等集合写真」

目的 週刊『戦国王』第 57 号「浅野長政」に掲載

申請日 平成 29 年 9 月 14 日

申請者 豊橋市教育委員会

資料 馬見塚遺跡出土土偶

目的 企画展示「東海大土偶展」印刷物およびパネルに掲載

申請日 平成 30 年 1 月 23 日
申請者 一宮商工会議所
資料 「一宮市豊島記念資料館外観写真」、「寺岡式力織機」「ロータリープレス機」
目的 会報誌「所報」平成 30 年 2 月号に掲載

申請日 平成 30 年 1 月 26 日
申請者 編集室 青人社
資料 狩野安信「萩兔図」
目的 墨の美学『日本の水墨画 2 花鳥』に掲載

平成 30 年度

申請日 平成 30 年 6 月 12 日
申請者 三井紀生
資料 法圓寺中世墓出土「五輪塔」
目的 『越前笏谷石 論考集』に掲載（『越前笏谷石 第 3 編』の再掲）

申請日 平成 30 年 6 月 25 日
申請者 愛知県埋蔵文化財センター
資料 佐野遺跡出土資料 4 点（縄文土器：深鉢・壺 各 1 点、石錘 2 点）
目的 愛知県一宮総合運動場「家族の体験活動推進事業」広報用チラシ

申請日 平成 30 年 7 月 24 日
申請者 国立歴史民俗博物館
資料 西上免遺跡 多孔銅鏃 1 点（画像は大阪府立弥生文化博物館より提供）
目的 館内の展示、大テーマⅣ「倭の登場」にてグラフィックパネル等に使用

申請日 平成 30 年 9 月 12 日
申請者 名古屋工業大学 伊藤孝紀
資料 一宮市博物館外観写真
目的 『名古屋圏の建築家と建築』（2019 年 9 月、建築家会館発行）に掲載

申請日 平成 30 年 11 月 29 日
申請者 元興寺文化財研究所
資料 人麿塚古墳（浅井 18 号墳・葉栗野古墳）出土小札 実測図
目的 科学研究費成果報告書『鏃情報に基づく戦後復興期消滅古墳副葬品配列の復元研究』に掲載

申請日 平成 31 年 2 月 10 日
申請者 株式会社ネクサス
資料 森狙仙「藤三猿之図」
目的 平成 31 年 3 月 5 日放送テレビ番組「開運！なんでも鑑定団」にて参考資料として掲出

申請日 平成 31 年 2 月 22 日

申請者 株式会社 Hu

資料 西郷札 4 点の裏表画像

目的 テレビ番組「池の水ぜんぶ抜く大作戦」にて掲出

(3) 施設利用

平成 29 年度

利用期間	施設	使用目的／申請者
4月4日(火) 0.5日	和室	俳句会／馬の塔
4月5日(水) 0.5日	和室	香道の体験／なの会
4月7日(金) 0.5日	和室	茶会準備／市川勝代
4月8日(土) 0.5日	和室	茶会／市川勝代
4月9日(日) 0.5日	特別展示室	趣味のコレクション展／杉原英幸
4月11日(火)～18日(火) 7日	特別展示室・講座室・ 和室	趣味のコレクション展(箏演奏会、講演会、茶会)／杉原英幸
4月11日(火)～16日(日) 6日	2階ギャラリー	さわれる仏さま 円空仏作品展／尾張・円空仏を彫る会
5月24日(水) 1日	講座室	骨盤知識座学／Café ふろーりす
5月27日(土) 1日	2階ギャラリー	キッズ体験教室「UV レジンでつくるキラリきらきらかがやくチャーム」／Café ふろーりす
6月20日(火)～25日(日) 6日	2階ギャラリー	第5回 しゃらく作品展／写真サークルしゃらく
6月30日(金)～7月9日(日) 8.5日	2階ギャラリー	公文書写大和教室作品展／Café ふろーりす
7月11日(火)～23日(日) 12日	2階ギャラリー	猪野裕作 水彩画展 はざかい／Café ふろーりす
7月25日(火)～8月1日(火) 6.5日	2階ギャラリー	第4回マーシーアート展覧会／NPO 法人響愛学園
7月20日(木)～23日(日) 4日	講座室	第81回一宮青陶会展／一宮青陶会
8月3日(木)～12日(土) 9日	2階ギャラリー	クラフト作家展／Café ふろーりす
8月8日(火)～18日(金) 9.5日	特別展示室・講座室	第66回 一宮市子ども写生大会作品展／一宮市教育委員会学校教育課
8月22日(火)～27日(日) 6日	2階ギャラリー	傘寿翁句語展／仏手柑句会
10月7日(土) 1日	2階ギャラリー	ものづくり体験イベント Halloween Party／Café ふろーりす
11月5日(日)～12日(日) 6.5日	2階ギャラリー	パステル画と書 仏心／片岡克己
11月21日(火)～12月8日(金) 15日	2階ギャラリー	己書 折り紙・手芸・刺繍作品展／Café ふろーりす

利用期間	施設	使用目的／申請者
12月23日(土) 1日	2階ギャラリー	クリスマスワークショップ／Café ふろーりす
(平成30年)		
1月13日(土) 1日	2階ギャラリー	おもちゃ作りイベント／Café ふろーりす
2月21日(水)～28日(水) 7日	2階ギャラリー	切り絵アート展／Café ふろーりす
3月1日(木)～11日(日) 10日	2階ギャラリー	びくーるアートサークル透明水彩画展／Café ふろーりす
3月13日(火)～18日(日) 6日	2階ギャラリー	伊勢型紙作品展／伊勢型紙同好会

平成30年度

利用期間	施設	使用目的／申請者
5月8日(火) 0.5日	講座室	一宮民俗芸能連盟総会／一宮民俗芸能連盟
5月2日(水)～13日(日) 11日	特別展示室	ステンドグラス牧野克己展 和・洋の光彩／牧 野克己
6月12日(火)～17日(日) 6日	2階ギャラリー	第6回写らく写真展～一期一会～／写真クラブ 写らく
7月13日(金)～16日(月) 4日	講座室	第82回一宮青陶会展／一宮青陶会
8月4日(土) 0.5日	2階ギャラリー	ワークショップ／Café ふろーりす
8月10日(金) 1日	2階ギャラリー	ワークショップ レジンのキーホルダー／ Café ふろーりす
8月17日(金)～22日(水) 5日	特別展示室・講座室	第67回一宮市子ども写生大会作品展／ 一宮市教育委員会学校教育課
9月17日(月)～30日(日) 13日	2階ギャラリー	絵画の展示会／Café ふろーりす
9月29日(土)～30日(日) 1.5日	和室	茶会／おもてなしの会
12月4日(火) 0.5日	和室	俳句会／馬の塔俳句会
(平成31年)		
1月17日(木) 1日	和室	茶道／名古屋ゼミナール
2月6日(水) 1日	和室	茶道／名古屋ゼミナール
3月5日(火)～10日(日) 6日	2階ギャラリー	びくーるアートスクール作品展／Café ふろー りす
3月10日(日) 1日	和室	茶会／益心会

利用期間	施設	使用目的／申請者
3月14日(木)～17日(日) 4日	講座室	伊勢型紙同好会展／伊勢型紙同好会
3月20日(水)～26日(火) 5.5日	特別展示室・講座 室・和室	第5回マーシーアート展覧会／NPO 法人響愛 学園

(4) 入館者統計

一宮市博物館

平成 29 年度

	開館 日数	個人			団体			減免			未就学児	招待	無料利用	団体数	合計
		一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中					
4月	26	207	18	9	195	0	0	241	1	110	47	11	799	1	1,638
5月	26	270	12	13	0	0	0	188	0	152	40	4	132	0	811
6月	26	231	9	12	92	0	0	399	0	108	37	57	300	2	1,245
7月	26	275	6	13	0	0	0	416	10	250	74	28	1,043	0	2,115
8月	27	413	39	23	6	15	0	357	72	553	144	611	806	1	3,039
9月	26	879	12	6	145	0	6	1,044	3	106	40	328	236	2	2,805
10月	26	684	5	7	33	0	0	766	0	70	31	391	161	1	2,148
11月	25	1,633	23	9	1	0	0	1,128	0	61	32	523	344	0	3,754
12月	23	413	5	6	8	0	0	679	2	102	33	314	156	1	1,718
1月	23	520	5	29	26	0	0	339	0	1,164	106	147	135	1	2,471
2月	24	529	3	37	0	0	0	513	0	2,508	123	129	134	0	3,976
3月	26	333	8	25	2	0	0	411	1	685	92	112	907	0	2,576
合計	304	6,387	145	189	508	15	6	6,481	89	5,869	799	2,655	5,153	9	28,296
開館以来累計														791,768	

平成 30 年度

	開館 日数	個人			団体			減免			未就学児	招待	無料利用	団体数	合計
		一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中					
4月	26	361	8	12	21	0	0	391	2	100	53	20	411	1	1,379
5月	26	301	9	5	15	0	0	455	0	91	46	15	1,184	1	2,121
6月	26	481	13	1	55	0	0	665	0	77	38	133	636	2	2,099
7月	26	449	56	16	0	0	0	457	1	142	62	68	681	0	1,932
8月	27	376	38	39	0	0	0	403	25	675	187	567	799	0	3,109
9月	26	696	15	6	20	0	0	890	0	73	40	349	674	1	2,763
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	23	482	9	5	0	0	0	868	0	98	52	319	527	0	2,360
1月	23	371	16	25	17	0	0	499	0	1,267	88	28	388	1	2,699
2月	24	326	20	24	28	0	0	424	0	2,361	83	63	400	1	3,729
3月	26	298	15	19	19	0	0	389	0	456	85	91	1,832	1	3,204
合計	253	4,141	199	152	175	0	0	5,441	28	5,340	734	1,653	7,532	8	25,395
開館以来累計														817,163	

木曾川資料館

平成 29 年度

	開館 日数	個人			団体			団体数	合計
		一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中		
4月	26	269	0	3	0	0	0	0	272
5月	26	264	0	156	22	0	0	1	442
6月	26	314	0	2	0	0	0	0	316
7月	26	780	0	4	0	0	0	0	784
8月	27	1,177	0	10	0	0	0	0	1,187
9月	26	969	0	3	0	0	0	0	972
10月	26	413	0	3	1,100	0	124	2	1,640
11月	25	338	0	0	0	0	0	0	338
12月	23	231	0	0	0	0	0	0	231
1月	23	477	0	0	0	0	0	0	477
2月	24	626	0	5	0	0	0	0	631
3月	26	330	0	7	0	0	0	0	337
合計	304	6,188	0	193	1,122	0	124	3	7,627

平成 30 年度

	開館 日数	個人			団体			団体数	合計
		一般	高・大	小・中	一般	高・大	小・中		
4月	26	354	0	0	0	0	0	0	354
5月	26	300	0	2	27	0	128	2	457
6月	26	465	0	0	32	0	0	1	497
7月	26	242	0	7	24	0	0	1	273
8月	27	305	0	0	23	0	0	1	328
9月	26	473	0	76	53	0	0	1	602
10月	26	317	0	0	0	56	119	4	492
11月	26	560	0	16	0	0	0	0	576
12月	23	289	0	0	0	0	0	0	289
1月	23	209	0	0	0	0	0	0	209
2月	24	354	0	0	0	0	0	0	354
3月	26	317	0	0	0	0	0	0	317
合計	305	4,185	0	101	159	56	247	10	4,748

豊島記念資料館

平成 29 年度

利用日	利用者	利用者数
平成 29 年 4 月 8 日 (土)	個人	2
平成 29 年 4 月 21 日 (金)	個人	1
平成 29 年 5 月 14 日 (日)	個人	3
平成 29 年 5 月 21 日 (日)	野口二丁目町内会	50
平成 29 年 6 月 7 日 (水)	三菱 UFJ 銀行一宮支店	5
平成 30 年 1 月 16 日 (火)	一宮商工会議所	7
平成 30 年 1 月 25 日 (木)	修文大学短期大学部生活文化学科	16
平成 30 年 2 月 12 日 (月)	個人	2
	合計	86

平成 30 年度

利用日	利用者	利用者数
平成 30 年 10 月 25 日 (木)	馬子の会	8
平成 31 年 1 月 16 日 (水)	個人	1
平成 31 年 3 月 28 日 (木)	クラブツーリズム	15
	合計	24

(5) 団体観覧・案内

一宮市博物館

平成 29 年度

年月日	団体名	人数
平成 29 年 6 月 14 日	中央ライフデザインセンター	48
平成 29 年 6 月 28 日	ライフカレッジ蘇原	43
平成 29 年 8 月 30 日	国立国語研究所	21
平成 29 年 9 月 12 日	貴船ふれあいいいきサロン	21
平成 29 年 9 月 24 日	名鉄沿線ハイキング大会	150
平成 29 年 10 月 25 日	富山県水墨美術館友の会	33
平成 29 年 12 月 10 日	氏永子ども会	48
平成 30 年 1 月 31 日	羽黒婦人会(犬山市)	26
平成 30 年 3 月 6 日	デイサービスセンターアコードにわ	29

平成 30 年度

年月日	団体名	人数
平成 30 年 4 月 8 日	私学をよくする父母懇談会一宮ブロック	22
平成 30 年 5 月 20 日	野口 2 丁目町内会さわやかウォーキング	39
平成 30 年 6 月 12 日	知立市郷土研究会	20
平成 30 年 6 月 29 日	四日市消費者協会	35
平成 30 年 9 月 27 日	明治大学博物館友の会「倭国の会」	20
平成 31 年 1 月 22 日	ASC 愛知シルバーカレッジ	21

5 調査研究・収集

(1) 美術工芸資料等購入事業

平成 29 年度 なし

平成 30 年度 なし

(2) 寄贈資料

平成 29 年度

- ・ 絵画 1 点（「藤井外喜雄「静物」」
- ・ 絵画 11 点（八木茂雄「横たわる女」「尾鷲湾」「十和田湖」「印度更紗と裸婦」「腰かける女」「白い閨門」「石灰工場」「海辺の工場」「波切灯台」「飛驒の里」「若狭船小屋」）
- ・ 絵画 3 点（佐分眞「水指のある静物」「婦人像」、横井礼以「白衣の少女[叡子白衣像]」）
- ・ 婚礼用高下駄 一足、塗り下駄 一足
- ・ 大野弥一郎作 肥後彦一コマ復元品 3 個、大野弥一郎作 鉄銅コマ（撚糸機部品使用）1 個、鉄ゴマ 5 個、木ゴマ 1 個
- ・ 絵画 1 点（丸井金貌「霜晨」）
- ・ 絵画 1 点（佐分眞「緑衣の女」）
- ・ 絵画 2 点（宮脇晴「福本政子嬢の像」「スケッチ」）
- ・ 絵画・書画 10 点（佐藤一英「名古屋城の詩」「とうもろこしの詩」、杉本全機「掬水月在牛」「圓相」、吉田稼雲「秋景山水之図」、浅井星州「富士之図」、石川柳城「山水之図」「山水之図」、山田訥齋「山水自画賛」、加藤磯足「消息」）
- ・ ガスストーブ（大正～昭和初期）
- ・ 子守胴着（昭和 30 年製）
- ・ 旧渡辺堯司織布工場の整経機、クリール assy、クリールフレーム（上面）、クリール部品パレット、小物部品パレット、整経機コウム部品（綾取り機）、かせワインダー
- ・ 「第 5 回内国博覧会見物案内図」（明治 36 年）、「青年学校教練科教科書 上巻」（昭和 14 年改定、陸軍省兵務課編纂）、「学校教練教科書 前篇」（陸軍省兵務課編纂）、「名画アルバム 松島トモ子・近藤圭子・古賀さと子・鏝淵晴子のプロマイド絵葉書」（昭和 32 年）、「サインブック」（婦人生活）、「東錦美人集 第 7 輯」、「清洲銀行当座通帳」（昭和 29 年）、「新愛知（昭和 29 年 1 月 19 日、第 2210 号）」、「週刊朝日」（昭和 30 年 10 月 30 日号）、「ドンキホーテ」（昭和 11 年）、「朱塗り菓子器」「朱塗り膳」9 枚、「タバコ箱」2 箱、「ほかい」一対

平成 30 年度

- ・ 猪口 1 個（大正 10 年 9 月 1 日一宮市市制施行記念品）
- ・ 馬見塚遺跡出土 打製石斧（刃）
- ・ 「葉栗郡紀要」（大正 10 年発行）、「土地整理実測字限地図（葉栗郡玉ノ井村 明治 21 年調製）
- ・ 絵画 4 点（川合玉堂「四季（春耕・晩涼・秋晴・雪渡）」）

(3) 寄託資料

平成 29 年度

- ・ 妙興寺所蔵指定文化財 42 件

No.	指定	資料名	数量	指定年月日	指定書番号
1	国	絹本著色仏涅槃図	1 幅	明治 37 年 8 月 29 日	
2	国	紙本著色足利義教像	1 幅	昭和 25 年 8 月 29 日	絵第 350 号
3	国	絹本墨画白衣観音図	1 幅	昭和 29 年 3 月 20 日	絵第 1303 号
4	国	絹本著色十六羅漢像	16 幅	昭和 50 年 6 月 12 日	絵第 1726 号
5	国	絹本墨画淡彩文殊図	1 幅	昭和 50 年 6 月 12 日	絵第 1727 号
6	国	絹本著色道仏二教諸尊図	4 幅	平成元年 6 月 12 日	絵第 1890 号
7	国	妙興寺文書	549 通	平成 5 年 6 月 10 日	文第 145 号
8	国	九条袈裟田相薄茶地四葉花文頭文 紗条葉紺地四葉花折枝文頭文紗附 環二枚坐具二枚	1 領附環 2 枚、 坐具 2 枚	平成 26 年 8 月 21 日	工第 2675 号
9	国	九条袈裟田相黄地桐竹鳳凰麒麟文 綾条葉薄茶地二重蔓牡丹唐草文綾 附坐具一枚	1 領附坐具 1 枚	平成 26 年 8 月 21 日	工第 2676 号
10	県	紙本著色豊太閤画像	1 幅	昭和 30 年 6 月 3 日	絵第 12 号
11	県	紙本著色竹雉子之図	1 幅	昭和 30 年 6 月 3 日	絵第 13 号
12	県	紙本墨画達磨画像	1 幅	昭和 30 年 6 月 3 日	絵第 14 号
13	県	紙本墨画神農画像	1 幅	昭和 30 年 6 月 3 日	絵第 15 号
14	県	紙本著色鷹の図	1 幅	昭和 30 年 6 月 3 日	絵第 16 号
15	県	彫根来大香合	1 合	昭和 40 年 5 月 21 日	工第 59 号
16	県	紙本墨書齊宮女御集断簡	1 幅	昭和 40 年 5 月 21 日	書第 17 号
17	市	萬里集九福祿寿賛	1 幅	昭和 39 年 12 月 5 日	第 31 号
18	市	永傳筆傳法相承次第	1 幅	昭和 39 年 12 月 5 日	第 30 号
19	市	絹本墨画柳牛図	1 幅	昭和 48 年 8 月 7 日	第 59 号
20	市	絹本墨画不動明王画像	1 幅	昭和 48 年 8 月 7 日	第 60 号
21	市	絹本著色仙人図	1 幅	昭和 48 年 8 月 7 日	第 61 号

No.	指定	資料名	数量	指定年月日	指定書番号
22	市	絹本著色弥陀・観音・地藏来迎図	1 幅	昭和 48 年 8 月 7 日	第 62 号
23	市	絹本著色聖徳太子講讃図	1 幅	昭和 48 年 8 月 7 日	第 63 号
24	市	紙本墨画釈迦三尊図	3 幅	昭和 48 年 8 月 7 日	第 64 号
25	市	紙本墨画五位鷲図	1 幅	昭和 48 年 8 月 7 日	第 65 号
26	市	紙本著色草花図屏風	6 曲 1 双	昭和 48 年 8 月 7 日	第 66 号
27	市	絹本著色南化玄興頂相図	1 幅	昭和 55 年 3 月 3 日	第 107 号
28	市	絹本著色花鳥之図	1 幅	昭和 55 年 3 月 3 日	第 108 号
29	市	湖州鏡附朱漆塗鏡筥	1 面・1 合	昭和 55 年 3 月 3 日	第 110 号
30	市	葬の衣桁	1 基	昭和 55 年 3 月 3 日	第 111 号
31	市	絹本著色釈迦十六善神図	1 幅	昭和 56 年 3 月 2 日	第 114 号
32	市	絹本墨画淡彩山水図	1 幅	昭和 59 年 3 月 1 日	第 132 号
33	市	絹本著色羅漢図	2 幅	昭和 59 年 12 月 3 日	第 133 号
34	市	紙本墨画白衣観音図	1 幅	昭和 59 年 12 月 3 日	第 134 号
35	市	絹本著色人物図（酒宴図）	1 幅	昭和 62 年 3 月 3 日	第 140 号
36	市	絹本墨画梅図（白梅図）	1 幅	昭和 62 年 3 月 3 日	第 141 号
37	市	紙本墨画梅図（紅梅図）	1 幅	昭和 62 年 3 月 3 日	第 142 号
38	市	紙本墨画山水図 雪閑筆	1 幅	平成元年 3 月 22 日	第 146 号
39	市	紙本墨画蓮池水禽図 雪洞筆	双幅	平成元年 3 月 22 日	第 147 号
40	市	朱漆楼閣人物葡萄栗鼠牡丹沈金膳	3 枚	平成 5 年 3 月 22 日	第 154 号
41	市	絹本墨画月梅図	1 幅	平成 14 年 2 月 22 日	第 161 号
42	市	薬師三尊十二神将像	1 幅	平成 14 年 2 月 22 日	第 162 号

平成 30 年度

- ・ 川合玉堂「鶉飼」1 点

(4) 収蔵品修繕

平成 29 年度 なし

平成 30 年度

No.	作家名	作品名	サイズ (cm)	内容
1	狩野安信	菘兔図	36.0×66.5	表装修繕
2	大澤海蔵	牧場の女性	145.3×96.0	額および UV カットアクリルの作成

(5) 受贈図書等

都道府県の配列順（都道府県の中の寄贈者の配列は順不同）

- 01 北海道 02 青森県 03 岩手県 04 宮城県 05 秋田県 06 山形県 07 福島県 08 茨城県
 09 栃木県 10 群馬県 11 埼玉県 12 千葉県 13 東京都 14 神奈川県 15 新潟県 16 富山県
 17 石川県 18 福井県 19 山梨県 20 長野県 21 岐阜県 22 静岡県 23 愛知県 24 三重県
 25 滋賀県 26 京都府 27 大阪府 28 兵庫県 29 奈良県 30 和歌山県 31 鳥取県 32 島根県
 33 岡山県 34 広島県 35 山口県 36 徳島県 37 香川県 38 愛媛県 39 高知県 40 福岡県
 41 佐賀県 42 長崎県 43 熊本県 44 大分県 47 沖縄県

寄贈者	書名
01 北海道埋蔵文化財センター 北海道立北方民族博物館 北海道立北方民族博物館	北海道埋蔵文化財センター調査年報 30-平成 29 年度 北海道立北方民族博物館研究紀要第 26 号 2017 北海道立北方民族博物館資料目録 12 民俗資料目録 6～平成 20・21・22・23・24・25・ 26・27 年度収集資料～岩崎昌子コレクション・寺田弘氏旧蔵資料 北海道立北方民族博物館平成 28 年度年報
北海道立北方民族博物館 北海道立北方民族博物館 北海道立北方民族博物館 北海道立北方民族博物館 北海道立北方民族博物館 北海道立北方民族博物館	第 32 回特別展「ユーラシア北方のウマ牧畜民カザフモンゴルサハ」 北海道立北方民族博物館研究紀要第 27 号 北海道立北方民族博物館資料目録 13-岡正雄・馬場脩千島・樺太アルバム 北海道立北方民族博物館平成 29 年度年報
アイヌ文化振興研究推進機構 アイヌ文化振興研究推進機構 根室市歴史と自然の資料館 根室市歴史と自然の資料館 小樽市総合博物館 苫小牧市美術博物館 苫小牧市美術博物館 アイヌ民族文化財団	現れよ。森羅の生命—木彫家藤戸竹喜の世界 アイヌ文化振興研究推進機構助成事業案内平成 30 年度版 根室市歴史と自然の資料館紀要第 29 号 根室市歴史と自然の資料館紀要第 30 号 小樽市総合博物館紀要第 30 号 苫小牧市美術博物館紀要第 3 号（平成 28 年度） 苫小牧市美術博物館年報第 3 号（平成 27 年度） 「キムンカムイとアイヌ-春夏秋冬」
03 北上市教育委員会 北上市教育委員会	北上市埋蔵文化財年報（2015 年度） 平成 29 年 3 月北上市埋蔵文化財調査報告第 124 集立花南遺跡（2015 年度第 1・第 3 地 点） 平成 29 年度 3 月北上市埋蔵文化財調査報告第 125 集IV遺跡（2010 年度） 平成 29 年 3 月北上市埋蔵文化財調査報告第 126 集北上市内試堀調査報告（2015 年度） 平成 29 年 3 月北上市埋蔵文化財調査報告第 127 集江釣子古墳群（2016 年度）五条丸支 群第 24・25 次 北上市埋蔵文化財年報 2016 年度 北上市立埋蔵文化財センター紀要第 6 号 平成 29 年 12 月北上市埋蔵文化財調査報告第 128 集-北藤根遺跡（2016 年度） 平成 29 年 12 月北上市埋蔵文化財調査報告第 129 集-滝ノ沢遺跡（2016 年度） 平成 30 年 2 月北上市埋蔵文化財調査報告第 130 集-梨子山遺跡（2017 年度） 平成 30 年 3 月北上市埋蔵文化財調査報告第 131 集-立花南遺跡（2015 年度第 2 地点） 平成 30 年 3 月北上市埋蔵文化財調査報告第 132 集-立花南遺跡（2015 年度第 4 地点） 平成 30 年 3 月北上市埋蔵文化財調査報告第 133 集-唐戸崎遺跡（2016 年度） 平成 30 年 3 月北上市埋蔵文化財調査報告第 134 集-北上市内試堀調査報告（2016 年度）
岩手大学平泉文化研究センター	岩手大学平泉文化研究センター年報〔第 5 集〕2017
04 仙台市博物館 仙台市博物館 仙台市歴史民俗資料館 仙台市歴史民俗資料館	仙台市博物館年報第 44 号平成 28 年度 仙台市博物館年報第 45 号平成 29 年度 調査報告書 35 集 足元からみる民俗 25-失われた伝承・変容する伝承・新たなる伝承 仙台市歴史民俗資料館資料集第 15 冊 近代観光案内資料（1）明治二十三年新版仙台み やげ 仙台市歴史民俗資料館年報 2017 企画展「なつかし仙台 4-いつか見た街・人・暮らし～」 特別展「WinterLifeinSendai 仙台の冬の暮らし」 足元からみる民俗 26-失われた伝承・変容する伝承・新たなる伝承-調査報告書第 36 集
仙台市歴史民俗資料館 仙台市歴史民俗資料館 仙台市歴史民俗資料館 仙台市歴史民俗資料館	

	仙台市歴史民俗資料館	仙台市歴史民俗資料館資料集第16冊絵葉書でみる仙台3
	仙台市歴史民俗資料館	企画展図録「仙台古地図の旅2」〈仙台市歴史民俗資料館〉
	仙台市歴史民俗資料館	仙台市歴史民俗資料館年報2018
	仙台市歴史民俗資料館	仙台市歴史民俗資料館特別展「コメどころ仙台・コメの生産と消費の歴史」
05	秋田県立博物館	秋田県立博物館年報平成29年度
	秋田県立博物館	秋田県立博物館年報
07	会津若松市教育委員会	会津若松市文化財調査報告書第152号若松城郭内武家屋敷跡・岩田市衛門邸跡
	いわき市教育委員会	いわき市の文化財
	福島市教育委員会	福島市埋蔵文化財報告書232集平成28年度市内遺跡試掘調査報告
	福島市教育委員会	福島市埋蔵文化財報告書第233集古館跡
	福島市教育委員会	福島市埋蔵文化財報告書第234集平成29年度市内遺跡試掘調査報告
08	日立市郷土博物館	日立市郷土博物館紀要11
	日立市郷土博物館	特別展示「古代ひたち人のくらし」
	日立市郷土博物館	日立市郷土博物館紀要12
	鹿嶋市教育委員会	鹿嶋市の文化財第159集安崎遺跡発掘調査報告書
	鹿嶋市教育委員会	鹿嶋市の文化財第160集宮中野古墳群125・126号の発掘調査
	鹿嶋市教育委員会	鹿嶋市の文化財第162集鹿嶋市内遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書40厨台遺跡(KC73)平成29年度後期試掘・確認調査概要
	鹿嶋市教育委員会	鹿嶋市の文化財第163集武井城跡国補急傾斜第28-05-439-0-053号国補急傾斜第29-05-439-0-051号武井城跡測量調査報告書
	鹿嶋市文化スポーツ振興事業団	鹿嶋市の文化財第158集鹿嶋市内遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書38鹿嶋市内№123遺跡(KT123)大門遺跡鹿嶋市内№124遺跡(KT124)国指定史跡鹿島神宮境内附郡家跡平成28年度試掘調査概要
	安部憲夫	資料集野口英吉(雨情)の年譜
09	栃木県立文書館	栃木県立文書館研究紀要第21号(開館30周年記念特別号)
	栃木県立文書館	栃木県立文書館研究紀要第22号
10	伊勢崎市教育委員会	伊勢崎市文化財調査報告書第121集 下谷古墳群
	伊勢崎市教育委員会	伊勢崎市文化財調査報告書第120集宮紫前遺跡3(仮称)第4期最終処分場浸出水処理施設建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
	伊勢崎市教育委員会	伊勢崎市文化財調査報告書第123集平成27年度市内遺跡確認調査報告書
	伊勢崎市教育委員会	古代の役所「上野国佐位郡正倉跡」
	伊勢崎市教育委員会	事務所建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書群馬県伊勢崎市宿南遺跡
	伊勢崎市教育委員会	群馬県伊勢崎市赤堀今井町所在南原遺跡13-古墳時代中期末の円墳の調査
	伊勢崎市教育委員会	伊勢崎市文化財調査報告書一群馬県伊勢崎市安堀町所在西太田遺跡6
	伊勢崎市教育委員会	伊勢崎市文化財調査報告書第124集-史跡女堀2-史跡整備に伴う発掘調査報告書
	伊勢崎市教育委員会	伊勢崎市文化財調査報告書第125集-千軒屋遺跡6佐位郡家関連遺跡発掘調査概要報告書
	伊勢崎市教育委員会	伊勢崎市文化財調査報告書第122集市内遺跡4
	伊勢崎市教育委員会	伊勢崎市文化財調査報告書126集群馬県伊勢崎市北千木町沼田遺跡3・4
	群馬県埋蔵文化財調査事業団	群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要36
	群馬県立歴史博物館	群馬県立歴史博物館紀要第38号2017
	群馬県立歴史博物館	グランドオープン記念第93回企画展「海を渡って来た馬文化」
	群馬県立歴史博物館	群馬県立歴史博物館常設展示図鑑
	群馬県立歴史博物館	第95回企画展「織田信長と上野国」
	群馬県立歴史博物館	第96回企画展「すごいぞ!江戸の科学・時代を動かした地図・暦・和算の力」(群馬県立歴史博物館)
	群馬県立歴史博物館	第97回企画展「上毛かるたの世界-かるたが好きぐんまが好き」
	前橋市教育委員会	上野国府等範囲内容確認調査報告書V 推定上野国府-平成27年度調査報告
	前橋市教育委員会	元総社蒼海遺跡群(74)~(80)・(92)~(94)
	前橋市教育委員会	元総社蒼海遺跡群(122) 前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
	前橋市教育委員会	元総社蒼海遺跡群(75街区) 集合住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
	前橋市教育前橋市教育委員会委員会	元総社蒼海遺跡群(124) 前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
	前橋市教育委員会	朝倉伊勢西NO.3遺跡 店舗建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
	前橋市教育委員会	川曲阿弥陀西遺跡NO.3 店舗建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
	前橋市教育委員会	「榛名山東南麓の古墳の古墳-さあ、でかけようタイムトラベルへ古代群馬の中心地ここから群馬が始まった」
	前橋市教育委員会	平成27年度前橋・高崎連携事業文化財展「東国千年の都出土した動物たち-人がおそれ愛したケモノの世界」
	前橋市教育委員会	平成28年度前橋・高崎連携事業文化財展 東国千年の都10周年記念展示いまなおひかり放ちて
	前橋市教育委員会	平成29年度前橋・高崎連携事業文化財展「東国千年の都古代上野の記憶-前橋・高崎の寺院と役所」

	前橋市教育委員会	平成 29 年度地域の特性を活かした埋蔵文化財事業大室古墳の教室考古学講演会・講座の記録 3
	前橋市教育委員会	平成 29 年度地域の特性を活かした埋蔵文化財活用事業大室古墳の教室考古学講演会・講座の記録 4
	前橋市教育委員会	国指定天然記念物-岩神の飛石保存活用計画
	前橋市教育委員会	「前橋城絵図帳-前橋市立図書館所蔵資料」
11	川越市立博物館	第 44 回企画展「蔵・倉・くら-蔵造りと川越の町並を知らう」
	川越市立博物館	第 27 回回収蔵品展「三芳野神社とその社宝」
	川越市立博物館	第 28 回回収蔵品展「戦中・戦後の川越の歩み」
	川越市立博物館	第 45 回企画展「川越とサツマイモ」(川越市立博物館)
	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会	記録と史料第 27 号
	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会	記録と史料第 28 号
	戸田市立郷土博物館	戸田市立郷土博物館研究紀要第 27 号
	戸田市立郷土博物館	戸田市立郷土博物館調査報告書第 8 集収蔵文書目録(1)
	戸田市立郷土博物館	第 33 回特別展「人生のはじまりからおわりまで」
	戸田市立郷土博物館	戸田市立郷土博物館調査報告書第 9 集「写真で見る戸田市の移り変わり」
	戸田市立郷土博物館	戸田市立郷土博物館研究紀要第 28 号
	戸田市立郷土博物館	戸田市立郷土博物館調査報告書第 10 集収蔵文書目録(2)
12	印旛郡市文化財センター	印旛郡市文化財センター年報 32 平成 27 年度
	印旛郡市文化財センター	印旛郡市文化財センター発掘調査報告書第 348 集千葉県成田市寺台城跡(第 1・2・3・4・5 次)
	印旛郡市文化財センター	印旛郡市文化財センター発掘調査報告書第 349 集千葉県長生郡一宮町待山遺跡・待山古墳群
	印旛郡市文化財センター	印旛郡市文化財センター発掘調査報告書第 350 集千葉県印西市山崎遺跡
	印旛郡市文化財センター	印旛郡市文化財センター発掘調査報告書第 351 集千葉県佐倉市井野長割遺跡(第 18・19 次)
	印旛郡市文化財センター	印旛郡市文化財センター発掘調査報告書第 352 集千葉県四街道市笹目沢 I 遺跡(第 3・4 次) 笹目沢 II 遺跡(第 3 次) 南作遺跡(第 2 次) 浮矢遺跡 I(第 2 次) 四街道市成台中土地区画整理事業地内埋蔵文化財
	印旛郡市文化財センター	印旛郡市文化財センター発掘調査報告書第 353 集千葉県山武市小泉遺跡(内山 1646 地点) -避難道路整備事業に伴う埋蔵文化財調査業務委託
	印旛郡市文化財センター	印旛郡市文化財センター発掘調査報告書第 354 集千葉県佐倉市神門房下遺跡 E 地点-佐倉市立南部中学校校舎解体に伴う埋蔵文化財調査業務委託
	印旛郡市文化財センター	印旛郡市文化財センター発掘調査報告書第 355 集千葉県佐倉市遠部台遺跡(第 9 次) -聖隷佐倉市民病院駐車場貯留槽増設に伴う埋蔵文化財調査
	印旛郡市文化財センター	印旛郡市文化財センター発掘調査報告書第 356 集千葉県印西市武西千駄苧遺跡(第 2 次調査) -武西太陽光発電施設設置に伴う埋蔵文化財調査-
	印旛郡市文化財センター	印旛郡市文化財センター年報 33-平成 28 年度-
	国立歴史民俗博物館	企画展示「デジタルで楽しむ歴史資料」
	国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告第 205 集〔共同研究〕民俗儀礼の変容に関する資料論的研究
	国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告第 206 集
	国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告第 188 集〔共同研究〕中世における儀礼テキストの総合的研究 蔵田中旧蔵文書「転法輪」中心として
	国立歴史民俗博物館	よみがえれ!シーボルトの日本博物館
	国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館要覧平成 29(2017)年度
	国立歴史民俗博物館	企画展示「URUSHI ふしぎ物語-人と漆の 12000 年史」
	国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告第 207 集〔共同研究〕高度経済成長と地域社会の変化
	国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告第 208 集〔共同研究〕先史時第における社会複雑化地域多様化の研究
	国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告第 209 集
	国立歴史民俗博物館	わくわくする研究を歴博で!国立歴史民俗博物館の共同研究紹介 VOL. 1
	国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告第 210 集〔共同研究〕中世の技術と職人に関する総合的研究
	国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告第 211 集
	国立歴史民俗博物館	企画展示「世界の眼でみる古墳文化」(国立歴史民俗博物館)
	国立歴史民俗博物館	平成 30(2018)年度国立歴史民俗博物館要覧
	国立歴史民俗博物館	「ニッポンおみやげ博物誌」(国立歴史民俗博物館)
	国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告第 212 集
	国立歴史民俗博物館	企画展示「日本の中世文書-機能と形と国際比較」(国立歴史民俗博物館)
	国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告書第 213 集〔共同研究〕日韓における青銅原料の産地の変遷に関する研究
	市立市川歴史博物館	平成 27 年度市立市川歴史博物館館報
	市立市川歴史博物館	平成 28 年度市立市川歴史博物館館報
	千葉県文書館	千葉県の文書館第 23 号

千葉県立郷土博物館	千葉県立郷土博物館研究紀要第 23 号
千葉県立郷土博物館	千葉県立郷土博物館研究紀要第 24 号千葉いまむかし No.31
野田市教育委員会	千葉県野田市平成 28 年度野田市内遺跡発掘調査報告
野田市郷土博物館	野田市郷土博物館市民会館年報・紀要第 9 号 2015 年度
野田市郷土博物館	鉄道と野田～変わりゆくまちと人々の暮らし～
野田市郷土博物館	野田市郷土博物館市民会館年報・紀要第 10 号 2016 年度
野田市郷土博物館	「野田と大杉様～地域に息づく信仰～」(野田市郷土博物館)
松戸市教育委員会	松戸市文化財調査報告書第 62 集千葉県松戸市上本郷遺跡第 8・15・16 地点発掘調査出土資料報告書(2)
松戸市教育委員会	松戸市文化財調査報告書第 63 集平成 27 年度松戸市内遺跡発掘調査報告書
松戸市教育委員会	松戸市文化財調査報告書第 64 集千葉県松戸市八ヶ崎遺跡・第 21 地点発掘調査報告書
松戸市教育委員会	千葉県松戸市小野遺跡第 34 地点発掘調査報告書
松戸市教育委員会	千葉県松戸市小野遺跡第 36 地点発掘調査報告書
松戸市教育委員会	千葉県松戸市秋山向山遺跡第 7 地点発掘調査報告書
松戸市教育委員会	下水遺跡第 13 地点発掘調査報告書
松戸市教育委員会	松戸市文化財調査報告第 65 集平成 28 年度松戸市内遺跡発掘調査報告書
松戸市教育委員会	松戸市文化財調査報告第 66 集千葉県松戸市小金城跡第 2 地点発掘調査報告書
松戸市教育委員会	小野遺跡第 38 地点発掘調査報告書
松戸市教育委員会	殿平賀向堀遺跡第 1-2 地点発掘調査報告書
松戸市立博物館	松戸市立博物館紀要第 24 号
松戸市立博物館	松戸市立博物館年報第 24 号・平成 28 年度(2016)
松戸市立博物館	平成二十九年度松戸市立博物館企画展「本土寺と戦国の社会」
松戸市立博物館	松戸市立博物館調査報告書 6 松戸市役所広報課旧蔵写真目録
松戸市立博物館	松戸市立博物館紀要第 25 号
松戸市立博物館	松戸市立博物館年報第 25 号
松戸市立博物館	市制施行 75 周年・開館 25 周年記念特別展「ガンダーラ仏教の姿と形」(松戸市立博物館)
松戸市遺跡調査会	千葉県松戸市紙敷地区遺跡群発掘調査報告書一坂之台遺跡第 2・4 地点中内遺跡第 1 地点
八街市教育委員会	八街市埋蔵文化財発掘調査報告書第 3 集八街市埋蔵文化財発掘調査報告書
13 東京都江戸東京博物館	東京都江戸東京博物館調査報告書第 32 集隅田川流域を考える一歴史と文化
東京都江戸東京博物館	東京都江戸東京博物館紀要第 7 号
東京都江戸東京博物館	特別展覧会没後 150 年「坂本龍馬」
東京都江戸東京博物館	2017 年 NHK 大河ドラマ「おんな城主直虎」特別展「戦国!井伊直虎から直政へ」
東京都江戸東京博物館	企画展「徳川将軍家へようこそ」
東京都江戸東京博物館	探検!体験!!江戸東京博物館
東京都江戸東京博物館	江戸東京博物館常設展示図録〔模型編〕一模型でみる江戸東京一
東京都江戸東京博物館	江戸東京博物館常設展示図録〔図表編〕一図表でみる江戸東京一
東京都江戸東京博物館	江戸東京博物館常設展示総合図録
東京都江戸東京博物館	Edo-Tokyo-Museum permanent exhibition catalogue
東京都江戸東京博物館	東京都江戸東京博物館紀要第 8 号
東京都江戸東京博物館	東京都江戸東京博物館調査報告書第 33 集浅草地域のあゆみⅡ・近代化と盛り場の変容-
東京都江戸東京博物館	江戸東京博物館常設展示総合図録中国語版
東京都江戸東京博物館	企画展「東京 150 年」図録(東京都江戸東京博物館)
東京都江戸東京博物館	「都市・暮らし 18 世紀の東京と北京」(東京都江戸東京博物館)
東京都江戸東京博物館	企画展「春に寿ぐ・徳川将軍家のみやび」(東京都江戸東京博物館)
お茶の水女子大学	お茶の水女子大学博物館実習報告第 32 号
河出書房新社	江戸の美術大図鑑
國學院大学考古学資料館	國學院大学文学部考古学実習報告第 51 集青森県東北町赤平(1)遺跡 2013 年度発掘調査報告書
國學院大学考古学資料館	國學院大学文学部考古学実習報告第 52 集長野県安曇野市穂高古墳群 2014 年度発掘調査報告書
國學院大学考古学資料館	國學院大学文学部考古学実習報告第 53 集群馬県吾妻郡長野原町居家以岩陰遺跡 2014 年度発掘調査報告書
國學院大学考古学資料館	國學院大学文学部考古学実習報告第 55 集・長野県安曇野市穂高古墳群 2016・2017 年度 F9 号墳発掘調査報告書
品川区立品川歴史館	品川歴史館紀要第 32 号
品川区立品川歴史館	平成 29 年度特別展「大崎・五反田・徳川幕府直轄領の村々」
品川区立品川歴史館	品川歴史館紀要第 33 号
品川区立品川歴史館	「明治維新一そのとき品川は一」
杉並区立郷土博物館	平成 29 年度特別展「石井桃子生誕 110 年記念特別展～心にのこるおくりもの～」
世田谷区立郷土資料館	旧太子堂村森家文書御用留四世田谷叢書第十一集
世田谷区立郷土資料館	平成 29 年度特別展図録「地図でみる世田谷」

世田谷区立郷土資料館	平成三十年度特別展「江戸・明治の肖像画-世田谷ゆかりの人物を中心に」
世田谷区立郷土資料館	世田谷叢書第十二集旧太子堂村森家文書御用留五
たばこと塩の博物館	たばこと塩の博物館年報第 32 号
たばこと塩の博物館	2017 年度版たばこと塩の博物館年報 (33 号)
調布市郷土博物館	はるかなる白鳳のほほえみ-深大寺釈迦如来像と寺のたから-(深大寺・調布市郷土博物館)
徳川林政史研究所	金鯨叢書第四十四輯 史学美術史論文集
徳川林政史研究所	金鯨叢書第四十五輯一史学美術史論文集一
日本博物館協会	平成 25 年度博物館総合調査に関する報告書
日本博物館協会	「博物館登録制度の在り方に関する調査研究」報告書
日本博物館協会	平成 29 年度調査研究事業博物館における多言語化対応の現状と課題
日本博物館協会	大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト安定化处理 (2018 増補版)
日本博物館協会	博物館研究 Vol.54No.2 通巻 608 号特集「博物館展示の発展と特撮映画」
府中市郷土の森博物館	府中市郷土の森博物館がいどぶっく
府中市郷土の森博物館	府中市郷土の森博物館紀要第 30 号
府中市郷土の森博物館	府中市郷土の森博物館ブックレット 20 新版武蔵府中くらやみ祭-国府祭から都市祭礼へ-
府中市郷土の森博物館	府中市郷土の森博物館紀要 2018 年第 31 号
文化庁	埋蔵文化財関係統計資料一平成 28 年度
文化庁	平成 27 年度変容の危機にある無形の民俗文化財の記録作成の推進事業 尾張・三河の花のとう
文化庁	東日本大震災の復興と埋蔵文化財保護の取組 (報告) 一発掘調査の実施と活用への取組編一
文化庁	東日本大震災の復興と埋蔵文化財保護の取組 (報告) 一発掘調査の実施と活用への取組編一
文化庁	東日本大震災の復興と埋蔵文化財保護の取組 (報告) 一行政対応編一
文化庁	東日本大震災の復興と埋蔵文化財保護の取組 (報告) 一行政対応編
文化庁	「埋蔵文化財保護行政におけるデジタル技術の導入について 1」 (報告)
文化庁	「埋蔵文化財保護行政におけるデジタル技術の導入について 1」 (報告)
文化庁	「埋蔵文化財保護行政におけるデジタル技術の導入について 1」 (報告)
文化庁	平成 28 年度日中韓文化遺産フォーラム報告書
文化庁	東日本大震災・津波で被災した文化財再生の歩み
文化庁文化財保護部伝統文化財課	文化財の観光活用に向けた VR 等の製作・運用ガイドライン
平凡社	「日本歴史大地図」日本歴史大地図 1 日本のあけぼの～天下統一の道
法政考古学会	法政考古学第 43 集
法政考古学会	法政考古学第 44 集
港区教育委員会	港区埋蔵文化財調査年報 14—平成 27 年度の調査—
港区教育委員会	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告 57 [TM1 5 6] 石見津和野藩亀井家屋敷跡遺跡発掘調査報告書Ⅲ
港区教育委員会	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告 63 [TM 1 5 7-2] 肥後熊本藩細川家屋敷跡第 2 遺跡発掘調査報告書
港区教育委員会	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告 64 愛宕下武屋敷群-旗本大鳴家・旗本水野家屋敷群遺跡-発掘調査報告書
港区教育委員会	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告 65 [TM153・TM170] 豊前小倉新田藩小笠原屋敷跡遺跡・港区No170 遺跡発掘調査報告書
港区教育委員会	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告 67 肥前佐賀藩鍋島家屋敷跡遺跡
港区教育委員会	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告 68 [TM181-4] 愛宕下武家屋敷群-陸奥一関藩田村家屋敷跡遺跡発掘調査報告書
港区立港郷土資料館	港区立港郷土資料館研究紀要 19 平成 28 年度
港区立港郷土資料館	港郷土資料館館報 35-平成 28 年度版 (2016 年度版)
山川出版社	日本史図録山川ビジュアル版
葛飾区教育委員会	平成 28 年度葛飾区埋蔵文化財調査年報
葛飾区教育委員会	平成 29 年度葛飾区埋蔵文化財調査年報
青山学院大学史学研究室	青山史学第 35 号
青山学院大学史学研究室	青山史学第 36 号
調布市教育委員会	調布市埋蔵文化財調査報告書 入間町城山遺跡一第 45 地点 (開発道路設置に伴う埋蔵文化財調査) 一
調布市教育委員会	調布市埋蔵文化財調査報告 109 東京都調布市下石原遺跡一第 135 地点 (店舗建設に伴う埋蔵文化財発掘調査) 一
調布市教育委員会	調布市埋蔵文化財調査報告 111 東京都調布市入間町城山遺跡-第 49 地点 ((仮称) 調布市入間町サービス付き高齢者向け住宅・共同住宅計画に伴う埋蔵文化財調査-
明治大学博物館	明治大学博物館研究報告第 22 号
昭和館	昭和館館報第 18 号 (平成 28 年度)
昭和館	昭和のくらし研究第 15 号
昭和館	昭和館館報第 19 号 (平成 29 年度)
昭和館	昭和のくらし研究第 16 号 2018/3

毎日新聞社	第二十八回「人間国宝新作展-重要無形文化財を保持する人々」
明治大学学芸員養成課程	MUSEUM STUDY28 2016 年度明治大学学芸員養成課程紀要
明治大学学芸員養成課程	MUSEOLOGIST32 2016 年度明治大学学芸員養成課程年報
明治大学学芸員養成課程	MUSEUMS STUDY29 2017 年度明治大学学芸員養成課程紀要
明治大学学芸員養成課程	MUSEOLOGIST33 2017 年度明治大学学芸員養成課程年報
調布市遺跡調査会	調布市埋蔵文化財調査報告 110 東京都調布市入間町城山遺跡-第 46 地点 (学校建設に伴う埋蔵文化財調査)
大田区立郷土博物館	特別展「堀越保二野町と自然をみつめた日本画家」
大田区立郷土博物館	特別展「作品の中の大田区-文士・画家の描いた風景」
日本文化財保護協会	埋蔵文化財調査要覧平成 29 年度
日本文化財保護協会	日本文化財保護協会紀要第 1 号
日本文化財保護協会	日本文化財保護協会紀要第 2 号
日本文化財保護協会	埋蔵文化財調査要覧平成 30 年度
文化庁文化財部記念物課	日本の特別史跡
株式会社吉川弘文館	日本歴史 10 月号第 833 号
株式会社吉川弘文館	日本歴史 5 月号第 840 号
株式会社吉川弘文館	日本歴史 2018 年 10 月号第 845 号
生活の友社	美術の窓/2018/2/No. 413 必見!!今年の展覧会ベスト 200
生活の友社	美術の窓 9/2014/No.372-日本の国宝・アートのちから
生活の友社	美術の窓 5 新人大図鑑 2018
生活の友社	美術の窓/2018/7/No.418 プロが教える人物画@技法講座 VOL50
生活の友社	美術の窓 2019/1/No.424-必見!!今年の展覧会 300
学習院大学大学院	GCAS-Report 学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブス学専攻研究年報第 6 号
学習院大学大学院	GCAS Report 学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブス学専攻研究年報第 7 号
葛飾区郷土と天文の博物館	葛飾区郷土と天文の博物館収蔵古書目録 2
葛飾区郷土と天文の博物館	平成 28 年度葛飾区民俗調査報告書ライフストーリーで綴る敏近郊農村の民俗と近代史 6
葛飾区郷土と天文の博物館	若松謙二さん聞き書き
葛飾区郷土と天文の博物館	平成 29 年度葛飾区郷土と天文の博物館特別展「遺跡から探る中世の低地集落」
國學院大學	國學院大學博物館學紀要第 42 輯
國學院大學	國學院大學博物館研究報告第 34 輯
國學院大學	國學院大學文学部考古学実習報告第 53 集長野県安曇野市穂高古墳群 2015 年度 F9 号墳発掘調査報告書
國學院大學	國學院大學博物館研究報告第 35 輯
津金雀仙	雀仙詩稿
津金雀仙	津金雀仙
株式会社アルバ	戦いで読む日本の歴史 2-激動の鎌倉・室町時代
経済産業省	近代化産業遺産群 33~近代化産業遺産が紡ぎ出す先人達の物語
玉堂美術館	澤乃井ままごと屋コレクション-櫛かんざし
玉堂美術館	川合玉堂写生帖〈花鳥編〉
玉堂美術館	川合玉堂写生帖〈山水〉編
玉堂美術館	「多摩の草屋」川合玉堂句歌集
艸藝社	没後 50 年川合玉堂展一時を越えよみがえる日本の自然一
艸藝社	第 60 回我孫子市民文化祭記念事業特別展「葛飾北斎とその時代」
艸藝社	鹽竈神社博物館開館五十周年記念「鹽竈神社の刀剣」図録
大石古書店	生活文化雑誌「月明」(玉堂関係記事掲載)
大石古書店	生活文化雑誌「月明」(玉堂関係記事掲載)
鷺津名都江	よもう うたおう!マザーグース (鷺津名都江)
鷺津名都江	ようこそ「マザーグース」の世界へ (鷺津名都江)
鷺津名都江	よりぬきマザーグース (鷺津名都江)
鷺津名都江	NHK 人間講座ようこそ「マザーグース」の世界へ
鷺津名都江	英国への招待マザー・グースをたずねて (鷺津名都江)
鷺津名都江	マザーグースと日本人 (鷺津名都江)
鷺津名都江	クリスマスの 12 にち (鷺津名都江)
鷺津名都江	マザー・グースをくちずさんで-英国童謡散歩- (鷺津名都江)
鷺津名都江	ししゅうでつづるマザーグース (鷺津名都江)
鷺津名都江	〔CD〕よもう うたおう!マザーグース (鷺津名都江)
東京農業大学	特別展「農の暮らしに生きた女わざ」
東京都美術館	美術館と大学と市民がつくるソーシャルデザインプロジェクト (稲庭彩和子・伊藤達矢・著)
日本都市センター	都市自治体の文化芸術ガバナンスと公民連携
中央公論美術出版	論集日本の仮面上巻 (田邊三郎助)
14 小田原市郷土文化館	小田原市郷土文化研究報告№53

小田原市郷土文化館	小田原市郷土文化館研究報告№54
神奈川県日本常民文化研究所	歴史と民俗 34 神奈川県日本常民文化研究所集 34
神奈川県日本常民文化研究所	神奈川県日本常民文化研究所 2018～2020
川崎市市民ミュージアム	川崎市市民ミュージアム紀要第 30 集
茅ヶ崎市教育委員会	神奈川県茅ヶ崎市矢畑金山遺跡・矢畑金山遺跡第 22 次調査報告
茅ヶ崎市教育委員会	茅ヶ崎市埋蔵文化財調査報告 49 市内遺跡試堀・確認調査報告 X V
東海大学	博物館学芸員課程における学びの特徴と現代社会に対応した学芸員養成教育に関する研究
東海大学	東海大学七十五年史通史篇
東海大学	東海大学七十五年史部局篇
平塚市博物館	春期特別展「ひらつかの家康伝説―由緒と地域―
平塚市博物館	平塚市博物館年報第 40 号
平塚市博物館	平塚市博物館研究報告自然と文化第 40 号
平塚市博物館	春季特別展「四之宮前鳥神社-その神興と地域の信仰」
平塚市博物館	平塚市博物館研究報告自然と文化第 41 号
平塚市博物館	平塚市博物館年報 No.41
平塚市博物館	秋季特別展「ひらつかの村絵図を読む」
藤沢市文書館	藤沢市史料集（四十一）藤沢町誕生期の議会明治 41 年度
藤沢市文書館	歴史をひもとく藤沢の資料 2 村岡地区
藤沢市文書館	藤沢市史料集（四十二）相模国鎌倉郡小塚村「御用留」（11）
藤沢市文書館	歴史をひもとく藤沢の資料 3 瀬地区
大和市	大和市史研究（第 40 号）
大和市	大和市史資料叢書 15「高下日記」第七集（昭和二十二年～昭和二十五年）
横浜市歴史博物館	横浜市歴史博物館資料目録第 25 集
横浜市歴史博物館	「丹後コレクションの世界Ⅱ歴史×妖怪×芳年-”最後の浮世絵師”が描いた江戸文化」
横浜市歴史博物館	「江戸時代の三浦半島をゆく」
横浜市歴史博物館	「横浜に稲作がやってきた!？」
横浜市歴史博物館	横浜市歴史博物館調査研究報告第 13 号-民俗に親しむ会鶴見川流域フィールドワーク調査報告Ⅱ
横浜市歴史博物館	「杉原千畝と命のビザ-シベリアを越えて」
横浜市歴史博物館	横浜市歴史博物館紀要第二十一号
横浜市歴史博物館	「和船と海運-江戸時代の和船のしくみ」
横浜市歴史博物館	文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業平成 28 年度「学校・地域・博物館をつなぐ博物館デビュー支援事業」年報
横浜市歴史博物館	「銭湯と横浜」
横浜市歴史博物館	横浜市歴史博物館資料目録第 26 集
横浜市歴史博物館	横浜市歴史博物館調査研究報告第 14 号横浜市内出土資料報告（弥生時代中期宮ノ台式期）
横浜市歴史博物館	横浜市歴史博物館紀要 VOL.22
横浜市歴史博物館	「寄木細工 Art&History―金子皓彦コレクションを中心に―
横浜市歴史博物館	「戊辰の横浜」
神奈川県立歴史博物館	神奈川県立歴史博物館研究報告―人文科学―第 44 号
大磯町郷土資料館	「吉田茂-その生涯と大磯」
大磯町郷土資料館	平成 28 年度かながわの遺跡展・巡回展「かながわの最初の現代人-旧石器時代のヒトと社会」
大磯町郷土資料館	企画展「大磯別邸城山荘―三井高棟が遺したもの」
大磯町郷土資料館	大磯町郷土資料館年報-平成 28 年度-
大磯町郷土資料館	大磯町郷土資料館資料 17-ワークショップ「海の森クラブ」の活動報告
大磯町郷土資料館	大磯町郷土資料館建物概要
大磯町郷土資料館	大磯町郷土資料館旧吉田茂邸建物概要
大磯町郷土資料館	明治の功労者-湘南社の活動と近代地方行政
寒川文書館	寒川町史調査報告書 22
寒川文書館	寒川町史研究第 29 号
綾瀬市教育委員会	綾瀬市埋蔵文化財調査報告 11 神崎遺跡範囲確認調査報告書―平成 25 年度の調査―
綾瀬市教育委員会	綾瀬市埋蔵文化財調査報告 12 地蔵坂遺跡―第 5 次調査の記録―
綾瀬市教育委員会	綾瀬市埋蔵文化財調査報告 13 綾瀬市試堀調査概報附編早川天神遺跡
横浜みなと博物館	企画展「海難と救助-信仰から SOS」
横浜みなと博物館	「ずっと港のまんやかに新港ふ頭展」（横浜みなと博物館）
横浜みなと博物館	「絵本でたのしむ海と船」〈横浜みなと博物館〉
株式会社四門	港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告 66〔TM105〕港区 No.105 遺跡
株式会社四門	東京都港区旗本妻木家敷跡発掘調査報告書
株式会社四門	神奈川県茅ヶ崎市西久保広町遺跡第 6 次調査報告

	株式会社西門 国際文化財	神奈川県茅ヶ崎市浜之郷石原 B 遺跡第 10 次調査報告 港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告 51-2 [TM156] 石見津和野藩亀井家屋敷跡遺跡発掘調査報告書IV 十日町市博物館年報第 3 号 「野首遺跡出土品のすべて」 「動物の意匠-人と生き物のかかわり」 十日町市博物館年報第 4 号 機織のムラ馬場遺跡 十日町市埋蔵文化財発掘調査報告書第 57 集野首遺跡発掘調査報告書 II (遺物編 1) 新潟県立歴史博物館研究紀要第 18 号 平成 29 年度秋季企画展「川中島の戦い上杉謙信と武田信玄」 新潟県立歴史博物館研究紀要第 19 号 新潟県立歴史博物館年報第 17 号ー平成 28 年度ー 長岡開府 400 年記念・NST 開局 50 周年記念展「徳川の栄華ー徳川家、日光東照宮・牧野家ゆかりの名品」 「え？ー近代絵画のわすれもの」 新潟市歴史博物館研究紀要第 13 号平成 29 年 3 月 平成 29 年度夏季企画展「乙女たちの歩み〜新潟の女学校と女生生〜」 新潟市歴史博物館研究紀要第 12 号 新潟市歴史博物館研究紀要第 14 号平成 30 年 3 月 「キラリ☆新潟 (美) の刀剣展」図録 (新潟市歴史博物館) 新潟開港 150 周年記念/新潟市歴史博物館・西安博物院友好提携 10 周年記念「玉と鏡の世界-西安・新潟友好交流特別展」 平成 28 年度富山市郷土博物館報 富山市郷土博物館特別展「謙信越中出馬」 富山市郷土博物館特別展「富山市の都市計画-神通川と富岩運河」
15	十日町市博物館 十日町市博物館 十日町市博物館 十日町市博物館 十日町市博物館 十日町市教育委員会 新潟県立歴史博物館 新潟県立歴史博物館 新潟県立歴史博物館 新潟県立歴史博物館 新潟県立歴史博物館 新潟市歴史博物館 新潟市歴史博物館 新潟市歴史博物館 新潟市歴史博物館 新潟市歴史博物館 新潟市歴史博物館 新潟市歴史博物館	
16	富山市郷土博物館 富山市郷土博物館 富山市郷土博物館	石川の歴史遺産セミナー講演録第 27~28 回 石川県立歴史博物館紀要第 27 号 石川県立歴史博物館年報第 19 号平成 28 年度版
17	石川県立歴史博物館 石川県立歴史博物館 石川県立歴史博物館	一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要 2016 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター年報 32-平成 28 年度 福井県埋蔵文化財調査報告第 165 集-大畑遺跡-県営経営体育成基盤整備事業 (ほ場) 岡保東部地区に伴う調査 福井県埋蔵文化財調査報告第 166 集-犬見古墳群-県道赤礁崎公園緑道道路改良工事に伴う調査 越前忽谷石-歴史と移出の論考集- これき人物シリーズ 9 紙しばい編③マジックの王様〜松旭斎天一の一代記 ふくい羽二重誕生ものがたり 福井県立若狭歴史博物館館報 (平成 28 年度) 福井県立若狭歴史博物館館報平成 29 年度 はたや記念館ゆめおーれ勝山 山梨県南アルプス市文化財年報ー平成 28 年度ー 南アルプス市埋蔵文化財ガイドブック第 2 集 Ver4「堤の原風景」 南アルプス市埋蔵文化財ガイドブック第 3 集 Ver2「遺跡カラ未来へ」 南アルプス市埋蔵文化財調査報告書第 44 集東出口遺跡住宅造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 南アルプス市埋蔵文化財調査報告書第 51 集山梨県南アルプス市平成 27 年度埋蔵文化財試掘調査報告書 山梨県南アルプス市文化財年報-平成 29 年度 南アルプス市ふるさと博物館叢書第 1 集山梨県南アルプス市上宮地横小路家文書目録
18	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター 三井紀生 福井県立こども歴史文化館 福井県立こども歴史文化館 福井県立若狭歴史博物館 福井県立若狭歴史博物館 はたや記念館ゆめおーれ勝山	
19	南アルプス市教育委員会 南アルプス市教育委員会 南アルプス市教育委員会 南アルプス市教育委員会 南アルプス市教育委員会 南アルプス市教育委員会 南アルプス市教育委員会	
20	飯田市美術博物館 飯田市美術博物館 飯田市美術博物館 飯田市美術博物館 岡谷市教育委員会 岡谷市教育委員会 諏訪市教育委員会 諏訪市教育委員会 長野県立歴史館 長野県立歴史館	飯田市美術博物館研究紀要第 27 号 2017 年 飯田市美術博物館年報第 2 7 号ー平成 2 8 年度版ー 飯田市美術博物館研究紀要第 28 号-2018 年 3 月- 飯田市地域史研究事業・民俗報告書 7-飯田・上飯田の民俗 2 岡谷市内遺跡発掘調査報告書 (概報) 平成 28 年度広畑遺跡ほか岡谷市内遺跡発掘調査報告書 岡谷市内遺跡発掘調査報告書平成 29 年度花岡城址ほか岡谷市内発掘調査報告書 諏訪市埋蔵文化財調査報告第 77 集-市内遺跡発掘調査報告書 (平成 28 年度) 長野県諏訪市内遺跡発掘調査報告書 諏訪市埋蔵文化財調査報告書第 78 集市内遺跡発掘調査報告書 (平成 29 年度) 長野県諏訪市内遺跡発掘調査報告書 長野県立歴史館研究紀要第 23 号 長野県立歴史館研究紀要第 24 号

松本市教育委員会	松本市文化財調査報告No231 殿村遺跡一第 8 次発掘調査報告書一虚空蔵山城跡一第 2・3・4 次発掘調査報告書一
松本市教育委員会	松本市文化財調査報告No232 長野県史跡小笠原氏城跡林城跡(小城)一発掘調査報告書一
松本市教育委員会	長野県松本市県町遺跡-第 16・17 次発掘調査概要報告書
松本市教育委員会	松本市文化財調査報告 No.227 長野県松本市松本城下町跡念来寺-第一次発掘調査報告書-
松本市教育委員会	松本市文化財調査報告 No.230 長野県松本市高畑遺跡-第 6 次発掘調査報告書-
松本市立博物館	松本市市制施行 110 周年記念特別展「山岳画家武井真激
飯田市教育委員会	北方西の原遺跡
飯田市教育委員会	飯田城下町遺跡-菱田春草生誕地公園整備事業に先立つ発掘調査報告書-
飯田市教育委員会	飯田城下町遺跡 遺物遺構図版編
飯田市教育委員会	飯田城下町遺跡 遺構本文編
飯田市教育委員会	飯田古墳群範囲確認調査・緊急発掘調査報告書-平成 22 年度～26 年度-
飯田市教育委員会	上山遺跡群
飯田市教育委員会	羽場獅子塚古墳-平成 24・25 年度範囲確認調査報告書
飯田市教育委員会	史跡恒川官衙遺跡保存活用計画
21 池田町教育委員会	野原仁家文書目録
大垣市教育委員会	名勝おくのほそ道の風景地大垣船町川湊保存活用計画書
大垣市教育委員会	史跡西高木家陣屋跡保存活用計画書
大垣市教育委員会	史跡西高木家陣屋跡-交代寄合美濃衆
大垣市教育委員会	全文を読み切る「奥の細道」の豊かな世界(佐藤勝明)
各務原市埋蔵文化財調査センター	各務原市埋蔵文化財調査センター年報第 25 号
各務原市埋蔵文化財調査センター	各務原市埋蔵文化財調査センター年報第 26 号
可児市教育委員会	可児市埋文調査報告 49 大森奥山 11 号古窯跡発掘調査報告書-大森地内宅地造成に伴う発掘調査報告書
可児市教育委員会	可児市埋文調査報告 50 可児市市内遺跡発掘調査報告書(H26～27 年度)
可児市教育委員会	可児市埋文調査報告 51 大萱古窯跡群発掘調査報告書Ⅱ-弥七田古窯跡
可児市教育委員会	可児市埋文調査報告 52 国史跡美濃金山城跡発掘調査概要 I
可児市教育委員会	可児市埋文調査報告 53 大森笹洞 5・6 号古窯跡発掘調査報告書-中央新幹線に伴う非常口及び換気施設、管理用道路の設置に伴う発掘調査報告書
岐阜県	岐阜県埋蔵文化財試掘・確認調査報告書-平成 21～25 年度
岐阜県博物館	平成 29 年度春季企画展「関ヶ原一天下分け目の合戦と美濃」
岐阜県博物館	平成 29 年度秋季特別展「壬申の乱の時代一美濃国・飛騨国の誕生に迫る」
岐阜県博物館	特別企画展「兼定・刀都・関の名工」(岐阜県博物館)
岐阜県博物館	平成 30 年度特別展「信長・秀吉・家康と美濃池田家-大御乳・池田恒興・輝政の戦い」(岐阜県博物館)
岐阜県文化財保護センター	岐阜県文化財保護センター調査報告書第 139 集六里遺跡・稲荷遺跡(第 1 分冊)
岐阜県文化財保護センター	岐阜県文化財保護センター調査報告書第 139 集六里遺跡・稲荷遺跡(第 2 分冊)
岐阜県文化財保護センター	岐阜県文化財保護センター調査報告書第 140 集大垣城跡・城下町
岐阜県文化財保護センター	岐阜県文化財保護センター調査報告書第 141 集政田仙道上遺跡
岐阜県文化財保護センター	岐阜県文化財保護センター調査報告書第 142 集小洞古墳群
岐阜市教育委員会	平成 27 年度岐阜市市内遺跡発掘調査報告書
岐阜市教育委員会	長良川鶴飼習俗調査報告書Ⅲ
岐阜市教育委員会	長良川鶴飼習俗調査報告書Ⅳ
岐阜市教育委員会	平成 28 年度岐阜市市内遺跡発掘調査報告書
岐阜市歴史博物館	特別展「葵の時代一徳川将軍家と美濃」
岐阜市歴史博物館	岐阜市歴史博物館年報 No.31(平成 28 年度)
岐阜市歴史博物館	特別展「レオナルド・ダ・ヴィンチ展」
岐阜市歴史博物館	美濃国方県郡真福寺村大野家文書目録
岐阜市歴史博物館	「絆な古伊万里一江戸好みのうつわデザイン」
岐阜市歴史博物館	特別展「長良川が育む竹の造形和紙の彩一岐阜の伝統工芸とわざー」
岐阜市歴史博物館	平成 29 年度岐阜市歴史博物館年報 No.32
関市教育委員会	関市文化財調査報告第 36 号末洞遺跡
関市教育委員会	関市文化財調査報告第 38 号関市市内遺跡発掘調査報告書第 1 部市内遺跡発掘調査平成 25～26 年度第 2 部国指定史跡弥勒寺官衙遺跡群弥勒寺東遺跡Ⅳ
関市教育委員会	関市文化財調査報告第 39 号関市埋蔵文化財調査報告書
関市教育委員会	関市文化財調査報告第 41 号関市埋蔵文化財発掘調査報告書平成 24・25 年度
関市教育委員会	関市文化財調査報告第 40 号関市市内遺跡発掘調査報告書平成 27 年度
多治見市教育委員会	大針 15 号窯発掘調査報告書-多治見市埋蔵文化財発掘調査報告書第 95 号
多治見市教育委員会	多治見の文化財改訂第 9 版
多治見市教育委員会	砂田・総作遺跡笠原町神戸・栄区土地区画整理事業発掘調査報告書第 1 分冊一多治見市埋蔵文化財発掘調査報告書第 96 号一

多治見市教育委員会	権現遺跡笠原町神戸・栄区土地区画整理事業発掘調査報告書第2分冊一多治見市埋蔵文化財発掘調査報告書第96号一 垂井町遺跡詳細分布調査報告書(1)
垂井町教育委員会	平成27・28年度土岐市市内遺跡発掘調査報告書
土岐市教育委員会	中山1号窯跡発掘調査報告書
土岐市教育委員会	浅野館跡試堀確認調査報告書一第5次調査一
土岐市教育委員会	平成23~27年度妻木平遺跡試堀確認調査報告書
土岐市美濃陶磁歴史館	特別展「お茶と美濃焼」
土岐市美濃陶磁歴史館	特別展「瀬戸物として売られた美濃焼-江戸時代の焼物生産と販売」(土岐市美濃陶磁歴史館)
内藤記念くすり博物館	2017年度企画展図録「進化するくすり」
内藤記念くすり博物館	2018年度企画展図録「くすり創りの歴史」
瑞浪市教育委員会	瑞浪市文化財調査報告書第13集櫻堂薬師所蔵文書等調査報告書
瑞浪市教育委員会	瑞浪市埋蔵文化財調査報告書第7集笹山遺跡一緊急雇用創出事業による埋蔵文化財発掘調査報告書一
瑞浪市教育委員会	瑞浪市埋蔵運化財調査報告書第9集瑞浪市市内遺跡調査報告書一平成12・17~19年度一
瑞浪市教育委員会	瑞浪市埋蔵文化財調査報告書第10集瑞浪市市内遺跡調査報告書一平成20~22年度一
美濃加茂市民ミュージアム	美濃加茂市民ミュージアム紀要第16集
みのかも文化の森	平成29年度の活用に向けて みのかも文化の森/美濃加茂市民ミュージアム活用の手引き・活用実践集 平成28年度版 美濃加茂地区方言集
みのかも文化の森	みのかも文化の森年報 Vol.17 2016年度
みのかも文化の森	まちのいいものよいところ-山之上-展展示図録
みのかも文化の森	美濃加茂市資料調査報告 NO.1 佐野一彦所蔵資料目録(書簡の部)
みのかも文化の森	美濃加茂市民ミュージアム紀要第17集
みのかも文化の森	~平成30年度の活用に向けて~みのかも文化の森/美濃加茂市民ミュージアム活用の手引き・活用実践集平成29年度版
みのかも文化の森	みのかも文化の森年報 Vol.18-2017年度
中山道広重美術館	歌川広重東海道五十三次保永堂版行書版隷書版
養老町教育委員会	養老町埋蔵文化財調査報告書第11集-養老町埋蔵文化財試堀確認立会調査報告書平成24~27年度の調査の成果
養老町教育委員会	養老町埋蔵文化財調査報告書第10集-竜泉寺廃寺跡分布測量調査報告書
海津市歴史民俗資料館	海津市歴史民俗資料館報平成29年度号(No17)
瑞浪市陶磁資料館	特別展「人間国宝加藤孝造陶・画の世界」
瑞浪市陶磁資料館	瑞浪市歴史資料集第4集
瑞浪市陶磁資料館	瑞浪市陶磁資料館研究紀要第17号第一分冊
瑞浪市陶磁資料館	瑞浪市陶磁資料館研究紀要第17号第二分冊
瑞浪市陶磁資料館	瑞浪市陶磁資料館年報第35号(平成27/28年度)
株式会社イビソク	神奈川県秦野市 草山遺跡2016-09地点 発掘調査報告書
株式会社イビソク	岐阜県関市寺前遺跡-第9次発掘調査報告書
下呂市教育委員会	下呂市文化財調査報告書第7集下呂市遺跡詳細分布調査報告書
荒川豊蔵資料館	荒川豊蔵資料館展示収蔵品図録V茶碗尽くし
荒川豊蔵資料館	豊蔵陶房および居宅公開記念特別展「染野コレクションより"荒川志野"に魅せられて」
荒川豊蔵資料館	荒川豊蔵資料館展示収蔵品図録VI「豊蔵の陶画」
海津市教育委員会	岐阜県海津市文化財調査報告書第1冊海津市内遺跡詳細分布調査報告書平成20~23年度国庫補助事業
海津市教育委員会	岐阜県海津市文化財調査報告書第1冊海津市遺跡地図平成20~23年度国庫補助事業
海津市教育委員会	岐阜県海津市文化財調査報告書第2冊円満寺山古墳群第2次~第7次範囲確認調査成果報告書
澤島謙司	西町攀鱗閣バンザイ!! 岐阜県垂井町西町の祭礼を支えた人々
濃尾・各務原地名文化研究会	濃尾・各務原地名文化研究会会報「跡」第3号(平成29年度版)
岐阜県博物館協会	岐阜県博物館協会創立50周年記念誌
岐阜県可児市観光経済部	美濃桃山陶の聖地
22 新居関所史料館	新居関所史料館・旅籠紀伊国屋資料館年報平成28・29年度
磐田市教育委員会	特別史跡遠江国分寺跡整備基本計画-わたしたちの国分寺公園
磐田市教育委員会	平成27年度国庫及び県費補助事業に伴う市内遺跡発掘調査事業-静岡県磐田市市内遺跡確認調査報告書
磐田市教育委員会	特別史跡遠江国分寺跡-本編補遺・遺物資料編
磐田市教育委員会	平成28年度国庫及び県費補助事業に伴う市内遺跡発掘調査等事業静岡県磐田市市内遺跡発掘調査報告書
静岡市立芹沢銈介美術館	芹沢銈介の収集6仏画・仏像・神像
静岡市立芹沢銈介美術館	芹沢銈介の作品2018
静岡市立芹沢銈介美術館	芹沢銈介の収集7仮面

静岡市立登呂博物館	静岡市立登呂博物館館報第 23 号 (平成 28 年度)
静岡市立登呂博物館	静岡県立登呂博物館館報第 24 号 (平成 29 年度)
島田市博物館	島田市博物館年報・紀要第 14 号 (平成 27 年度)
島田市博物館	島田市博物館年報・紀要第 15 号 (平成 28 年度)
島田市博物館	島田市博物館年報・紀要第 16 号
沼津市歴史民俗資料館	沼津市歴史民俗資料館資料集 30 古文書 (17) 足保区有文書目録
沼津市歴史民俗資料館	沼津市博物館紀要 41
沼津市歴史民俗資料館	企画展「いのりの海一國指定漁具コレクション信仰・儀礼用具」(沼津市歴史民俗資料館)
沼津市歴史民俗資料館	沼津市歴史民俗資料館
沼津市歴史民俗資料館	沼津市歴史民俗資料館資料集 31 駿東郡原町誌 (原町誌稿)
沼津市歴史民俗資料館	企画展「沼津のひもの・かつおぶし-国指定漁具コレクション水産加工用具」(沼津市歴史民俗資料館)
浜松市博物館	浜松市博物館報第 29 号
浜松市博物館	特別展「遠江の木喰仏」
浜松市博物館	佐久門の林業と山村生活の用具
浜松市博物館	平成 28 年度浜松市博物館テーマ展「井伊直虎と湖北の戦国時代」特別講座収録集
浜松市博物館	明治 150 年記念浜松市博物館特別展「遠州報告隊一知られざる幕末尊王志士たち」
浜松市博物館	浜松市博物館報第 30 号
浜松市博物館	木簡学会静岡研究集会東海の地方官衙と木簡伊場木簡の再評価を中心に愛知県・静岡県関係古代木簡集成 (稿)
浜松市教育委員会	宮口における遺跡の調査一北新屋 B 古墳群・大屋敷古窯遺跡・譲栄Ⅲ遺跡・北新屋遺跡
浜松市教育委員会	芝本遺跡
浜松市教育委員会	浜松城下町遺跡
浜松市教育委員会	笠井西浦遺跡
浜松市教育委員会	宮竹野遺跡 7
浜松市教育委員会	井伊氏一族の拠点一井伊城と周辺の城館一
浜松市教育委員会	戦国時代における井伊氏の本拠地一井伊谷の歴史景観一
浜松市教育委員会	平成 28 年度浜松市文化財調査報告
浜松市教育委員会	二俣城跡・鳥羽山城跡総合調査報告書
浜松市教育委員会	浜松における中世城館の調査
浜松市教育委員会	恒武西宮遺跡 6
焼津市歴史民俗資料館	焼津市歴史民俗資料館年報 30—平成 27 年度
焼津市歴史民俗資料館	焼津市歴史民俗資料館年報 31—平成 28 年度一
焼津市歴史民俗資料館	焼津市歴史民俗資料館年報 32—平成 29 年度
菊川市教育委員会	菊川市文化財年報・第 9 号・市内遺跡確認調査報告書 (平成 27 年度)
菊川市教育委員会	菊川市文化財年報・第 10 号・市内遺跡確認調査報告書 (平成 28 年度)
菊川市教育委員会	菊川市埋蔵文化財調査報告書第 18 集・鹿島・打上遺跡・第 14 次・発掘調査報告書 (市単独市道改良整備事業打上堀田線に伴う発掘調査) 平成 30 年度
静岡市東海道広重美術館	平成 28 年度静岡市東海道広重美術館年報
静岡市東海道広重美術館	平成 29 年度静岡市東海道広重美術館年報
伊豆の国市	韭山城跡「百年の計」きわめる・つたえる・いかす郷土の誇り
23 一宮市	[DVD] 一宮市広報「I LOVE いちのみや-この夏、博物館・美術館へ遊びに行きませんか」
一宮市教育委員会	平成 28 年度いちのみやの社会教育
一宮市教育委員会	平成 26 年度一宮市の教育
一宮市教育委員会	平成 29 年度いちのみやの社会教育
名古屋画廊	中西夏之-生命の維持体としての (白)
名古屋画廊	大澤鉦一郎画集
名古屋画廊	虚ろの私景-八島正明画集
名古屋画廊	中西夏之展-緩やかにみつめる時間のために
名古屋港水族館	名古屋港水族館開館 25 周年記念「新着!海の生き物レター集Ⅱ」
名古屋市教育委員会	伊勢山中学校遺跡発掘調査報告書 (第 11 次)
名古屋市教育委員会	名古屋市中区富士見町遺跡第 9 次発掘調査報告書
名古屋市教育委員会	名古屋市熱田区尾張元興寺跡第 16 次発掘調査報告書
名古屋市教育委員会	名古屋市文化財調査報告 96 埋蔵文化財調査報告書 79 特別史跡名古屋城跡本丸御殿跡 (第 9 次)
名古屋市教育委員会	名古屋市文化財調査報告 95 埋蔵文化財調査報告書 78 幅下遺跡 (第 5 次)
名古屋市教育委員会	名古屋市文化財調査報告 94 埋蔵文化財調査報告書 77 志段味古墳群Ⅲ一志段味大塚古墳の副葬品一
名古屋市教育委員会	尾張戸神社調査報告書一敷瓦・棟札の調査
名古屋市教育委員会	名古屋城三の丸遺跡第 12 次発掘調査報告書 (中央新幹線名城非常口地点)
名古屋市教育委員会	長久寺遺跡一金城学院中学校建築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査

名古屋市教育委員会	名古屋市中区名古屋城三の丸遺跡第 13 次発掘調査報告書～中央新幹線名城非常口新設に伴う埋蔵文化財発掘調査
名古屋市教育委員会	名古屋市歴史文基本構想私たちのまちの文化財「知る」「伝える」「活かす」
名古屋市教育委員会	名古屋市歴史文基本構想私たちのまちの文化財「知る」「伝える」「活かす」資料集 1
名古屋市教育委員会	名古屋市歴史文基本構想-私たちのまち文化財「知る」「伝える」「活かす」資料集 2
名古屋市教育委員会	名古屋市文化財調査報告 99 埋蔵文化財調査報告書 82H-95 号案
名古屋市博物館	名古屋市博物館研究紀要第 40 巻 2017
名古屋市博物館	名古屋市博物館資料叢書 3 猿猴庵の本東街便覧図略巻六
名古屋市博物館	特別展「北斎だるせん！」図録
名古屋市博物館	名古屋市博物館研究紀要第 41 巻 2018
名古屋市博物館	名古屋市博物館資料叢書 3-24 猿猴庵の本東街便覧図略第七
名古屋市博物館	企画展「博物館イキ！」(名古屋市博物館)
名古屋市博物館	特別展「海たび・尾張・知多の海とひとびと」
名古屋市博物館	特別展「画僧月僊」(名古屋市博物館)
名古屋市博物館	「挑む浮世絵-国芳から芳年へ」(名古屋市博物館)
名古屋市秀吉清正記念館	名古屋市秀吉清正記念館特別陳列「天下人と神」解説目録
名古屋市秀吉清正記念館	特別陳列「秀吉清正記念館名品展」解説図録
名古屋市蓬左文庫	「米騒動絵巻-描かれた大正の名古屋」(名古屋市蓬左文庫)
名古屋市蓬左文庫	名古屋市蓬左文庫所蔵資料目録(1)『青窓紀聞』目次「幕末維新書簡集」内訳目録
名古屋市蓬左文庫	徳川美術館蓬左文庫開館 80 周年記念秋季特別展日韓国交正常化 50 周年記念「豊かなる朝鮮王朝の文化-交流の遺産-
名古屋市見晴台考古資料館	名古屋市見晴台考古資料館年報 33 2015(平成 27)年度事業報告
名古屋市見晴台考古資料館	名古屋市見晴台考古資料館年報 34 2016(平成 28)年度事業報告
名古屋城管理事務所	名勝名古屋城二之丸庭園発掘調査報告書第 1 次(2013)～第 3 次(2015)
名古屋芸術大学	2014 年度名古屋芸術大学アート&デザインセンター企画展「多彩なデザインの現場から」
名古屋芸術大学	2015 年度アート&デザインセンター企画展 これまでの客員教授から見えてくる「名芸のデザイン」
名古屋芸術大学	2015 年度アート&デザインセンター企画展「佐喜眞美術館のスタンス～丸木位里・俊、ケーテ・コルヴィッツを中心に」展
名古屋ポストン美術館	「Bridg of Arts-美の架け橋」
名古屋ポストン美術館	美の流跡とその遡航 1999～2018
愛知学院大学文学部	愛知学院大学文学部紀要第 47 号
愛知学院大学文学部	愛知学院大学文学部紀要第 48 号
愛知県	市町村沿革史-地方自治法施行 70 周年記念-
愛知県	市町村沿革史-地方自治法施行 70 周年記念
愛知県	愛知県史別編文化財 5 工芸
愛知県教育委員会	平成 28 年熊本地震による古墳の被災状況について
愛知県教育委員会	埋蔵文化財保護行政におけるデジタル技術の導入について 2(報告)
愛知県教育委員会	東アジアにおける石製農具の使用痕研究
愛知県教育委員会	「水中遺跡保護の在り方について」(報告)
愛知県教育委員会	第 2 期愛知県生涯学習推進計画～自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会(平成 30 年度～平成 34 年度)
愛知県教育委員会	第 2 期愛知県生涯学習推進計画～自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会概要版(平成 30 年度～平成 34 年度)
愛知県教育委員会	尾張名所図会今昔探訪尾張の歴史シリーズ第 5 集
愛知県社会科教育研究会尾張支部会	愛知県史通史編 2 中世 1
愛知県総務部法務文書課史編さん室	愛知県史通史編 3 中世 2・織豊
愛知県総務部法務文書課史編さん室	愛知県史研究第 22 号
愛知県埋蔵文化財センター	愛知県埋蔵文化財センター研究紀要第 18 号
愛知県埋蔵文化財センター	愛知県埋蔵文化財センター年報平成 29 年度
愛知県埋蔵文化財センター	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第 210 集一宮下遺跡・下懸遺跡Ⅱ・五反田遺跡・惣作遺跡Ⅲ
愛知県埋蔵文化財センター	[CD-ROM]愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第 210 集宮下遺跡・下懸遺跡Ⅱ・五反田遺跡・惣作遺跡Ⅲ
愛知県埋蔵文化財センター	愛知県埋蔵文化財センター研究紀要第 19 号
愛知大学総合郷土研究所	愛知大学総合郷土研究所ブックレット 26 江戸時代の地方役人と村人の日常的日々「三河国八名郡岡部藩半原陣屋御用状留帳を読む」
愛知大学総合郷土研究所	愛知大学総合郷土研究所紀要第 62 輯
愛知大学総合郷土研究所	愛知大学総合郷土研究所紀要第 63 輯
愛知大学総合郷土研究所	愛知大学総合郷土研究所ブックレット 27 歴史の中の東海地震・リアル
愛知大学総合郷土研究所	愛知大学総合郷土研究所所蔵分書目録-三河国渥美郡(1)
愛知大学総合郷土研究所	愛知大学総合郷土研究所ブックレット 28 平湯今昔物語-奥飛騨の温泉と伝説と祭り
愛知大学総合郷土研究所	愛知大学総合郷土研究所紀要第 64 輯

愛知大学博物館愛知大学課程	博物館学芸員課程年報第 22 号
愛知大学博物館学芸員課程	博物館学芸員課程年報第 23 号
愛知学院大学	愛知学院大学考古学発掘調査報告 23-愛知県新城市川路萩平遺跡 A 地点隣接地発掘記録 3
愛知学院大学	愛知学院大学考古学発掘調査報告 24-大萱窯跡群弥七田窯跡第 1 次調査発掘調査概要報告書
愛知学院大学	愛知学院大学考古学発掘調査報告 25 愛知県新城市川路萩平遺跡 A 地点隣接地発掘調査記録 4
愛知学院大学	愛知学院大学考古学発掘調査報告 26 岐阜県可児市大萱窯跡群弥七田窯跡第 1・2 次発掘調査概要報告書
愛甲昇寛	稲沢の民具生活用具編
愛甲昇寛	稲沢の民具農業資料篇
愛甲昇寛	稲沢の民具養蚕資料編
愛甲昇寛	下津史料集
愛甲昇寛	市制三十周年記念稲沢の文化財展
愛甲昇寛	愛知県指定無形民俗文化財祖父江の虫送り
愛甲昇寛	稲沢の美術
愛甲昇寛	塔の越遺跡発掘調査報告書(Ⅲ) 稲沢市長野町地内都市計画道路改築に伴う発掘調査
愛甲昇寛	稲沢市文化財調査報告 XLVⅢ稲沢市内遺跡発掘調査(Ⅵ) 稲沢市都市計画道路整備事業に伴う試掘調査
愛甲昇寛	稲沢市文化財調査報告 XLIX 稲沢市内遺跡発掘調査報告書(Ⅶ) 尾張国分寺跡第 7 次調査
愛甲昇寛	稲沢市文化財調査報告 L 稲沢市内遺跡発掘調査報告書(Ⅷ) 尾張国分寺跡第 8 次調査
愛甲昇寛	稲沢市文化財調査報告 LⅡ 稲沢市内遺跡発掘調査報告書(Ⅹ) 尾張国分寺跡第 10 次調査
愛甲昇寛	稲沢市文化財調査報告 LⅢ 稲沢市内遺跡発掘調査報告書(ⅩⅠ) 尾張国分寺跡第 11 次調査
愛甲昇寛	稲沢市文化財調査報告 LV 稲沢市内遺跡発掘調査報告書(ⅩⅢ) 尾張国分寺跡第 13 次調査
愛甲昇寛	新宮前遺跡発掘調査報告書一稲沢市平和町地内工場用地造成事業に伴う発掘調査
愛甲昇寛	陸田白山遺跡発掘調査報告書一陸田工業団地造成事業に伴う発掘調査報告一
愛甲昇寛	稲沢市内遺跡発掘調査報告書(ⅩⅠⅠ) 一尾張国分寺跡第 12 次調査一
愛甲昇寛	稲沢市文化財調査報告 LⅠ 稲沢市内遺跡発掘調査報告書(ⅠⅩ) 一尾張国分寺跡第 9 次調査一
愛甲昇寛	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第 182 集-松崎遺跡Ⅱ上浜田遺跡
愛甲昇寛	特別史跡名古屋城跡本丸搦手馬出石垣修復工事発掘調査報告書
愛甲昇寛	名古屋市文化財調査報告 69 埋蔵文化財調査報告書 54 朝日遺跡(第 13・14・15 次)
愛甲昇寛	名古屋市文化財調査報告 61 埋蔵文化財調査報告書 47 高蔵遺跡(第 35 次～第 38 次・1 第 40 次・第 41 次)
愛甲昇寛	熱田 B 遺跡発掘調査報告書
愛甲昇寛	稲沢市文化財調査報告 LⅡ 愛知県稲沢市稲沢市内遺跡発掘調査報告書(Ⅹ) 尾張国府寺跡第 10 次調査
愛甲昇寛	愛知県稲沢市船橋市場遺跡発掘調査報告書市道 7721 号線築造事業に伴う発掘調査
愛甲昇寛	稲沢市文化財調査報告 LVI 愛知県稲沢市尾張国分寺跡発掘調査総括報告書(Ⅰ) 第 1 次～第 13 次調査総括・第 14 次調査
愛甲昇寛	平成 17 年度稲沢市遺跡分布調査抄録
愛甲昇寛	稲沢市文化財調査報告 LX 愛知県稲沢市稲沢市内遺跡発掘調査概要報告書(Ⅳ) 史跡尾張国分寺跡第 18 次調査
愛甲昇寛	稲沢市文化財調査報告 LXⅠ 愛知県稲沢市稲沢市内遺跡発掘調査概要報告書(Ⅴ) 史跡尾張国分寺跡第 19 次調査
愛甲昇寛	元興寺文化財研究所研究報告 2014
愛甲昇寛	元興寺文化財研究所研究報告 2007
愛甲昇寛	元興寺文化財研究所研究報告 2013
愛甲昇寛	西尾市埋蔵文化財発掘調査報告書第 21 集 旧法応寺墓所
愛甲昇寛	西尾市悉皆調査報告七社寺文化財(建造物Ⅳ) 報告書神社(三和・室場・福地・平坂・寺津地区)
愛甲昇寛	滋賀県指定文化財・美術工芸品・
愛甲昇寛	小野の文化財
愛甲昇寛	五輪塔の研究平成四年度調査概要報告
愛甲昇寛	元興寺古瓦調査報告書
愛甲昇寛	織田・豊臣政権研究文献目録(1998 年 3 月現在)
愛甲昇寛	瑞浪市歴史資料集第 2 集
愛甲昇寛	紀ノ川流域堤防井堰等遺跡調査報告書Ⅱ(那賀郡編)
愛甲昇寛	尾張元興寺跡第 7 次発掘調査の概要
愛甲昇寛	名古屋市見晴台考古資料館研究紀要第 10 号
愛甲昇寛	尾張古代史セミナー(7) 一遺跡と道一
愛甲昇寛	文化財第二集扶桑町の金・石像碑

愛甲昇寛 稲沢市史料第 26 編 路傍の石仏調査報告書Ⅱ一千代田・大里地区一
 愛甲昇寛 稲沢市史料第 25 編 路傍の石仏調査報告書Ⅰ一稲沢、小正・下津、明治地区一
 愛甲昇寛 師勝の民俗誌
 愛甲昇寛 和歌山県文化財センター年報 1999
 愛甲昇寛 愛知大学総合郷土研究所ブックレット 23 戦国時代の東三河牧野氏戸田氏
 愛甲昇寛 愛知点描十五話
 愛甲昇寛 尾張国解文論集
 愛甲昇寛 京極氏の城・まち・寺一北近江戦国史
 愛甲昇寛 秋季特別展「たけふの工芸展指定文化財を中心にして」
 愛甲昇寛 平成 21 年度文化庁美術館・博物館活動基盤整備支援事業伊勢湾台風 50 年見て・聞いて・
 話す一語り継ぐ地域の歴史
 愛甲昇寛 紀伊考古学研究創刊号
 愛甲昇寛 紀伊考古学研究第 5 号
 愛甲昇寛 紀伊考古学研究第 6 号
 愛甲昇寛 紀北考古学談話会会報合冊 2 (№13～№24)
 愛甲昇寛 高浜の絵馬
 愛甲昇寛 猿投出土陶・三彩と緑釉陶
 愛甲昇寛 東三河の文化財
 愛甲昇寛 オープン記念特別展「梵鐘の音は時を越えて～河内鑄物師の世界～」
 愛甲昇寛 寺宝目録一付・長林寺と七不思議伝説
 愛甲昇寛 豊田市文化財叢書 31 豊田の文化財
 愛甲昇寛 「文字のチカラ-古代東海の文字世界」
 愛甲昇寛 岡崎古絵地図集
 愛甲昇寛 楽しくわかるガイドブックシリーズ 4 知ってる? 正倉院 (遣唐編)
 愛甲昇寛 岡崎市制 100 周年記念「親善都市福山の文化財展」
 愛甲昇寛 大治町文化財展
 愛甲昇寛 豊田市郷土資料館特別展「新豊田の文化財展」
 愛甲昇寛 埼玉県立博物館展示品図録-1971.11～1972.3
 愛甲昇寛 平成 26 年度名古屋市博物館特別展「三英傑と名古屋」
 愛甲昇寛 「中華人民共和国南京博物院展」
 愛甲昇寛 名古屋市博物館資料叢書 3-15 猿猴庵の本御嶽祭真景図略三
 愛甲昇寛 名古屋市博物館資料叢書 3 猿猴庵の本-笠寺出現宝塔絵詞伝
 愛甲昇寛 **COURTLYSPLENDOR Twelve Centuries of Treasures from JAPAN**
 愛甲昇寛 特別展「奥三河のくらしと花祭・田楽」
 愛甲昇寛 天台宗開宗 1200 年記念特別展「比叡山と東海の至宝-天台美術の精華」
 愛甲昇寛 特別展「四国三十三所-観音霊場の祈りと美」
 愛甲昇寛 企画展「織田氏と尾張」
 愛甲昇寛 特別展「東海百観音名宝展」
 愛甲昇寛 企画展「小栗鉄次郎-戦火から国宝を守った男」
 愛甲昇寛 特別展「三井寺秘宝展」
 愛甲昇寛 黄金と佗び「秀吉」
 愛甲昇寛 吉田富夫コレクション第 6 回収蔵品展
 愛甲昇寛 特別展「尾張にみる阿弥陀如来」
 愛甲昇寛 特別展「本丸御殿の至宝重要文化財名古屋城障壁画」
 愛甲昇寛 企画展「経塚出土陶磁展-関東・北陸地方に埋納されたやきもの」
 愛甲昇寛 「大須観音真福寺文庫展」
 愛甲昇寛 特別展「信玄と謙信-描かれ続ける川中島合戦」
 愛甲昇寛 名古屋市見晴台考古資料館特別展「土に眠る和鏡-尾張・三河の出土例から」
 愛甲昇寛 美術を遊ぶ展
 愛甲昇寛 特別展図録「岡崎の古刹法蔵寺その歴史と美術」
 愛甲昇寛 特別展「定光寺宝物展-定光寺からみる瀬戸の歴史」
 愛甲昇寛 歴史写真集名古屋再発見
 愛甲昇寛 開学 60 周年記念誌中京大学六十年のあゆみ
 愛甲昇寛 2009 年度後期展示「江戸時代の東本願寺造営-両堂再建の歴史を探る」
 愛甲昇寛 企画展「熱田の歴史と文化財」
 愛甲昇寛 特別展「日本の鏡」
 愛甲昇寛 平 15 年度春季特別展「坪井良平～梵鐘研究に捧げた生涯」
 愛甲昇寛 平成 16 年度春季特別展「河内国から摂津国へ～山河(川)姓鑄物師の足跡を追って」
 愛甲昇寛 企画展「法華経の美術」
 愛甲昇寛 特集陳列徳川家康没後四百年記念「徳川将軍家と京都の神社-智恩院を中心に」
 愛甲昇寛 2015 年度前期展示「三河土呂の連如忌-本願寺連如生誕 600 年記念」

愛甲昇寛 平成 19 年度特別展「文字を記す一硯と墨書一」
 愛甲昇寛 特別展「若狭の秘仏」
 愛甲昇寛 開館 5 周年記念特別展「一乗谷と中世都市まちなみとくらしの復元」
 愛甲昇寛 第 2 企画展「石の鬼一乗谷の笏谷石」
 愛甲昇寛 第 5 回特別展「古鏡の美-出土鏡を中心に」
 愛甲昇寛 若狭湾と中世の海の道-若狭湾の浦浦と日本海流通
 愛甲昇寛 「筐・笥・箱」
 愛甲昇寛 神奈川芸術祭特別展「鎌倉時代の密教儀式」
 愛甲昇寛 特別展「日本のかがみ」生活の中の道具
 愛甲昇寛 古地図の世界Ⅶ-巡礼図
 愛甲昇寛 岐阜白鳥町の彫刻-白山信仰と造形
 愛甲昇寛 和紙の美-天平から江戸
 愛甲昇寛 李朝の美-仏画と梵鐘
 愛甲昇寛 釈迦如来牽判集成
 愛甲昇寛 企画展「群馬の古鏡」
 愛甲昇寛 特別展図録「国宝・重要文化財によるみちのくの名宝」
 愛甲昇寛 神奈川県立博物館総合案内
 愛甲昇寛 第 21 回企画展市制 50 周年開館 10 周年記念「天命鑄物展」
 愛甲昇寛 よみがえる秘宝中尊寺金色堂
 愛甲昇寛 特別展「来世への旅立ち」
 愛甲昇寛 新潟県立歴史博物館平成 16 年度秋季企画展「越後佐渡の古代ロマン-行き交う人々の姿
 を求めて」
 愛甲昇寛 粟島の板碑文化
 愛甲昇寛 岩手の獅子頭
 愛甲昇寛 藤澤一夫先生古稀記念古文化論叢
 愛甲昇寛 梵鐘をたずねて-新羅・高麗・李朝の鐘
 愛甲昇寛 曙光の時代-ドイツで開催した日本考古展
 愛甲昇寛 企画展「荒新切遺跡展-西中遺跡群と新出土品」
 愛甲昇寛 大和川今池遺跡
 愛甲昇寛 史跡玉丘古墳群
 愛甲昇寛 武蔵国江戸時代梵鐘拓影集成
 愛甲昇寛 市民が選んだ郷土の人々
 愛甲昇寛 紀北考古学談話会会報合冊 3
 愛甲昇寛 梵鐘遍歴
 愛甲昇寛 貨幣の歴史と江戸時代の銭勘定一宮市税務署での話
 愛甲昇寛 I, ルーマニア、ブルガリアに古代ギリシャ陶器をもとめてII 薬師寺金堂本尊脇侍菩薩
 像装身具嵌入ガラス板
 愛甲昇寛 奈良を掘る
 愛甲昇寛 江戸東京梵鐘銘文集
 愛甲昇寛 熊谷幸次郎先生手拓日本古鐘銘拓本目録
 愛甲昇寛 考古学論究第 6 号
 愛甲昇寛 聖者の推参
 愛甲昇寛 特別展「台所の考古学食をめぐる知恵の歴史」
 愛甲昇寛 名古屋市博物館研究報告Ⅱ尾張地域の考古資料に関する文献資料調査(一)
 愛甲昇寛 名古屋市博物館研究報告Ⅱ尾張地域の考古資料に関する文献資料調査(二)「瓦礫舎」
 愛甲昇寛 幸田町寺社文化財調査報告第 2 集愛知郡額田郡幸田町深溝松平家菩提寺瑞雲山本光寺文
 化財調査総合報告
 愛甲昇寛 論苑考古学
 愛甲昇寛 考古学の諸相
 愛甲昇寛 考古学集刊第 1 巻~4 巻
 愛甲昇寛 熱田神宮所蔵国宝・重要文化財刀剣押形集
 愛甲昇寛 熱田神宮所蔵名刀押形集-県文・古刀編(Ⅰ)
 愛甲昇寛 熱田神宮所蔵名刀押形集-古刀編(Ⅱ)
 愛甲昇寛 天下長久山國土安穩寺貞龍院殿妙経日敬大姉墓所の調査
 愛甲昇寛 紀伊國金石文集成一統編一
 愛甲昇寛 東寺靈寶帖
 愛甲昇寛 尾張藩ノ給知制
 愛甲昇寛 朝日遺跡第 14・15 次発掘調査の概要
 愛甲昇寛 本願寺
 愛甲昇寛 本證寺
 愛甲昇寛 日本のなかの朝鮮文化 27 号

愛甲昇寛	初公開・市河文書の世界 釧路市指定文化財 市河文書公開展～幻の軍師山本勘助の発見～
愛甲昇寛	愛知の博物館
愛甲昇寛	定勝寺
愛甲昇寛	長谷多武峯
愛甲昇寛	合併記念企画展「ふるさと桑名の文化財」
愛甲昇寛	東海市指定有形文化財宝珠寺観音堂保存修復工事報告書
愛甲昇寛	若木ヶ丘の歩けオロチー～フィールドワークの足跡を辿って～
愛甲昇寛	達磨寺石塔埋納遺構
愛甲昇寛	勸修寺善本影印集成
愛甲昇寛	宇治の碑～路傍の語り部たち～
愛甲昇寛	拓本展「東国の図像板碑」図録
愛甲昇寛	鹿園雑集奈良国立博物館研究紀要創刊号
愛甲昇寛	戦国期室町幕府と在地領主
愛甲昇寛	信長軍の合戦史 1560-1582
愛甲昇寛	中世先徳著作集「真福寺善本叢刊」3
愛甲昇寛	稲沢の史蹟
愛甲昇寛	佚亡鐘銘図鑑
愛甲昇寛	撫石庵コレクション考古資料目録Ⅱ
愛甲昇寛	紀伊国金石文集成
愛甲昇寛	木地師・光と影・もう一つの森の文化・
愛甲昇寛	史学の周辺折々の記
愛甲昇寛	名古屋博物館研究紀要
愛甲昇寛	名古屋市見晴台考古資料館研究紀要第12号
愛甲昇寛	神佛への祈り 宇佐八幡法華八講
愛甲昇寛	考古学雑誌総目録二
愛甲昇寛	秀吉を支えた武将たなか吉政・近畿・東海と九州をつなぐ戦国史
愛甲昇寛	歴史考古学第57号 2006年（平成18年）3月
愛甲昇寛	新出土品展
愛甲昇寛	東播磨・地域史論集・第6号
愛甲昇寛	藪田石のかたち・石造物が語る中世・
愛甲昇寛	豊臣秀吉文書目録（補遺1）
愛甲昇寛	愛知県公文書館企画展県庁舎の歴史
愛甲昇寛	豊臣秀吉目録
愛甲昇寛	長圓寺宝物展
愛甲昇寛	金剛寺の秘宝
愛甲昇寛	稲沢市文化財調査報告稲沢市の石造美術
愛甲昇寛	古瓦雑話
愛甲昇寛	高砂市文化財調査報告書 12 兵庫県高砂市所在竜山石切場・竜山採石遺跡詳細分布調査報告書
愛甲昇寛	「マンダラ」チベット・ネパールの仏たち
愛甲昇寛	不変山永壽院芳心院殿妙英日春大姉墓所の調査
愛甲昇寛	「祈りの道～吉野・熊野・高野の名宝～」
愛甲昇寛	特別展「三田の文化財・ほとけ・かみ・ひと」
愛甲昇寛	神奈川県立博物館年報平成元年度
愛甲昇寛	TURKEY AT EXPO'70
愛甲昇寛	碧南市文化財第三集貞婦加藤菊女
愛甲昇寛	琵琶湖
愛甲昇寛	インド古代美術展
愛甲昇寛	豊後日田缶林寺
愛甲昇寛	特別展「神奈川の金剛仏」
愛甲昇寛	和紙の美・天平から江戸
愛甲昇寛	鳳来町下吉田大沢部落について
愛甲昇寛	稲沢市市制45周年記念文化財修復展目録
愛甲昇寛	柚の国・京北・文化財のしおり・附第25回京都市指定・登録文化財
愛甲昇寛	中国鐘の様式と技術・日本鐘の成立展開定型化課程における東アジア文化交流の研究
愛甲昇寛	平成20年度特別展「八橋無量寿寺・伊勢物語と方巖売茶翁
愛甲昇寛	わが街再発見・鐘
愛甲昇寛	国学院大学研究開発推進機構プロジェクト研究報告人文科学と画像資料研究第5集
愛甲昇寛	真鍋俊照年譜・著作目録
愛甲昇寛	西町の変遷

愛甲昇寛	稲沢市考古資料図録-原米吉氏収集資料
愛甲昇寛	三河中世史断章
愛甲昇寛	特別陳列経塚出土陶磁展四「東北・越後地方に埋納されたやきもの」
愛甲昇寛	特別展「遣唐使と唐の美術」
愛甲昇寛	春季特別展「法隆寺-日本仏教美術の黎明」
愛甲昇寛	庚申 91 号
愛甲昇寛	古代研究 vol.1No.1
愛甲昇寛	古代研究 vol.2No.2
愛甲昇寛	古代研究 vol.2No.3
愛甲昇寛	古代研究 vol.3No.1
愛甲昇寛	古代研究 vol.3No.2
愛甲昇寛	古代研究 vol.4No.1
愛甲昇寛	古代研究 30
愛甲昇寛	西尾市悉皆調査報告四 社寺文化財（建造物Ⅱ）報告書
愛甲昇寛	西尾市悉皆調査報告六 寺社文化財（建造物Ⅲ）報告書
愛甲昇寛	野口・北出遺跡発掘調査報告書（Ⅱ）
愛甲昇寛	大塚遺跡発掘調査報告書
愛甲昇寛	下津公民館用地埋蔵文化発掘調査報告書
愛甲昇寛	下津北山遺跡発掘調査報告書（Ⅱ）
愛甲昇寛	特別陳列啓
愛甲昇寛	ふるさとのこまいぬ
愛甲昇寛	岡崎市・額田町合併記念額田-その歴史と文化-
愛甲昇寛	企画展「鎮國守國神社宝物」展
愛甲昇寛	地獄・極楽
愛甲昇寛	梵鐘の音は時を越えて
愛甲昇寛	史迹と美術（第八七二号）
愛甲昇寛	史迹と美術（第八七三号）
愛甲昇寛	史迹と美術（第八七四号）
愛甲昇寛	史迹と美術（第八七五号）
愛甲昇寛	難波宮跡北西部の調査大阪府警察本部棟新築工事に伴う難波宮跡発掘調査現地説明会資料 2
愛甲昇寛	史迹と美術 879 号
愛甲昇寛	史迹と美術 880 号
愛甲昇寛	史迹と美術 860 号
愛甲昇寛	史迹と美術 861 号
愛甲昇寛	史迹と美術 862 号
愛甲昇寛	史迹と美術 876 号
愛甲昇寛	史迹と美術 877 号
愛甲昇寛	史迹と美術 878 号
愛甲昇寛	菊香集-故伊東富太郎蒐集江戸時代鐘銘集（一）
愛甲昇寛	慶長末年以前愛知県関係梵鐘資料集成
熱田神宮宝物館	秋季企画展「熱田神宮の特殊神事～連綿と伝わる宮廷儀式～」
熱田神宮宝物館	新春特別展「日本の聖地～伝世の神社の宝物」
熱田神宮宝物館	秋季企画展「明治の光輝-明治百五十年記念展」〈熱田神宮宝物館〉
安城市教育委員会	「明治・大正・昭和愛知の洋画家たち」（安城市教育委員会）
安城市教育委員会	安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第 39 集岩根城跡安城古城跡
安城市教育委員会	安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第 40 集平成 26 年度市内遺跡調査報告
安城市教育委員会	国指定史跡本證寺境内保存活用計画
安城市教育委員会	安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第 41 集-神ノ木遺跡-県営担い手育成基盤整備事業に伴う試堀及び発掘調査報告書-第一分冊
安城市教育委員会	安城市埋蔵文化財発掘調査報告書第 41 集-神ノ木遺跡-県営担い手育成基盤整備事業に伴う試堀及び発掘調査報告書-第二分冊
安城市歴史博物館	平成 29 年度企画展「安城の文化財モノ語り名品展Ⅳ」
安城市歴史博物館	発掘された日本列島 2017 新発見考古速報
安城市歴史博物館	安城市歴史博物館・安城市民ギャラリー・安城市埋蔵文化財センター・犬山苑年報第 26 号平成 28 年度
安城市歴史博物館	特別展「陰陽師安倍晴明」
安城市歴史博物館	企画展「一汁三菜-江戸から昭和の食文化」
安城市歴史博物館	安城歴史研究第四三号（安城市教育委員会）
安城市歴史博物館	特別展「安城ゆかりの大家康を支えた三河石川一族」〈安城市歴史博物館〉
安城市歴史博物館	安城市歴史博物館・安城市民ギャラリー・安城埋蔵文化センター・丈山苑年報第 27 号平成 29 年度

安城市歴史博物館	特別展「幕府崩壊-幕末維新を生きた地方の証言者たち」
安城市歴史博物館	企画展「江戸の愉しみ-安城の相撲・芝居」〈安城市歴史博物館〉
安城市歴史博物館	安城市歴史研究第四十四号
稲沢市荻須記念美術館	稲沢市荻須記念美術館年報平成 28 年度
稲沢市荻須記念美術館	平成 29 年度稲沢市荻須記念美術館年報
稲沢市教育委員会	稲沢市文化財調査報告 LXII-尾張国分寺跡発掘調査総括報告書(Ⅱ)-第 15 次～第 19 次調査
稲沢市教育委員会	稲沢市史資料第 49 編路傍の石仏調査報告書Ⅲ一祖父江支所・平和支所地区一
犬山市教育委員会	犬山城総合調査報告書
犬山市教育委員会	犬山城の謎を解く一犬山城総合調査の成果
犬山市教育委員会	犬山市埋蔵文化財調査報告書第 13 集旧犬山市体育館跡地(犬山城西御殿跡)発掘調査報告書
犬山市教育委員会	史跡東之宮古墳保存活用計画
大口町教育委員会	大口町歴史民俗資料館年報 20 平成 29 年度
大口町教育委員会	秋の企画展「地域の災害を知る入鹿切れ」シンポジウム入鹿切れを考える-洪水堆積層の調査から
大府市教育委員会	大府市文化財調査報告書第 12 集市内遺跡調査報告書
大府市教育委員会	川池西古窯-集合住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告-
大府市教育委員会	上入道古窯-大府市共和町上入道地内における工場建設に伴う発掘調査報告一
大府市歴史民俗資料館	大府市歴史民俗資料館年報 28 (平成 28 年度)
岡崎市美術館	企画展岡崎市制 100 周年記念「親善都市福山の文化財展」
岡崎市美術館	「大鎖国展-江戸に咲いた異国の花」
岡崎市美術館	美術館家康公四百年祭講演録三河時代の家康を考える
岡崎市美術館	歌川国芳水滸伝の世界
岡崎市美術館	特別企画展「家康の肖像と東照宮信仰」
岡崎市美術館	岡崎市美術館年報平成 27・28 年度
岡崎市美術館	三河の秋葉信仰一火伏の神の系譜
岡崎市美術館	「ターナからモネへジュニアガイド」(岡崎市美術館)
岡崎市美術館	「暮らしのうつりかわりわくわくシート」(岡崎市美術館)
岡崎市美術館	大磯義雄文庫目録
岡崎市美術館	岡崎市史料叢書-瀧山寺上
小川一朗	北方代官所「御用引請人」の在り方-尾州葉栗郡玉ノ井村墨八百八の場合
春日井市教育委員会	平成 28 年度市内遺跡調査概要報告書
春日井市教育委員会	春日井市遺跡発掘調査報告第 15 集 天王山古墳-天王山古墳第 1 次～第 4 次発掘調査報告書一
春日井市教育委員会	春日井市遺跡発掘調査報告第 16 集篠木第二号墳-篠木第 2 号墳第 1 次～第 2 次発掘調査報告書
春日井市教育委員会	春日井市遺跡発掘調査報告第 17 集西山遺跡
春日井市教育委員会	春日井市遺跡解説パンフレットその 3 春日井の終末期古墳-横穴式石室にみるマツリと思想
春日井市教育委員会	平成 29 年度市内遺跡調査概要報告書
春日井市教育委員会	春日井市遺跡解説パンフレットその 4 春日井の中世-戦乱の世のまじないと祈り-
春日井市道風記念館	特別展藤井文庫「仮名古筆名品展」
春日井市道風記念館	道風記念館特別展「琉球の書」
春日井市道風記念館	書聖・小野道風の誕生伝説地「書のまち春日井」書に親しむ文化と伝説がいきづくまちです
蟹江町歴史民俗資料館	蟹江町歴史民俗資料館年報第 37 冊
蟹江町教育委員会	蟹江町歴史民俗資料館年報第 38 冊
蒲郡市教育委員会	蒲郡市の文化財
蒲郡市博物館	蒲郡市埋蔵文化財発掘調査報告書赤日子遺跡発掘調査報告書
刈谷市	中条遺跡発掘調査報告書 2 (平成 10 年度調査)
刈谷市	中条遺跡発掘調査報告書 3 (平成 11 年度調査)
刈谷市美術館	平成 28 年度刈谷市美術館年報
刈谷市美術館	平成 29 年度刈谷市美術館年報
吉良町教育委員会	吉良の塩田一幡豆郡の製塩業に関する調査報告一
幸田町教育委員会	幸田町社寺文化財調査報告第 3 集松平忠雄墓所出土祝婚青色ガラス杯調査報告
幸田町教育委員会	幸田町埋蔵文化財調査報告第 1 集深溝城跡
幸田町教育委員会	幸田町民俗文化財調査報告第 2 集一青い目の人形調査報告書
小牧市教育委員会	小牧市古文書目録シリーズ 8 神明社文書目録
小牧市教育委員会	愛知県小牧市市内遺跡発掘調査報告書 (23)
小牧市教育委員会	愛知県小牧市史跡小牧山整備事業報告書 2 (小牧市役所旧本庁舎跡地)
小牧市教育委員会	愛知県小牧市市内遺跡発掘調査報告書 (24)
小牧市教育委員会	史跡小牧山主郭地区第 5 次発掘調査小牧市役所本庁舎跡地発掘調査概要報告書-小牧山城

小牧市教育委員会	史跡小牧山主郭地区第 6 次発掘調査概要報告書-小牧山城-
小牧市教育委員会	史跡小牧山主郭地区第 7 次発掘調査概要報告書-小牧山城-
小牧市教育委員会	史跡小牧山主郭地区第 8 次発掘調査概要報告書-小牧山城-
小牧市教育委員会	史跡小牧山(仮称) 史跡センター周辺発掘調査・主郭地区第 9 次発掘調査概要報告書-小牧山城-
佐藤史門.漣	佐藤一英「歌局集」(ふる里のうた)
新城市教育委員会	新城城跡発掘調査報告書V-新城市新庁舎建設工事に伴う発掘調査
新城市教育委員会	名勝・天然記念物鳳来寺山石垣等保存修理事業整備報告書
高浜市	新編高浜市誌「高浜市のあゆみ」資料①「吉浜の養鶏・高取のくらし」
中日新聞社	「愉しきかな! 人生一老当益壯の画家たち」
中部産業遺産研究会	産業遺産研究第 24 号
中部産業遺産研究会	産業遺産研究第 25 号
知立市	新編知立市史 4 資料編近世
知立市教育委員会	鍛冶荒井遺跡-平成 26 年度発掘調査報告書-
知立市歴史民俗資料館	知立市歴史民俗資料館平成 28 年度年報
知立市歴史民俗資料館	私の戦争体験 3-知立市民の証言
知立市歴史民俗資料館	企画展「八橋売茶翁没後 190 年」
知立市歴史民俗資料館	平成 29 年度企画展「知立の文化財-絵画・工芸・書蹟資料より-」
知立市歴史民俗資料館	知立市歴史民俗資料館年報平成 29 年度
知立市歴史民俗資料館	企画展「新発見! 東海道池鯉鮒宿並辺図」(知立市歴史民俗資料館)
知立市歴史民俗資料館	企画展「昔の家の副業道具-養蚕・機織り・絞り」(知立市歴史民俗資料館)
東海市教育委員会	愛知県東海市平成 27 年度畑間遺跡発掘調査報告
東海市教育委員会	愛知県東海市平成 28 年度畑間遺跡発掘調査報告書
豊川市地域文化広場桜ヶ丘ミュージアム	特別展「異空間のアーティスト現代美術 in 豊川」
豊川市地域文化広場桜ヶ丘ミュージアム	豊川市桜ヶ丘ミュージアム年報平成 28 年度
豊川市地域文化広場桜ヶ丘ミュージアム	豊川市桜ヶ丘ミュージアム平成 28 年度企画展「宮嶋政徳展」
豊川市地域文化広場桜ヶ丘ミュージアム	企画展「人々のくらしと災害-古文書・古記録にみる豊川災害史」
豊川市地域文化広場桜ヶ丘ミュージアム	「とよかわ百景一第 32 回風景の会絵画展」
豊川市地域文化広場桜ヶ丘ミュージアム	企画展「まぼろしの国府土人形」
豊川市地域文化広場桜ヶ丘ミュージアム	Counter Skin 宮島達男ワークショップ報告展
豊川市地域文化広場桜ヶ丘ミュージアム	豊川市桜ヶ丘ミュージアム年報平成 29 年度
豊田市教育委員会	豊田市史研究第 8 号
豊田市教育委員会	平成 27 年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書
豊田市教育委員会	豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書第 71 集 鷹見城跡・宮口元屋敷遺跡・鳳面館跡・竹元町 1 号塚
豊田市教育委員会	豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書第 72 集 勸学院文護寺跡
豊田市教育委員会	豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書第 73 集 寺部遺跡Ⅶ-15A・15B・15C・15D・15E・15F 区
豊田市教育委員会	新修豊田市史 6 資料編古代・中世
豊田市教育委員会	新修豊田市史 17 別編民俗Ⅲ民俗の諸相
豊田市教育委員会	新修豊田市史 20 資料編考古Ⅲ古代～近世
豊田市教育委員会	豊田市研究第 9 号
豊田市教育委員会	旧田口家住宅民具調査報告書萬家-その暮らしと商いの道具
豊田市教育委員会	豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書第 76 集根川 1・2 号墳
豊田市教育委員会	平成 28 年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書
豊田市教育委員会	新修豊田市史資料編近代Ⅱ
豊田市教育委員会	新修豊田市史資料編近代Ⅲ松平・足助・下山
豊田市教育委員会	新修豊田市史別編自然
豊田市教育委員会	豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書第 74 集-京町遺跡(京町藤塚古墳)
豊田市教育委員会	豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書第 75 集-豊田大塚古墳
豊田市教育委員会	豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書第 77 集-寺部遺跡Ⅷ-16A～G 区
豊田市郷土資料館	豊田市郷土資料館開館 50 周年記念特別展「ぼくらの”1967”-50 年前のとよた・日本・世界-」
豊田市郷土資料館	平成 30 年度豊田市郷土資料館特別展「すすめ! タイム川ペラー-とよたの川へ時間旅行」
トヨタ博物館	トヨタ博物館紀要 No.24
トヨタ博物館	トヨタ博物館紀要 No.24(改訂版)
豊橋市教育委員会	豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 142 集若宮遺跡(X)・境松遺跡(VI)・内田貝塚(V)・豊橋牟呂坂津土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告書
豊橋市教育委員会	豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 143 集行合遺跡
豊橋市教育委員会	豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 144 集市内遺跡発掘調査-平成 26 年度
豊橋市教育委員会	豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 146 集西側遺跡(XI)・眼鏡下池北遺跡(VIII)

豊橋市教育委員会	豊橋市埋蔵文化財報告書第147集境松遺跡(Ⅶ)・若宮遺跡(XI)-豊橋半呂坂津土地 区画整理変更事業に伴う埋蔵文化財調査報告書
豊橋市教育委員会	豊橋市埋蔵文化財調査報告書148集市内遺跡・発掘調査-平成27年度
豊橋市教育委員会	史跡馬越長火塚古墳群保存活用計画書
豊橋市自然史博物館	豊橋市自然史博物館年報29号平成28年度
豊橋市自然史博物館	豊橋市自然史博物館研究報告第27号
豊橋市自然史博物館	第32回特別企画展「武器甲虫-クワガタ、カブトの進化を探る-」展示解説 クワガタ ムシ、カブトムシ学の最新研究
豊橋市自然史博物館	豊橋市自然史博物館ボランティア20年のあゆみアイデアいっぱい!手作り科学教材集
豊橋市自然史博物館	豊橋市自然史博物館研究報告第28号
豊橋市地下資源館	豊橋市地下資源館・豊橋市視聴覚教育センター年報平成28年度
豊橋市美術博物館	豊橋市制施行110周年・美術博物館リニューアル記念展 NIHON 画-新たな地平を求め て-
豊橋市美術博物館	生誕120年木村莊八展
豊橋市美術博物館	豊橋市文化財センター企画展示「東海大土偶展」
豊橋市美術博物館	ニッポンの写実そっくりの魔力(豊橋市美術博物館)
豊橋市美術博物館	豊橋の寺小屋
豊橋市美術博物館	豊橋市美術博物館研究紀要20号
豊橋市二川宿本陣資料館	岡山藩主池田家と吉田・二川
豊橋市二川宿本陣資料館	「とよはしの旗本たち」〈豊橋市二川宿本陣資料館〉
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要第36号
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要第37号
西尾市	新編西尾市史研究第3号/平成29年3月
西尾市	新編西尾市史研究第四号
西尾市教育委員会	西尾市埋蔵文化財発掘調査報告書第22集 長圓寺境内地
西尾市教育委員会	愛知県西尾市重要文化財藩頭神社本殿保存修理工事報告書
西尾市教育委員会	西尾市埋蔵文化財発掘調査報告書第22集-西尾市遺跡詳細分布調査報告書
西尾市教育委員会	[DVD] 御櫃割
西尾市教育委員会	[DVD] 三河一色大提灯まつり
日本モンキーセンター	日本モンキーセンター年報平成28年度日本モンキーセンター、京都大学霊長類学・ワイ ルド
日本モンキーセンター	日本モンキーセンター年報平成29年度
半田市立博物館	半田市立博物館年報・紀要平成28年度
半田市立博物館	半田市立博物館研究紀要№26
碧南海浜水族館	碧南海浜水族館・碧南市青少年海の科学館年報第29号2015
碧南海浜水族館	碧南海浜水族館・碧南市青少年海の科学館年報第30号2016
鳳来寺山自然科学博物館	鳳来寺山自然科学博物館館報第46号
鳳来寺山自然科学博物館	鳳来寺山自然科学博物館館報第47号
南知多町教育委員会	尾州廻船内海船船主内田佐平二家住宅保存修理工事報告書
野外民族博物館リトルワールド	リトルワールド年報第27号2013年度・2017年度
東車維持財団	真清田神社のなぞ「真清田探当証」は何を伝えようとしたか
亀山雪峰	第二十五回記念愛アイランド21 游墨会書道展
亀山雪峰	傘寿記念刊行「書のいろいろ」 筆研叢話
亀山雪峰	尾張一宮の漢字塾有隣舎歴代当主と門人の漢詩その他近隣の自作詩五百 移りゆく一宮50年(田中三郎)
田中三郎	[DVD] 移りゆく一宮50年(田中三郎)
田中三郎	「日本画河出幸之助の世界展」
毛受英彦	「大観・春草・観山・王堂・四巨匠展」
毛受英彦	奈良県立美術館蔵品図録第16集(杉本健吉作品集)
毛受英彦	福岡市美術館所蔵品目録近現代美術
毛受英彦	ひろしま美術館収蔵品目録-西洋編
毛受英彦	平成2年春季特別展「地機で織る-越後縮-」
毛受英彦	一宮市制施行70周年記念・平成3年秋季特別展「風景を着る」
毛受英彦	平成7年度春季企画展「藍華やぐー染めと織り」
毛受英彦	平成10年度春季企画展「音聴への誘い-蓄音器-」
毛受英彦	平成12年度企画展「20世紀写真展」
毛受英彦	ギャラリーるぼ企画展「戦後活躍したふるさとの文化人」小品展
毛受英彦	私たちの街-報道春秋別冊
毛受英彦	ユネスコ・クーリエ「人類の記憶」
毛受英彦	博物館を考える-新しい博物館学の模索(水野眞)
毛受英彦	博物館を考えるII-博物館実習とこれからの博物館(水野眞)
毛受英彦	二十一世紀博物館-博物資源立国へ地平を拓く(西野嘉章)

毛受英彦
知多市歴史民俗博物館
知多市歴史民俗博物館
岡崎市美術館
中京大学
中京大学
相山女学園大学学芸員委員会
相山女学園大学学芸員委員会
江南市歴史民俗資料館
江南市歴史民俗資料館
江南市歴史民俗資料館
江南市歴史民俗資料館
江南市歴史民俗資料館
江南市歴史民俗資料館
清須市はるひ美術館
大口町歴史民俗資料館
大口町歴史民俗資料館
大口町歴史民俗資料館
西尾市岩瀬文庫
西尾市岩瀬文庫
西尾市岩瀬文庫
西尾市岩瀬文庫
西尾市岩瀬文庫
西尾市岩瀬文庫
西尾市岩瀬文庫
西尾市岩瀬文庫
西尾市岩瀬文庫
西尾市岩瀬文庫
安城市民ギャラリー

瀬戸市美術館
田原市教育委員会
田原市教育委員会
田原市教育委員会
田原市博物館
田原市博物館
田原市博物館
田原市博物館
田原市博物館
田原市博物館
田原市博物館
田原市博物館
田原市博物館
一宮市尾西歴史民俗資料館
瀬戸市文化振興財団
犬山城白帝文庫
犬山城白帝文庫
犬山城白帝文庫
犬山城白帝文庫
愛知学院大学大学院
愛知学院大学大学院
同朋大学仏教文化研究所
同朋大学仏教文化研究所
同朋大学仏教文化研究所
同朋大学仏教文化研究所
同朋大学仏教文化研究所
同朋大学仏教文化研究所
愛知淑徳大学

木曾三川水運の研究 1-木曾川水系の河川水運-近代における木曾川の運材と舟運
知多市歴史民俗博物館年報第 18 号（平成 28 年度）
知多市歴史民俗博物館年報第 19 号（平成 29 年度）
岡崎市美術館年報一平成 27・28 年度一
中京大学文学会論叢第 3 号（「中京国文学」通号第 36 号）
中京大学文学会論叢第四号（「中京国文学」通号第三十七号）
BSM（Bulletin of Sugiyama Museology）23
BSM（Bulletin of Sugiyama Museology）第 24 号
江南市歴史民俗資料館年報 28 年度
企画展「戦前の暑中見舞絵はがき展」
企画展「日本の凧～東海地方を中心にして～」
企画展「日本の凧～西日本を中心にして～」 {江南市歴史民俗資料館}
企画展「これもエッ！はがき戦前の変わり絵はがき展」
江南市歴史民俗資料館年報平成 29 年度
清須市第 9 回はるひ絵画トリエンナーレ
大口町歴史民俗資料館研究紀要 XIV
大口町歴史民俗資料館年報 19 平成 28 年度
大口町歴史民俗資料館研究紀要 XV
西尾市岩瀬文庫企画展「縁起の不思議な世界-聖と、俗を、結ぶ」
西尾市岩瀬文庫企画展「音」
西尾市岩瀬文庫企画展「飢饉再考」
企画展「こんな本があった！岩瀬文庫平成悉皆調査中間報告展 15」
西尾市岩瀬文庫企画展「公家柳原家の文庫」
西尾市岩瀬文庫企画展「明治 150 年‘文明開化’の音がする」
企画展「読み書きそろばん-江戸庶民の学びの本」〈西尾市岩瀬文庫〉
「西尾にも来た！頼山陽を知ってますか？」〈西尾市岩瀬文庫〉
西尾市岩瀬文庫企画展「こんな本があった！岩瀬文庫平成悉皆調査中間報告展 16」
市民ギャラリー開館 15 周年記念企画展「瀬畑亮セロテープアート展 2018in 安城」企画展図録「瀬畑亮セロテープアート作品集Ⅳ」
平成 29・30 年度市町村立美術館活性化事業第 18 回共同巡回展小杉放庵記念日光美術館所蔵「絵画で国立公園めぐり一巨匠が描いた日本の自然一」
田原市埋蔵文化財調査報告書第 11 集 保美貝塚渥美半島における縄文時代晩期の大貝塚
田原市埋蔵文化財調査報告書第 12 集 八幡上貝塚発掘調査報告書 福江分団 3 号車詰所・車庫整備工事に伴う発掘調査概要
田原市埋蔵文化財調査報告書第 13 集渥美半島の製塩遺跡群・七本松遺跡・一膳松遺跡の発掘調査及び製塩関係遺跡の調査報告書
博物館ガイドブック「花の肖像画家評伝・太田洋愛」
田原市博物館特別展近世能装束の世界・用の美一武家貴族の美意識
田原市博物館企画展「田原の原風景～古写真の魅力～」
田原市博物館/平成 29 年/企画展「保美貝塚渥美半島の縄文時代晩期の大貝塚」
田原市渥美郷土資料館/秋の企画展・発掘された渥美半島の歴史
田原市博物館平成 30 年企画展豊川用水通水 50 周年記念「渥美半島の農業の歩みと豊川用水」
田原市制施行 15 周年・田原市博物館開館 25 周年記念・田原市博物館平成 30 年度特別展「渡辺崋山の神髄」
田原市博物館・田原市渥美郷土資料館企画展「田原の美術平井誠一展・色彩思考の変遷」
春季特別展「濃尾地震」（一宮市尾西歴史民俗資料館）
「瀬戸窯の復興一黎明期の江戸時代窯業」
犬山城白帝文庫研究紀要第 11 号
犬山城成瀬家拝領四〇〇年記念特別展「成瀬正成一代記」
研究紀要第 12 号
「図説犬山城（改訂版）」
愛知学院大学大学院文学研究科文研会紀要第 28 号
愛知学院大学大学院文学研究科文研会紀要第 29 号
同朋大学仏教文化研究所紀要第三十六号
同朋大学仏教文化研究所 2016 年度 後期史料展示「戦時下の中国仏教研究 西巖寺蔵『小川貫式資料』と山西省調査記録」
同朋大学仏教文化研究所 2017 年度 前期史料展示「お経のかたち一来て見てさわって仏教文化」
同朋大学仏教文化研究所 2017 年度後期史料展示「仏・仏・仏めぐるめくアジアンブッダワールド！！」
同朋大学仏教文化研究所紀要第三十七号
愛知淑徳大学学芸員課程 2017MUSE の窓 第 14 号

愛知淑徳大学	ラブレミューズへのみちー第6号ー
一宮市芸術文化協会	いちのみや文芸(二〇一七)
一宮市芸術文化協会	いちのみや狂俳の歩み
一宮市芸術文化協会	いちのみや文芸(2014)
一宮市芸術文化協会	いちのみや文芸2018
碧南市藤井達吉現代美術館	碧南市藤井達吉現代美術館年報平成26・27年度研究紀要No.4
碧南市藤井達吉現代美術館	「誕生!碧南発行動美術」
碧南市藤井達吉現代美術館	いわき市立美術館名品展アメリカ美術の力
碧南市藤井達吉現代美術館	歴史系企画展「碧南の医人展一医聖徳本・近藤坦平一族を中心に」
碧南市藤井達吉現代美術館	碧南市制70周年記念事業開館10周年記念所蔵秀作展10年の歩み「TEN YEARS」(碧南市藤井達吉現代美術館)
碧南市藤井達吉現代美術館	「愉子規かな!人生・老いてますます盛ん老当益壯の画人たち」(碧南市藤井達吉現代美術館)
碧南市藤井達吉現代美術館	清州市埋蔵文化財調査報告XI清州城下町遺跡出土籀縮め柿経
清須市教育委員会	きりん第21号
荒木集成館	きりん第22号
荒木集成館	瀬戸蔵ミュージアム企画展「瑠璃釉のやきもの-深遠な青の世界」
瀬戸蔵ミュージアム	明治150年記念「明治時代の瀬戸窯業一超絶技巧の世界」
瀬戸蔵ミュージアム	あいちトリエンナーレ2016エデュケーション活動報告
あいちトリエンナーレ	モバイル・トリエンナーレ旅する展覧会現代アートがまちにやってくる!
あいちトリエンナーレ	モバイル・トリエンナーレ旅する展覧会現代アートがまちにやってくる!
あいちトリエンナーレ	アーツ・チャレンジ2018あいちアートプログラム実施報告書
あいちトリエンナーレ	アーツ・チャレンジ2019あいちトリエンナーレ地域展開事業実施報告書
古代瀬波の里	瀬波研究紀要第4号
愛知県立芸術大学	平成30年度愛知県立芸術大学卒業・修了作品集
みよし市立歴史民俗資料館	秋季特別展「多芸多才にして奇才伊勢門水」
戦争と平和の資料館	戦争と平和の資料館ピースあいち 開館10周年記念誌「希望を編みあわせる」
愛知県国登録有形文化財建造物	平成28年度文化庁文化芸術振興費補助金文化遺産を活かした地域活性化事業愛知県登録有形文化財の保存・活用促進にむけた文化財建造物所有者と県民との連携事業(その6)事業報告書
愛知県国登録有形文化財建造物	平成29年度文化庁文化芸術振興費補助金文化遺産総合活用推進事業愛知県国登録有形文化財公開活用事業事業報告書
愛知県陶磁美術館	平成29年度愛知県陶磁美術館館報第24号
愛知県陶磁美術館	テーマ展示「京都市陶磁器試験場の釉薬研究と小森忍一寄贈・堀田毅コレクションを中心に」
愛知県陶磁美術館	テーマ展示「京都市陶磁器試験場の釉薬研究と小森忍一寄贈・堀田毅コレクションを中心に」
愛知県陶磁美術館	企画展「瓦万華鏡〜社会・地域・心をつなぐ〜」(愛知県陶磁美術館)
愛知県陶磁美術館	特別企画展「染付:青繪の世界」(愛知県陶磁美術館)
愛知県陶磁美術館	「瀬戸陶芸の黎明・創作の源流を辿って」(愛知県陶磁美術館)
愛知県陶磁美術館	愛知県陶磁美術館開館40周年記念企画展「猿投窯-知られざる古代の名陶」
愛知県陶磁美術館	平成30年度愛知県陶磁美術館館報第25号
愛知県陶磁美術館	愛知県陶磁美術館所蔵品図録IV
愛知県陶磁美術館	「THE YUNOMI 湯呑茶碗-ちよつと昔のやきもの日本縦断旅」(愛知県陶磁美術館)
愛知県陶磁美術館	特別企画展「瀬戸・かく焼き繋ぎ-江戸時代の本業と新製」(愛知県陶磁美術館)
愛知県陶磁美術館	寄贈記念「堀田毅コレクション展」(愛知県陶磁美術館)
愛知県陶磁美術館	特別協同展「犬山焼-最新の研究成果とともに」(愛知県陶磁美術館)
豊田昌夫	国際写真情報
中部大学民族資料博物館	中部大学民族資料博物館年報2017-7号
中部大学民族資料博物館	中部大学民族資料博物館連続講演記録2017
至学館大学	石亀戸古窯群中京女子大学正門整備地埋蔵文化財発掘調査報告
至学館大学	至学館大学公開講座第5回日本の祭シンポジウム報告書
至学館大学	至学館大学公開講座第6回日本の祭シンポジウム報告書
愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所	愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所年報2014・2015年度第1号
江崎武	松韻莊遺稿(江崎梅溪)
名古屋城総合事務所	特別史跡名古屋城跡保存活用計画資料編
名古屋城総合事務所	特別史跡名古屋城跡保存活用計画概要版
名古屋城総合事務所	特別史跡名古屋城跡保存活用計画
甲賀猛	岳唳吟詠詩集
株式会社コミュニティネット	戦国クロノジー(年表)1505~1615
野村千春	竹箴製作と修理の方法
横山美術館	横山美術館100選

瀬戸市文化遺産活用実行委員会	瀬戸市の警固祭り
田内雅弘	絵物語「詩人一英を陰で支えた妻たまを物語」
田内雅弘	紙芝居「ふるさとを愛した詩人佐藤一英物語」
田内雅弘	「一宮萬葉公園」設立 50 周年記念再録「万葉物語-ふるさとの高松・築込を舞台に」
島文楽	[CD-ROM] 栗栗公民館・竣工式式典披露「寿式三番叟」島文楽
島文楽	[CD-ROM] 栗栗公民館・竣工記念公演「壺坂壺験記・山の段」
稲沢歴史を学ぶ会	稲沢市制 60 周年協賛尾張国シンポジウムー国府と国分寺の成立資料集
24 桑名市博物館	平成 28 年度ユネスコ無形文化遺産登録祈念特別企画展「祭礼の美一石取祭と祇園祭」
桑名市博物館	特別企画展「幕末維新と桑名藩～一会桑の軌跡～」
桑名市博物館	桑名市博物館年報平成 28 年度号
桑名市博物館	特別企画展「村正Ⅱ・村正と五箇伝」〈桑名市博物館〉
斎宮歴史博物館	史跡斎宮跡・平成 27 年度発掘調査概報
斎宮歴史博物館	平成 29 年度特別展「災いはモノモケとともに-病気から天変地異まで」
斎宮歴史博物館	史跡斎宮跡平成 28 年度発掘調査概報
斎宮歴史博物館	斎宮歴史博物館平成 30 年度特別展「イクメン!?平安貴族の子育てパパ宣言!!」
鈴屋学会	鈴屋学会報第三十四号
鈴屋学会	鈴屋学会報第三十五号
津市教育委員会	津市文化財年報 10・平成 26 年度
津市教育委員会	津市文化財年報 11・平成 27 年度
松阪市教育委員会	三重県松阪市長谷川家資料調査報告書（書籍Ⅱ・生活道具）
松阪市教育委員会	三重県松阪市長谷川家資料調査報告書（調査概要・文書Ⅲ）
松阪市教育委員会	三重県松阪市長谷川家資料調査報告書（文書Ⅳ）
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告 370 中坪遺跡（第 1 次）発掘調査報告
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告 371 市場庄遺跡発掘調査報告
三重県埋蔵文化財センター	近畿自動車道名古屋神戸線（四日市 JCT～亀山西 JCT）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概報Ⅶ
三重県埋蔵文化財センター	平成 28 年度三重県埋蔵文化財年報
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告 374 国営施設機能保全事業「中勢用水地区」に伴う林上新田遺跡発掘調査報告
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告 323-12 小社遺跡（第 2・3・4 次）発掘調査報告～鈴鹿市小社町所在～
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告 376 梁瀬遺跡（第 3 次）発掘調査報告ー津市野田一
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告 115-34 一般国道 23 号中勢道路（7 工区）建設事業に伴う森ヶ坪遺跡発掘調査報告
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告 379 平成 24～27 年度高度水利機能確保基盤整備事業（出江地区）埋蔵文化財発掘調査報告
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告 375 中坪遺跡（第 2 次）発掘調査報告
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告 377 上野城下町遺跡（第 6 次）発掘調査報告
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告 380 安養寺跡（第 8 次）・古堀遺跡（第 9 次）・北野遺跡（第 9 次）・露越遺跡（第 10 次）発掘調査報告
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告 378-堀町遺跡（第 6・7 次）発掘調査報告
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告 323-13 釜垣内遺跡（第 2・4・5 次）発掘調査報告
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告 382 大土御祖神社境内遺跡発掘調査報告-伊勢市楠部町
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告 323-11 鈴山遺跡（第 2・3 次）発掘調査報告
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告 115-35 一般国道 23 号中勢道路（4・7 工区）建設事業に伴う西毛谷 A 遺跡・西毛谷北古墳郡・小塚遺跡・石垣遺跡-発掘調査報告
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告 381 との山・アレキリ遺蹟（第 1～3 次）発掘調査一度会郡王城町中角
三重県埋蔵文化財センター	平成 29 年度三重県埋蔵文化財年報
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告 383 小アケ遺跡（第 3 次）発掘調査報告
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告 384 弥五郎垣内遺跡（第 2・3 次）発掘調査報告
三重県埋蔵文化財センター	三重県埋蔵文化財調査報告 385 上黒土遺跡（第 2 次）発掘調査報告
本居宣長記念館	らんのふしぎ発見本居宣長記念館見学ノート
本居宣長記念館	冬の企画展「君のめぐみー宣長と和歌山」
四日市市教育委員会	一般国道 1 号北勢バイパス埋蔵文化財発掘調査概報 X III
四日市市教育委員会	四日市市埋蔵文化財発掘調査報告書 54 上野遺跡 3・上野 1 号墳
四日市市教育委員会	鳥出神社の鯨船行事
四日市市教育委員会	ユネスコ無形文化遺産国指定重要無形民俗文化財「鳥出神社の鯨船行事」
桑名市教育委員会	国指定天然記念物多度のイヌナシ自生地保護計画
桑名市教育委員会	桑名市文化財調査報告書～平成 26 年度
桑名市教育委員会	多度村役場村会書類目録 3
桑名市教育委員会	桑名市文化財調査報告書～平成 27 年度～
鈴鹿市考古博物館	平成 28 年度特別展展示図録「伊勢の瓦 大和の瓦」

鈴鹿市考古博物館	伊勢国府跡 19
鈴鹿市考古博物館	宮ノ前遺跡(第3次)発掘調査報告書宅地造成工事に係る埋蔵文化財の記録保存
鈴鹿市考古博物館	鈴鹿市考古博物館年報第18号平成27年度版
鈴鹿市考古博物館	史跡伊勢国分寺跡・遺構編
鈴鹿市考古博物館	磐城山遺跡(第7・2・8・8-2次)発掘調査報告書―農地改良工事に伴う緊急発掘調査―
鈴鹿市考古博物館	八野遺跡(第1次)～モ・タ・プル造成に伴う発掘調査報告書
鈴鹿市考古博物館	伊勢国府跡 20
鈴鹿市考古博物館	史跡伊勢国府寺跡-遺物編
鈴鹿市考古博物館	鈴鹿市考古博物館年報第19号平成28年度版
鈴鹿市考古博物館	平成29年度特別展展示図録「道でつながる古代の役所〈鈴鹿市考古博物館〉
鈴鹿市考古博物館	平成29年度企画展展示図録「焼きものの硯石の硯」〈鈴鹿市考古博物館〉
明和町	史跡斎宮跡平成27年度現状変更緊急発掘調査報告
明和町	三重県多気郡明和町斎宮跡埋蔵文化財調査報告書34-史跡斎宮跡平成28年度現状変更緊急発掘調査報告
三重県総合博物館	三重県総合博物館研究紀要第3号
三重県総合博物館	三重県総合博物館資料叢書№03
三重県総合博物館	第16回企画展「みんなのりもの大集合～この夏、三重をのりつくそう～」
三重県総合博物館	第15回企画展きて・みて・さわってカモシカ☆パラダイス
三重県総合博物館	三重県総合博物館資料叢書 No.4
三重県総合博物館	三重県総合博物館年報通巻2号(平成27年度)
三重県総合博物館	第19回企画展「知ってる貝! 見てる貝! 貝のヒミツ」〈三重県総合博物館〉
三重県総合博物館	第20回企画展「おもちゃ大好き! 郷土玩具とおもちゃの歴史」〈三重県総合博物館〉
三重県総合博物館	発掘された日本列島2017地域展示「三重を掘る!」〈三重県総合博物館〉
三重県総合博物館	交流展「日本の甲冑・武器武具の世界-武家の装いを支えたモノづくりの伝統」〈三重県総合博物館〉
三重県総合博物館	三重大学との連携事業展「先っちょ志摩に生きる」〈三重県総合博物館〉
三重県総合博物館	「くらしの道具と小学生と調べるイセエビをめぐる食文化」展〈三重県総合博物館〉
三重県総合博物館	三重県総合博物館志摩のお魚調査報告書
三重県総合博物館	伊賀の農具たち-旧上野農業高校所属資料解説
三重県総合博物館	2015(平成27)年度博学連携シンポジウム「大学の学芸員養成教育と博物館-文化の裾野を広げるために-」記録集
三重県総合博物館	三重県総合博物館年報通巻3号(平成28年度)
三重県総合博物館	三重県総合博物館研究紀要第4号
皇學館大学研究開発推進センター	平成28年度皇學館大学研究開発推進センター年報
皇學館大学研究開発推進センター	皇學館大学研究開発推進センター紀要第4号
鈴鹿市遺跡調査会	高井B遺跡発掘調査報告
三重県	三重県史資料編中世3(上)
志摩市歴史民俗資料館	-古文書から学ぶ-安政東海地震と大津波
志摩市歴史民俗資料館	新しい里海のまち 志摩
志摩市歴史民俗資料館	円空さんと志摩-円空の生きた時代とその美-
志摩市歴史民俗資料館	志摩のあけぼの展-考古学からみた志摩の歴史-
25 近江八幡市教育委員会	近江八幡市埋蔵文化財発掘調査報告書57
近江八幡市教育委員会	近江八幡市埋蔵文化財発掘調査報告書59 森ノ前遺跡10次発掘調査報告書
近江八幡市教育委員会	近江八幡市埋蔵文化財発掘調査報告書60 御館前遺跡9次発掘調査報告書
近江八幡市教育委員会	近江八幡市史跡雪野山古墳保存活用計画報告書
草津市教育委員会	史跡草津宿本陣(土蔵2ほか一棟)保存修理工事報告書
滋賀県立大学人間文化学部	滋賀県立大学学芸員課程報告書第19号
滋賀県立大学人間文化学部	滋賀県立大学学芸員課程報告書第20号
滋賀県立琵琶湖文化館	滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要第三十三号
滋賀県立琵琶湖文化館	滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要第三十四号
長浜市教育委員会	月出の湖岸集落景観保存調査報告書
長浜市教育委員会	長浜市埋蔵文化財調査資料第158集地蔵堂遺跡第21次調査報告書
長浜市教育委員会	長浜市埋蔵文化財調査資料第161集高月南遺跡第66次・第73次発掘調査報告書
長浜市教育委員会	長浜市埋蔵文化財調査資料第163集下坂中町遺跡第14次調査報告書
長浜市教育委員会	長浜市埋蔵文化財調査資料第160集宮司遺跡第100次調査報告書
長浜市教育委員会	長浜市埋蔵文化財調査資料第162集平成27年度小規模開発関連発掘調査報告書垣見氏館跡確認調査報告書史跡小谷城跡本丸石垣測量調査報告書
長浜市教育委員会	長浜市埋蔵文化財調査資料第164集平成28年度小規模開発関連発掘調査報告書
長浜市教育委員会	長浜市埋蔵文化財調査資料第166集室遺跡第86次発掘調査報告書
長浜市教育委員会	長浜市埋蔵文化財調査資料第165集-大塚遺跡第49次調査報告書
長浜市教育委員会	長浜市埋蔵文化財調査資料第167集-天王社遺跡第7次調査報告書

長浜市教育委員会	長浜市埋蔵文化財調査資料第 168 集-史跡小谷城跡清水谷地区調査報告書(昭和 58・59 年度平成 7~16 年度)
長浜市教育委員会	長浜市埋蔵文化財調査資料第 169 物部遺跡第 32 次発掘調査報告書
長浜市教育委員会	長浜市埋蔵文化財調査資料第 172 大成亥遺跡第 107 次発掘調査報告書
守山市教育委員会	下之郷遺跡関連発掘調査報告書Ⅱ
守山市教育委員会	守山市文化財調査報告書平成 27 年度国庫補助対象遺跡発掘調査広告書
守山市教育委員会	伊勢遺跡確認調査報告書ⅠX 守山市文化財調査報告書
守山市教育委員会	守山市文化財調査報告書平成 28 年度国庫補助対象遺跡発掘調査報告書
守山市教育委員会	伊勢遺跡発掘調査総括報告書守山市文化財調査報告書
守山市埋蔵文化財センター	下之郷遺跡確認調査報告 X I・第 95 次調査報告書
守山市埋蔵文化財センター	下之郷遺跡関連発掘調査報告書Ⅲ-第 23 次調査報告書
守山市埋蔵文化財センター	下之郷遺跡発掘調査報告書総括編
楽浪文化財修理所	文化財修理報告書 VOL.15 (2017)
楽浪文化財修理所	楽浪文化財修理報告書 Vol.16 (2018)
安土城考古博物館	平成 30 年度秋季特別展「キミそっくりな古代人がいたよ-原始・古代の人物表現」
栗東市出土文化財センター	栗東市埋蔵文化財調査報告 2015 (平成 27) 年度年報
栗東市出土文化財センター	はっくつ 2016-栗東市話題の発掘調査
栗東市出土文化財センター	栗東発掘再発見 Vol.7 古墳時代祭祀場の出土品 滑石の玉 5 世紀
栗東市出土文化財センター	平成 28 年度特集展示「悠久の時のながれ-湖南の縄文 1 万年」
栗東市出土文化財センター	はっくつ 2017 栗東市話題の発掘調査
栗東市出土文化財センター	栗東市埋蔵文化財調査報告 2016 (平成 28 年度) 年報
東近江市教育委員会	東近江市の遺跡シリーズ 17 能登川地区の中世城館
東近江市教育委員会	東近江市の遺跡シリーズ 18 伊庭御殿遺跡と朝鮮人街道
東近江市教育委員会	東近江市の遺跡シリーズ 19 布引掩体群
東近江市教育委員会	東近江市の遺跡シリーズ 20 宮井廃寺と辻岡山瓦窯跡
東近江市教育委員会	東近江市の遺跡シリーズ 21 箕作山東麓の遺跡
東近江市教育委員会	東近江市埋蔵文化財調査報告書第 30 集市内遺跡の調査
東近江市教育委員会	東近江市埋蔵文化財調査報告書第 31 集中沢遺跡 (25 次)・小脇寿遺跡
東近江市教育委員会	東近江市埋蔵文化財調査報告書第 32 集市内遺跡の調査
東近江市教育委員会	東近江市埋蔵文化財調査報告書第 33 集斗西遺跡 (27 次) 鍛冶屋遺跡 (4 次)
東近江市教育委員会	東近江市埋蔵文化財調査報告書第 34 集中沢遺跡 (28 次)
野洲市歴史民俗博物館	野洲市歴史民俗博物館研究紀要第二十号
野洲市歴史民俗博物館	野洲市歴史民俗博物館研究紀要第二十一号
野洲市歴史民俗博物館	野洲市歴史民俗博物館研究紀要第二十二号 (銅鐸博物館)
竜王町教育委員会	竜王町埋蔵文化財発掘調査報告書第 15 集-竜王町内遺跡発掘調査概要報告書平成 26・27 年度
大津市教育委員会	名勝史跡善法院庭園保存活用計画書
大津市教育委員会	大津市埋蔵文化財調査年報-平成 28 (2016) 年度
大津市教育委員会	大津市埋蔵文化財調査報告書 (104) 穴太遺跡 (下飴屋地区) 発掘調査報告書
大津市教育委員会	大津市埋蔵文化財調査報告書 (105) 南滋賀遺跡 (砂子田地区) 発掘調査報告書
大津市教育委員会	大津市埋蔵文化財調査報告書 (106) 穴太野添古墳群発掘調査報告書
大津市教育委員会	大津市埋蔵文化財調査報告書 (107) 真野廃寺発掘調査報告書Ⅲ都市計画道路 3・4・21 号道路改良事業に伴う
大津市教育委員会	大津市埋蔵文化財調査報告書 (108) 南滋賀遺跡 (豆田地区) 発掘調査報告書
大津市教育委員会	大津市埋蔵文化財調査報告書 (109) 埋蔵文化財発掘調査集報 7-市内遺跡発掘調査事業
大津市教育委員会	大津市埋蔵文化財調査報告書 (111) 青江遺跡発掘調査報告書
大津市教育委員会	大津市埋蔵文化財調査報告書 (112) 南滋賀遺跡 (下浮田地区) 発掘調査報告書
成安造形大学	成安造形大学紀要第 9 号
26 京都橘大学	京都橘大学大学院研究論集文学研究科第 15 号
京都橘大学	京都橘大学歴史遺産調査報告 2016
京都橘大学	兵庫県宝塚市白鳥塚古墳・山本古墳群一ゴーランド調査古墳の研究 1-ゴーランド・コレクション調査研究報告書第 1 号
京都橘大学	ゴーランド・コレクション総合研究の新知見に基づく日本古墳時代像・研究史の再構築 ニュースレター3号
京都橘大学	京都橘大学歴史遺産調査報告 2017 山科大塚・小山石切丁場、二条城東側堀川石垣
京都橘大学	京都橘大学院研究論集文学研究科第 16 号
京都橘大学	ゴーランド・コレクション総合研究の新知見に基づく日本古墳時代像・研究史の再構築 ニュースレター4号
京都文化博物館	京都文化博物館 2016 (平成 28) 年度年報
京都文化博物館	京都文化博物館研究紀要朱雀第 29 集
京都文化博物館	京都文化博物館研究紀要朱雀第 30 集
京都文化博物館	京都文化博物館 2017 (平成 29) 年度年報

株式会社思文閣	和の美思文閣墨跡資料目録 2019 春
丹後郷土資料館	平成 29 年度特別展「宮津という地に居城を拵え一地中に眠る宮津城一」
向日市文化資料館	向日市文化資料館平成 29 年度特別展特別展示図録「乙訓郡の編集とその時代」
京都大学総合博物館	京都大学総合博物館収蔵資料目録第 2 号第三高等学校動物標本目録
京都大学総合博物館	京都大学総合博物館収蔵資料目録第 3 号考古図録
京都大学総合博物館	京都大学総合博物館年報平成 28 年度
同志社大学歴史資料館	同志社大学歴史資料館調査研究報告第 14 集 木津川・淀川流域における弥生～古墳時代集落・墳墓の動態に関する研究
同志社大学歴史資料館	同志社大学歴史資料館館報第 20 号
同志社大学歴史資料館	同志社大学歴史資料館館報第 21 号
美術院	美術院紀要第九号
美術院	美術院紀要第十号
京都女子大学	京都女子大学博物館学年報第 24 号 2017
宇治市歴史資料館	宇治市歴史資料館年報平成 27 年度・2015
宇治市歴史資料館	宇治市歴史資料館収蔵資料調査報告書 19 宇治茶の民具
宇治市歴史資料館	特別展写真展「よみがえる明治の日本」
宇治市歴史資料館	宇治市歴史資料館年報平成 28 年度・2016
宇治市歴史資料館	収蔵資料調査報告書 20 宇治郷の古文書（宇治市歴史資料館）
宇治市歴史資料館	「幕末明治・京都遊覧一銅版画の世界一」（宇治市歴史資料館）
持田武夫	文化財選定保存技術「規矩術（近世規矩）」伝承事業出版建築規矩術二軒隅
持田武夫	建築規矩術扇椽一軒
持田武夫	建築規矩術椽一軒
京都市美術館	京の美人画 100 年の系譜京都市美術館名品集
龍谷大学	2017 年度龍谷大学博物館実習報告（第 36 号）
龍谷大学	2018 年度龍谷大学博物館実習報告第 37 号
スピナッツ出版	羊毛のある暮らし S P I N N U T S 2018 S E P T E M B E R / №.101
スピナッツ出版	羊の本 ALLABOUTSHEEPANDWOOL（本出ますみ）
星野画廊	黒田重太郎鉛筆素描「京都、洛中洛外」今蘇る明治末・113 年前の京都風景と人々のくらし
27 柏原市立歴史資料館	柏原市立歴史資料館館報 29
柏原市立歴史資料館	1300 年の時を越えて・春季企画展「竹原井頓宮」
柏原市立歴史資料館	史跡高井田横穴公園開園柏原市立歴史資料館開館 25 周年記念企画展「横穴探求」-高井田横穴が見た 25 年
柏原市立歴史資料館	柏原市古文書調査報告書第十二集河内国安宿郡郡国分村堅山家文書目録
柏原市立歴史資料館	柏原市立歴史資料館館報第 30 号一2017 年度
柏原市立歴史資料館	水野家文書
柏原市立歴史資料館	市制 60 周年記念平成 29 年度春季企画展「今町一三田家・寺田家からみた柏原村一」
柏原市立歴史資料館	柏原市立歴史資料館平成 30 年度夏季企画展市制 60 周年記念「鍛冶の郷一大県と田辺一」
河内長野市教育委員会	河内長野市文化財調査報告書第 64 輯河内長野市埋蔵文化財調査報告書 39 喜多町遺跡・高野街道・西高野街道・高向遺跡・上田宿跡・塩谷遺跡・膳所藩代官所跡
河内長野市教育委員会	史跡烏帽子形成跡整備工事事業報告書
吹田市教育委員会	平成 28（2016）年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報 浜の堂遺跡・吹田須恵器窯跡№2・吉志部 2 号墳・3 号墳・高城遺跡・垂水遺跡
吹田市教育委員会	弘誓寺太鼓楼建築調査報告書
吹田市教育委員会	平成 29（2017）年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報垂水遺跡・高城 B 遺跡・吉志部瓦窯跡
吹田市教育委員会	垂水南遺跡発掘調査報告書Ⅲ-垂水南遺跡第 58 次発掘調査-
吹田市立博物館	平成 29 年度（2017 年度）春季特別展「田能村竹田展吹田・なにわを愛した文人画家」
吹田市立博物館	吹田市立博物館開館 25 周年記念平成 29 年度（2017 年度）秋季特別展「北大阪のまつり-まもりつたえる心」
吹田市立博物館	吹田市立博物館館報 17 平成 27 年度（2015 年度）版
吹田市立博物館	西村公朝作品展収蔵記念/平成 30 年度（2018 年度）春季特別展「西村公朝芸術家の素顔」（吹田市立博物館）
吹田市立博物館	平成 30 年度（2018 年度）企画展「ニュータウン誕生」-千里&多摩ニュータウンに見る都市計画と人々-
吹田市立博物館	吹田市立博物館館報 18 平成 28 年度（2016 年度）版
吹田市立博物館	健部オープン記念・平成 30 年度（2018 年度）秋季特別展「東洋一の夢の跡-吹田操車場遺跡展」
高槻市教育委員会	高槻市文化財年報平成 27 年度
高槻市教育委員会	安満遺跡-平成 26 年度確認調査速報
高槻市教育委員会	安満遺跡-平成 27 年度確認調査速報
千里文化財団	李刊民族学 NO162
枚方市教育委員会	枚方市文化財調査報告第 184 集-枚方宿遺跡調査報告書-平成 28 年度淀川左岸水防事務組合庁舎新築に係る三矢町地区（HKM16-63）発掘調査
枚方市文化財研究調査会	枚方市文化財年報 38-2016 年度

枚方市文化財研究調査会	枚方市文化財年報 392017 年度
大阪歴史博物館	大阪歴史博物館年報平成 28 年度
大阪歴史博物館	大阪歴史博物館年報平成 29 年度
泉大津市教育委員会	おほつ研究 (Vol.11) 〈研究紀要〉 (大津市教育委員会)
泉大津市教育委員会	平成 29 年度地域環境基金活用事業報告書いづみおおつの近代漁業一時代とともに変容する漁業の記録 (泉大津市教育委員会)
大阪大谷大学博物館	大阪大谷大学博物館報告書第 64 冊影印河内屋可正旧記二
大阪大谷大学博物館	大阪大谷大学博物館報告書第 65 冊 [DVD] 影印河内屋可正旧記三
四條畷市教育委員会	第 31 回特別展「ヒスイのきらめきー北河内からみた交流と縄文のまつりー」
四條畷市教育委員会	四條畷市文化財調査報告第 54 集 四條畷市文化財調査年報第 4 号 大上遺跡(大上古墳群)
大阪文化財研究所	大阪文化財研究所研究紀要第 18 号
大阪文化財研究所	難波宮址の研究第二十二ー後期朝堂院西方の調査ー
大阪文化財研究所	難波宮址の研究第二十一大極殿東方の調査
大阪文化財研究所	大阪文化財研究所研究紀要第 19 号
大阪文化財研究所	喜連西遺跡発掘調査報告Ⅳ大阪市都市整備局による西喜連第 5 住宅建設工事にかかる発掘調査報告書
大阪文化財研究所	大阪城跡ⅩⅧ特別史跡大阪城跡整備事業報告書
大阪文化財研究所	大阪市天王寺区・生野区細工谷遺跡発掘調査報告書Ⅲ大阪市建設局による難波片江線建設工事に伴う発掘調査報告書
大阪文化財研究所	大阪市西成区長橋遺跡発掘調査報告書Ⅱ
大阪文化財研究所	大阪市北区大深町遺跡発掘調査報告・梅田墓の調査
大阪文化財研究所	大坂城跡・ⅩⅨー中央区大手前一丁目 2・7 他における建設工事に伴う大坂城跡発掘調査報告
大阪文化財研究所	大阪市北区中之島蔵屋敷跡発掘調査報告Ⅲ中之島六丁目における建設工事に伴う埋蔵埋蔵文化財発掘調査報告書
大阪文化財研究所	大阪市天王寺区上本町遺跡発掘調査報告Ⅵ学校法人上宮学園校地における発掘調査報告書
大阪文化財研究所	大阪市北区中津 3 丁目所在遺跡 B 地点発掘調査報告
大阪大谷大学	志学台考古第 17 号・年代・産地・分析等
大阪大谷大学	大阪大谷大学歴史文化学科第 17 号
大阪大谷大学	志学台考古第 18 号ー年代・産地・分析等
大阪大谷大学	大阪大谷大学歴史文化研究第 18 号
阪南市教育委員会	阪南市の歴史文化遺産～指定文化財を中心に～
摩尼院	史跡金剛寺境内(摩尼院門)整備事業報告書
天野山金剛寺	史跡金剛寺境内中心伽藍石垣整備報告書
28 明石市立文化博物館	企画展「くらしのうつりかわり展・道具の知恵と工夫」
明石市立文化博物館	企画展「くらしのうつりかわり展・家事のさしすせそ」(明石市立文化博物館)
赤穂市教育委員会	忠臣蔵ゆかりのあるまち
赤穂市立歴史博物館	平成 29 年度特別展図録「藩儒村上氏一文久事件・高野の仇討ー」
小野市立好古館	平成 29 年度特別展「小野地区のあけぼの～発掘調査の成果を中心に～」
小野市立好古館	平成 30 年度特別展「小野藩陣屋町と村のくらしー小野地区の江戸時代」
神戸市立博物館	神戸市立博物館館蔵品目録美術部 33
神戸市立博物館	神戸市立博物館館蔵品目録考古・歴史の部 33
神戸市立博物館	神戸市立博物館研究紀要第 33 号
神戸市立博物館	平成 29 年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業ー明治時代の洋菓子再現
神戸市立博物館	平成 29 年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業神戸市立博物館・神戸松陰女子学院大学連携事業ー明治の錦絵をもとにした同時代の衣装イメージの再現製作
神戸市立博物館	神戸開港 150 年記念特別展「開国への潮流ー開港前夜の兵庫と神戸ー」記念シンポジウム「神戸開港と港の近代化」ー報告書ー神戸開港 150 年記念プログラム事業
神戸市立博物館	神戸市立博物館館蔵品目録考古・歴史の部 34 古文書ⅩⅣ
神戸市立博物館	神戸市立博物館館蔵品目録美術の部 34
神戸市立博物館	神戸市立博物館研究紀要第 34 号
西宮市立郷土資料館	西宮市立郷土資料館学芸員論集
西宮市立郷土資料館	没後 200 記念念仏行者徳本・行脚の足跡と女人救済
西宮市立郷土資料館	西宮市立郷土資料館研究報告第十一集
西宮市立郷土資料館	西宮歴史調査団年報 2015 年度版
たつの市立龍野歴史文化資料館	維新のたつのー最後の殿様と龍野県
たつの市立龍野歴史文化資料館	特別展「たつのに鉄道がやってきたー山陽鉄道姫新線そして幻の鉄道」〈たつの市立龍野歴史文化資料館〉
多可町教育委員会	多可町文化財報告 30・多可町加美区山口・山口遺跡・多可町中区天田・多可寺遺跡Ⅳ
兵庫県立考古博物館	兵庫県立考古博物館研究紀要第 10 号
兵庫県立考古博物館	兵庫県立考古博物館特別展「江戸時代の兵庫津」
兵庫県立考古博物館	企画展「大中遺跡「再」発見!・東播磨の弥生遺跡」

兵庫県立考古博物館	企画展「ひょうごの遺跡 2017-調査研究速報」
兵庫県立考古博物館	東播磨の弥生遺跡 遺跡展示施設ガイドブック
兵庫県立考古博物館	兵庫県立考古博物館特別展「兵庫の古鏡」
兵庫県立考古博物館	特別展「A・SA・GOのカントリーロード～ひとの道・モノの道～」
兵庫県立考古博物館	兵庫県立考古博物館研究紀要第11号
兵庫県立考古博物館	兵庫県立考古博物館特別展図録 No.21「青銅の鐸と武器-弥生時代の交流」
兵庫県立考古博物館	兵庫県立考古博物館特別展図録 No.22「山城探訪」
兵庫県立考古博物館	兵庫県立考古博物館特別展図録 No.23「装飾太刀と日本刀-煌めきの刀剣文化」
兵庫県立考古博物館	唐建国 1400年・古代鏡展示館秋季企画展「唐王朝の彩り宮廷の栄華をうつす金銀銅」
29 飛鳥資料館	平成 29 年度春期特別展「藤原京を掘る藤原京一等地の調査」
飛鳥資料館	平成 29 年度秋季特別展「高松塚古墳を掘る-解明された築造方法」
飛鳥資料館	平成 29 年度冬期企画展「飛鳥の考古学 2017」
飛鳥資料館	平成 30 年度秋期特別展「よみがえる飛鳥の工房-日韓の技術交流を探る」
飛鳥資料館	平成 30 年度冬期企画展「飛鳥の考古学 2018」(飛鳥資料館)
田原本町教育委員会	唐古・鍵考古ミュージアム展示図録 Vol.22 平成 29 年度春季企画展「弥生遺跡Ⅴ唐古・鍵遺跡初期調査の遺物-補遺」
田原本町教育委員会	唐古・鍵遺跡考古資料目録Ⅱ土器編 2(弥生・搬入・特殊)
田原本町教育委員会	唐古・鍵考古学ミュージアム展示図録 Vol.24-平成 30 年度秋季企画展「古墳時代黎明-唐古・鍵弥生ムラのその後」
田原本町教育委員会	唐古・鍵考古学ミュージアム展示図録 Vol.23 平成 30 年度企画展「唐古・鍵遺跡の重要文化財-新指定の紹介」
田原本町教育委員会	田原本町文化財調査年報 25
田原本町教育委員会	小林家文書目録
田原本町教育委員会	唐古・鍵遺跡考古資料目録Ⅲ-木器・木製品・石器・石製品編
帝塚山大学考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告 X IX
帝塚山大学考古学研究所	シンポジウム報告書大和郡山市・帝塚山大学連携企画大和郡山市・帝塚山大学考古学研究所第 19 回こおりやま歴史フォーラム きらめく瓦 かがやく城一金箔瓦と豊臣郡山城一
帝塚山大学考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告 X X
奈良県立民俗博物館	2016 玄関ホール写真展第 6 回私ごとらえた大和の民俗一住一
奈良県立民俗博物館	2017(平成 29)年度第 7 回玄関ホール写真展「私ごとらえた大和の民俗-水」
奈良文化財研究所	遺跡情報交換標準の研究第 4 版
奈良文化財研究所	奈良文化財研究所紀要 2017
奈良文化財研究所	国立文化財機構奈良文化財研究所概要 2017
奈良文化財研究所	平成 30 年度春期特別展「あすかの原風景」(飛鳥資料館)
奈良文化財研究所	奈良文化財研究所紀要 2018
奈良文化財研究所	奈良文化財研究所概要 2018
桜井市文化財協会	桜井市内埋蔵文化財 2005 年度発掘調査報告書 I
桜井市文化財協会	桜井市立埋蔵文化財センター発掘調査速報展 23 50cm 下の桜井
桜井市文化財協会	桜井市内埋蔵文化財 2000 年度発掘調査報告書 2
桜井市文化財協会	桜井市内埋蔵文化財 2008 年度発掘調査報告書 2 大福遺跡第 27 次発掘調査報告書
桜井市文化財協会	桜井市立埋蔵文化財センター展示解説書発掘調査速報展 24-50cm 下の桜井
桜井市文化財協会	桜井市文化財協会調査研究報告第 1 冊-赤坂天王古墳群の研究-測量調査報告書
桜井市立埋蔵文化財センター	桜井市立埋蔵文化財センター展示解説書第 43 冊平成 29 年度特別展「桜井の歴史を作った七人の人々」
桜井市立埋蔵文化財センター	平成 30 年度特別展「がっこうの下には何があったの?」～市内小学校の再調査成果から～
天理大学附属天理参考館	天理参考館報第 30 号
天理大学附属天理参考館	天理参考館報第 31 号
奈良大学文化財学科	二〇一七年三月奈良大学文学部文化財学科文化財学報第三十五集 東野先生退職記念論集
奈良大学文化財学科	文化財学報第 36 集塩田貴美子先生退職記念論集
元興寺文化財研究所	元興寺文化財研究所研究報告 2016
元興寺文化財研究所	元興寺文化財研究所研究報告 2017
元興寺文化財研究所	平成 29 年度夏季企画展「鎮物としての武器・武具-武具埋納祭祀の展開」
元興寺文化財研究所	平成 29 年度秋季特別展元興寺文化財研究所創立 50 年記念「文化財の仕事一筋半世紀」
元興寺文化財研究所	「古代武器研究」vol.14 抜刷一小札式甲冑の研究史と導入・展開の諸様相
元興寺文化財研究所	鏝情報に基づく戦後復興期消滅古墳副葬品配列の復元研究平成 28～30 年度科学研究費補助金(若手研究(B))研究成果報告書
橿原市教育委員会	平成 27(2015)年度橿原市文化財調査年報
橿原市教育委員会	平成 28(2016)年度橿原市文化財調査年報
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	平成 29 年度春季特別展唐古・鍵遺跡発掘 80 周年記念「新作発見!弥生絵画・人・動物・風景」

奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	大和を掘る 35—2016 年度発掘調査速報展一
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	平成 29 年度秋季特別展「黒塚古墳のすべて」
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	特別陳列図録第 23 冊「きみの名前は？万葉集の考古学」
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館特別展図録第 89 冊橿原考古学研究所創立 80 周年記念特別展「古代の輝き-日本考古学と橿研 80 年の軌跡 I」
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	大和を掘る 36・2017 年度発掘調査速報展
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館特別展図録第 90 冊橿原考古学研究所創立 80 周年記念秋季特別展「古代の輝き-日本考古学と橿研 80 年の軌跡 II」
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	奈良県指定文化財指定記念 片岡家文書から見た地域の寺社
宇陀市教育委員会	宇陀市内遺跡発掘調査概要報告書 2015 年度宇陀市文化財調査概要 14
宇陀市教育委員会	帝塚山大学附属博物館常設展示図録「瓦の来た道～東アジアの瓦の歴史～」
帝塚山大学附属博物館	帝塚山大学附属博物館報 X II
帝塚山大学附属博物館	帝塚山大学附属博物館報 X III
帝塚山大学附属博物館	桜井市埋蔵文化財発掘調査報告書第 46 集桜井市平成 27 年度国庫補助による発掘調査報告書
桜井市教育委員会	桜井市埋蔵文化財発掘調査報告書第 47 集奈良県桜井市纏向遺跡発掘調査報告書一第 14 次・44 次・58 次・78 次・99 次・101 次・103 次調査一
桜井市教育委員会	桜井市埋蔵文化財発掘調査報告書第 48 集桜井市平成 28 年度国庫補助による発掘調査報告書
桜井市教育委員会	桜井市埋蔵文化財発掘調査報告書第 49 集平成 29 年度国庫補助による発掘調査報告書
桜井市纏向学研究センター	桜井市纏向学研究センター年報第 4 号（平成 27 年度）
桜井市纏向学研究センター	纏向学研究センター研究紀要纏向学研究第 5 号
桜井市纏向学研究センター	桜井市纏向学研究センター年報第 5 号（平成 28 年度）
桜井市纏向学研究センター	纏向学研究センター研究紀要纏向学研究第 6 号
桜井市纏向学研究センター	桜井市纏向学研究センター年報第 6 号（平成 29 年度）
30 紀伊風土記の丘	平成 28 年度秋期特別展「岩橋千塚とその時代一紀川流域の古墳文化」
紀伊風土記の丘	平成 27 年度紀伊風土記の丘年報第 43 号紀伊風土記の丘研究紀要第 5 号
紀伊風土記の丘	和歌山県立紀伊風土記の丘秋期特別展世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」追加登録祈念「道が織りなす旅と文化」
紀伊風土記の丘	平成 29 年度冬期企画展「うつわに隠された物語-装飾付須恵器の世界」特別陳列「紀伊の古墳-東京国立博物館所蔵品から」
紀伊風土記の丘	平成 28 年度紀伊風土記の丘年報第 44 号紀伊風土記の丘研究紀要第 6 号
紀伊風土記の丘	和歌山県紀伊風土記の丘平成 30 年度秋期特別展「黒潮の海に糧をもとめて-古墳時代の海の民とその社会」
和歌山市立博物館	特別展「美しき善極める一駿河屋の菓子木型」
和歌山市立博物館	特別展「幕末の紀州藩」
和歌山市立博物館	和歌山市立博物館研究紀要第 32 号
和歌山市立博物館	和歌山城天守閣再建六十周年記念二〇一八年夏季特別展「和歌山城再発見！」
和歌山市立博物館	特別展「お殿様の宝箱-南葵文庫と紀州徳川家伝来の美術」
31 鳥取県埋蔵文化財センター	鳥取県埋蔵文化財センター調査報告 63 青谷上寺地遺跡 14（第 15 次・第 16 次発掘調査報告書）
鳥取県埋蔵文化財センター	青谷上寺地遺跡発掘調査研究年報 2016
鳥取県立むきばんだ史跡公園	とっとり弥生の王国・2018Spring・倭人のデザイン
32 出雲弥生の森博物館	平成 28（2016）年度出雲弥生の森博物館年報
出雲弥生の森博物館	平成 29（2017）年度出雲弥生の森博物館年報
33 岡山市教育委員会	岡山市埋蔵文化財センター年報 16-2015（平成 27）年度
岡山市教育委員会	岡山市埋蔵文化財センター研究紀要第 9 号
岡山市教育委員会	上伊福（済生会）遺跡 3 岡山済生会総合病院管理棟・立体駐車場建設に伴う発掘調査古墳時代以降編
岡山市教育委員会	南方遺跡-岡山済生会総合病院新病院建設に伴う発掘調査（第 2 分冊）
岡山市教育委員会	津島江道遺跡-岡山市立岡北中学校校舎改築に伴う発掘調査
岡山市教育委員会	清水廃寺瓦窯跡-本堂池改修工事に伴う発掘調査報告書
岡山市教育委員会	雄町遺跡-弥生時代の拠点集落遺跡の発掘調査報告
岡山市教育委員会	岡山市埋蔵文化財センター年報 17-2016（平成 28）年度
岡山市教育委員会	岡山市埋蔵文化財センター研究紀要第 10 号
岡山市教育委員会	上伊福（済生会）遺跡 4 岡山済生会総合病院病院 1 期建設工事に伴う発掘調査
岡山市教育委員会	大供本町（鹿田小）遺跡
岡山市教育委員会	南方遺跡-岡山済生会総合病院新病院建設に伴う発掘調査（第 3 分冊）
岡山市立オリエント美術館	岡山市立オリエント美術館紀要第 31 巻
倉敷市埋蔵文化財センター	倉敷市埋蔵文化財発掘調査報告第 16 集酒津-水江遺跡範囲確認調査上水島遺跡範囲確認調査
倉敷市埋蔵文化財センター	倉敷市埋蔵文化財センター年報 16-平成 27・28 年度
津山郷土博物館	平成二十九年三月津山郷土博物館紀要二十九号津山松平藩町奉行日記二十三文化二年（一八〇五）

徳島市立德島城博物館	夏の企画展「徳島のたから」
徳島市立德島城博物館	特別展「討入りとその周辺一赤穂義士と徳島藩」
徳島市立德島城博物館	新たな国民のたから一文化方購入文化財展
徳島市立德島城博物館	徳島市立德島城博物館年報第 26 号（平成）29 年度
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館	平成 28 年度徳島県立鳥居龍蔵記念博物館企画展図録「遙かなるマチュピチュ-鳥居龍蔵、南アメリカに行く」
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館	徳島県立鳥居龍蔵記念博物館研究報告第 3 号
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館	徳島県立鳥居龍蔵記念博物館年報第 7 号（平成 28 年度）
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館	平成 29 年度徳島県立鳥居龍蔵記念博物館企画展示図録「鳥居龍蔵日本人の起源に迫る-元山彦一との交流」
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館	徳島県立鳥居龍蔵記念博物館年報第 8 号（平成 29 年度）
37 香川県立ミュージアム	高松松平家歴史資料目録Ⅴ刀剣刀装具
香川県立ミュージアム	収蔵資料目録 9
香川県立ミュージアム	香川県立ミュージアム年報第 9 号（平成 28 年度）
香川県立ミュージアム	香川県立ミュージアム調査研究報告第 8 号
香川県立ミュージアム	ミュージアム調査研究報告第 9 号
香川県立ミュージアム	収蔵資料目録 10
香川県立ミュージアム	高松松平家歴史資料目録Ⅵ武器・武具（甲冑・鉄砲・馬具等）（香川県立ミュージアム）
香川県立ミュージアム	特別展「讃岐びと時代を動かす-地方豪族が見た古代世界」（香川県立ミュージアム）
38 愛媛県歴史文化博物館	平成 28 年度特別展「はに坊と行く！えひめの古墳探訪」図録
愛媛県歴史文化博物館	平成 28 年度特別展「愛媛・お祭り博覧会 2016」展示図録「愛媛の祭りと芸能」
愛媛県歴史文化博物館	愛媛県歴史文化博物館資料目録第 25 集久万高原町上黒岩岩陰遺跡出土遺物
愛媛県歴史文化博物館	愛媛県歴史文化博物館研究紀要第 22 号
愛媛県歴史文化博物館	特別展図録「高虎と嘉明-転換期の伊予と両雄-」（愛媛県歴史文化博物館）
愛媛県歴史文化博物館	平成 29 年度特別展図録「研究最前線四国遍路と愛媛の霊場」（愛媛県歴史文化博物館）
愛媛県歴史文化博物館	愛媛県歴史文化博物館研究紀要第 23 号
愛媛県歴史文化博物館	愛媛県歴史文化博物館資料目録第 26 集四国遍路関係資料目録Ⅱ梅村武氏調査研究資料
39 高知県立歴史民俗資料館	高知県立歴史民俗資料館研究紀要第 21 号 2016（平成 28 年度）
高知県立歴史民俗資料館	高知県立歴史民俗資料館年報平成 28 年度№26
高知県立歴史民俗資料館	平成 29 年度幕末維新博関連企画展「大政奉還を「象」った男後藤象二郎」
高知県立歴史民俗資料館	千支の玩具成
高知県立歴史民俗資料館	〈白隠禪師 250 年遠諱記念特別展〉「今を生きる禅文化-伝播から維新を越えて」
高知県立歴史民俗資料館	高知県立歴史民俗資料館研究紀要第 22 号 2017（平成 29 年度）
高知県立歴史民俗資料館	高知県立歴史民俗資料館年報平成 29 年度 No.27
高知県立歴史民俗資料館	平成 30 年度企画展「絵馬から読み解く高知の近代-維新が変えた庶民の暮らし」
高知県立高知城歴史博物館	「山内家伝来の大名道具」（高知県立高知城歴史博物館）
高知県立高知城歴史博物館	「容堂印譜-へそまがり大名の自画像」（高知県立高知城歴史博物館）
高知県立高知城歴史博物館	「山内家のひな人形とひな道具」（高知県立高知城歴史博物館）
高知県立高知城歴史博物館	「土佐藩主山内家資料の世界」（高知県立高知城歴史博物館）
高知県立高知城歴史博物館	高知県立高知城歴史博物館年報第 1 号・第 2 号平成 28 年度・平成 29 年度
安芸市立歴史民俗資料館	安芸市立歴史民俗資料館図録
40 福岡市教育委員会	福岡市埋蔵文化財センター年報第 3 6 号
福岡市教育委員会	平成 29（2017）年度福岡市埋蔵文化財センター年報第 37 号
柳川市	柳川の歴史 1 やながわの成り立ち（田淵義樹）
北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市立自然史・歴史博物館年報平成 27 年度
北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 B 類歴史第 14 号
北九州市立自然史・歴史博物館	東アジア友好博物館交流事業企画展「着物が語る日本の心」
北九州市立自然史・歴史博物館	北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 B 類歴史第 15 号
北九州市立自然史・歴史博物館	「最後の戦国武将小倉藩主小笠原忠真-家康に鬼孫と呼ばれた男」
糸島市教育委員会	第 4 回伊都国フォーラム三雲・井原遺跡国史跡指定記念シンポジウム「伊都国人と文字」（糸島市教育委員会）
43 熊本市立熊本博物館	熊本博物館館報№29
熊本市立熊本博物館	熊本博物館館報№30（2017 年度報告）
44 大分県立歴史博物館	大分県立歴史博物館年報 2016
大分県立歴史博物館	大分県立歴史博物館研究紀要 18
大分市歴史資料館	平成 28 年度特別展（第 35 回）ほとけの王国大分の仏像
大分市歴史資料館	開館 30 周年/大友氏館跡発掘調査 20 周年記念特別展「威信の舞台よみがえる大友館」
佐伯市教育委員会	佐伯藩史料温故知新録十二
佐伯市教育委員会	佐伯市文化財調査報告書第 9 集重要有形民俗文化財「蒲江の漁撈用具」保存修理報告書
	平成 13~28 年度国庫補助事業重要有形民俗文化財蒲江の漁撈用具保存修理事業に伴う報告書
47 沖縄県公文書館	沖縄県公文書館ガイドブック 2018

Ⅱ 文化財事業

文化財は、郷土の歴史や文化を理解する大切な資料であり、地域文化発展の基盤となる貴重な遺産である。そしてこうした文化財を守り後世に伝えていくことは、私たちに課せられた重大な使命であり、責務である。

そのため、文化財の指定や保護の促進、文化財の公開・活用の実践、文化財愛護意識の高揚・啓蒙などを図るべく下記の事業を実施した。

1 文化財保護審議会

(1) 委員

任期 平成 29 年 7 月 1 日～平成 32 年（令和 2 年）6 月 30 日

氏名	分野	略歴	任命	
小川 一朗	古文書	愛知県史特別調査員	平成 5 年 7 月～	再任
中川原育子	仏教美術	名古屋大学准教授	平成 17 年 7 月～	再任
近藤 修	植物	環境省環境カウンセラー	平成 20 年 7 月～	再任
菅野 良司	建築	設計事務所代表取締役	平成 20 年 7 月～	再任
愛甲 昇寛	工芸	愛知県史特別調査員	平成 23 年 7 月～	再任
鬼頭 秀明	民俗	民俗芸能研究家	平成 23 年 7 月～	再任
平松 良雄	考古	宗教法人來薰院代表役員	平成 27 年 10 月～	新任

(2) 審議会の開催

平成 29 年度

第 1 回 平成 29 年 6 月 14 日（水）

(1) 審議事項

- ① 一宮市文化財保護事業補助金交付要綱改正について
- ② 民俗芸能伝承保存事業補助金交付要綱改正について

(2) 協議事項

- ① 市制施行 100 周年記念事業「一宮の文化財めぐり」改訂について
- ② 第 53 回市民文化財めぐりについて
- ③ 優良文化財調査・研修会について
- ④ 文化財防火デー行事について
- ⑤ 平成 29 年度文化財保護審議会日程について

(3) 報告事項

- ① 平成 28 年度文化財保護事業報告について
- ② 平成 29 年度文化財保護事業及び主要予算について
- ③ 文化財保護の報告について

第 2 回 平成 29 年 7 月 5 日 (水)

(1) 協議事項

- ① 一宮市文化財保護審議会会長の選出について
- ② 第 53 回市民文化財めぐりについて
- ③ 優良文化財調査・研修会について
- ④ 市制施行 100 周年記念事業「一宮の文化財めぐり」改訂について

第 3 回 平成 29 年 12 月 20 日 (水)

(1) 審議事項

- ① 市制施行 100 周年記念事業「一宮の文化財めぐり」について

(2) 報告事項

- ① 郷土史関係出版奨励事業について
- ② 第 64 回文化財防火デー関連行事について
- ③ 指定文化財の災害状況等について

優良文化財調査・研修会

実施日 平成 29 年 10 月 5 日 (木)・10 月 6 日 (金)

研修場所 岡山県 (吉備津神社、岡山県立博物館、大原美術館、倉敷美観地区など)

平成 30 年度

第 1 回 平成 30 年 6 月 6 日 (水)

(1) 報告事項

- ① 平成 29 年度文化財保護事業報告について
- ② 平成 30 年度文化財保護事業及び主要予算について

(2) 協議事項

- ① 第 54 回市民文化財めぐりについて
- ② 優良文化財調査・研修会について

第 2 回 平成 30 年 9 月 12 日 (水)

(1) 報告事項

- ① 国指定名勝及び天然記念物「木曾川堤 (サクラ)」滅失について
- ② 国登録有形文化財 (建造物)「木曾川資料館主屋 (旧木曾川町会議事堂)」き損について

(2) 協議事項

- ① 第 54 回市民文化財めぐり解説分担について
- ② 文化財台帳の整備について
- ③ 文化財保護法一部改正に伴う一宮市文化財保護条例改正の検討について

第 3 回 平成 30 年 11 月 22 日 (木)

(1) 報告事項

- ① 第 54 回文化財めぐり開催報告
- ② 第 65 回文化財防火デー関連行事について

優良文化財調査・研修会

開催なし

(3) 文化財の指定・解除

平成 29 年度

指定・解除 ともになし

平成 30 年度

市指定文化財であった真清田神社所蔵の金銅釣灯籠 2 基が愛知県指定文化財に指定された（平成 30 年 8 月 24 日告示）。これにより、市内の指定文化財は、国の重要文化財 17 件、県指定文化財 33 件、市指定文化財 251 件、国選定保存技術 1 件、国登録有形文化財 13 件となった。

2 文化財保護事業

(1) 市民文化財めぐり

文化財は、私たちの過去の歴史や遠い先祖の生活を身近なものとして感じさせてくれる、大切な文化遺産である。こうした文化財に触れることにより、先人を偲び、大切な文化財を愛護する心を培うために開催した。平成 30 年度は午後のみで、生涯学習バスを利用せず、徒歩による散策で実施した。

平成 29 年度 第 53 回市民文化財めぐり

開催日 平成 29 年 11 月 1 日 (水)

コース

- ・ 地藏寺
- ・ 小塞神社
- ・ 妙光寺
- ・ 木曾川資料館
- ・ 玉堂記念木曾川図書館 (特別展「没後 60 年 川合玉堂」)
- ・ 博物館 (特別展「没後 60 年 川合玉堂」)

解説

- ・ 中川原育子 (地藏寺 市指定「木造地藏菩薩立像」・「木造薬師如来坐像」・「木造不動明王立像」・「木造空円上人坐像」、妙光寺「木造聖観音立像」)
- ・ 近藤修 (地藏寺 市指定「イチイガシ」、小塞神社 市指定「小塞神社社叢」)
- ・ 菅野良司 (木曾川資料館)

参加者 16 人、文化財保護審議会委員 5 名 (うち 2 名は一部参加)

平成 30 年度 第 54 回市民文化財めぐり

開催日 平成 30 年 11 月 3 日 (水)

コース 妙興寺・耕雲院 (大和町妙興寺)

解説

- ・ 平松良雄 (妙興寺の歴史・史跡、石庭、大応国師塔銘牌、聯額、耕雲院の歴史)
- ・ 中川原育子 (如意輪観音菩薩坐像、大応国師坐像 [開山堂]、大照禅師坐像 [開山堂]、釈迦三尊坐像、大応国師坐像 [仏殿]、大照禅師坐像 [仏殿]、天部立像 2 軀、進叟禅師坐像、不動明王立像、大日如来坐像)
- ・ 菅野良司 (鐘楼、勅使門、総門)
- ・ 愛甲昇寛 (梵鐘)
- ・ 近藤良司 (妙興寺の自然)

参加者 27 人、文化財保護審議会委員 6 名

(2) 民俗芸能公演

現在でも活動を続け継承されている無形（民俗）文化財の公演を行い、伝統芸能の保存継承に貢献するために開催した。

平成 29 年度

平成 30 年 2 月 11 日（日） 「島文楽」（島文楽保存会）
平成 30 年 2 月 18 日（日） 「ばしょう踊」（ばしょう踊保存会）
平成 30 年 2 月 25 日（日） 「宮後住吉踊」（宮後住吉踊保存会）

平成 30 年度

開催なし

(3) 文化財防火デー関連行事

1 月 26 日は、法隆寺金堂壁画が焼損した日（昭和 24 年）に当たる。この日を「文化財防火デー」と定め、この日を中心として文化財を火災、震災その他の災害から守るため、全国的に文化財防火運動を展開し、国民一般の文化財愛護思想の高揚を図ることになっている。そこで、市教育委員会では、市消防本部予防課と合同で防火訓練・文化財防火パトロール・文化財管理者研修会を実施した。

平成 30 年度は、文化財管理者研修会の見学場所を変更し、午前だけの日程で行った。

平成 29 年度 第 64 回文化財防火デー関連行事

①文化財防火パトロール

実施日 平成 30 年 1 月 16 日（火） 午前 9 時 30 分～午後 3 時
査察内容 文化財管理状況等点検、文化財周辺環境の点検・防火指導、防火用設備等の点検指導
査察者 消防本部予防課予防担当 1 名、博物館職員 1 名
場所 瀬部山車・臼台祭保存会（瀬部）、小塞神社及び浅井古墳群（浅井町）、黒岩祇園祭保存会（黒岩）、木曾川堤（サクラ）（黒岩～北方）、ばしょう踊保存会（北方町）、島文楽保存会（島村）

②文化財防火訓練

実施日 平成 30 年 1 月 25 日（木） 午前 10 時から（約 30 分）
場所 御裳神社境内（三条）
参加者 御裳神社関係者 25 人、文化財管理者 20 人、文化財保護審議会委員 1 人、消防本部・尾西消防署・地元消防団 31 人、博物館職員 3 人

③文化財管理者研修会

実施日 平成30年1月25日(木) 午前9時から午後3時30分

内容 防火訓練参加、防火指導の受講、熱田神宮宝物館見学

参加者 文化財管理者20人、一宮市文化財保護審議会委員1人、博物館職員2人

平成30年度 第65回文化財防火デー関連行事

①文化財防火パトロール

実施日 平成31年1月16日(水)

査察内容 文化財管理状況等点検、文化財周辺環境の点検・防火指導、防火用設備等の点検指導

査察者 消防本部予防課予防担当1名、博物館職員1名

場所 木曾川資料館(木曾川町)、車塚古墳(今伊勢町)、博物館、妙興寺、真清田神社

②文化財防火訓練

実施日 平成31年1月25日(水) 午前10時から(約30分)

場所 石刀神社境内(今伊勢町)

参加者 石刀神社関係者・文化財管理者22人、消防本部11人、消防署15人、消防団6人、博物館職員2人

③文化財管理者研修会

実施日 平成31年1月25日(水) 午前9時から午前11時30分

内容 防火訓練参加、防火指導の受講、真清田神社宝物館見学

参加者 文化財管理者8人、一宮市文化財保護審議会委員1人、博物館職員2人

(4) 文化財保護事業補助金

国及び愛知県指定文化財並びに一宮市指定文化財（以下「指定文化財」という。）で市内に存する文化財の保護、保存に必要な事業を実施するのに要する経費の一部を補助することにより、指定文化財を保護することを目的とする。補助事業者等は、市内に存する指定文化財の所有者及び管理者とする。

平成 29 年度

指定	文化財名称	補助事業者	補助事業内容
国県市	妙興寺建造物	宗教法人妙興寺	消防用設備修繕（自動火災報知機・屋外消火栓設備）
国県市	妙興寺建造物	宗教法人妙興寺	消防用設備等点検
国県市	妙興寺建造物	宗教法人妙興寺	火災保険加入
市	甘酒祭	重吉甘酒祭保存会	保存伝承
市	小塞神社社叢	小塞神社	清掃・除草
市	島文楽	島文楽保存会	保存伝承
県	長誓寺本堂	宗教法人長誓寺	消防用設備等点検
市	七つ石	七つ石保存会	清掃・除草
市	野見神社のスタジイ	野見神社	施肥・消毒
市	ばしょう踊	ばしょう踊保存会	保存伝承
県	水法芝馬祭	水法芝馬祭保存会	保存伝承
市	宮後住吉踊	宮後住吉踊保存会	保存伝承
市	臼台祭	瀬部山車・臼台祭保存会	備品購入（提燈）及び修繕（太鼓張替）
市	臼台祭	瀬部山車・臼台祭保存会	保存伝承
市	石刀祭	石刀まつり山車保存会	保存伝承
市	石刀神社祭礼用山車	石刀まつり山車保存会	山車庫修繕（山之小路車庫）
市	石刀神社祭礼用山車	石刀まつり山車保存会	山車車輪修繕（山之小路車）
市	起六斎ばやし	起六斎ばやし保存会	保存伝承
市	小原の千体地蔵	小原町内会	火災保険加入
市	西五城木遣り及び棒振り	西五城木遣り及び棒振り保存会	保存伝承
市	玉ノ井清水	宗教法人賀茂神社	清掃
市	刀剣	宗教法人賀茂神社	維持管理
市	黒岩祇園祭	黒岩祇園祭保存会	保存伝承

平成 30 年度

指定	文化財名称	補助事業者	補助事業内容
市	甘酒祭	重吉甘酒祭保存会	保存伝承
市	石刀神社祭礼用山車	石刀まつり山車保存会	文化財保護（修理）
市	石刀祭	石刀まつり山車保存会	保存伝承
市	稲荷山古墳	稲荷三ツ井町内会	文化財保護（整備）
市	臼台祭	瀬部山車・臼台祭保存会	保存伝承
市	臼台祭	瀬部山車・臼台祭保存会	保存伝承（太鼓修理等）
市	起六斎ばやし	起六斎ばやし保存会	保存伝承
市	小塞神社社叢	小塞神社	文化財保護（清掃・除草）
市	小塞神社社叢	小塞神社	文化財保護（枯木等処理）
市	小原の千体地藏	小原町内会	文化財保護（火災保険加入）
市	黒岩祇園祭	黒岩祇園祭保存会	保存伝承
市	島文楽	島文楽保存会	保存伝承
市	島文楽	島文楽保存会	保存伝承（三味線修理）
市	玉ノ井清水	宗教法人賀茂神社	文化財保護（清掃）
市	刀剣	宗教法人賀茂神社	文化財保護（維持管理）
市	玉野クロガネモチ群	玉野八剣社	文化財保護（樹木剪定等）
件	長誓寺本堂	宗教法人長誓寺	文化財保護（消防用設備等点検）
市	七つ石	七つ石保存会	文化財保護（清掃・除草）
市	西五城木遣り及び棒振り	西五城木遣り及び棒振り保存会	保存伝承
市	野見神社のスタジイ	野見神社	文化財保護（施肥・消毒）
県	ばしょう踊	ばしょう踊保存会	保存伝承
県	水法芝馬祭	水法芝馬祭保存会	保存伝承
市	宮後住吉踊	宮後住吉踊保存会	保存伝承
国県市	妙興寺建造物	宗教法人妙興寺	文化財保護（消防用設備等点検）
国県市	妙興寺建造物	宗教法人妙興寺	文化財保護（火災保険加入）
国	妙興寺建造物	宗教法人妙興寺	文化財保護（勅使門調査委託）
市	妙興寺建造物	宗教法人妙興寺	文化財保護（庫裡漆喰壁修理）

(5) 民俗芸能伝承保存事業補助金

市内の民俗芸能及び地域に伝わる伝統行事の保存団体が、伝承保存事業を実施するのに要する経費の一部を補助することにより、本市における民俗芸能及び伝統行事を保護することを目的とする。

補助対象事業は、民俗芸能及び伝統行事の伝承保存事業で、毎年4月から翌年3月までに実施される事業。ただし、無形民俗文化財として指定を受けている事業は除く。

補助対象事業者等は、補助事業を実施する保存団体で、一宮民俗芸能連盟加盟団体及び必要と認める団体とする。ただし、文化財として指定を受けている団体は除く。

平成 29 年度

民俗芸能名称	補助事業者	補助事業内容
機織唄	機織唄保存会	保存伝承
里神楽	一宮真清伶人会	保存伝承
草笛太鼓打囃子	馬場獅子屋形打囃子保存会	保存伝承
北今太鼓	笛太鼓保存会	保存伝承

平成 30 年度

民俗芸能名称	補助事業者	補助事業内容
北今太鼓	笛太鼓保存会	保存伝承
草笛太鼓打囃子	馬場獅子屋形打囃子保存会	保存伝承
里神楽	真清伶人会（名称変更）	保存伝承
機織唄	機織唄保存会	保存伝承

(6) 民俗芸能伝承推進事業

公演機会の提供を図ることにより、無形文化財である民俗芸能を広く後世に継承していくことを目的として、保存団体を派遣して公演を実施し、出演謝礼を支出した。

平成 29 年度

①島文楽保存会

実施日	開催場所／申請者	鑑賞者数
平成 29 年 9 月 30 日 (土)	一宮市立宮西公民館／同	70 人
平成 29 年 9 月 24 日 (日)	島村公民館／島村町内会敬老会	220 人
平成 29 年 10 月 12 日 (木)	一宮市立葉栗中学校／同	528 人
平成 29 年 11 月 16 日 (木)	一宮市立葉栗中学校／同	400 人
平成 30 年 1 月 25 日 (木)	一宮市立神山小学校／同	139 人
平成 30 年 1 月 27 日 (土)	一宮市立富士小学校／同	591 人
平成 30 年 2 月 16 日 (金)	一宮市立貴船小学校／同	252 人

②宮後住吉踊保存会

実施日	開催場所／申請者	鑑賞者数
平成 30 年 2 月 8 日 (木)	一宮市立今伊勢西小学校／同	75 人

平成 30 年度

①島文楽保存会

実施日	開催場所／申請者	鑑賞者数
平成 30 年 4 月 27 日 (金)	一宮市立北方中学校／同	273 人
平成 30 年 6 月 16 日 (土)	i ビル シビックテラス／私学をよくする愛知父母懇談会一宮ブロック	50 人
平成 30 年 7 月 8 日 (日)	葉栗公民館／葉栗連区	150 人
平成 30 年 9 月 21 日 (金)	萩原公民館／萩原公民館 女性学習部	64 人
平成 30 年 9 月 23 日 (日)	島村公民館／島村町内会	250 人
平成 30 年 11 月 10 日 (土)	一宮市立葉栗小学校／同	180 人
平成 31 年 1 月 25 日 (金)	一宮市立神山小学校／同	168 人
平成 31 年 2 月 16 日 (金)	一宮市立貴船小学校／同	229 人
平成 31 年 3 月 24 日 (日)	国営木曽三川公園 138 タワーパーク野外ステージ／木曽三川公園管理センター	120 人

②宮後住吉踊保存会

実施日	開催場所／申請者	鑑賞者数
平成 31 年 2 月 7 日（木）	一宮市立今伊勢西小学校／同	72 人
平成 31 年 3 月 24 日（日）	国営木曾三川公園 138 タワーパーク野外ステージ／木曾三川公園管理センター	120 人

③ばしょう踊保存会

実施日	開催場所／申請者	鑑賞者数
平成 31 年 3 月 24 日（日）	国営木曾三川公園 138 タワーパーク野外ステージ／木曾三川公園管理センター	120 人

(7) 郷土史関係出版物等奨励事業

郷土史研究活動の振興に資することを目的に、一宮地方の郷土史に関する研究成果をまとめたもののうち、自費出版に対して印刷に要する経費の一部を補助した。補助対象は、一宮地方の歴史、考古、民俗、自然などに関する研究、成果をまとめたもの。

平成 29 年度に交付要綱を改正し、事業名を郷土史関係出版物等奨励事業と改め、平成 30 年 4 月 1 日から施行した。

平成 29 年度

亀山雪峰『書のいろいろ<筆研叢話>』

平成 30 年度

亀山雪峰『全日本を網羅した書道会をつくり上げた 一宮の書家 長谷川流石』

(8) 文化財標柱の設置等

平成 29 年度

新規設置 なし

銘板取替 なし

平成 30 年度

新規設置 なし

銘板取替 長福寺廃寺跡（千秋町）、玉野八剣社（玉野）

(9) 木曾川堤桜管理委託事業

国指定名勝及び天然記念物「木曾川堤（サクラ）」の保護および樹勢の回復を図るため、受託事業者に委託し、防虫剤散布、下枝剪定、施肥、樹木調査を実施した。

(10) 埋蔵文化財の発掘調査

埋蔵文化財包蔵地

種別	現存	滅失
貝塚	0	1
集落跡	18	0
遺物散布地	159	15
古墳	31	92
古窯跡	0	0
社寺跡	9	3
城跡	1	7
祭祀遺跡	3	0
その他の墓	3	0
その他の遺跡	4	0
不明	0	41
合計	228	179
総計	407	

平成 31 年 3 月 31 日現在

発掘調査

平成 29 年度 なし

平成 30 年度 1 件

No.	調査期間	遺跡名	所在地	調査理由	調査面積
1	30.11.6～31.3.25	福塚前遺跡	一宮市今伊勢町馬寄字北塚本地内	市道拡幅	3,600 m ²

今伊勢町と木曾川町の旧市境に位置し、平成 29 年度の確認調査で確認した遺跡である。

古墳時代の遺構は、調査区全域で溝 7 条、土坑 2 基を検出。大きな溝からは須恵器が出土しており、形状的にも古墳の周溝だと考えられるものが多い。また、土坑からは土師器に混じって炭化物が出土している。

中世の遺構は、調査区全域で方形土坑 17 基検出。方形土坑は出土遺物が極めて少なく、その性格は不明である。

近世の遺構は大型土坑 1 基のみである。直径は 7m 近くあり、馬の骨や長石釉が施された小皿が出土した。

確認調査

平成 29 年度 2 件

No.	調査日	遺跡名	原因	遺物	遺構	所見
1	30.1.29、 30.2.1	福塚前遺跡、 門間島海遺跡	市道拡幅	須恵器・ 土師器	溝	福塚前遺跡内の調査区で、地表面から 0.5~0.8m のところで遺構・遺物が見つかった。門間島海遺跡内の調査区では特に認められなかった。
2	30.3.17	妙興寺境内 地遺跡	駐車場造成	土師器	なし	地山層と考えられていた砂層の下に洪水砂起因と思われる層を確認した。

平成 30 年度 2 件

No.	調査日	遺跡名	原因	遺物	遺構	所見
1	30.5.22	島崎遺跡	店舗および 駐車場造成	なし	なし	黄褐砂層は、深いところだと 100cm 近い堆積が確認された。また褐灰のシルト層は根痕跡が認められ、田の土であろう。
2	31.2.4、 31.2.6 31.2.7	町屋竹ヶ鼻遺跡	工場新築	弥生土 器・ 土師器・ 山茶碗・ 陶磁器	なし	調査区 No.3 以外は、おおむね同じような堆積状況であることが確認された。No.3 では、弥生土器片が数点確認されているものの、明確な遺構が確認できず、また同伴遺物に土師器や山茶碗が散見されることから、攪乱していると考えられる。

試掘調査

平成 29 年度 なし

平成 30 年度 なし

工事立会調査

平成 29 年度 68 件

No.	届出日	遺跡名	保護法	原因
1	H29.3.29	笹野二本茶木遺跡	93	電柱
2	H29.3.30	大野南一色遺跡	93	電柱
3	H29.4.2	門間遺跡	93	個人住宅
4	H29.4.1	お申塚古墳	93	個人住宅
5	H29.4.3	池之上遺跡	93	電柱
6	H29.4.4	芥宮寺遺跡	93	電柱
7	H29.4.9	浅野福寿庵遺跡	93	個人住宅
8	H29.4.12	塚越の塚遺跡	93	電柱
9	H29.5.12	光明寺神宮遺跡	93	個人住宅
10	H29.5.12	光明寺城跡	93	電柱
11	H29.5.23	瀬部上ノ郷集落南遺跡	93	電柱
12	H29.6.6	光明寺集落南遺跡	93	個人住宅
13	H29.6.6	宇夫須那神社古墳、島村高木遺跡	93	ガス
14	H29.6.12	瀬部上ノ郷集落南遺跡	93	電柱
15	H29.6.12	妙興寺集落東遺跡	93	電柱
16	H29.6.15	佐千原集落東遺跡	93	個人住宅
17	H29.6.20	光明寺丈六遺跡	93	個人住宅
18	H29.6.28	東向野遺跡	93	電柱
19	H29.7.12	門間島海遺跡	93	電柱
20	H29.7.26	大毛池田遺跡	93	店舗
21	H29.7.21	光明寺丈六遺跡	93	電柱
22	H29.8.9	西浅井集落北遺跡	93	個人住宅
23	H29.8.14	馬見塚遺跡	93	電柱
24	H29.8.23	於保集落東遺跡	93	電柱
25	H29.8.29	光明寺集落東遺跡	93	電柱
26	H29.8.29	長福寺廃寺	93	電柱
27	H29.9.5	瀬部上ノ郷集落南遺跡	93	電柱
28	H29.9.12	春明集落東遺跡	93	個人住宅
29	H29.9.12	丹羽大塚古墳	93	電柱
30	H29.9.17	大毛沖遺跡	93	個人住宅
31	H29.9.21	薬師堂跡・苺安賀遺跡	94	水道
32	H29.9.26	神戸廃寺	93	宅地造成、個人住宅
33	H29.9.28	田所遺跡	93	工場
34	H29.9.28	於保集落北遺跡	93	個人住宅
35	H29.10.3	西海戸集落南遺跡	93	個人住宅

No.	届出日	遺跡名	保護法	原因
36	H29.10.10	加納馬場集落東遺跡	93	電柱
37	H29.10.10	東向野遺跡	94	電柱
38	H29.10.11	瀬部上ノ郷集落南遺跡	93	個人住宅
39	H29.10.20	春明集落東遺跡	93	電柱
40	H29.10.20	馬寄集落東遺跡	93	電柱
41	H29.10.20	北小湊集落西遺跡	93	電柱
42	H29.10.27	瀬部上ノ郷集落南遺跡	93	個人住宅
43	H29.11.2	田所遺跡	93	個人住宅
44	H29.11.7	瀬部上ノ郷集落南遺跡	93	個人住宅
45	H29.11.7	加納馬場集落北遺跡	93	個人住宅
46	H29.11.9	時之島集落南遺跡	93	個人住宅
47	H29.11.14	苅安賀遺跡	93	個人住宅
48	H29.11.14	瀬部上ノ郷集落南遺跡	93	電柱
49	H29.12.1	田所遺跡	93	個人住宅
50	H29.12.4	島村集落東遺跡	93	電柱
51	H29.12.19	南若栗遺跡・清郷遺跡	93	ガス
52	H29.12.21	古金島遺跡	93	店舗
53	H29.12.22	道場遺跡	93	宅地造成
54	H29.12.27	馬見塚遺跡	93	倉庫
55	H30.1.13	串作集落東遺跡	93	電柱
56	H29.12.19	西上免遺跡	93	個人住宅
57	H30.1.16	浅井 20 号墳 (愛宕塚古墳)	94	水道
58	H30.1.23	田所遺跡	93	個人住宅
59	H30.1.30	堂浦遺跡	93	ガス管
60	H30.2.1	仏供田遺跡	93	個人住宅
61	H30.2.2	北小湊集落西遺跡	93	個人住宅
62	H30.2.7	重吉城跡	93	電柱
63	H30.2.21	大毛沖遺跡	93	電柱
64	H30.2.27	加納馬場集落北遺跡	93	個人住宅
65	H30.2.23	馬見塚遺跡	93	個人住宅
66	H30.2.27	八王子遺跡	93	宅地造成
67	H30.2.15	門間島海遺跡	93	集合住宅
68	H30.3.15	馬見塚遺跡	93	宅地造成

平成 30 年度 97 件

No.	届出日	遺跡名	保護法	原因
1	H30.3.15	馬見塚遺跡	93	宅地造成
2	H30.3.18	馬見塚遺跡	93	個人住宅
3	H30.3.27	笹野二本茶木遺跡	93	個人住宅
4	H30.3.30	開明高野集落西遺跡	93	電柱
5	H30.4.1	加納馬場集落北遺跡	93	電柱
6	H30.4.3	馬寄集落南遺跡	93	ガス
7	H30.4.8	南小淵集落東遺跡	93	個人住宅
8	H30.4.12	南若栗遺跡	93	個人住宅
9	H30.4.18	大毛沖遺跡	93	個人住宅
10	H30.4.26	瀬部上ノ郷集落南遺跡	93	個人住宅
11	H30.4.28	佐千原集落西遺跡	93	介護施設
12	H30.4.30	佐千原集落北遺跡、佐千原城跡	93	個人住宅
13	H30.5.8	荊安賀遺跡	93	個人住宅
14	H30.5.12	馬見塚遺跡	93	電柱
15	H30.5.18	開明新田郷集落東遺跡	93	電柱
16	H30.5.26	大毛沖遺跡	93	個人住宅
17	H30.6.8	加納馬場集落北遺跡	93	個人住宅
18	H30.6.20	大野南一色遺跡	93	個人住宅
19	H30.6.20	時之島集落南遺跡	93	個人住宅
20	H30.7.4	浅井 20 号墳（愛宕塚古墳）	94	道路
21	H30.7.18	佐千原集落北遺跡	94	水道
22	H30.7.19	高田集落南遺跡	93	個人住宅
23	H30.7.19	加納馬場集落東遺跡	93	電柱
24	H30.7.20	西浅井集落北遺跡	93	個人住宅
25	H30.7.25	時之島集落南遺跡	93	電柱
26	H30.7.31	佐千原集落北遺跡	93	個人住宅
27	H30.7.31	芝原集落南遺跡	93	個人住宅
28	H30.7.31	高田集落南遺跡	93	個人住宅
29	H30.8.1	高木遺跡	93	電柱
30	H30.8.1	春明集落東遺跡	93	個人住宅
31	H30.8.1	西海戸集落南遺跡	93	個人住宅
32	H30.8.9	稲荷山古墳陪塚	93	個人住宅
33	H30.8.9	南小淵集落東遺跡	93	電柱
34	H30.8.15	前田遺跡	93	個人住宅
35	H30.8.20	苗代遺跡	93	個人住宅
36	H30.8.28	時之島城跡	93	個人住宅
37	H30.8.29	島村集落東遺跡	93	個人住宅

No.	届出日	遺跡名	保護法	原因
38	H30.9.1	起宿脇本陣跡	94	耐震補強整備
39	H30.9.5	田所遺跡	93	個人住宅
40	H30.9.12	高木遺跡	93	個人住宅
41	H30.9.12	時之島集落南遺跡	93	個人住宅
42	H30.9.12	妙興寺集落南遺跡	93	集合住宅
43	H30.9.16	森本集落東遺跡	93	電柱
44	H30.9.17	時之島城跡	93	個人住宅
45	H30.9.19	名栗集落北遺跡	93	個人住宅
46	H30.9.26	高田集落南遺跡	93	電柱
47	H30.10.1	加納馬場集落北遺跡	93	ガス
48	H30.10.1	重吉城跡	93	個人住宅
49	H30.10.1	苺安賀遺跡	93	個人住宅
50	H30.10.4	南若栗遺跡	93	個人住宅
51	H30.10.12	西海戸集落南遺跡	93	個人住宅
52	H30.10.17	時之島集落南遺跡	93	個人住宅
53	H30.10.19	蛇塚古墳	93	電柱
54	H30.10.24	浅野福寿庵遺跡、浅野大茶木遺跡	94	下水道
55	H30.10.24	薬師堂跡、地蔵前遺跡	94	下水道
56	H30.10.26	前田遺跡	93	電柱
57	H30.10.26	明地集落東遺跡	93	個人住宅
58	H30.11.1	下浅野集落東遺跡	93	建物解体
59	H30.11.2	加納馬場集落北遺跡	93	電柱
60	H30.11.8	門間島海遺跡	93	電柱
61	H30.11.8	馬寄集落南遺跡	93	電柱
62	H30.11.8	門間島海遺跡	93	個人住宅
63	H30.11.16	西海戸集落南遺跡	93	個人住宅
64	H30.11.27	浅野福寿庵遺跡	93	個人住宅
65	H30.12.4	瀬部上ノ郷集落南遺跡	93	電柱
66	H30.12.4	時之島集落南遺跡	93	個人住宅
67	H30.12.4	門間島海遺跡	93	個人住宅
68	H30.12.5	名栗集落北遺跡	93	電柱
69	H30.12.19	馬見塚遺跡	93	電柱
70	H30.12.19	加納馬場集落北遺跡	93	電柱
71	H30.12.19	大毛五百人塚遺跡	93	電柱
72	H30.12.26	名栗集落北遺跡	93	ガス
73	H30.12.26	高木遺跡	93	集合住宅
74	H30.12.27	浅野大茶木遺跡	93	個人住宅
75	H30.12.27	浅野大茶木遺跡	93	個人住宅

No.	届出日	遺跡名	保護法	原因
76	H31.1.9	名栗集落北遺跡	93	電柱
77	H31.1.18	二夕子遺跡	93	個人住宅
78	H31.1.22	二夕子遺跡	93	電柱
79	H31.1.24	五日市場集落南遺跡	93	個人住宅
80	H31.1.24	南小湊集落東遺跡	93	電柱
81	H31.1.25	馬見塚遺跡	93	電柱
82	H31.1.29	馬寄集落南遺跡	93	集合住宅
83	H31.2.5	西大海道集落北遺跡	93	個人住宅
84	H31.2.6	時之島集落南遺跡	93	個人住宅
85	H31.2.7	江森東之森遺跡	93	個人住宅
86	H31.2.9	大平遺跡	93	集合住宅
87	H31.2.14	雀戸遺跡	93	個人住宅
88	H31.2.19	戸塚集落北遺跡	93	電柱
89	H31.2.21	門間島海遺跡	93	電柱
90	H31.2.21	高田集落南遺跡	93	個人住宅
91	H31.2.26	西大海道集落北遺跡	93	ガス
92	H31.2.28	道場遺跡	93	倉庫
93	H31.3.1	西浅井集落北遺跡	93	ガス
94	H31.3.1	南小湊集落東遺跡	93	個人住宅
95	H31.3.1	西大海道集落北遺跡	93	個人住宅
96	H31.3.5	於保集落南遺跡	93	電柱
97	H31.3.14	南小湊集落東遺跡	93	電柱

慎重工事

平成 29 年度 72 件

No.	届出日	遺跡名	保護法	原因
1	H29.3.31	妙興寺集落南遺跡	93	個人住宅
2	H29.4.11	神戸廃寺	93	ガス
3	H29.4.20	加納馬場集落東遺跡	93	個人住宅
4	H29.4.20	森本薬師遺跡	93	ガス
5	H29.4.21	四之宮遺跡	93	ガス
6	H29.4.20	門間遺跡	93	個人住宅
7	H29.4.21	鞆江神社西遺跡	93	電柱
8	H29.4.28	門間島海遺跡	93	個人住宅
9	H29.4.28	妙興寺集落東遺跡	93	個人住宅
10	H29.5.2	串作集落東遺跡	93	電柱
11	H29.5.14	加納馬場集落東遺跡	93	個人住宅
12	H29.6.1	妙興寺集落南遺跡	93	個人住宅
13	H29.6.2	伝法寺廃寺	93	宅地造成
14	H29.6.9	毛受遺跡	93	個人住宅
15	H29.6.2	氏神東遺跡	94	水道
16	H29.6.21	門間島海遺跡	93	集合住宅
17	H29.6.21	門間島海遺跡	93	集合住宅
18	H29.6.30	妙興寺集落南遺跡	93	ガス
19	H29.6.30	妙興寺境内地遺跡	93	ガス
20	H29.7.7	荏安賀遺跡	93	個人住宅
21	H29.7.5	大野クミノキ遺跡	94	水道
22	H29.7.13	毛受遺跡	93	ガス
23	H29.7.27	妙興寺集落東遺跡	93	集合住宅
24	H29.8.8	氏神東遺跡	94	水道
25	H29.8.9	妙興寺集落東遺跡	93	個人住宅
26	H29.8.9	神戸廃寺	93	個人住宅
27	H29.8.19	池野上遺跡	93	その他建物
28	H29.8.29	伝法寺廃寺	93	個人住宅
29	H29.8.29	荏安賀遺跡	93	ガス
30	H29.9.9	荏安賀遺跡	93	個人住宅
31	H29.9.14	加納馬場集落北遺跡	93	個人住宅
32	H29.9.14	森本集落東遺跡	93	個人住宅
33	H29.9.14	森本集落東遺跡	93	個人住宅
34	H29.9.14	森本集落東遺跡	93	個人住宅
35	H29.9.15	芝原古井戸遺跡	93	個人住宅

No.	届出日	遺跡名	保護法	原因
36	H29.9.20	毛受遺跡	93	ガス
37	H29.9.20	妙興寺集落南遺跡	93	集合住宅
38	H29.9.21	町屋集落南遺跡	93	個人住宅
39	H29.10.3	浅井 20 号墳 (愛宕塚古墳)	93	ガス
40	H29.10.6	馬見塚遺跡	93	ガス
41	H29.10.11	光明寺神宮遺跡	93	個人住宅
42	H29.10.10	神戸廃寺	93	個人住宅
43	H29.10.17	黒田城跡	93	ガス
44	H29.10.18	伝法寺廃寺	93	個人住宅
45	H29.10.19	大毛池田遺跡	93	その他建物
46	H29.10.21	黒田城跡	93	集合住宅
47	H29.10.25	氏神東遺跡 笹野二本茶木遺跡	94	水道
48	H29.11.1	名栗集落北遺跡	93	ガス
49	H29.11.8	於保集落北遺跡	93	個人住宅
50	H29.11.9	妙興寺集落東遺跡	93	電柱
51	H29.11.21	神戸廃寺	93	電柱
52	H29.12.1	森本集落東遺跡	93	個人住宅
53	H29.12.13	田所遺跡	93	電柱
54	H29.12.15	伝法寺廃寺	93	個人住宅
55	H29.12.15	伝法寺廃寺	93	個人住宅
56	H29.12.22	神戸廃寺	93	電柱
57	H29.12.28	門間遺跡	93	集合住宅
58	H30.1.4	開明高野島集落西遺跡	93	電柱
59	H30.1.5	門間島海遺跡	93	宅地造成
60	H30.1.18	苅安賀遺跡	93	電柱
61	H30.1.23	神戸廃寺	93	ガス
62	H30.1.23	馬見塚遺跡	93	集合住宅
63	H30.1.30	西海戸集落南遺跡	93	電柱
64	H30.1.31	馬見塚遺跡	93	個人住宅
65	H30.2.1	神戸廃寺	93	電柱
66	H30.2.6	伝法寺本郷遺跡	93	個人住宅
67	H30.2.10	森本集落東遺跡	93	個人住宅
68	H30.2.16	於保集落東遺跡	93	個人住宅
69	H30.2.22	妙興寺集落西遺跡	93	個人住宅
70	H30.3.15	門間島海遺跡	93	宅地造成
71	H30.3.15	門間島海遺跡	93	宅地造成
72	H30.3.15	於保集落北遺跡	93	電柱

平成 30 年度 118 件

No.	届出日	遺跡名	保護法	原因
1	H30.3.15	門間島海遺跡	93	個人住宅
2	H30.3.15	門間島海遺跡	93	個人住宅
3	H30.3.15	於保集落北遺跡	93	電柱
4	H30.3.28	馬見塚遺跡	93	個人住宅
5	H30.4.6	町屋遺跡	93	個人住宅
6	H30.4.19	門間島海遺跡	93	電柱
7	H30.4.20	春明集落東遺跡	93	個人住宅
8	H30.4.21	開明新田郷集落東遺跡	93	電柱
9	H30.5.1	開明新田郷集落東遺跡	93	個人住宅
10	H30.5.8	荊安賀遺跡	93	個人住宅
11	H30.5.18	浅野羽根集落北遺跡	93	電柱
12	H30.5.25	森本集落東遺跡	93	個人住宅
13	H30.5.25	下渡遺跡	94	水道
14	H30.5.28	佐千原集落北遺跡	94	水道
15	H30.5.29	門間島海遺跡	93	個人住宅
16	H30.5.29	佐野集落西遺跡	94	電話柱
17	H30.5.29	塩尻集落西遺跡	94	電話柱
18	H30.5.30	八王子遺跡	93	個人住宅
19	H30.5.31	開明高野集落西遺跡	93	電柱
20	H30.5.31	馬見塚遺跡	93	ガス
21	H30.6.6	森本集落東遺跡	93	個人住宅
22	H30.6.6	下浅野集落東遺跡	94	電話柱
23	H30.6.12	浅野集落北遺跡	93	電柱
24	H30.6.14	荊安賀遺跡	93	電柱
25	H30.6.14	門間島海遺跡	93	個人住宅
26	H30.6.17	浅野羽根集落北遺跡	93	個人住宅
27	H30.6.17	馬見塚遺跡	93	個人住宅
28	H30.6.19	浅野集落北遺跡	94	電話柱
29	H30.6.19	浅野集落北遺跡	93	個人住宅
30	H30.6.20	馬見塚遺跡	93	個人住宅
31	H30.6.21	堂浦遺跡	93	個人住宅
32	H30.6.22	門間遺跡	93	個人住宅
33	H30.6.22	門間遺跡	93	ガス
34	H30.6.26	浅野大茶木遺跡	93	個人住宅
35	H30.6.26	馬見塚遺跡	93	ガス
36	H30.7.2	玉ノ井城跡	94	水道
37	H30.7.3	荊安賀遺跡	94	鉄道、道路

No.	届出日	遺跡名	保護法	原因
38	H30.7.5	門間島海遺跡	93	電柱
39	H30.7.5	光明寺集落南遺跡	93	ガス
40	H30.7.10	光明寺集落南遺跡	93	ガス
41	H30.7.13	九日市場集落南遺跡	93	電柱
42	H30.7.13	妙興寺集落南遺跡	93	電柱
43	H30.7.18	門間遺跡	93	ガス
44	H30.7.19	妙興寺境内地遺跡	93	電柱
45	H30.7.26	浅野福寿庵遺跡	93	電柱
46	H30.7.28	池之上遺跡	93	電柱
47	H30.7.31	妙興寺集落西遺跡	93	ガス
48	H30.7.31	浅井 20 号墳（愛宕塚古墳）	93	ガス
49	H30.7.31	①浅野集落北遺跡 ②北小淵集落西遺跡	94	電話柱
50	H30.8.4	南高井集落北遺跡	93	整地
51	H30.8.7	森本集落東遺跡	93	個人住宅
52	H30.8.8	北小淵集落東遺跡	93	ガス
53	H30.8.8	開明高野島集落西遺跡	93	個人住宅
54	H30.8.9	串作集落東遺跡	93	電柱
55	H30.8.27	加納馬場集落北遺跡	93	個人住宅
56	H30.8.28	佐野集落西遺跡	93	ガス
57	H30.8.31	名栗集落北遺跡	93	個人住宅
58	H30.9.5	馬見塚遺跡	93	個人住宅
59	H30.9.7	堂浦遺跡	93	電柱
60	H30.9.10	八王子遺跡	93	個人住宅
61	H30.9.13	堂浦遺跡	93	ガス
62	H30.9.16	加納馬場集落北遺跡	93	個人住宅
63	H30.9.19	伝法寺廃寺	94	電話柱
64	H30.9.22	妙興寺境内地遺跡	93	電柱
65	H30.9.22	名栗集落北遺跡	93	個人住宅
66	H30.9.26	馬寄集落南遺跡	93	ガス
67	H30.9.27	馬見塚遺跡	93	個人住宅
68	H30.9.28	島崎遺跡	93	店舗
69	H30.10.5	浅井 D19 号墳・大野南一色遺跡	94	水道
70	H30.10.9	加納馬場集落北遺跡	93	電柱
71	H30.10.10	加納馬場集落北遺跡	94	電話柱
72	H30.10.11	芝原集落南遺跡	93	電柱
73	H30.10.16	名栗集落北遺跡	93	宅地造成
74	H30.10.16	浅野集落北遺跡	93	個人住宅

No.	届出日	遺跡名	保護法	原因
75	H30.10.26	外割田城跡	93	個人住宅
76	H30.10.29	於保集落東遺跡	93	電柱
77	H30.10.30	玉ノ井木曾川水没遺跡	94	河川
78	H30.10.31	蒲原遺跡	93	個人住宅
79	H30.11.12	芝原集落南遺跡	93	個人住宅
80	H30.11.12	玉ノ井城跡	93	ガス、水道
81	H30.11.20	戸塚集落北遺跡	93	個人住宅
82	H30.11.22	名栗集落北遺跡	93	個人住宅
83	H30.11.29	玉ノ井城跡	93	ガス
84	H30.11.29	大平遺跡	93	個人住宅
85	H30.11.30	元屋敷遺跡	93	作業所
86	H30.12.4	馬見塚遺跡	93	宅地造成
87	H30.12.4	加納馬場集落北遺跡	94	電話柱
88	H30.12.4	馬寄集落北遺跡	93	個人住宅
89	H30.12.11	門間遺跡	93	個人住宅
90	H30.12.14	馬見塚遺跡	93	個人住宅
91	H30.12.16	三ツ井城之越遺跡	93	個人住宅
92	H30.12.26	五日市場宇福寺西遺跡	93	電柱
93	H31.1.10	毛受遺跡	93	個人住宅
94	H31.1.16	苧安賀遺跡	93	個人住宅
95	H31.1.16	門間島海遺跡	93	電柱
96	H31.1.18	福塚前遺跡	93	ガス
97	H31.1.22	加納馬場集落北遺跡	93	個人住宅
98	H31.1.29	内割田城跡	93	個人住宅
99	H31.1.29	妙興寺集落東遺跡	93	ガス
100	H31.1.29	妙興寺集落南遺跡	93	集合住宅
101	H31.1.30	開明高野島集落西遺跡	93	個人住宅
102	H31.2.1	福塚前遺跡	93	ガス
103	H31.2.10	馬寄集落北遺跡	93	個人住宅
104	H31.2.14	妙興寺集落東遺跡	93	ガス
105	H31.2.21	門間島海遺跡	93	電柱
106	H31.2.21	目久井遺跡	93	個人住宅
107	H31.2.26	馬見塚遺跡	93	宅地造成
108	H31.2.26	毛受遺跡	93	個人住宅
109	H31.2.26	馬寄集落北遺跡	93	個人住宅
110	H31.2.26	薬師堂跡	93	個人住宅
111	H31.3.6	目久井遺跡	93	個人住宅
112	H31.3.12	仏供田遺跡	93	個人住宅

No.	届出日	遺跡名	保護法	原因
113	H31.3.6	神戸廃寺	93	個人住宅
114	H31.3.15	馬寄集落北遺跡	93	個人住宅
115	H31.3.14	門間島海遺跡	93	電柱
116	H31.3.13	門間遺跡	93	個人住宅
117	H31.3.26	名栗集落北遺跡	93	電柱
118	H31.3.27	福塚前遺跡	93	ガス

(11) 文化財の公開

◎重要文化財、●愛知県指定文化財、○一宮市指定文化財

平成 29 年度

特別展「没後 60 年 川合玉堂」展（平成 29 年 10 月 14 日～11 月 26 日）

○川合玉堂「跳鯉」（一宮市博物館蔵）

平成 30 年度

企画展「幸せをよぶ花鳥画」展（平成 30 年 6 月 2 日～7 月 8 日）

○雪洞「蓮鷺図」妙興寺蔵・一宮市博物館寄託

○伝相阿弥「五位鷺図」妙興寺蔵・一宮市博物館寄託

特集展示「妙興寺の名宝 十六羅漢図」（前期：平成 30 年 3 月 27 日～4 月 30 日、後期：5 月 2 日～6 月 3 日）

◎「十六羅漢図」妙興寺蔵・一宮市博物館寄託

(12) 文化財の活用

国指定名勝及び天然記念物「木曾川堤（サクラ）」を活用した文化財保護啓発活動として、下記の催し物に協力した。

138 タワーパーク・さくら祭

期間 平成 31 年 3 月 16 日（土）～4 月 7 日（日）

場所 国営木曾三川公園 138 タワーパーク

主催 国営木曾三川公園 138 タワーパーク

協力 大野極楽寺公園、愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室、一宮市博物館

催事

①さくら謎解きラリー

日時 3 月 21 日（木・祝）・23 日（土）・24 日（日）・30 日（土）・31 日（日）

各日とも午前 9 時 30 分～正午、午後 1 時～5 時

定員 各日とも 100 名（午前 50 名・午後 50 名） 合計 500 名

②桜連続講座

時間 各回とも午前 10 時 30 分～11 時 30 分、午後 1 時～2 時

定員 各回及び午前・午後とも 30 名

第1回 3月21日(木・祝)「文化財としての桜を楽しむ 桜の見分け方」

講師：近藤修(一宮市文化財保護審議会委員)

第2回 3月30日(土)「木曾川堤(サクラ)の歴史」

講師：一宮市博物館 学芸員 神田年浩・石黒智教

第3回 4月6日(土)「桜と桜に集まる生き物の話」

講師：NPO 法人生物教育センター指導員

③桜の樹名札づくり

日時 3月21日(木・祝) 午前10時～正午、午後1時～4時

内容 木曾川堤(サクラ)にかける樹名札づくり。材料として、博物館にあるさくらの板を提供。

④桜の保護啓発活動パネル展

日時 3月16日(土)～4月7日(日) 9時30分～午後5時(3月の土日祝は午後9時まで)

⑤民俗芸能公演(民俗芸能伝承推進事業再掲)

日時 3月24日(日)

午前11時～11時30分 ばしょう踊(ばしょう踊保存会)

午後1時30分～50分 島文楽(島文楽保存会)

午後2時～3時 子ども文楽講座(島文楽保存会)

場所 138 タワーパーク内野外ステージ

(13) 刊行物

なし

Ⅲ 組織と運営

1 一宮市博物館運営協議会

(1) 委員

任期 平成 27 年 6 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日

氏名	専門	所属
中埜 文彰	学校教育	一宮市立葉栗中学校長
石井 弘道	学校教育	一宮市立浅野小学校長
杉本 貞子	生涯学習	一宮市生涯学習推進会議副会長
森川 昌樹	社会教育	一宮市社会教育審議会副会長
村本 摩純	家庭教育	一宮市小中学校 PTA 連絡協議会母親代表
渡邊 誠	考古学	名古屋大学名誉教授
柴垣 勇夫	陶磁史	静岡大学名誉教授
山口 泰弘	近世絵画史	三重大学教授

任期 平成 29 年 6 月 1 日～令和元年 5 月 31 日

氏名	専門	所属
中埜 文彰	学校教育	一宮市立葉栗中学校長
浅野 雅稔	学校教育	一宮市立今伊勢小学校長
杉本 貞子	生涯学習	一宮市生涯学習推進会議副会長
森川 昌樹	社会教育	一宮市社会教育審議会副会長
横幕奈津子	家庭教育	前一宮市小中学校 PTA 連絡協議会母親代表
渡邊 誠	考古学	名古屋大学名誉教授
柴垣 勇夫	陶磁史	静岡大学名誉教授
山口 泰弘	近世絵画史	三重大学教授

(2) 協議会の開催

平成 29 年度

第 1 回 平成 29 年 5 月 31 日 (水)

第 2 回 平成 29 年 11 月 17 日 (火)

平成 30 年度

第 1 回 平成 30 年 5 月 29 日 (火)

第 2 回 平成 30 年 11 月 30 日 (金)

2 職員組織

平成 29 年度

館長	庄司 哲也
事務局長	竹田 利典
専任課長 (学芸員)	神田 年浩
主査 (学芸員)	杉山 章子
主査	伊藤 俊輔
学芸員	石黒 智教
	藤井 雅大
	瀧 はる香
嘱託 (学芸員)	伊藤 和彦

平成 30 年度

館長	野中 裕介
事務局長	竹田 利典
専任課長 (学芸員)	神田 年浩
課長補佐 (学芸員)	杉山 章子
主査	伊藤 俊輔
主任 (学芸員)	成河 端子(平成 30 年 9 月～産前産後休業)
学芸員	石黒 智教
	瀧 はる香
臨時 (学芸員)	吉川ひとみ
	渡邊 峻 (平成 30 年 9 月～)

3 研修・会合への参加

平成 29 年度

- 4月28日 市町村文化財保護行政担当者会議：愛知県庁（瀧）
- 5月27日・28日 日本考古学協会第8回総会：大正大学（藤井）
- 6月8日 愛知県博物館協会総会：名古屋市博物館（瀧）
- 6月8日 第17回登録有形文化財建造物担当者課題研修会：阿久比町中央公民館本館（石黒）
- 7月7日 第30回埋蔵文化財調査会：愛知県埋蔵文化財調査センター（藤井）
- 7月12日 愛知県史跡整備市町村協議会・総会：南知多町総合体育館（竹田・藤井）
- 7月13日・14日 全国歴史民俗系博物館協議会 第6回年次集会：九州国立博物館ミュージアムホール（伊藤俊）
- 7月21日 第1回木曾川堤（サクラ）保存管理検討委員会：大野極楽寺公園（竹田・神田）
- 9月8日 第6回新濃尾大橋（仮称）工事における環境監視調査等検討委員会：ウィルあいち（竹田）
- 10月6日 木曾川イタセンパラ保護協議会関係機関打合せ：環境省中部地方環境事務所（神田）
- 10月5日・6日 優良文化財調査・研修会：岡山・倉敷（随行：瀧）
- 11月9日・10日 第43回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会及び研修会：神奈川県相模原市（石黒）

（平成 30 年）

- 2月7日 愛知県史跡整備市町村協議会尾張地区協議会：新美南吉記念館（藤井）
- 2月1日 第32回愛知県建築物環境衛生管理研修会：名古屋市教育センター（神田）
- 2月14日 平成29年度愛知県史跡整備市町村協議会研修会：幸田町里コミュニティーホーム研修室及び本光寺（石黒）
- 2月23日 愛知県博物館協会研修「照明で魅せる」：明治村（杉山）
- 3月7日 愛知県博物館協会部門別研修会「展示室は撮影禁止？それとも撮影歓迎？」：南山大学人類学博物館（杉山）

平成 30 年度

- 4月27日（金） 市町村文化財保護行政担当者会議等：愛知県庁（石黒）
- 5月26日（土）・27日（日） 日本考古学協会第84回総会：明治大学（瀧）
- 6月14日（木） 愛知県博物館協会総会：名古屋市科学館（野中）
- 6月9日（土） 第3回木曾川水系イタセンパラ保護協議会：三岸節子記念美術館（神田）
- 6月24日（日） 木曾川堤（サクラ）観察講座：大野極楽寺公園管理棟（神田）
- 7月1日（日） あいち山車まつり日本一協議会総会・研修会：アイリス愛知（神田）
- 7月6日（金） 第31回埋蔵文化財調査研究会：愛知県埋蔵文化財調査センター（瀧）
- 7月10日（火） セミナー「カメラをかざして資料検索被写体認証サービスで地域活性！活用事例紹介」：NEC 中部ビル（杉山）
- 7月11日 平成30年度愛知県史跡整備市町村協議会総会：岡崎市役所（瀧）
- 8月1日（水） 平成30年度東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部総会：愛知県芸術文化センター（野中）

- 9月3日(月) 第7回新濃尾大橋(仮称)工事における環境監視調査等検討委員会:ウィルあいち(竹田)
- 10月18日(木) 市指定文化財現地確認(石黒)
- 10月29日(月) 平成30年度市町村文化行政ネットワーク会議:愛知県産業労働センター(伊藤)
- 11月12日(月) 「beyond2020プログラム」の認証の推進等を図るための意見交換会:愛知県庁(伊藤)
- 11月26日(月) 明治大学博物館・南山大学人類学博物館連携事業 シンポジウム「博物館・美術館における参加・体験型プログラム」:南山大学人類学博物館(吉川)
(平成31年)
- 2月14日(木) 愛知県博物館協会部門別研修会1「郷土資料等の活用について」:北名古屋市東図書館・昭和日常博物館(杉山・吉川)
- 2月21日(木)・22日(金) 日本博物館競技会 研究協議会テーマ1「文化財の保存修復の現状―課題と展望―」:奈良国立博物館及び奈良文化財研究所(石黒)
- 3月2日(土) 日本展示学会&JMMA 近畿支部会研究会「太陽の塔&EXPO'70パビリオン見学会・ディスカッション～展示とミュージアム運営の現状と課題について～」:太陽の塔、EXPO'70パビリオン、国立民族学博物館(瀧)
- 3月2日(土) 日本博物館協会主催シンポジウム「これからの博物館制度の在るべき姿～博物館法見直しの方向性をさぐる～」:東京文化財研究所(杉山)
- 3月13日(水) 愛知県博物館協会部門別研修会2「資料の収蔵について」:トヨタ産業技術記念館(杉山)

4 歳出決算

平成 29 年度

費目 (節)	予算合計	決算合計	決算		
			博物館運営事業	文化財保護事業	木曾川資料館運営事業
01 報酬	387,000	293,000	59,200	233,800	0
04 共済費	783,000	777,502	756,207	21,295	0
07 賃金	17,067,000	16,552,440	13,988,515	2,563,925	0
08 報償費	1,804,000	1,452,000	804,500	647,500	0
09 旅費	742,000	534,330	207,330	327,000	0
11 需用費	30,492,000	28,089,234	27,083,417	540,291	465,526
12 役務費	8,251,000	7,617,943	6,650,921	810,697	156,325
13 委託料	49,624,000	49,445,805	41,048,993	4,363,860	4,032,952
14 使用料及び賃借料	6,095,000	5,871,817	5,666,030	86,400	119,387
15 工事請負費	0	0	0	0	0
18 備品購入費	300,000	296,684	296,684	0	0
19 負担金補助及び交付金	5,137,000	4,918,466	1,060,466	3,858,000	0
合計	120,682,000	115,849,221	97,622,263	13,452,768	4,774,190

平成 30 年度

費目 (節)	予算合計	決算合計	決算		
			博物館運営事業	文化財保護事業	木曾川資料館運営事業
01 報酬	387,000	315,200	81,400	233,800	0
04 共済費	1,773,000	1,118,023	835,813	282,210	0
07 賃金	18,475,000	18,183,980	13,809,380	4,374,600	0
08 報償費	1,256,000	1,136,190	554,190	582,000	0
09 旅費	406,000	282,960	216,400	66,560	0
11 需用費	40,931,000	35,882,371	33,525,087	592,619	1,764,665
12 役務費	9,352,000	9,088,135	5,352,181	3,495,423	240,531
13 委託料	33,204,000	32,678,902	23,281,531	5,273,860	4,123,511
14 使用料及び賃借料	5,057,000	4,939,944	4,709,303	110,000	120,641
15 工事請負費	70,700,000	70,200,000	70,200,000	0	0
18 備品購入費	150,000	135,106	135,106	0	0
19 負担金補助及び交付金	5,557,000	5,495,920	123,920	5,372,000	0
合計	187,248,000	179,456,731	152,824,311	20,383,072	6,249,348

IV 条例・規則・要綱

1 一宮市博物館条例

昭和 62 年 7 月 3 日 条例第 26 号

(設置)

第 1 条 郷土の歴史、文化遺産等に関する市民の理解と認識を深めるとともに、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和 26 年法律第 285 号。以下「法」という。)第 18 条の規定に基づき、博物館を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 一宮市博物館

位置 一宮市大和町妙興寺字妙興寺境内 2390 番地

(事業)

第 3 条 一宮市博物館(以下「博物館」という。)は、考古、歴史、美術工芸、織物工業、民俗等に関する資料(以下「資料」という。)の収集、保管及び展示並びに資料の調査及び研究その他教育委員会規則で定める事業を行う。

(職員)

第 4 条 博物館に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(博物館運営協議会)

第 4 条の 2 法第 20 条第 1 項の規定により、一宮市博物館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、10 人以内とし、その任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

3 前 2 項に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(平 27 条例 14・追加)

(休館日)

第 5 条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる場合を除く。

(2) 休日の翌日。ただし、その日が土曜日、日曜日又は休日に当たる場合を除く。

(3) 12 月 28 日から翌年の 1 月 4 日まで

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、休館日を変更し、又は臨時

に休館することができる。

(平 17 条例 71・一部改正)

(開館時間等)

第 6 条 博物館の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。ただし、入館は、午後 4 時 30 分までとする。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、臨時に開館時間等を変更することができる。

(観覧料)

第 7 条 常設展示の観覧料(以下「常設観覧料」という。)は、別表第 1 に定めるとおりとする。

2 特別展示の観覧料(以下「特別観覧料」という。)は、800 円を超えない範囲でその都度教育委員会が定める。

3 常設観覧料及び特別観覧料(以下「観覧料」という。)の額には、消費税法(昭和 63 年法律第 108 号)の規定による消費税及び地方税法(昭和 25 年法律第 226 号)の規定による地方消費税(以下「消費税等」という。)の額が含まれるものとする。

(年間観覧券等)

第 7 条の 2 教育委員会は、観覧者の利便を図るため、次に掲げる観覧券(以下「年間観覧券等」という。)を発行することができる。

(1) 年間観覧券

(2) 常設展示共通観覧券

(3) 年間共通観覧券

2 年間観覧券等は、次の各号に掲げる観覧券の区分に応じ、当該各号に定める観覧に利用することができる。ただし、団体による観覧には利用することができない。

(1) 年間観覧券 博物館における常設展示及び特別展示に係る観覧

(2) 常設展示共通観覧券 次に掲げる施設における常設展示に係る観覧

ア 博物館

イ 一宮市三岸節子記念美術館条例(平成 17 年一宮市条例第 68 号)に規定する一宮市三岸節子記念美術館(以下「美術館」という。)

(3) 年間共通観覧券 前号ア及びイに掲げる施設における常設展示及び特別展示に係る観覧

3 年間観覧券等に係る使用料の額、有効期間及び有効利用回数は、別表第 1 の 2 に定めるとおりとする。この場合において、使用料の額には、消費税等の額が含まれるものとする。

4 年間観覧券等は、再発行しない。ただし、汚損

等による場合で、年間観覧券等の記載内容が確認でき、かつ、これを回収することができるときは、この限りでない。

5 年間観覧券及び年間共通観覧券は、その購入の際あらかじめ教育委員会に届け出て登録された者(以下この項において「登録者」という。)1名のみが利用することができる。この場合において、登録者を変更しようとするときは、教育委員会に届け出なければならない。

(平 21 条例 31・追加)

(観覧料の納入)

第 8 条 観覧料は、入館のときに納入しなければならない。ただし、年間観覧券等による観覧その他教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

2 市長は、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、観覧料の全部又は一部を還付することができる。ただし、年間観覧券等については、この限りでない。

(平 21 条例 31・一部改正)

(観覧料の減免)

第 9 条 市長は、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(施設の使用等)

第 10 条 特別展示室(小展示室を含む。以下同じ。)、講座室、和室、屋外展示場又はギャラリー(以下「特別展示室等」という。)を使用しようとする者は、あらかじめ館長の許可を受けなければならない。

2 資料の模写、模造、撮影等をしようとする者は、あらかじめ館長の許可を受けなければならない。

3 他の博物館、図書館、研究機関その他教育委員会が適当と認めるもののうち資料の館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ館長の許可を受けなければならない。

4 館長は、前 3 項の許可をする際、資料の管理上必要な指示又は条件を付すことができる。

(平 26 条例 53・一部改正)

(使用料)

第 11 条 前条第 1 項の許可を受けようとする者は、別表第 2 に定める使用料を納付しなければならない。

2 前項に定める使用料は、許可を受ける時に納入しなければならない。

3 市長は、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、第 1 項の使用料を減免し、又は還付することができる。

(使用の取消し等)

第 12 条 館長は、第 10 条第 1 項から第 3 項までの許可を受けた者(以下「使用者」という。)が次の各号のいずれかに該当するときは、その許可を取り消し、又は使用の停止若しくは資料の返還を命ずることができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則の規定に違反したとき。

(2) 許可の内容又は条件に違反したとき。

(3) 偽りその他の不正な行為により許可を受けたことが明らかになったとき。

(4) 前 3 号に掲げるもののほか、館長が管理上支障があると認めるとき。

(平 17 条例 71・平 21 条例 31・一部改正)

(原状回復義務)

第 13 条 使用者は、第 10 条第 1 項から第 3 項までの使用を終了したときは、直ちに当該展示室等又は資料を原状に復さなければならない。前条の規定により許可を取り消され、又は使用の停止若しくは資料の返還を命ぜられたときも、同様とする。

(秩序維持)

第 14 条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、博物館への入館を拒絶し、又は退去を命ずることができる。

(1) 他人に迷惑をかけ、若しくは博物館の施設、設備、資料等を汚損し、き損し、若しくは滅失した者又はそのおそれがあると認められる者

(2) 館長の許可なく資料の模写、模造、撮影等の行為をした者

(3) 博物館又は資料の管理上必要な指示に従わない者

(4) 前 3 号に掲げるもののほか、館長が入館を不相当と認める者

(平 17 条例 71・一部改正)

(損害の賠償等)

第 15 条 観覧者又は使用者は、博物館の施設、設備、資料等を汚損し、き損し、又は滅失したときは、教育委員会の指示するところに従い、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

(平 17 条例 71・平 21 条例 31・一部改正)

(教育委員会規則への委任)

第 16 条 この条例に定めるもののほか、この条例

の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

付 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和 62 年 11 月 2 日から施行する。
(議会の議決に付すべき公の施設に関する条例の一部改正)

2 議会の議決に付すべき公の施設に関する条例(昭和 39 年一宮市条例第 5 号)の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

付 則(平成 4 年 3 月 3 日条例第 16 号)

1 この条例は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。
2 改正後の一宮市博物館条例の規定は、この条例の施行の日以後にその使用を許可するものについては、なお従前の例による。

付 則(平成 9 年 3 月 28 日条例第 3 号)抄

1 この条例は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。
2 この条例(第 1 条、第 5 条、第 9 条、第 10 条、第 12 条、第 14 条、第 17 条、第 20 条及び第 24 条から第 26 条までを除く。)の規定による改正後の各条例の規定は、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後にその使用を許可するものについては、なお従前の例による。

付 則(平成 17 年 3 月 24 日条例第 71 号)

この条例は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

付 則(平成 21 年 6 月 26 日条例第 31 号)

この条例は、平成 21 年 7 月 1 日から施行する。

付 則(平成 26 年 12 月 16 日条例第 53 号)

(施行期日)

1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
(経過措置)

2 改正後の第 10 条第 1 項及び別表第 2 に規定するギャラリーの使用に係る手続は、この条例の施行の日前においても行うことができる。

付 則(平成 27 年 3 月 24 日条例第 14 号)

(施行期日)

1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
(地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律等の施行に関する条例の一部改正)

2 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律等の

施行に関する条例(平成 24 年一宮市条例第 2 号)の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

(一宮市報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

3 一宮市報酬及び費用弁償に関する条例(昭和 31 年一宮市条例第 32 号)の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

別表第 1(第 7 条関係)

(平 21 条例 31・一部改正)

個人・団体の 別区分	個人 (1 人 1 回)	20 人以上の団体 (1 人 1 回)
一般	200 円	160 円
高校生・大学生	100 円	80 円
小学生・中学生	50 円	40 円

備考

1 この表において、「一般」とは、小学生、中学生、高校生及び大学生以外の者をいう。ただし、未就学児を除く。

2 未就学児は、無料とする。

別表第 1 の 2(第 7 条の 2 関係)

(平 21 条例 31・追加)

区分	年間 観覧券	常設展示 共通観覧券	年間共通 観覧券
一般	800 円	400 円	2,000 円
高校生・大学生	400 円	200 円	1,000 円
小学生・中学生	200 円	100 円	500 円

備考

1 別表第 1 備考第 1 項及び第 2 項の規定は、この表について適用する。

2 年間観覧券及び年間共通観覧券は、発行の日から 1 年間有効とする。ただし、有効期間の末日が博物館又は美術館の休館日に当たるときは、同日後最初に到来する休館日でない日まで有効とする。

3 常設展示共通観覧券は、施設ごとに観覧 1 回まで有効とする。

別表第 2(第 11 条関係)

(平 26 条例 53・一部改正)

使用時間 区分	午前	午後	午前・午後
特別展示室	3,100 円	3,600 円	6,700 円
講座室	3,000 円	3,500 円	6,500 円
和室	2,000 円	2,400 円	4,400 円
屋外展示場	900 円	1,100 円	2,000 円
ギャラリー	400 円	500 円	900 円

備考

1 使用時間は、次による。

(1) 「午前」とは、午前 9 時 30 分から午後 0 時 30 分までをいう。

(2) 「午後」とは、午後 1 時から午後 4 時 30 分までをいう。

(3) 「午前・午後」とは、午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分までをいう。

2 利用者が入場料又は入場料に類するものを徴収する場合における使用料の額は、所定の使用料に当該使用料の 5 割に相当する額を加えた額とする。

3 使用料の額には、消費税等の額が含まれるものとする。

2 一宮市博物館条例施行規則

昭和 62 年 10 月 15 日 教委規則第 4 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、一宮市博物館条例(昭和 62 年一宮市条例第 26 号。以下「条例」という。)第 16 条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第 2 条 この規則における用語の意義は、別段の定めがあるものを除き、条例に規定する用語の例による。

(平 21 教委規則 6・全改)

(事業)

第 3 条 条例第 3 条の教育委員会規則で定める事業は、次のとおりとする。

- (1) 資料の専門的又は技術的な調査研究を行うこと。
- (2) 資料に関する案内書、解説書、目録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (3) 資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (4) 他の博物館、博物館と同一の目的を有する国又は他の地方公共団体の施設等と緊密に情報の交換、資料の相互貸借等を行うこと。
- (5) 学校、図書館、研究機関、公民館等教育又は文化に関する諸施設と協力すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事業を行うこと。

(一宮市博物館観覧券等の交付)

第 4 条 観覧料を徴収する際には、一宮市博物館観覧券を交付する。

2 前項の規定にかかわらず、団体 20 人以上で観覧しようとするときは、その代表者は、あらかじめ一宮市博物館団体観覧券交付申込書を教育委員会に提出したうえ、観覧料を納入して、一宮市博物館団体観覧券の交付を受けなければならない。

3 前 2 項の規定にかかわらず、年間観覧券等で観覧しようとするときは、あらかじめ一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館年間観覧券等交付・登録申込書を教育委員会に提出したうえ、観覧料を納入して、年間観覧券等の交付を受けなければならない。

4 条例第 7 条の 2 第 5 項後段の規定による登録者の変更の届出は、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館年間観覧券等登録者変更届出書を教育委員

会に提出して行わなければならない。

5 教育委員会が特に必要と認めるときは、第 1 項から第 3 項までに定める観覧券に代えて別の様式を定めることができる。

(平 17 教委規則 32・平 21 教委規則 6・一部改正)
(観覧料の還付)

第 5 条 条例第 8 条第 2 項本文の特別の理由は、次のとおりとする。

- (1) 天災地変その他の入館しようとする者の責めに帰することのできない理由により入館できないとき。
- (2) 前号に掲げるもののほか、教育委員会が特別の理由があると認めるとき。

(平 21 教委規則 6・一部改正)

(観覧料の減免理由)

第 6 条 条例第 9 条の特別の理由は、次のとおりとする。

- (1) 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 1 条に規定する学校のうち小学校、中学校又は特別支援学校の学齢児童又は学齢生徒及びその引率教職員が教育活動の一環として学年単位で展示品を観覧するとき。
- (2) 次に掲げる者が展示品を観覧するとき。

ア 身体障害者福祉法(昭和 24 年法律第 283 号)第 15 条の規定に基づく身体障害者手帳の交付を受けている者及びその付添人(1 人に限る。)

イ 戦傷病者特別援護法(昭和 38 年法律第 168 号)第 4 条に規定する戦傷病者手帳の交付を受けている者及びその付添人(1 人に限る。)

ウ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和 25 年法律第 123 号)第 45 条に規定する精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその付添人(1 人に限る。)

エ 厚生労働大臣の定めるところによる療育手帳の交付を受けている者及びその付添人(1 人に限る。)

オ 市内に在住又は在学の小学生又は中学生

カ 市内に在住する年齢満 65 歳以上の者

(3) 前 2 号に掲げるもののほか、教育委員会が特別の理由があると認めるとき。

(平 17 教委規則 32・平 19 教委規則 3・平 20 教委規則 9・平 21 教委規則 6・一部改正)

(観覧料減免申請の手続)

第 7 条 前条第 1 号及び第 3 号の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、一宮市博物館観覧料減免申請書を市長に提出しなければならない。

(平 17 教委規則 32・平 21 教委規則 6・一部改正)

(優待券等)

第 8 条 教育委員会が特に必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

(損傷の届出等)

第 9 条 入館者は、入館に際し、博物館の施設、設備、資料等を汚損し、又は滅失させたときは、その旨を係員に届け出て、その指示に従わなければならない。

(平 21 教委規則 6・一部改正)

(入館者の遵守事項)

第 10 条 入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 展示資料(館長が特に指定した展示品を除く。)に触れないこと。
- (2) 所定の場所以外において喫煙し、飲食し、又は火気を使用しないこと。
- (3) 他人に迷惑を及ぼし、又はそのおそれのある行為をしないこと。
- (4) 係員の指示に従うこと。

(販売行為の禁止)

第 11 条 何人も博物館において、物品等の販売、金品の寄付募集等を行い、又は行わせてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(平 21 教委規則 6・一部改正)

(特別展示室等の使用)

第 12 条 条例第 10 条第 1 項の規定に基づき特別展示室等を使用する場合は、その用途が条例第 3 条の事業にふさわしいものでなければならない。

2 特別展示室等を使用しようとする者は、一宮市博物館特別展示室等使用申請書を館長に提出しなければならない。

3 前項の申請書は、使用しようとする日の属する月の 6 月前に相当する月の初日から使用しようとする日前 10 日までに提出しなければならない。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

4 館長は、第 2 項の規定による申請を許可するときは、一宮市博物館特別展示室等使用許可書を交付する。

5 次に掲げる場合には、前項の許可をしない。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 施設又は設備が損傷するおそれがあると認められるとき。

(3) 管理上支障があると認められるとき。

(4) 前 3 号に掲げるもののほか、館長がその使用を不相当と認めるとき。

(平 17 教委規則 32・平 21 教委規則 6・平 24 教委規則 8・一部改正)

(模写、模造、撮影、閲覧等)

第 13 条 条例第 10 条第 2 項の規定に基づき、資料の模写、模造、撮影、閲覧等(以下「模写等」という。)をしようとする者は、あらかじめ一宮市博物館模写等許可申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 館長は、前項の規定による申請を許可するときは、一宮市博物館模写等許可書を交付する。

3 模写等は、館内の所定の場所において係員の指示に従って行わなければならない。

4 次に掲げる場合には、第 1 項の許可をしない。

(1) 資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると認められるとき。

(2) 寄託者又は著作権者の同意を得ていないとき。

(3) 前 2 号に掲げるもののほか、館長がその利用を不相当と認めたとき。

(平 17 教委規則 32・平 21 教委規則 6・一部改正)

(使用料の減免)

第 14 条 条例第 11 条第 3 項の規定により使用料を減免することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 市又は市の機関が主催し、又は他の団体と共催する行事に使用するとき。

(2) 前号に掲げるもののほか、教育委員会が特別の理由があると認めるとき。

2 前項第 1 号に該当する場合の使用料の額は、条例別表第 2 に定める使用料の額の 50 パーセントに相当する額とする。この場合において、10 円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる。

(平 17 教委規則 32・平 21 教委規則 6・一部改正)

(使用料減免申請の手続)

第 15 条 前条の規定により使用料の減免を受けようとする者は、一宮市博物館使用料減免申請書を市長に提出しなければならない。

(平 17 教委規則 32・平 21 教委規則 6・一部改正)

(使用料の還付)

第 16 条 条例第 11 条第 3 項の規定により使用料を還付することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 使用の許可を受けた者の責めによらない理由で使用することができないとき。

(2) 公益上又は博物館の都合により使用の許可を

取り消したとき。

(3) 使用日前7日(この日が休館日に当たるときは、その前日)までに使用の取消しの申出があり、教育委員会が相当の理由があると認めたとき。

2 前項各号に該当する場合において還付する使用料の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額とする。この場合において、10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる。

(1) 前項第1号及び第2号に該当する場合 納付すべき使用料の額の100パーセントに相当する額

(2) 前項第3号に該当する場合 納付すべき使用料の額の50パーセントに相当する額

3 使用料の還付を受けようとする者は、第12条第4項の使用許可書を添付して、一宮市博物館使用料還付申請書を市長に提出しなければならない。

(平17教委規則32・平21教委規則6・一部改正)

(名誉館長及び副館長の設置)

第17条 博物館に名誉館長及び副館長を置くことができる。

(平14教委規則5・全改、平17教委規則32・旧第18条繰上)

(職務)

第18条 館長は、上司の命を受け、博物館の管理運営を掌握し、所属職員を指揮監督する。

2 副館長は、上司の命を受け、館長を補佐する。

3 名誉館長は、館長から博物館の運営等について相談を受けた場合、意見を述べるものとする。

(平14教委規則5・全改、平17教委規則32・旧第19条繰上)

(処務)

第19条 この規則で定めるもののほか、博物館の処務に関し必要な事項は、一宮市教育委員会事務局処務規則(昭和45年一宮市教委規則第2号)の例による。

(平17教委規則32・旧第20条繰上、平21教委規則6・一部改正)

(帳票)

第20条 この規則の施行に関し必要な帳票の名称は、次のとおりとし、その様式は、教育委員会が別に定める。

(1) 一宮市博物館観覧券

(2) 一宮市博物館団体観覧券交付申込書

(3) 一宮市博物館団体観覧券

(4) 一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館年間観覧券等交付・登録申込書

(5) 一宮市博物館年間観覧券(一宮市博物館年間パスポート)

(6) 一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館常設展示共通観覧券

(7) 一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館年間共通観覧券(一宮市ミュゼカード)

(8) 一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館年間観覧券等登録者変更届出書

(9) 一宮市博物館観覧料減免申請書

(10) 一宮市博物館特別展示室等使用申請書

(11) 一宮市博物館特別展示室等使用許可書

(12) 一宮市博物館模写等許可申請書

(13) 一宮市博物館模写等許可書

(14) 一宮市博物館使用料減免申請書

(15) 一宮市博物館使用料還付申請書

(平17教委規則32・追加、平21教委規則6・一部改正)

(委任)

第21条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

付 則

この規則は、昭和62年11月2日から施行する。

付 則(昭和63年9月13日教委規則第7号)

この規則は、昭和63年10月1日から施行する。

付 則(平成元年3月9日教委規則第5号)

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

付 則(平成3年9月26日教委規則第7号)

この規則は、平成3年9月29日から施行する。

付 則(平成5年3月25日教委規則第2号)

この規則は、平成5年4月1日から施行する。

付 則(平成14年3月27日教委規則第5号)抄

(施行期日)

1 この規則は、平成14年4月1日から施行する。

付 則(平成16年11月1日教委規則第5号)

1 この規則は、平成16年11月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現に改正前の各規則の規定に基づき作成されている帳票は、改正後の各規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

付 則(平成17年3月24日教委規則第32号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

付 則(平成19年3月28日教委規則第3号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

付 則(平成20年3月28日教委規則第9号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

付 則(平成 21 年 6 月 26 日教委規則第 6 号)

この規則は、平成 21 年 7 月 1 日から施行する。

付 則(平成 24 年 12 月 27 日教委規則第 8 号)

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(一宮市尾西歴史民俗資料館条例施行規則の一部改正)

2 一宮市尾西歴史民俗資料館条例施行規則(平成 17 年一宮市教委規則第 33 号)の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

(一宮市三岸節子記念美術館条例施行規則の一部改正)

3 一宮市三岸節子記念美術館条例施行規則(平成 17 年一宮市教委規則第 34 号)の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

3 一宮市博物館運営協議会規則

平成 27 年 3 月 24 日 教委規則第 5 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、一宮市博物館条例(昭和 62 年一宮市条例第 26 号)第 4 条の 2 第 3 項の規定に基づき、一宮市博物館運営協議会(以下「協議会」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員)

第 2 条 委員は、一宮市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が任命する。

2 委員に欠員が生じた場合は、補欠委員を任命し、その任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第 3 条 協議会に会長及び副会長各 1 人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、協議会を代表し、議事その他の会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 4 条 協議会の会議は、会長が招集し、その会議の議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第 5 条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

(雑則)

第 6 条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が定める。

付 則

この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

4 一宮市木曾川資料館条例

平成17年10月3日 条例第174号

(設置)

第1条 一宮市木曾川町地域の考古、民俗等に関する資料及び同地域出身の戦国武将山内一豊ゆかりの資料(以下「資料」という。)の保存と活用を図り、もって、地方文化の発展に寄与するため、一宮市木曾川資料館(以下「木曾川資料館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 木曾川資料館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 一宮市木曾川資料館

位置 一宮市木曾川町黒田字宝光寺東18番地1

(職員)

第3条 木曾川資料館に館長その他必要な職員を置く。

(入館)

第4条 木曾川資料館は、何人でも入館することができる。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 営利を目的とするとき。
- (2) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (3) 施設、付属設備、資料等を亡失し、又は損傷するおそれがあると認められるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、管理上支障があると認められるとき。

(休館日)

第5条 木曾川資料館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる場合を除く。
 - (2) 休日の翌日。ただし、その日が土曜日、日曜日又は休日に当たる場合を除く。
 - (3) 12月28日から翌年の1月4日まで
- 2 一宮市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、休館日を変更し、又は臨時に休館することができる。

(開館時間)

第6条 木曾川資料館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、入館は、午後4時30分までとする。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、臨時に開館時間を変更することができる。

(入館料)

第7条 木曾川資料館の入館料は、無料とする。

(損害賠償)

第8条 入館者は、故意又は過失によって、施設、付属設備、資料等を亡失し、又は損傷したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

(教育委員会規則への委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

付 則

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- 2 第5条第1項の規定にかかわらず、この条例の施行の日から平成17年11月30日までの間における木曾川資料館の休館日は、毎週の月曜日、水曜日、木曜日及び金曜日とする。

5 一宮市木曾川資料館条例施行規則

平成17年10月3日 教委規則第42号

改正 平成21年6月26日 教委規則第8号

(趣旨)

第1条 この規則は、一宮市木曾川資料館条例(平成17年一宮市条例第174号。以下「条例」という。)第9条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(事業)

第2条 木曾川資料館は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 一宮市木曾川町地域の考古、民俗等に関する資料及び同地域出身の戦国武将山内一豊ゆかりの資料(以下「資料」という。)の収集、保管及び展示
- (2) 前号に掲げるもののほか、一宮市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が必要と認める事業

(遵守事項)

第3条 入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 施設、付属設備、資料等を亡失し、又は損傷しないこと。
- (2) 未就学児には、保護者が付き添うこと。
- (3) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、管理上必要な指示に従うこと。

(模写、模造、撮影等)

第4条 資料の模写、模造、撮影等(以下「模写等」という。)をしようとする者は、あらかじめ一宮市木曾川資料館模写等許可申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

- 2 館長は、前項の規定による申請を許可するときは、一宮市木曾川資料館模写等許可書を交付する。
- 3 模写等は、館内の所定の場所において係員の指示に従って行わなければならない。
- 4 次に掲げる場合には、第1項の許可をしない。

- (1) 資料の保存に悪影響を及ぼすおそれがあると認められるとき。
- (2) 前号に掲げるもののほか、館長がその利用を不相当と認めたとき。

(資料の館外貸出し)

第5条 資料は、次に掲げるもので相当と認めるも

のに貸し出すことができる。ただし、寄託資料の館外貸出しについては、寄託者の承諾を受けなければならない。

(1) 国立の博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項の規定による博物館及び同法第29条の

規定による博物館に相当する施設

(2) 前号に掲げるもののほか、館長が特に認めるもの

- 2 前項の館外貸出しを受けようとする者は、一宮市木曾川資料館資料借用申請書を館長に提出しなければならない。
- 3 館長は、前項の申請があった場合は、内容を検討し、相当と認めたときは、一宮市木曾川資料館資料貸出許可書を交付する。

(収集の方法)

第6条 資料の収集方法は、採取、購入、寄贈、寄託及び借用とする。

(寄託の手続)

第7条 木曾川資料館が資料の寄託を受けるときは、資料を寄託する者に一宮市木曾川資料館資料寄託申請書の提出を求め、館長は、一宮市木曾川資料館資料受託書を交付する。

(平21教委規則8・一部改正)

(借用の手続)

第8条 木曾川資料館が資料を借用するときは、あらかじめ所有者又は管理者の承諾を得たうえ、一宮市木曾川資料館資料借用書を交付する。

2 借用した資料を返還する場合は、当該資料借用書に返還を受けた旨並びに所有者又は管理者の署名及び押印を受けるものとする。

(平21教委規則8・一部改正)

(寄託及び借用資料の取扱い)

第9条 寄託及び借用に係る資料は、木曾川資料館所蔵の資料と同様の取扱いをする。

(免責)

第10条 木曾川資料館は、寄託及び借用資料が天災その他のその責めに帰すことのできない理由により生じた損失に対しては、その責めを負わない。

(職務)

第11条 館長は、上司の命を受け、木曾川資料館の管理運営を掌握し、所属職員を指揮監督する。

(処務)

第12条 この規則に定めるもののほか、木曾川資料館の処務に関し必要な事項は、一宮市教育委員会

事務局処務規則(平成17年一宮市教委規則第8号)
の規定の例による。

(帳票)

第13条 この規則の施行に関し必要な帳票の名称
は、次のとおりとし、その様式は、教育委員会が
別に定める。

- (1) 一宮市木曾川資料館模写等許可申請書
- (2) 一宮市木曾川資料館模写等許可書
- (3) 一宮市木曾川資料館資料借用申請書
- (4) 一宮市木曾川資料館資料貸出許可書
- (5) 一宮市木曾川資料館資料寄託申請書
- (6) 一宮市木曾川資料館資料受託書
- (7) 一宮市木曾川資料館資料借用書

(平21教委規則8・一部改正)

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、この規則の
施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

付 則

(施行期日)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
(一宮市教育委員会公印規則の一部改正)
- 2 一宮市教育委員会公印規則(平成16年一宮市教委
規則第1号)の一部を次のように改正する。
〔次のよう〕略
(一宮市教育委員会事務局処務規則の一部改正)
- 3 一宮市教育委員会事務局処務規則(平成17年一宮
市教委規則第8号)の一部を次のように改正する。
〔次のよう〕略

〔次のよう〕略

付 則(平成21年6月26日教委規則第8号)

この規則は、平成21年7月1日から施行する。

6 「豊島記念資料館」の管理及び運営に関する要綱

(設置)

第1条 地域住民の文化への理解と関心を深め、文化の発展に寄与するため、博物館の附属施設として資料館を設置する。

2 資料館は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第238条第3項に規定する行政財産(公用財産)として管理する。

(名称及び位置)

第2条 資料館の名称及び位置は、次のとおりとする

名 称 豊島記念資料館

位 置 一宮市本町通8丁目11番地

(事業)

第3条 資料館は、一宮市内を中心に収集された文化財資料、織物資料、考古資料等を収蔵・展示し、必要に応じて一般の観覧に供する。

(管理及び運営)

第4条 博物館事務局は、資料館の管理及び運営に携わることとする。

(開館)

第5条 資料館は、博物館事務局が可能な範囲内で必要に応じ、開館するものとする。

(観覧料)

第6条 観覧料は、当分の間無料とする。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、資料館の管理及び運営については、一宮市博物館条例(昭和62年一宮市条例第26号)及び一宮市博物館条例施行規則(昭和62年一宮市教委規則第4号)の規定を準用する。

付 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

7 「樫の木文化資料館」の管理及び運営に関する要綱

(設置)

第1条 地域住民の民具への理解と関心を深め、文化の発展に寄与するため、博物館の付属施設として資料館を設置する。

2 資料館は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第238条第3項に規定する行政財産(公用財産)として管理する。

(名称及び位置)

第2条 民具資料館の名称及び位置は、次のとおりとする

名 称 樫の木文化資料館

位 置 一宮市萩原町高松字川田32

(事業)

第3条 資料館は、萩原町高松・戸刈・築込三地区を中心に収集された樫の木民具資料を収蔵・展示し、必要に応じて一般の観覧に供する。

(管理及び運営)

第4条 教育委員会の委嘱によって、高松町内会長は、資料館の管理及び運営に携わることとする。

(開館)

第5条 資料館は、博物館と高松町内会長との協議・相互協力のもとに可能な範囲内で必要に応じ、開館するものとする。

(観覧料)

第6条 観覧料は、当分の間無料とする。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、資料館の管理及び運営については、一宮市博物館条例(昭和62年一宮市条例第26号)及び一宮市博物館条例施行規則(昭和62年一宮市教委規則第4号)の規定を準用する。

付 則

この要綱は、平成14年9月1日から施行する。

8 「みうら郷土館」の管理及び運営に 関する要綱

(設置等)

第1条 地域住民の美への理解と関心を深め、文化の発展に寄与するため、博物館の附属施設として郷土館を設置する。

2 郷土館は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第238条第3項に規定する行政財産(公用財産)として管理する。

(名称及び位置)

第2条 郷土館の名称及び位置は、次のとおりとする

名 称 みうら郷土館

位 置 一宮市萩原町萩原字河原崎108番

2

(事業)

第3条 郷土館は、三浦正義家累代にわたって集積された美術工芸品類を収蔵・展示し、必要に応じて一般の観覧に供する。

(管理及び運営)

第4条 教育委員会の委嘱によって、郷土館の管理及び運営に携わるため、郷土館に名誉館長その他必要な係員を置くことができる。

(開館)

第5条 郷土館は、博物館と三浦家側との協議・相互協力のもとに可能な範囲内で必要に応じ、開館するものとする。

(観覧料)

第6条 観覧料は、当分の間無料とする。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、郷土館の管理及び運営については、一宮市博物館条例(昭和62年一宮市条例第26号)及び一宮市博物館条例施行規則(昭和62年一宮市教委規則第4号)の規定を準用する。

付 則

この要綱は、平成14年9月1日から施行する。

9 一宮市博物館資料取扱要綱

改正 昭和63年5月2日（第3条第2項）

（趣旨）

第1条 この要綱は、一宮市博物館（以下「博物館」という。）における博物館資料（以下「資料」という。）の寄託の受入れ、貸出し及び借入れ等に関して必要な手続を定めるものとする。

（寄託申請）

第2条 博物館に資料を展示等に供するため、長期にわたり保管委託（以下「寄託」という。）しようとする者は、資料寄託申請書（様式第1）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

（寄託資料の決定）

第3条 館長は、寄託申請書の提出があったときは、その内容を調査し当該資料が次のいずれかに該当するときは、資料受託承認書（様式第2）を寄託する者（以下「寄託者」という。）に交付するものとする。

（1）博物館の展示、又は研究の用に供すると認められるもの

（2）文化財保存上、博物館に保管することが適当であると認められるもの

2 前条に規定する資料寄託申請書の提出及び前項に規定する資料受託承認書の交付は、館長、寄託者双方の合意の下に省略することができる。

（寄託資料の受領及び返還）

第4条 寄託の承認をした資料を受領したときは、寄託者に受託証書（様式第3）を交付するものとする。

2 寄託された資料（以下「寄託資料」という。）の返還は、受託証書と引き替えに行わなければならない。

（寄託期間等）

第5条 寄託期間は、3年とする。ただし、館長が特別の理由があると認めるときは、その都度寄託者と協議の上で定めるものとする。

2 寄託期間の更新は、期間満了前に双方から申出のない場合は更に3年間継続するものとする。以後もまた同様とする。

（寄託期間内の返還）

第6条 寄託者は、寄託期間中であっても寄託資料期間内返還申込書（様式第4）を提出して、寄託資料の返還を受けることができる。

（寄託資料の一時返還）

第7条 寄託者は、寄託期間中であっても寄託資料

一時返還申込書（様式第5）を提出して、寄託資料の一時返還を求めることができる。

2 一時返還の期間は、60日以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、この限りではない。

3 一時返還中の寄託資料の管理については、本市は、その責を負わないものとする。

（寄託資料の所有者変更）

第8条 館長は、寄託者で寄託資料の所有権を移転する者があったときは、その者から寄託資料所有者変更届（様式第6）を徴し、受託証書を受け、書き替えを行うものとする。

（受託証書の再交付）

第9条 館長は、寄託者が受託証書を亡失し、若しくは盗みとられ、又はこれを滅失し、若しくは破損した場合は、寄託者に、受託証書再交付申請書（様式第7）を提出させるものとする。

2 前項の場合には、館長は、受託証書を再交付するものとする。この場合においては、受託証書に再交付の文字を明記しなければならない。

（資料の館外貸出し）

第10条 資料を次に掲げる者で適当と認めるものに貸し出すことができる。ただし、寄託資料の館外貸出しについては、寄託者の承諾を受けなければならないものとする。

（1） 国立の博物館、博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項の規定による博物館及び同法第29条の規定による博物館に相当する施設

（2） 前号に掲げる者のほか、館長が特に認める者（館外貸出しの申込み）

第11条 館長は、資料の館外貸出しを受けようとして、その申込みをする者（以下「館外貸出申込者」という。）があるときは、その者から一宮市博物館資料借用申込書（様式第8）を徴するものとする。

2 前項の規定による申込みが、資料を展示のために用いることを目的としてされた場合には、館長は、一宮市博物館資料借用申込書に当該展示図面を添付させるものとする。

（資料貸出承諾書）

第12条 館外貸出しの承諾をしたときは、館外貸出申込者に資料貸出承諾書（様式第9）を交付する。

（貸出期間）

第13条 資料の貸出期間は、60日以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、この限りではない。

（貸出条件）

第14条 資料の館外貸出しをしようとするときは、次に掲げる条件その他の条件を明示するものとする。

(1) 貸出しを受けた者(以下「借受人」という。)は、貸出しを受けた資料(以下「貸出資料」という。)を善良なる管理者の注意をもって管理すること。

(2) 貸出資料の取扱いは、学芸員又はこれと同等の資格を有すると認められる者が行うこと。

(3) 貸出期間中に、貸出資料の保管等のために要する費用は全て借受人の負担とすること。

(4) 借受人は、貸出資料を目的以外の用に供してはならないこと。

(5) 展示は、原則としてケース内展示とし、一宮市博物館所蔵の旨を明示すること。

(6) 借受人は、貸出資料を滅失し、又はき損したときは、これによって生じた損害を賠償すること。

(7) 借受人は、一宮市博物館資料借用申込書に記載した事項を遵守すること。

(8) 借受人において貸出条件に違反する行為があるとき又は特別の事由が生じたときは、貸出期間中であっても貸出しを取り消す場合があること及びこの場合において生じた損害については、本市はその責を負わないものであること。

(9) 前各号に定めるほか、当博物館職員の指示に従うこと。

(借用書の徴取)

第15条 館長は、貸出資料の交付と引き替えに借受人から一宮市博物館資料借用書(様式第10)又は借受人が用意したこれに替わるものを徴しなければならない。

(資料の借入れ、返還)

第16条 館長は、展示、研究等のために資料の借り受けをする場合において、借り受ける資料(以下「借受資料」という。)を受領したときは、預り証(様式第11)を借り受けの相手方に交付する。

2 借受資料の返還は、預り証と引替えで行うものとする。

(資料現況確認書)

第17条 館長は、寄託資料及び借受資料を寄託者又は借受けの相手方から預かるときは、特に重要な資料について資料現況確認書(様式第12)により双方確認を行う。返還するときも、同様とする。

2 館長は、前項に規定する資料調査確認書を作成しない場合には、必要に応じて資料調査書(様式第13)を作成する。

(資料の管理)

第18条 寄託資料及び借受資料は、善良なる管理者の注意をもって管理する。

2 寄託資料又は借受資料を滅失、又はき損したときは、本市は、その損害を賠償する。ただし、天災等本市の責に帰すべき理由に基づかない場合は、この限りではない。

(保険契約)

第19条 寄託資料及び借受資料(これらの資料の搬入又は搬出時を含む)のうち館長が必要と認めるものについては、盗難、災害、き損等を担保するため、保険契約を締結する。

2 前項の保険契約を締結するにあたっては、寄託者又は借受けの相手方と協議する。

(資料の保護対策)

第20条 文化財保護法(昭和25年法律第214号)第27条に定める重要文化財又はこれと同等と認められる寄託資料又は借受資料を展示するときは、必要に応じて館長は職員又は警備員を当直させ、又は配置する等の保護対策を講ずる。

2 館長は、前項の盗難、火災その他の事故に備えるため、必要に応じて警察・消防機関と密接な連携をとり、随時巡視を求める等の措置を講じ、事故防止につとめるものとする。

(準拠規則等)

第21条 資料の取扱いについては、この要綱に定めるもののほか、一宮市物品等会計規則(昭和61年一宮市規則第13号)及び寄付採納審査会設置要綱(昭和61年一宮市訓令第8号)の定めるところによるものとする。

付 則

この要綱は、昭和62年11月2日から実施する。

付 則

この要綱は、昭和63年5月2日から実施する。

(様式)

様式第1 資料寄託申請書

様式第2 資料受託承認書

様式第3 受託証書(表・裏)

様式第4 寄託資料期間内返還申込書

様式第5 寄託資料一時返還申込書

様式第6 寄託資料所有者変更届

様式第7 受託証書再交付申請書

様式第8 一宮市博物館資料借用申込書

様式第9 一宮市博物館資料貸出承諾書(表・裏)

- 様式第 1 0 一宮市博物館資料借用書
- 様式第 1 1 預り証
- 様式第 1 2 資料現況確認書 (表・裏)
- 様式第 1 3 資料調査書

10 一宮市文化財保護条例

昭和 35 年 4 月 4 日 条例第 20 号

第 1 章 総則

(目的)

第 1 条 この条例は、文化財保護法(昭和 25 年法律第 214 号。以下「法」という。)第 182 条第 2 項の規定に基づき、同法の規定による指定を受けた文化財及び愛知県文化財保護条例(昭和 30 年愛知県条例第 6 号)により指定を受けた文化財以外の文化財で、一宮市内に存するものについて、その保存及び活用のため必要な措置を講じ、もって市民の文化的向上に資するとともにわが国文化の進歩に貢献することを目的とする。

(平 17 条例 70・一部改正)

(定義)

第 2 条 この条例で「文化財」とは、法第 2 条第 1 項各号に掲げる有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観及び伝統的建造物群をいう。

(平 17 条例 70・一部改正)

(財産権等の尊重及び他の公益との調整)

第 3 条 一宮市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、この条例の執行に当っては、関係者の所有権その他の財産権を尊重するとともに、文化財の保護と他の公益との調整に留意しなければならない。

(平 17 条例 70・一部改正)

第 2 章 一宮市指定文化財

(指定)

第 4 条 教育委員会は、一宮市の区域内に存する文化財のうち、一宮市にとって重要なものを、市長と協議の上、一宮市指定文化財(以下「市指定文化財」という。)に指定することができる。

2 前項の規定により文化財を指定するには、所有者の申請に基づくか又は所有者の同意を得なければならない。

3 前項の規定により文化財の指定をしようとするときは、教育委員会はあらかじめ別に定める一宮市文化財保護審議会に諮問するものとする。

(平 17 条例 70・一部改正)

(指定の解除)

第 5 条 市指定文化財が市指定文化財としての価値を失った場合、その他特殊の理由があるときは、教育委員会は一宮市文化財保護審議会に諮りその指定を解除することができる。

(管理)

第 6 条 市指定文化財の所有者は、この条例及びこれに基づく教育委員会規則に基づいて発する教育委員会の指示に従い、市指定文化財を管理しなければならない。

(平 17 条例 70・一部改正)

(所有者及び所在の変更)

第 7 条 市指定文化財の所有権等を変更したとき、又は市指定文化財の所在を変更しようとするときは、速やかにその旨を教育委員会に届け出なければならない。

(平 17 条例 70・一部改正)

(滅失、き損等)

第 8 条 市指定文化財の全部又は一部が滅失し、若しくはき損し、又はこれを亡失し、若しくは盗みとられたときは、所有者は速やかにその旨を教育委員会に届け出なければならない。

(平 17 条例 70・一部改正)

(管理又は修理等の補助)

第 9 条 市は市指定文化財並びに国及び県指定の文化財のうち、一宮市内に存する文化財の管理、修理、復旧、公開その他その保存活用に要する経費につき、その文化財の所有者に補助金を交付することができる。

2 前項の補助金を交付する場合には、教育委員会はその補助の条件として、管理又は修理に関して必要な事項を指示することができる。

(平 17 条例 70・一部改正)

(補助金の返還)

第 10 条 前条の規定により補助金の交付を受け、若しくは補助金の交付を受けようとする所有者が、次の各号のいずれかに該当することとなったときは、市は当該補助金の全部又は一部を交付せず、又は当該所有者に対し、既に交付された補助金の全部若しくは一部の返還を命ずることができる。

(1) 管理又は修理に関し、条例又は教育委員会規則に違反したとき。

(2) 補助金の交付を受けた目的以外に補助金を使用したとき。

(平 17 条例 70・一部改正)

(管理または修理に関する勧告)

第 11 条 市指定文化財の管理が適当でないため、当該市指定文化財が滅失し、き損し、又は盗みとられるおそれがあると認めるときは、教育委員会は所有者に対し、管理方法の改善、保存施設の設置その他管理に関し、必要な措置を勧告することができる。

(平 17 条例 70・一部改正)

(公開)

第 12 条 教育委員会は、市指定文化財の所有者に対し、教育委員会の行う公開の用に供するため当該市指定文化財の出品を勧告し、又は所有者に対し公開を勧告することができる。

(平 17 条例 70・一部改正)

(調査)

第 13 条 教育委員会は、必要があると認めるときは、市指定文化財の所有者に対し、当該文化財の現状又は管理の状況につき報告を求めることができる。

(平 17 条例 70・一部改正)

(現状変更等の制限)

第 14 条 市指定文化財に関し、その現状を変更し、又はその保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、教育委員会の許可を受けなければならない。ただし、現状の変更については維持の措置又は非常災害のために必要な応急措置をとる場合、保存に影響を及ぼす行為については影響の軽微である場合は、この限りでない。

(平 17 条例 70・一部改正)

(修理の届出等)

第 15 条 市指定文化財を修理しようとするときは、所有者は、あらかじめその旨を教育委員会に届け出なければならない。

第 3 章 一宮市文化財保護審議会

(審議会)

第 16 条 教育委員会に一宮市文化財保護審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(職務)

第 17 条 審議会は、市文化財の指定及び解除並びに文化財の保存と活用に関し、教育委員会の諮問に答え、又は教育委員会に意見を具申し、さらにこのために必要な調査研究を行う。

(平 17 条例 70・一部改正)

(組織)

第 18 条 審議会委員は文化財に関し、学識経験を有する者のうちから、教育委員会が任命する 10 人以内の委員で組織する。

2 委員の任期は 3 年とする。ただし、再任を妨げない。

3 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第 19 条 審議会に会長を置き、委員の互選により

定める。

2 会長は、会務を総理する。

3 会長に事故があるときは、あらかじめその指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第 20 条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、半数以上の委員が出席しなければ開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(雑則)

第 21 条 この章に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は会長が審議会に諮って定める。

第 4 章 補則

(教育委員会規則への委任)

第 22 条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(平 17 条例 70・一部改正)

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

付 則(昭和 38 年 7 月 30 日条例第 16 号)

この条例は、公布の日から施行する。

付 則(昭和 51 年 10 月 8 日条例第 34 号)

(施行)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過規定)

2 この条例施行の際、現に改正前の一宮市文化財保護条例(以下「旧条例」という。)の規定により指定されている民俗資料は、この条例の規定により指定された民俗文化財とみなす。

3 この条例施行の際、現に旧条例の規定により任命されている一宮市文化財専門委員は、この条例の規定により任命された一宮市文化財保護審議会委員とみなす。ただし、第 18 条第 2 項の規定にかかわらず、任期は昭和 53 年 6 月 30 日までとする。

(一宮市報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

4 一宮市報酬及び費用弁償に関する条例(昭和 31 年一宮市条例第 32 号)の一部を次のように改正する。

[次のよう]略

付 則(平成 17 年 3 月 24 日条例第 70 号)

(施行期日)

1 この条例は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、尾西市文化財保護条例(昭和 39 年尾西市条例第 9 号)又は木曾川

町文化財保護条例(昭和 37 年木曾川町条例第 9 号)に基づく木曾川町文化財保護助成要綱(昭和 40 年 7 月 1 日)の規定により指定されている旧尾西市指定文化財及び旧木曾川町指定文化財は、それぞれ改正後の一宮市文化財保護条例の規定により指定された一宮市指定文化財とみなす。

11 一宮市文化財保護条例施行規則

昭和 35 年 12 月 13 日 教委規則第 1 号
改正 昭和 51 年 8 月 20 日 教委規則第 9 号
平成 5 年 3 月 25 日 教委規則第 2 号
平成 16 年 11 月 1 日 教委規則第 5 号
平成 17 年 3 月 24 日 教委規則第 31 号
(指定調書)

第 1 条 一宮市文化財保護条例(昭和 35 年一宮市条例第 20 号。以下「条例」という。)第 4 条の規定による指定を受けようとするものは、一宮市文化財指定調書を教育委員会に提出しなければならない。

(平 17 教委規則 31・一部改正)
(指定書)

第 2 条 条例第 4 条の規定により文化財を指定しようとするときは、教育委員会は、文化財指定書を所有者又は管理者に交付するものとする。

(平 17 教委規則 31・一部改正)
(指定等文化財台帳)

第 3 条 教育委員会は、前条の規定により文化財指定書を交付したときは、名称等必要な項目を記載した指定等文化財台帳を備えるものとする。

(平 17 教委規則 31・全改)
(補助金の交付等)

第 4 条 条例第 9 条及び第 10 条の規定による補助金の交付又は返還に関する事項は、一宮市補助金等交付規則(昭和 37 年一宮市規則第 18 号)の規定によるものとする。

(平 17 教委規則 31・全改)
(帳票)

第 5 条 この規則の施行に関し必要な帳票の名称は、次のとおりとし、その様式は、教育委員会が別に定める。

- (1) 一宮市文化財指定調書
- (2) 文化財指定書
- (3) 指定等文化財台帳
- (4) 文化財指定解除書
- (5) 所有者等変更の届出書
- (6) 所在変更の届出書
- (7) 滅失・き損等の届出書

(平 17 教委規則 31・全改)
(委任)

第 6 条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

(平 17 教委規則 31・追加)

付 則

この規則は、公布の日からこれを施行する。

付 則(昭和 51 年 8 月 20 日教委規則第 9 号)

この規則は、公布の日から施行する。

付 則(平成 5 年 3 月 25 日教委規則第 2 号)

この規則は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。

付 則(平成 16 年 11 月 1 日教委規則第 5 号)

1 この規則は、平成 16 年 11 月 1 日から施行する。

2 この規則の施行の際現に改正前の各規則の規定に基づき作成されている帳票は、改正後の各規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

付 則(平成 17 年 3 月 24 日教委規則第 31 号)

この規則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

12 一宮市文化財保護事業補助金交付要綱

(目的)

第1条 この要綱は、一宮市文化財保護条例(昭和35年条例第20号。以下「条例」)第9条に基づいて文化財の所有者に対して交付する補助金に関して必要な事項を定める。文化財の所有者とは、条例第2条の規定に基づく文化財の所有者又は管理者若しくは管理団体及び保存団体をいう(以下「補助事業者」という。)

(補助対象経費)

第2条 補助対象となる事業の経費は、次の各号のとおりとする。

(1)有形文化財の管理、修理、復旧、公開、その他保存事業に要する経費。ただし振込手数料、送料は対象外とする。

(2)無形文化財及び無形民俗文化財の伝承保存、記録の作成及び刊行、公開、伝承保存に直接必要な用具等の修理及び購入、その他保存活用に要する経費とし、対象経費は次に掲げる区分による。ただし振込手数料、送料、食糧費、接待費、慶弔費は対象外とする。

ア 伝承保存事業に要する経費

区分	対象
報償費	講師等指導謝金、〇〇謝金
旅費	指導旅費、講師旅費、公演旅費
需用費	消耗品費、印刷製本費、修繕料
役務費	通信運搬費、保管料、クリーニング代、傷害保険料
使用料及び賃借料	器具等借料、会場借料
備品購入費	用具購入費(芸能用等特に認められた場合に限る)

イ 記録の作成及び刊行事業に要する経費

区分	対象
報償費	原稿執筆謝金、調査謝金
旅費	調査旅費
需用費	消耗品費、印刷製本費
役務費	通信運搬費、保険料
委託料	〇〇調査委託、〇〇作成委託

(3)記念物の管理、病虫駆除、樹勢回復、剪定及び環境保全事業に要する経費

(4)前各号に掲げるもののほか、指定文化財を直接保護するために要すると市長が適当と認める事業の経

費

(補助金額等)

第3条 補助金額は、予算の範囲内で市長が決定し、補助率及び補助金額は、次の各号のとおりとする。ただし、有形文化財の修理、復旧等で、特に市長が必要と認めた場合を除く。補助金額に1,000円未満の端数を生じる場合は、これを切り捨てる。

(1)補助率は、補助対象経費の2分の1以内とし、補助金額は300万円を限度額とする。

(2)前号の規定にかかわらず、無形文化財及び無形民俗文化財の伝承保存事業の補助率は補助対象経費の3分の2以内とし、補助金額は10万円を限度額とする。ただし、伝承保存事業以外で補助対象事業となった場合は、次のとおりとする。

補助対象事業の種類	補助金の額
衣装(ただし一般的な祭半纏等の衣装を除く)の修理事業又は新調事業	補助対象経費の3分の1以内、20万円を限度額とする。ただし補助対象経費が5万円未満の場合は補助対象外とする。
太鼓、笛、三味線等のお囃子用の道具の修理事業又は新調事業	補助対象経費の3分の1以内、30万円を限度額とする。ただし補助対象経費が5万円未満の場合は補助対象外とする。
山車等の保存修理事業又は復元新調事業	補助対象経費の3分の1以内、100万円を限度額とする。ただし補助対象経費が5万円未満の場合は補助対象外とする。
山車庫・保存庫等の保管施設の修理事業又は新調事業	補助対象経費の3分の1以内、100万円を限度額とする。ただし補助対象経費が5万円未満の場合は補助対象外とする。

(3)補助対象事業で国庫補助金、愛知県補助金、その他の補助金等の交付を受ける事業については、補助対象経費からそれぞれ交付を受ける補助金を差し引いた額を補助対象経費とする。

(事前協議)

第4条 補助金の交付申請にあたっては、特に市長が認める場合を除き、申請に係る事前協議を必要とする。

(補助金の交付申請時期)

第5条 前条の規定によって協議しかつ補助金の交付を受けようとする者は、当該年度の4月30日までに申請するものとする。ただし、有形文化財の修理、復旧等で、特に緊急性がありかつ市長が必要と

認めた場合を除く。

(その他)

第6条 この要綱のほか、必要な事項は一宮市補助金等交付規則によるものとする。

付 則

(施 行)

この要綱は、昭和 56 年 7 月 25 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

第1条 この要綱は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

(補助金額の特例)

第2条 平成 29 年度において、無形文化財及び無形民俗文化財の伝承保存事業による補助金交付を受けた者(伝承保存事業以外で補助対象事業となった場合を除く)については、第3条第1項第2号の規定にかかわらず、平成 30 年度は 16 万円、平成 31 年度は 14 万円、平成 32 年度は 12 万円を補助金額の限度額とする。

13 民俗芸能伝承保存事業補助金交付要綱

(目的)

第1条 この要綱は、市内の民俗芸能及び地域に伝わる伝統行事(以下「伝統行事」という。)の保存団体が、伝承保存事業を実施するのに要する経費の一部に対して交付する補助金に関して必要な事項を定める。

(補助事業の内容)

第2条 民俗芸能及び伝統行事の伝承保存事業で、毎年4月から翌年3月までに実施される事業。ただし、無形文化財並びに無形民俗文化財として指定を受けている事業は除く。

(補助対象事業者)

第3条 前条で定める補助事業を実施する保存団体で、一宮民俗芸能連盟加盟団体及び必要と認める団体とする。ただし、文化財として指定を受けている団体は除く。

(補助対象経費)

第4条 補助対象となる事業の経費は、伝承保存、記録の作成及び刊行、公開、伝承保存に直接必要な用具等の修理及び購入、その他保存活用に要する経費とし、対象経費は次に掲げる区分による。ただし振込手数料、送料、食糧費、接待費、慶弔費は対象外とする。

ア 伝承保存事業に要する経費

区分	対象
報償費	講師等指導謝金、〇〇謝金など
旅費	指導旅費、講師旅費、公演旅費など
需用費	消耗品費、印刷製本費、修繕料など
役務費	通信運搬費、保管料、手数料、傷害保険料など
使用料及び賃借料	器具等借料、会場借料など
備品購入費	用具購入費(芸能用等特に認められた場合に限る)など

イ 記録の作成及び刊行事業に要する経費

区分	対象
報償費	原稿執筆謝金、調査謝金など
旅費	調査旅費など
需用費	消耗品費、印刷製本費など
役務費	通信運搬費、保険料など
委託料	〇〇調査委託、〇〇作成委託など

(補助金額等)

第5条 補助金額は、予算の範囲内で市長が決定し、補助率及び補助金額は、補助対象経費5万円以上10万円未満は25,000円とし、10万円超場合は5万円を限度額とする。ただし補助対象経費が5万円未満の場合は、補助対象外とする。また、補助金額に1,000円未満の端数を生じる場合は、これを切り捨てる。

(事前協議)

第6条 補助金の交付申請にあたっては、特に市長が認める場合を除き、申請に係る事前協議を必要とする。

(補助金の交付申請時期)

第7条 前条の規定によって協議しかつ補助金の交付を受けようとする者は、該当年度の4月30日までに申請するものとする。

(その他)

第8条 この要綱のほか、必要な事項は一宮市補助金等交付規則によるものとする。

付 則

この要綱は、平成10年9月10日から施行し、平成10年4月1日から適用する。

付 則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

付 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

付 則

第1条 この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

(補助金額の特例)

第2条 平成30年3月31日以前に補助金を受けた者は、従前のおりとする。

14 郷土史関係出版物等奨励事業補助金

交付要綱

(事業の目的)

第1条 一宮地方の郷土史に関する研究成果をまとめたもののうち、自費出版等に対し出版等に要する経費の一部を補助することにより、本市における郷土史研究活動の振興に資することを目的とする。

(補助の対象出版物等)

第2条 一宮地方の郷土史(歴史、考古、民俗、自然等)に関する研究、成果をまとめたもの。映像及び電子媒体については、その内容等を考慮して認める。ただし、著作権等の処理をしていること。

(申請資格)

第3条 市内に在住または在勤のもの(研究団体を含む)で毎年4月から翌年3月までに出版等するもの。

(申請締切)

第4条 毎年12月25日までに申請をする。

(申請要領)

第5条 申請書(様式1)により、市長に提出する。ただし、出版等されている場合は、12部添付のこと。また、未出版等の場合は、原稿の写し等を提出のこと(出版等された時に12部提出)。なお、提出された出版物等は返却しない。

(選考審査)

第6条 申請出版物等は、一宮市文化財保護審議会において行う。

(決定)

第7条 選考結果報告にもとづき、市長が決定する。

(補助金額)

第8条 補助金の額は出版物等の経費で、印刷製本費等の2分の1以内の額で100,000円を限度とし、予算の範囲内において別途算式により、これを決定する。

(その他)

第9条 この要綱のほか、必要な事項は一宮市補助金交付規則によるものとする。

付則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

付則

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

付則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

付則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

郷土史関係出版物等奨励事業補助金算出基礎

☆算式

補助交付額=補助対象額(1)×交付率(2)×審査率(3)×{1-減額率(4)}×予算率(5)

(1)補助対象額=印刷製本費等のうち、最高200,000円(予算額の2倍)。

(2)交付率=2分の1(要綱による)。

(3)審査率=審査表のランクAは2、Bは0とし、全審査員の得点を合算した百分率。

(4)減額率=有料出版物等は30/100、その他は減額しない。

(5)予算率=予算の範囲を超える場合は、予算額を総算出額で除した割合。

(6)交付額は千位未満切捨。

V 施設

1 施設概要

1. 名称 一宮市博物館
2. 所在地 愛知県一宮市大和町妙興寺 2390
3. 開館年月日 昭和 62 年 11 月 13 日
4. 博物館登録 平成 2 年 3 月 5 日
5. 構造設計 青木繁研究室
6. 設備設計 建築設備設計研究所
7. 植栽計画 野沢・鈴 W 造園設計事務所
8. テキスタイルデザイン 内井乃生
9. サイン計画 ディスハウス
10. 設計管理
 - (1) 昭和 62 年度 (株) 内井昭蔵建築設計事務所・一宮市建設部建築住宅課
 - (2) 平成 25・26 年度リニューアル (株) 内井建築設計事務所・一宮市建設部建築住宅課
11. 施工 昭和 62 年度
 - (1) 本体 竹中・中村工業建設共同企業体
 - (2) 電気設備 弘電社・東邦建設共同企業体
 - (3) 衛生設備 川崎・大興建設共同企業体
 - (4) 空調設備 ダイダン・村川建設共同企業体
12. 展示設計 昭和 62 年度 (有) 日本エキジビジョン
平成 25・26 年度リニューアル (株) 丹青社
13. 設計期間 昭和 60 年 2 月～昭和 60 年 8 月
14. 施工期間 昭和 60 年 11 月～昭和 62 年 10 月
15. 敷地面積 9,241 m²
16. 建築面積 2,550 m² (平成 9 年度 54 m²増築 平成 26 年度 10 m²増築)
17. 延床面積 4,690 m²
1 階 2,273 m² (平成 9 年度 54 m²増築 平成 26 年度 10 m²増築)
2 階 1,596 m² (平成 26 年度 10 m²増築)
地下 797 m² 塔屋 4 m²
18. 構造 RC 造、一部 SRC 造
19. 規模 地下 1 階、地上 2 階、塔屋 1 階
20. 受賞 照明学会東海支部表彰 (1987)
第 20 回中部建築賞 (1988)
一宮市建築賞入賞 (1991)
第 4 回公共建築賞優秀賞 (1993)

2 開館後の増築および修繕

平成 9 年度

小展示室増築 (有) 大和建设

平成 25・26 年度

エレベーター・喫茶設備 (株) カネショウ工務店

電気設備 (有) 東海電設

平成 28 年度

和室修繕 畳・障子・壁じゅらく・天井 (株) センター住建

水屋天井裏ファンコイル更新 村川設備工業 (株)

水屋ファンコイル更新に伴う自動制御他 川村電機 (株)

平成 27 年度

空冷ヒートポンプチラー更新 村川設備工業 (株)

平成 30 年度

空調機械更新 (展示ホールおよび常設展示室の冷温水発生機等) 村川設備工業 (株)

※平成 30 年 10 月 2 日 (火) から 11 月 30 日 (金) まで臨時休館

3 主要各室面積

利用者空間

展示ホール	126 m ²	ラウンジ	57 m ²
展示室 1	240 m ²	1階ギャラリー	82 m ²
展示室 2-1 (旧展示室 1)	112 m ²	2階ギャラリー	44 m ²
展示室 2-2 (旧展示室 2)	132 m ²	学習室 (たいけんの森)	197 m ²
展示室 2-3 (旧展示室 3)	132 m ²	中庭 (屋外展示場)	189 m ²
特別展示室	131 m ²	和室	71 m ²
講座室	126 m ²	喫茶コーナー	38 m ²
小展示室 (旧展示室 4)	46 m ²		

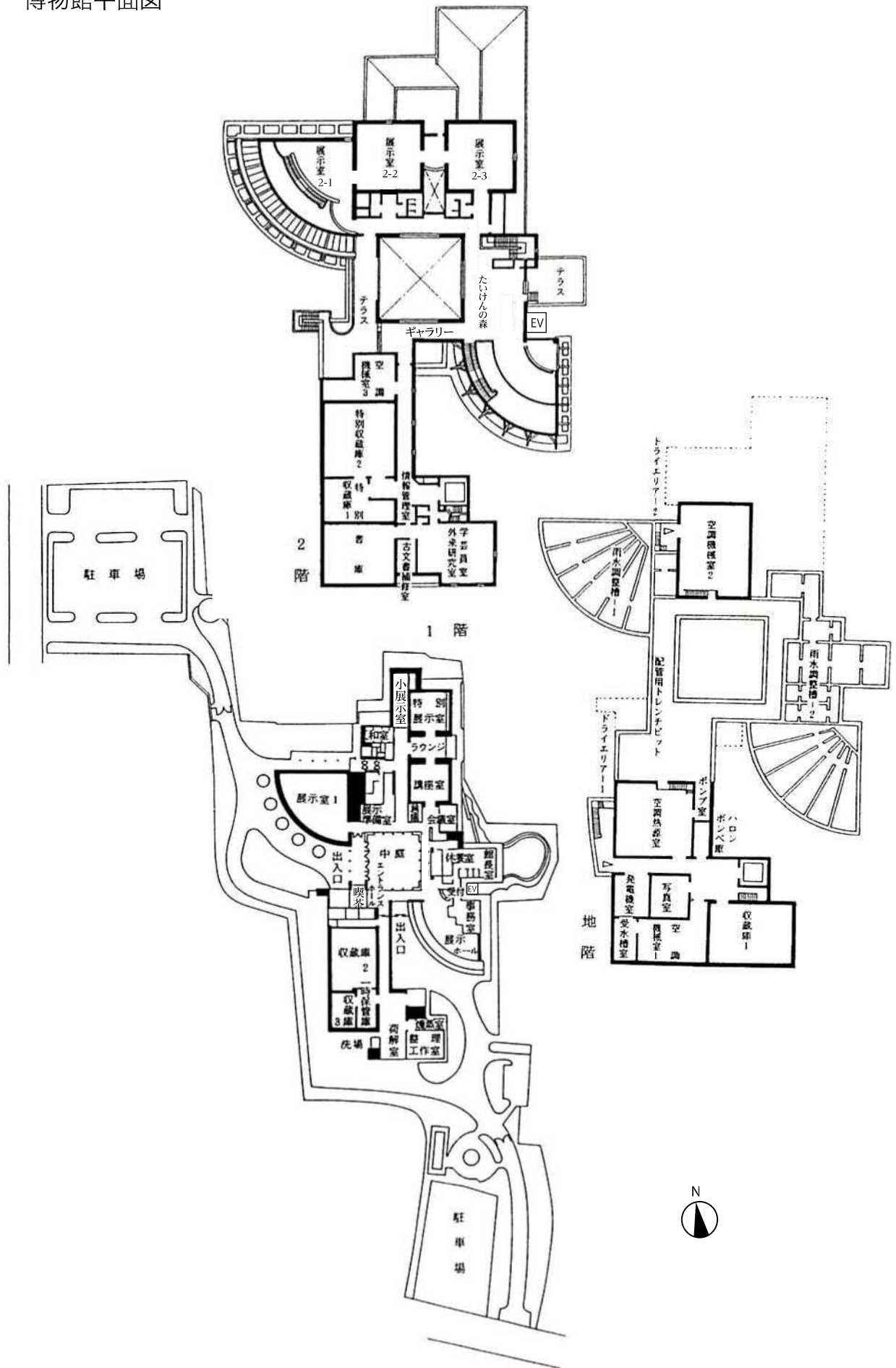
学芸空間

特別収蔵庫 1	67 m ²	書庫	113 m ²
特別収蔵庫 2	142 m ²	学芸員室	127 m ²
特別収蔵庫前室	23 m ²	古文書補修室	13 m ²
収蔵庫 1	131 m ²	情報管理室	10 m ²
収蔵庫 2	191 m ²	写真室	43 m ²
収蔵庫 3	63 m ²	整理工作室	67 m ²
一時保管室	61 m ²	燻蒸室	20 m ²

管理空間等

事務室	59 m ²	休養室	19 m ²
館長室・応接室	31 m ²	機械室	538 m ²
会議室	33 m ²		

4 博物館平面図



一宮市博物館年報(16)
平成 29・30 年度事業報告

編集・発行 一宮市博物館
〒491-0922
愛知県一宮市大和町妙興寺 2390 番地
TEL 0586-46-3215
FAX 0586-46-3216
<https://www.icm-jp.com>
発行日 令和 2 年 11 月 1 日